

はぜ　　ほら　　むら　　だいら
櫨　原　村　平　遺　跡

(第2分冊　遺物・分析・考察編)

2007

財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター

目次（遺物・分析・考察編）

第5章 遺物

- 第1節 遺物の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 第2節 古代から近世の遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 第3節 縄文土器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 第4節 土製品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 第5節 縄文時代の石器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第6章 自然科学分析

- 第1節 自然科学分析の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 第2節 中世遺物の顔料と漆・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 第3節 土器胎土及び粘土塊の材料分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

第7章 考察

- 第1節 A・B地区第2調査面及びC区第3調査面検出遺構の検討・・・・・・ 43
- 第2節 出土した縄文土器の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
- 第3節 出土した石器の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
- 第4節 結語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

引用・参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57

報告書抄録

第1分冊

序

例言

第1章 調査の経緯

第2章 遺跡の環境

第3章 基本層序

第4章 遺構

遺構一覧表

遺構出土遺物一覧表

遺構図版

遺構写真図版

挿図目次

第1図	器種別土器組成(中世・近世)	4
第2図	縄文土器の出土分布図(1)	15
第3図	縄文土器の出土分布図(2)	16
第4図	石器の出土分布図	23
第5図	Na.3, No.8, No.9の 赤外吸収スペクトル図	39
第6図	Na.1~3の蛍光X線スペクトル図	40
第7図	Na.4~6の蛍光X線スペクトル図	41
第8図	No.7, No.9の蛍光X線スペクトル図	42
第9図	堅穴住居跡及び掘立柱建物跡	45
第10図	縄文時代中期後半の遺構配置図	47
第11図	徳山の道路位置図	52

表目次

第1表	地区別出土遺物	1
第2表	土器・土製品分類	2
第3表	縄文土器分類表	3
第4表	遺構出土土器一覧	14
第5表	遺物包含層出土縄文土器部位別一覧	15
第6表	遺物包含層出土縄文土器時期別一覧 (口縁部有文のみ)	15
第7表	石器器種別点数一覧	24
第8表	分析を行った遺物とその詳細 (XRF; 蛍光X線分析, FT-IR; 赤外分光分析)	31
第9表	付着物の蛍光X線分析結果 (半定量分析; FPA法)	33
第10表	分析の詳細と分析結果	33
第11表	分析した焼成粘土塊 ・浅鉢胎土とその内面的特徴	34
第12表	粘土塊・浅鉢胎土の粘土と砂粒の特徴	37
第13表	粘土塊中の岩石片の分類と組み合わせ	37
第14表	堅穴住居跡出土石器一覧	49
第15表	石器主要器種割合表	52
第16表	ヒスイの原産地分析	54
第17表	黒曜石の原産地分析	53
第18表	下呂石の原産地分析	53
第19表	ササカイトの原産地分析	54
第20表	徳山の各遺跡主要石器別 石材一覧表(1)	55
第21表	徳山の各遺跡主要石器別 石材一覧表(2)	56
第22表	中近世陶磁器観察表(A・B区)(1)	59
第23表	中近世陶磁器観察表(A・B区)(2)	60
第24表	中近世陶磁器観察表(A・B区)(3)	61
第25表	中近世陶磁器観察表(A・B区)(4)	62
第26表	中近世陶磁器観察表(A・B区)(5)	63
第27表	砥石観察表(A・B区)	64
第28表	白磁観察表(A・B区)	64
第29表	金属製品観察表(A・B区)	65
第30表	鍛冶関連遺物観察表(A・B区)	65
第31表	銭貨観察表(A・B区)(1)	66
第32表	銭貨観察表(A・B区)(2)	67
第33表	木製品観察表(A・B区)	67
第34表	縄文土器観察表(A・B区)(1)	68
第35表	縄文土器観察表(A・B区)(2)	69
第36表	縄文土器観察表(A・B区)(3)	70
第37表	縄文土器観察表(A・B区)(4)	71
第38表	縄文土器観察表(A・B区)(5)	72
第39表	縄文土器観察表(A・B区)(6)	73
第40表	縄文土器観察表(A・B区)(7)	74
第41表	縄文土器観察表(A・B区)(8)	75
第42表	縄文土器観察表(A・B区)(9)	76
第43表	縄文土器観察表(A・B区)(10)	77
第44表	縄文土器観察表(A・B区)(11)	78
第45表	縄文土器観察表(A・B区)(12)	79

第46表	縄文土器観察表(A・B区)(13)	80
第47表	縄文土器観察表(A・B区)(14)	81
第48表	尖頭器計測表(A・B区)	82
第49表	石皿計測表(A・B区)(1)	82
第50表	石皿計測表(A・B区)(2)	83
第51表	石皿計測表(A・B区)	83
第52表	石筥計測表(A・B区)	83
第53表	スクレイパー計測表(A・B区)	84
第54表	へら形石器計測表(A・B区)	84
第55表	楔形石器計測表(A・B区)	84
第56表	石核計測表(A・B区)	86
第57表	切目石錐計測表(A・B区)	85
第58表	打欠石錐計測表(A・B区)	85
第59表	粗製石器計測表(A・B区)	85
第60表	打製石斧計測表(A・B区)	85
第61表	磨製石斧計測表(A・B区)	86
第62表	磨・敲・凹石計測表(A・B区)	86
第63表	石皿計測表(A・B区)	87
第64表	砥石計測表(A・B区)	87
第65表	石棒・石刀計測表(A・B区)	87
第66表	異形石器計測表(A・B区)	87
第67表	装飾品計測表(A・B区)	87
第68表	石製品計測表(A・B区)	87
第69表	中近世陶磁器観察表(C区)(1)	88
第70表	砥石観察表(C区)	89
第71表	金属製品観察表(C区)	89
第72表	鍛冶関連遺物観察表(C区)	89
第73表	銭貨観察表(C区)	89
第74表	縄文土器観察表(C区)(1)	90
第75表	縄文土器観察表(C区)(2)	91
第76表	尖頭器計測表(C区)	92
第77表	石皿計測表(C区)	92
第78表	石皿計測表(C区)	92
第79表	石筥計測表(C区)	92
第80表	スクレイパー計測表(C区)	92
第81表	へら形石器計測表(C区)	92
第82表	楔形石器計測表(C区)	93
第83表	石核計測表(C区)	93
第84表	石製品計測表(C区)	93
第85表	切目石錐計測表(C区)	93
第86表	打欠石錐計測表(C区)	93
第87表	粗製石器計測表(C区)	93
第88表	打製石斧計測表(C区)	93
第89表	磨製石斧計測表(C区)	94
第90表	磨・敲・凹石計測表(C区)	94
第91表	石皿計測表(C区)	94
第92表	砥石計測表(C区)	94
第93表	異形石器計測表(C区)	94
第94表	装飾品計測表(C区)	94
第95表	石筥計測表(C区)	94
第96表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(1)	95
第97表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(2)	96
第98表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(3)	96
第99表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(4)	97
第100表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(5)	97
第101表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(6)	97
第102表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(7)	98
第103表	石器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(1)	99
第104表	石器 遺物包含層 地区別出土一覧表(A・B区)(2)	100

第105表	石器 遺物包含層 地区別出土一覧表 (A·B区) (3) ····· 101
第106表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表 (C区) (1) ····· 101
第107表	縄文土器 遺物包含層 地区別出土一覧表 (C区) (2) ····· 101
第108表	石器 遺物包含層 地区別出土一覧表 (C区) (2) ····· 102

図版目次

図版1	A·B区遺構出土中近世陶磁器 (1) ····· 103
図版2	A·B区遺構出土中近世陶磁器 (2) ····· 104
図版3	A·B区遺構出土中近世陶磁器 (3) ····· 105
図版4	A·B区遺構出土中近世陶磁器 (4) ····· 106
図版5	A·B区遺構出土中近世陶磁器 (5) ····· 107
図版6	A·B区遺構出土中近世陶磁器 (6) ····· 108
図版7	A·B区遺物包含層出土 中近世陶磁器 (1) ····· 109
図版8	A·B区遺物包含層出土 中近世陶磁器 (2) ····· 110
図版9	A·B区遺物包含層出土 中近世陶磁器 (3) ····· 111
図版10	A·B区遺物包含層出土 中近世陶磁器 (4) ····· 112
図版11	A·B区遺物包含層出土 中近世陶磁器 (5) ····· 113
図版12	A·B区遺物包含層出土 中近世陶磁器 (6) ····· 114
図版13	A·B区出土石製品 (1) ····· 115
図版14	A·B区出土石製品 (2) ····· 116
図版15	A·B区出土石製品 (3) ····· 117
図版16	A·B区出土石製品 (4) ····· 118
図版17	A·B区出土石製品 (5) ····· 119
図版18	A·B区出土石製品 (6) ····· 120
図版19	A·B区出土金属製品 (1) ····· 121
図版20	A·B区出土金属製品 (2) 鍛冶関連遺物 ····· 122
図版21	A·B区出土銭貨 (1) ····· 123
図版22	A·B区出土銭貨 (2) ····· 124
図版23	A·B区出土銭貨 (3) ····· 125
図版24	A·B区出土銭貨 (4) ····· 126
図版25	A·B区出土木製品 ····· 127
図版26	A·B区遺構出土縄文土器 (1) ····· 128
図版27	A·B区遺構出土縄文土器 (2) ····· 129
図版28	A·B区遺構出土縄文土器 (3) ····· 130
図版29	A·B区遺構出土縄文土器 (4) ····· 131
図版30	A·B区遺構出土縄文土器 (5) ····· 132
図版31	A·B区遺構出土縄文土器 (6) ····· 133
図版32	A·B区遺構出土縄文土器 (7) ····· 134
図版33	A·B区遺構出土縄文土器 (8) ····· 135
図版34	A·B区遺構出土縄文土器 (9) ····· 136
図版35	A·B区遺構出土縄文土器 (10) ····· 137
図版36	A·B区遺構出土縄文土器 (11) ····· 138
図版37	A·B区遺構出土縄文土器 (12) ····· 139
図版38	A·B区遺構出土縄文土器 (13) ····· 140
図版39	A·B区遺構出土縄文土器 (14) ····· 141
図版40	A·B区遺構出土縄文土器 (15) ····· 142
図版41	A·B区遺構出土縄文土器 (16) ····· 143
図版42	A·B区遺構出土縄文土器 (17) ····· 144
図版43	A·B区遺構出土縄文土器 (18) ····· 145
図版44	A·B区遺構出土縄文土器 (19) ····· 146
図版45	A·B区遺構出土縄文土器 (20) ····· 147
図版46	A·B区遺構出土縄文土器 (21) ····· 148
図版47	A·B区遺構出土縄文土器 (22) ····· 149
図版48	A·B区遺構出土縄文土器 (23) ····· 150
図版49	A·B区遺構出土縄文土器 (24) ····· 151
図版50	A·B区遺構出土縄文土器 (25) ····· 152

図版51	A·B区遺構出土縄文土器 (26) ····· 153
図版52	A·B区遺構出土縄文土器 (27) ····· 154
図版53	A·B区遺構出土縄文土器 (28) ····· 155
図版54	A·B区遺構出土縄文土器 (29) ····· 156
図版55	A·B区遺構出土縄文土器 (30) ····· 157
図版56	A·B区遺構出土縄文土器 (31) ····· 158
図版57	A·B区遺構出土縄文土器 (32) ····· 159
図版58	A·B区遺構出土縄文土器 (33) ····· 160
図版59	A·B区遺構出土縄文土器 (34) ····· 161
図版60	A·B区遺構出土縄文土器 (35) ····· 162
図版61	A·B区遺構出土縄文土器 (36) ····· 163
図版62	A·B区遺構出土縄文土器 (37) ····· 164
図版63	A·B区遺構出土縄文土器 (38) ····· 165
図版64	A·B区遺構出土縄文土器 (39) ····· 166
図版65	A·B区遺構出土縄文土器 (40) ····· 167
図版66	A·B区遺構出土縄文土器 (41) ····· 168
図版67	A·B区遺構出土縄文土器 (42) ····· 169
図版68	A·B区遺構出土縄文土器 (43) ····· 170
図版69	A·B区遺構出土縄文土器 (44) ····· 171
図版70	A·B区遺構出土縄文土器 (45) ····· 172
図版71	A·B区遺構出土縄文土器 (46) ····· 173
図版72	A·B区遺構出土縄文土器 (47) ····· 174
図版73	A·B区遺構出土縄文土器 (48) ····· 175
図版74	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (1) ····· 176
図版75	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (2) ····· 177
図版76	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (3) ····· 178
図版77	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (4) ····· 179
図版78	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (5) ····· 180
図版79	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (6) ····· 181
図版80	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (7) ····· 182
図版81	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (8) ····· 183
図版82	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (9) ····· 184
図版83	A·B区遺物包含層出土縄文土器 (10) ····· 185
図版84	A·B区出土石器 (1) ····· 186
図版85	A·B区出土石器 (2) ····· 187
図版86	A·B区出土石器 (3) ····· 188
図版87	A·B区出土石器 (4) ····· 189
図版88	A·B区出土石器 (5) ····· 190
図版89	A·B区出土石器 (6) ····· 191
図版90	A·B区出土石器 (7) ····· 192
図版91	A·B区出土石器 (8) ····· 193
図版92	A·B区出土石器 (9) ····· 194
図版93	A·B区出土石器 (10) ····· 195
図版94	A·B区出土石器 (11) ····· 196
図版95	A·B区出土石器 (12) ····· 197
図版96	A·B区出土石器 (13) ····· 198
図版97	A·B区出土石器 (14) ····· 199
図版98	A·B区出土石器 (15) ····· 200
図版99	A·B区出土石器 (16) ····· 201
図版100	A·B区出土石器 (17) ····· 202
図版101	A·B区出土石器 (18) ····· 203
図版102	A·B区出土石器 (19) ····· 204
図版103	A·B区出土石器 (20) ····· 205
図版104	A·B区出土石器 (21) ····· 206
図版105	A·B区出土石器 (22) ····· 207
図版106	A·B区出土石器 (23) ····· 208
図版107	A·B区出土石器 (24) ····· 209
図版108	A·B区出土石器 (25) ····· 210
図版109	A·B区出土石器 (26) ····· 211
図版110	A·B区出土石器 (27) ····· 212
図版111	A·B区出土石器 (28) ····· 213
図版112	A·B区出土石器 (29) ····· 214
図版113	C区遺構出土中近世陶磁器 (1) ····· 215
図版114	C区遺構出土中近世陶磁器 (2) ····· 216
図版115	C区出土石製品・金属製品 鍛冶関連遺物 ····· 217
図版116	C区出土銭貨 ····· 218
図版117	C区出土縄文土器 (1) ····· 219

図版118	C区出土縄文土器(2)	220
図版119	C区出土縄文土器(3)	221
図版120	C区出土縄文土器(4)	222
図版121	C区出土縄文土器(5)	223
図版122	C区出土縄文土器(6)	224
図版123	C区出土石器(1)	225
図版124	C区出土石器(2)	226
図版125	C区出土石器(3)	227
図版126	C区出土石器(4)	228
図版127	C区出土石器(5)	229
図版128	C区出土石器(6)	230
図版129	C区出土石器(7)	231
図版130	C区出土石器(8)	232
図版131	C区出土石器(9)	233

遺構写真図版目次

写真図版1	A・B区遺構出土中近世陶磁器(1)
写真図版2	A・B区遺構出土中近世陶磁器(2)
写真図版3	A・B区遺構出土中近世陶磁器(3)
写真図版4	A・B区遺構出土中近世陶磁器(4)
写真図版5	A・B区遺構出土中近世陶磁器(5)
写真図版6	A・B区遺構出土中近世陶磁器(6)
写真図版7	A・B区遺構出土中近世陶磁器(7)
写真図版8	A・B区遺構出土中近世陶磁器(8)
写真図版9	A・B区遺構出土中近世陶磁器(9)
写真図版10	A・B区遺構出土中近世陶磁器(10)
写真図版11	A・B区遺物包含層出土 中近世陶磁器(1)
写真図版12	A・B区遺物包含層出土 中近世陶磁器(2)
写真図版13	A・B区遺物包含層出土 中近世陶磁器(3)
写真図版14	A・B区遺物包含層出土 中近世陶磁器(4)
写真図版15	A・B区遺物包含層出土 中近世陶磁器(5)
写真図版16	A・B区遺物包含層出土 中近世陶磁器(6)
写真図版17	A・B区出土石製品(1)
写真図版18	A・B区出土石製品(2)
写真図版19	A・B区出土石製品(3)
写真図版20	A・B区出土金属製品(1)
写真図版21	A・B区出土金属製品(2) ・鍛冶関連遺物
写真図版22	A・B区出土銭貨(1)
写真図版23	A・B区出土銭貨(2)
写真図版24	A・B区出土銭貨(3)
写真図版25	A・B区遺構出土縄文土器(1)
写真図版26	A・B区遺構出土縄文土器(2)
写真図版27	A・B区遺構出土縄文土器(3)
写真図版28	A・B区遺構出土縄文土器(4)
写真図版29	A・B区遺構出土縄文土器(5)
写真図版30	A・B区遺構出土縄文土器(6)
写真図版31	A・B区遺構出土縄文土器(7)
写真図版32	A・B区遺構出土縄文土器(8)
写真図版33	A・B区遺構出土縄文土器(9)
写真図版34	A・B区遺構出土縄文土器(10)
写真図版35	A・B区遺構出土縄文土器(11)
写真図版36	A・B区遺構出土縄文土器(12)
写真図版37	A・B区遺構出土縄文土器(13)
写真図版38	A・B区遺構出土縄文土器(14)
写真図版39	A・B区遺構出土縄文土器(15)
写真図版40	A・B区遺構出土縄文土器(16)
写真図版41	A・B区遺構出土縄文土器(17)
写真図版42	A・B区遺構出土縄文土器(18)
写真図版43	A・B区遺構出土縄文土器(19)
写真図版44	A・B区遺構出土縄文土器(20)

写真図版45	A・B区遺構出土縄文土器(21)
写真図版46	A・B区遺構出土縄文土器(22)
写真図版47	A・B区遺構出土縄文土器(23)
写真図版48	A・B区遺構出土縄文土器(24)
写真図版49	A・B区遺構出土縄文土器(25)
写真図版50	A・B区遺構出土縄文土器(26)
写真図版51	A・B区遺構出土縄文土器(27)
写真図版52	A・B区遺構出土縄文土器(28)
写真図版53	A・B区遺構出土縄文土器(29)
写真図版54	A・B区遺構出土縄文土器(30)
写真図版55	A・B区遺構出土縄文土器(31)
写真図版56	A・B区遺構出土縄文土器(32)
写真図版57	A・B区遺構出土縄文土器(33)
写真図版58	A・B区遺構出土縄文土器(34)
写真図版59	A・B区遺構出土縄文土器(35)
写真図版60	A・B区遺構出土縄文土器(36)
写真図版61	A・B区遺構・遺物包含層出土 縄文土器(1)
写真図版62	A・B区遺構・遺物包含層出土 縄文土器(2)
写真図版63	A・B区遺物包含層出土縄文土器(1)
写真図版64	A・B区遺物包含層出土縄文土器(2)
写真図版65	A・B区遺物包含層出土縄文土器(3)
写真図版66	A・B区遺物包含層出土縄文土器(4)
写真図版67	A・B区遺物包含層出土縄文土器(5)
写真図版68	A・B区遺物包含層出土縄文土器(6)
写真図版69	A・B区遺物包含層出土縄文土器(7)
写真図版70	A・B区遺物包含層出土縄文土器(8)
写真図版71	A・B区遺物包含層出土縄文土器(9)
写真図版72	A・B区遺構・遺物包含層出土 縄文土器
写真図版73	A・B区出土石器(1)
写真図版74	A・B区出土石器(2)
写真図版75	A・B区出土石器(3)
写真図版76	A・B区出土石器(4)
写真図版77	A・B区出土石器(5)
写真図版78	A・B区出土石器(6)
写真図版79	A・B区出土石器(7)
写真図版80	A・B区出土石器(8)
写真図版81	A・B区出土石器(9)
写真図版82	A・B区出土石器(10)
写真図版83	A・B区出土石器(11)
写真図版84	A・B区出土石器(12)
写真図版85	A・B区出土石器(13)
写真図版86	A・B区出土石器(14)
写真図版87	A・B区出土石器(15)
写真図版88	C区遺構出土中近世陶磁器(1)
写真図版89	C区遺構出土中近世陶磁器(2)
写真図版90	C区遺構出土中近世陶磁器(3)
写真図版91	C区出土石製品・金属製品 ・鍛冶関連遺物
写真図版92	C区出土銭貨
写真図版93	C区遺構出土縄文土器(1)
写真図版94	C区遺構出土縄文土器(2)
写真図版95	C区遺構出土縄文土器(3)
写真図版96	C区遺構出土縄文土器(4)
写真図版97	C区遺物包含層出土縄文土器
写真図版98	C区出土縄文土器
写真図版99	C区出土石器(1)
写真図版100	C区出土石器(2)
写真図版101	C区出土石器(3)
写真図版102	C区出土石器(4)
写真図版103	C区出土石器(5)
写真図版104	資料No.1～5のマイクロスコープ写真
写真図版105	資料No.6～9のマイクロスコープ写真
写真図版106	粘土塊・浅鉢胎土の顕微鏡写真

第5章 遺物

第1節 遺物の概要

縄文時代から江戸時代までの遺物が272,993点出土した（土器接合前の遺物破片数）。縄文土器が遺物点数全体の約84%を占めている。遺物の種類・出土点数は、第1表のとおりである。

第1表 地区別出土遺物

地区	A・B区	C区	全区遺構合計	A・B区	C区	全区包含層合計	合計	
	遺構			包含層				
縄文	縄文土器	49,904	17,055	66,959	155,466	8,205	163,671	230,630
弥生	弥生土器	0	0	0	0	0	0	0
古代	須恵器	3	0	3	13	5	18	21
	土師器	3	0	3	5	0	5	8
	灰釉陶器	12	3	15	73	14	87	102
中世	灰釉系陶器	10	1	11	27	8	35	46
	土師器	2	1	3	1	0	1	4
	越前・常滑産陶器	631	34	665	1,076	124	1,200	1,865
	古瀬戸系陶器	126	23	149	254	87	341	490
	中国産磁器	49	7	56	79	16	95	151
	大塚陶器	69	0	69	218	34	252	321
	連房陶磁器	183	91	274	2,083	321	2,404	2,678
近世	肥前産陶器	8	0	8	0	0	0	8
	唐津産陶器	12	0	12	1	0	1	13
	信楽産陶器	10	0	10	1	0	1	11
	石蒜・石製品	6,783	2,366	9,149	24,724	2,561	27,285	36,435
縄文・近世	木製品	15	0	15	33	0	33	48
	金属製品	57	3	60	4	1	5	65
	鉄貨	44	9	53	39	5	44	97
	合計	57,921	19,593	77,514	184,097	11,381	195,478	272,993

遺物の分類

当遺跡で出土した遺物の分類は、既存の研究に従い、第2表に示した。なお、個々の遺物の分類は、網谷克彦・泉拓良（縄文土器）、長屋幸二（石器・石製品）、藤澤良祐（白堊系陶器、土師器皿、古瀬戸、瀬戸美濃大窯、瀬戸美濃連房）、中野晴久（常滑産陶器）、森達也（中世中国産陶磁器）、田中照久（越前産陶器）、久保智康（中世金属類）、各氏の御指導と巻末の文献を参考にして行った。ただし、本書における記載の責任は編集者にある。

中近世の陶磁器類の細別は、既存の分類に従った。

縄文土器の細別については、『縄文土器大観』（小林達雄編1989以下「大観」とする。）に基づき第3表のとおりとした。分類名は既存の様式・型式と照らし合わせながら、時期を表す記号（S・Z・C・K・B・X）と細分記号（1～13）の組み合わせで分類記号を付した。細分内容は、第3表に示した。

第2表 土器・土製品分類

時代	種別	器種名	用途	産地		
縄文	縄文土器	深鉢・壺・甕・ミニチュア土器	調理具			
弥生	弥生土器	甕・壺 高坪・鉢台	調理具 供膳具			
古代	須恵器	杯・碗、杯蓋、高杯	供膳具			
		鉢	調理具			
		鉢・壺、瓶、はそう、甕	貯蔵具			
	土器類	壺	調理具			
		瓿瓿土器、瓿文土器	供膳具			
反軸陶器	碗・皿	供膳具	徳島 東濃 美濃・関			
近世	反軸系陶器 (均質手・北部系) (均質手・南部系)	碗 (均質手・寛弘手)	供膳具	北部系 (東濃)		
		皿 (均質手・寛弘手)	調理具			
		片口鉢 (均質手・寛弘手)	調理具	南部系 (尾張)		
		瓶・壺・水注	貯蔵具			
	土器類	入子	化粧具			
		陶丸・その他	不明			
	越前産陶器	杯・皿	片口コ口皿 (かわらけ・手掬) コ口コ口皿 (均質手・寛弘手)	供膳具		
		燈明皿	灯火具			
	常滑産陶器	鉢・壺	伊勢型鉢・煮湯具・羽釜	調理具		
		燈鉢	調理具			
中世	吉野系陶器	壺・壺	供膳具	常滑		
		碗	天目茶碗、平碗、浅碗、小杯			
	吉野系陶器	皿	緑釉小皿、折縁皿、腰折皿 加皿、扇形目皿、棧花皿 扇反皿、その他	供膳具		
		大皿	加目付大皿、折縁深皿 扇縁大皿、浅			
		鉢	片口鉢、精付片口、燈鉢、小鉢	調理具		
		碗・皿	内耳鉢、外耳鉢、裏(面)、茶釜	調理具		
		瓶・壺	仏花瓶	神仏具		
		瓶子・四(三)耳壺、有耳壺 双耳小壺、筒型容器	貯蔵具			
		水注・小瓶・水滴・茶入 信母権母	喫茶具			
		壺・桶	貯蔵具			
		仏師具、仏具、香炉、燗台、合子、その他	神仏具			
		中国産磁器	青磁・白磁・染付	中国		
		瀬戸系大宮陶器	碗	天目茶碗	喫茶具	瀬戸系 美濃
				丸碗、平碗、筒型碗、小杯	供膳具	
			皿	扇反皿、棧花皿、棧皿、梨園丸皿、志野丸皿、折縁皿、輪光皿 腰折皿、絞縁皿、緑釉小皿	供膳具	
燈明皿	灯火具					
大皿・鉢	大皿、肉付類			供膳具		
燈鉢	調理具					
瓶・壺	徳利、小瓶、水注、茶入		貯蔵具 喫茶具			
仏師具・仏具・香炉・その他	神仏具					

時代	種別	器種名	用途	産地
近世	瀬戸系美濃産陶器	天目茶碗	喫茶具	瀬戸系 美濃
		丸碗、平碗、扇反碗、尾呂茶碗、腰縁茶碗、腰縁深皿、腰縁皿、腰縁茶碗、腰縁湯呑、煎毛目茶碗 筒型茶碗、掛け分け碗、せんじ、柳茶碗、染付丸皿 粟文茶碗、広家碗、扇形湯呑	供膳具	
		加皿	調理具	
		丸皿、志野丸皿、反皿、折縁皿 折縁鉄絵皿、扇形皿、輪光皿 扇縁皿、扇形皿、菊皿、型打ち皿 白磁型打ち皿、染付皿 染付深皿、その他	供膳具	
		大皿、黄瀬戸鉢、折縁鉢 折縁鉄絵鉢、鉄絵鉢	供膳具	
		燈鉢、片口、燈鉢、手水鉢 染付鉢	調理具	
		緑木鉢・深鉢、櫻硝鉢	生活具	
		徳利・有耳壺、水注、急須 汁次、菓子・水滴・小瓶 壺(瓶・壺)	貯蔵具 喫茶具	
		花籠(仏花瓶)、花生(筒型)	祭祀具	
		水甕・平煎壺・錢壺	調理具	
		土鍋・裏(鍋・釜)、行平(鍋) 土甕	調理具	
		茶釜	喫茶具	
		灯明皿(油皿)、灯明皿(炭皿)	灯火具	
		燗燗、灯明台、燗台	灯火具	
		火入、瓶罌	燗器具	
	十能			
	香炉	神仏具		
	仏師具	神仏具		
	餐盤	化粧具		
	合子、段蓋	貯蔵具		
	戸車、灯籠、深瓶(しびん)	その他		
	燈鉢	調理具		
	瀬戸系美濃 濃厚磁器	広家碗、扇反碗、染付丸碗 扇形湯呑	瀬戸系美濃	
		肥前産陶器	染付碗、染付皿	肥前
	美濃産陶器	碗・皿	美濃	
壺		貯蔵具		
常滑産陶器	壺	調理具	常滑	
	火鉢	燗器具		
信濃産陶器	碗・皿	供膳具 貯蔵具	信濃	
	瓦	軒瓦元、軒平瓦 軒棧瓦、陶筋瓦	その他	
土製品	土人形、土師 土師	土人形、土師 土師	神仏具、 玩具 煮湯具	

第3表 縄文土器分類表

時期区分	区分	縄文土器(大観) 土器様式	分類				
早期			なし				
早期	S 1期	神型文系土器様式	S 1群	S 3群			
	S 2期	条線文系土器様式 (東海条線文系土器様式)	S 2群				
前期	Z 1期	羽鳥下層Ⅱ式	Z 1群				
		北白川下層Ⅰ式	Z 2群	Z 7群	Z 8群A (環状式の横線)	Z 9群 (分類できない遺物)	Z 10群 (前期と思われるもの)
	Z 2期	Ⅱ a 式	Z 2群				
		Ⅱ b 式 (古)	Z 4群	(縄文黒文のみもしくは黒文)			
		Ⅱ b 式 (新)	Z 5群				
	Z 3期	Ⅱ c 式	Z 6群A (黒文)				
Ⅲ 式		Z 6群B (火燧山式)					
中期	C 1期	船元・星本式 第1様式	C 1群 (船元Ⅰ)				
		第2様式	C 1群 (船元Ⅱ)・C 2群 (船元Ⅲ)				
	C 2期	第3様式	C 2群 (船元Ⅳ)			C 10群(船元車在地化)	C 12群 (C 11群以外で型式的わかぬもの)
		第4様式	C 3群 (船元Ⅴ)・C 4群 (船元Ⅵ)				C 13群 (分類できない中式的わかぬもの)
	C 3期	第5様式 取巻・離断式 第1様式	C 5群 (取巻)	C 6群 (取巻)	C 7群 (取巻・島崎Ⅰ)	C 8群 (神門Ⅰ)	C 9群 (C 11群(6-9群の破片)
		第6様式 第2様式	C 5群 (星本Ⅰ)	C 7群 (取巻・島崎Ⅱ)	C 9群 (神門Ⅱ)		
C 3期	第3様式	C 8群 (山の神)					
後期	K 1期	中津・楳田ⅡⅢ式 第1様式	K 1群 (中津)				
		第2様式	K 2群 (楳田ⅡⅢ)				
		第3様式	K 3群 (四ツ池)				
		第4様式	K 4群 (北白川上層)	K 8群A (堀之内Ⅰ)	K 9群 (分類できない後期の遺物)	K 10群 (分類できない後期の土器、香・刷・底部)	
	K 2期	緑帯文 第1様式	K 5群 (一乗寺・穴住野山Ⅰ)	K 8群B (加賀野Ⅰ)			
		第2様式	K 6群				
K 3期	包縁文系 元住野山Ⅱ式	K 7群					
	宮澤式前期						
宮澤式後期							
晩期	B 1期	西日本磨研 第1様式	B 1群 (寺津・本刈谷)		B 7群 (有文精製土器)	B 8群 (分類できない晩期の土器、香・刷・底部)	B 9群 (分類できない晩期の土器、香・刷・底部)
		第2様式	B 2群 (稲荷山)				
	B 2期	凸帯文系 第1様式	B 3群 (五貫森)	B 4群 (3-5群に分類できない凸帯文系)			
		第2様式	B 4群 (馬見原)				
		第3様式	B 5群				
時期不明	有文		X 1群 (浅帯系)				
			X 2群 (沈線系)				
			X 3群 (その他)				
			X 4群 (縄文・磨余文系)				
			X 5群				

掲載遺物の選定

本書では、土器・土製品1,130点、石器・石製品464点、木製品4点、金属製品・銭貨106点、合計1,704点の実測図を掲載した。実測図は、A・B区の遺物とC区の遺物を分けて掲載した。ただし、個々の遺物は各分類ごとに説明するため、実測図の順序と一致していない。また、個々の遺物については、各分類ごとに代表的なものを挙げて説明する以外は、観察表に記載することを原則とし、第22表～第96表に記載した。

縄文土器と陶磁器類については、遺構出土の遺物と壺形土器やミニチュア土器など特殊なものを優先し、このうち残存状態が良く、形状や製作痕・使用痕が観察できるものや遺構時期や性格の特定が可能なものを掲載遺物として選定した。遺物包含層から出土のものについては、口縁部が残存するものを優先し、既存の編年や分類と照らし合わせ時期を確認し、出土遺物の全容を網羅できるように努めた。

石器・石製品については、全ての分類を網羅できるように1分類1点以上掲載した。ただし、石錘のように同一種類の石器が一遺構から一括して出土する場合や石棒など細部調整や形状が多様なものについては、極力全点掲載するように努めた。

図示した遺物については、全て写真図版に掲載した。

第2節 古代から近世の遺物

縄文土器が約27万点中、約23万点を占めることから縄文時代が当遺跡の中心的な時期であることは明らかである。縄文時代以後、弥生時代・古代の出土遺構・遺物がほとんど確認できず、中世になって再び遺構・遺物が出土する。弥生に途絶え、古代・中世になると再び生活を始めた形跡がうかがえる。

中近世の遺物は第1図のとおり、越前・常滑産陶器の出土量が多く、古瀬戸系陶器、瀬戸美濃大窯陶器、中国産陶器の順となる。越前・常滑産陶器の出土量内訳は、接合後の破片数で越前産陶器474点、常滑産陶器3点である。このことは徳山が地理的に越前に近いことが主な要因と思われる。青磁・白磁など中国産陶磁器類も出土した。特に13世紀梅瓶及び14世紀の梅瓶の出土は、裕福な人々が、ある程度の期間継続して居住した可能性を示唆する。この他に茶臼や茶壺、天目茶碗等の茶道具や鉄台、小札などが出土した。

以下、器種ごとに説明する。

須恵器 (46・139~141)

46は須恵器の坏蓋である。美濃須衛窯4-1期のものと判断した。139は壺である。外面にはヘラ調整の痕跡が強く残る。6世紀に属する。140・141は甕で、8世紀に属する。

土師器

出土した8点のうち、甕の胴部と判別できるものが1点出土したが、摩滅が著しく破片のため、図示をしなかった。

灰釉陶器

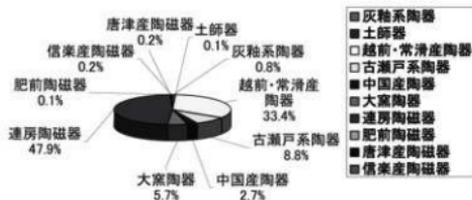
碗 (49・101・109・133・148~156)

49は東山72号窯式に属する。101は底部外面をヘラ削りした後、高台を丁寧に貼り付け、内部まで丁寧にナデで仕上げている。折戸53号窯式に属する。109は底部を回転ヘラ削りした後、高台周辺のみ回転ナデ調整を施す。折戸53号窯式に属する。133は高台外側に不明瞭な稜を持たせ、内部をナデ調整する。折戸53号窯式に属する。148~153は折戸53号窯式に属する。150・151は底部ヘラ削りで、そのほかは糸切りである。154~156は東山72号窯式に属する。小破片で高台内部の調整は確認できないが、155は高台の内外面をヘラ削りの調整を加えている。

皿 (146・147)

146は段皿の口縁部、147は皿の底部でいずれも折戸53号窯式に属する。

瓶類 (142~145)



第1図 器種別土器組成 (中世・近世)

142・143は無高台で底部ヘラ削りし、底部の外周まで灰釉をハケ塗りしている。144は貼り付けた高台を施軸しない。142は黒笹14号窯式～黒笹90号窯式に、143は黒笹14号窯式に属する。144は広口瓶の口縁部で、黒笹90号窯式に属する。

灰釉系陶器

碗 (122・129・158・159)

122は均質手の口縁部破片で、大畑大洞4号窯式若しくは大洞東1号窯式に属する。129の底部は無高台となる。脇之島3号窯式に属する。158・159は均質手である。158は内面が底部と体部の境で角張る。明和1号窯式に属する。159は底部内面が窪むもので、大畑大洞4号新窯式に属する。

片口鉢 (51・82・123～125・160～164・1492・1495)

51は荒肌手の尾張第10型式に属する。82は口縁部を肥厚させ、丸く仕上げる。荒肌手の尾張第7型式に属する。123～125は荒肌手である。123は丸く肥厚させた口縁部の先端に沈線を巡らす。尾張第7型式に属する。124は123に似た形状で、尾張第7型式に属する。125は低い三角形の高台を付ける。尾張第8型式に属する。160～164はいずれも荒肌手である。160・161は尾張第7型式の口縁部で、端部を丸く肥厚させる。162～164は底部である。162は底部がやや厚めで、低い三角形の高台を付ける。163・164は体部に比べ底部が薄めである。162は尾張第5～6型式、163・164は尾張第10型式に属する。1492・1495は荒肌手で尾張第7型式に属する。1492は肥厚させた口縁端部に沈線を施す。1495は口縁部が丸く肥厚する。

中世土師器

小皿 (108・157)

108は手捏ね成形で口縁部に1段の横ナデ調整を施し、わずかに外反させる。157はロクロにより成形する。

越前産陶器

播鉢 (25・27・32・37・41・44・50・52・55・61・66・71・75～80・87・88・92・97・98・111・116・130・187～208・1466・1483・1484)

25・32・37・52・55はV期新段階B型に属する。27は口縁端部を平坦に削ぎ、内面に段を持たせる。V期中段階に属する。41は播目の間隔を空けて施しているため、1単位分しか確認できない。V期古段階に属する。44は口縁部内面に沈線を巡らせ、その位置まで播目を入れる。播目の入れ方は粗で、単位10条の播目を全体11回施している。底部外面は無調整である。50の播目の入れ方は粗で、横方向の播目も確認できる。61・66・71・75～80・87・88・92・97・98は播鉢である。61はV期新段階に属する。66は播目を互いに切り合うほど密に入れている。V期中段階に属する。71はV期に属する。75～78はV期中段階に属する。75～80は接合関係はないが、同一遺構内から出土し、器体の形状、胎土、釉調、播目の密な入り具合等の点で整合性が見られるため、同一個体の可能性がある。87・88・92はV期古段階に属する。97・98はV期中段階に属する。111はV期新段階A型に属する。116はV期新段階B型に属する。130は口縁端部に明瞭な面取りを行わず、薄く丸めて調整する。V期中段階に属する。187は口縁部で、丸く肥厚させた口縁端部に沈線を巡らせる。Ⅲ期後半に属する。188は底部で、播目がわずかに残存している点から、Ⅲ期後半以降のものと判断した。189は口縁端部を内側に傾け沈線を巡らせるもので、Ⅳ期前半に属する。190・191はV期古段階、192～194はV期中段階、195～

205はV期新段階のもので、195・203はA型、その他はB型である。206～208はいずれもV期に属する底部である。206は被熱が見られる。1483・1484は口縁部破片と底部破片である。両者は同一遺構出土のため、同一個体の可能性がある。

壺 (57・59・60・69・99・100・182～186・1469・1471)

57は肩の部分に「卍」の刻文が施されている。16世紀後半に属する。59・60・69は15～16世紀に属する。99は口縁部で、肩の部分に耳を貼り付けた痕跡が確認できるため、双耳壺と推測した。100は胴部で、99と同一固体の可能性がある。16世紀に属する。182～184は口縁部を丸くつくるもので、15～16世紀に属する。185・186は口縁部の形状が同時期の甕に似るタイプで、V期後半に属する。1469・1471は越前産陶器の壺の口縁部と胴部で、接合はできなかったが同一固体の可能性がある。1469は口縁部を平坦につくる。1265は胴部最大径の部分よりやや上位に、断面三角形の隆帯を巡らす。

甕 (2・8・56・104・105・117・118・137・174～181・1477・1503)

2は口縁部は、先端を平坦につくり内面に不明瞭な沈線を巡らせる。V期前半に属する。8は肥厚した口縁部は先端を水平につくり、内面にわずかな段を持たせる。56はV期後半に属する。104は肩の部分に縦向きに二筋の刻文が確認できる。口縁部を肥厚させ、先端を水平に削いでいる。V期後半に属する。105は口縁部先端を外側に折り返し、丸く調整している。内面には明瞭な沈線が確認できる。口縁径が広く肩の張りの弱い器形と推測される。Ⅲ期後半に属する。117・118は同一個体の可能性がある。口縁部を外側に折り返し、丸く調整している。内面には段が確認できる。Ⅲ期後半に属する。137は越前産陶器の甕の底部である。内面に「十」字の刻文が確認できる。174はⅢ期後半、175～177はV期前半、178・179はV期後半に属する。181は「○に米」の印2つの間に「□に×」の印刻文が押されている。Ⅲ期前半に属する。1477はV期後半に属する。1503は外面調整を肩部は斜め方向に、頸部は横方向に行う。Ⅲ期後半に属する。

常滑産陶器

壺 (84・85・165～167)

84・85・165～167は三筋壺である。85には1条の沈線が確認できる。84・85は自然軸が掛かる。165～167は12～13世紀初頭に属する。

甕 (3・54・113・119～121・136・168～173・1498)

3・54は口縁部をN字状につくる。3は第6b型式、54は第6a型式に属する。113は底部の厚みが胴部に比べ極めて薄く、外面は無調整である。119第8型式、120・121第6b型式に属する。136は口縁部に形成した縁帯を器体に密着させている。第10段階に属する。168は第5型式、169～171は第6a型式、172は第7型式、173は第10型式に属する。1498は口縁部を外側に折り返し密着させる。第9型式に属する。

古瀬戸系陶器

天目茶碗 (220・1488)

220は後Ⅳ期新段階に属する。口縁部を強く変化させ、体部下位には銷化粧を施す。1488は高台脇を浅く削り込む。

平碗 (12・13・72・115・1479)

12・72は後期Ⅳ期古段階に属する。13は、内面から外面の口縁直下までを掛け掛ける。後期Ⅳ期新段階に属する。115は体部を直線的に開き、丸く曲げて口縁部を立ち上げる。後Ⅳ期古段階に属する。1479は後Ⅳ期に属する。

緑釉小皿（7・39・42・48・62・217・218）

7は口縁部に灰釉を施す。後Ⅳ期に属する。39は体部中位に不明瞭な稜をつくり、口縁部をわずかに外反させる。後Ⅳ期古段階に属する。42は後Ⅳ期新段階、48・217・218は後Ⅳ期古段階に属する。62は後Ⅲ期に属する。内面には鉄分が付着している。

折縁小皿（16・216）

16は中Ⅲ期に属する。内面に灰釉を施す。

小皿類（1500）

1500は小皿類の底部である。内面は全体を施釉するが、外面下位・底部は露胎する。底部には左回転の糸切痕が確認できる。時期は不明である。

折縁皿（22・223）

22は口縁部小破片で、後Ⅳ期古段階に属する。223は底部外面を除く全体に銷釉を施し、口縁部内面のみを灰釉を上掛けする。中Ⅱ期に属する。

腰折皿（15・19・219・228・1487）

15・19は灰釉腰折皿で、腰部までを施釉する。後Ⅳ期新段階に属する。219は削り出しの輪高台を有する。後Ⅳ新に属する。228は後Ⅳ期新段階に属する。加工円盤の可能性がある。1487は後Ⅳ期新段階に属する。

卸皿（67・70・83・94・112・132・221・1475・1489）

67は体部を立ち上げ直後に外側へ開かせることで、内面底部を広くつくる。卸目は内面の底部のみに施している。後Ⅳ古に属する。70は後Ⅳ期古段階に属する。83は体部を張りを持たせて立ち上げ、口縁端部には不明瞭な溝を巡らせる。薄く剥離しやすい釉薬（灰釉）が施されている。前Ⅲ期に属する。94は口縁部内側に比べ外側が下がる形状となっている。後Ⅱ期に属する。112は体部を直線的に立ち上げ、口縁部内側に縁帯を形成する。後Ⅲ期に属する。132は口縁帯を内側に形成し、端部を水平につくる。後Ⅳ期古段階に属する。221は体部を直線的に開かせる。後Ⅰ期に属する。1475は端部に沈線を巡らせる。内外面に白味が勝った灰釉を施すが、剥落が著しい。中Ⅰ期に属する。1489は口縁端部から口縁部直下の内面に灰釉を施し、外面は露胎している。後Ⅳ期古段階に属する。

卸目付大皿（222・1493）

222は口縁部に片口を貼り付けている。1493は口縁部直下の笠削りは荒く、笠先が器体に食い込んでいる。内外面とも上位に灰釉を施す。後Ⅳ期古段階に属する。

折縁深皿（63・96）

63は体部と口縁部との境に明瞭な段を持たせている。後Ⅱ期に属する。96は口縁部と体部との境の内面には、明瞭な段を形成している。後Ⅱ期に属する。

直縁大皿（114・224）

114は口縁端部を丸く仕上げる。後Ⅲ期～後Ⅳ期古段階に属する。224は、後Ⅱ期に属する。

播鉢（14・20・225～227・1491）

225が後Ⅳ期古段階に属する以外全て後Ⅳ期新段階に属する。

瓶 (68・107)

68は胴部破片で、肩の部分には二重の沈線を巡らせる。後期のものと推定した。107は尊式花瓶の胴部(頸部)破片である。後Ⅳ期に属する。

有耳壺 (209～210・271・1458・1462・1476)

209は灰軸有耳壺の底部で、後Ⅳ期に属する。210は鉄軸口広有耳壺の口縁部で、Ⅳ期新段階に属する。口縁端部を水平に削ぎ、外面から口縁部内面までを施軸する。271は後期のものと考えられる。1458は灰軸有耳壺である。口縁部と頸部下位に薄い施軸が確認できる。前期に属すると判断した。1462は鉄軸口広有耳壺である。口縁端部を水平に削ぎ、内面は口縁部直下までを施軸する。

筒形容器 (211)

211は後Ⅰ～Ⅱ期に属する。

瓶子 (212・213)

212は灰軸瓶子(Ⅱ類)の口縁部で、後Ⅳ期古段階に属する。213は灰軸瓶子(Ⅲ類)の底部で、後Ⅰ～Ⅲ期に属する。

鉄軸有耳德利 (214)

214は後Ⅳ新に属する。

水注 (89・215)

89は古瀬戸系施軸陶器の水注である。口縁端部を水平に面取りし、肩の部分には4条の沈線と把手は残存していないが、それを貼り付けた痕跡は確認できる。後Ⅰ～Ⅱ期に属する。215は鉄軸耳付水注で注口部を含む胴部で、後Ⅲ～Ⅳ期に属する。

加工円盤 (90)

90は天目茶碗の高台を転用した加工円盤である。体部を丁寧に打ち欠き円形につくる。転用された天目茶碗は古瀬戸系陶器後Ⅳ期新段階に属するもので、削り出しの輪高台である。

中国産陶磁器

青磁 (5・23・24・38・43・127・131・135・248～255・1459・1464・1482・1485・1497・1499)

5・23・43・127・131・135・248～253・1459・1464は碗である。5は小野分類C群に属し、見込みには32mmの円内に「顧氏」の押印を確認できる。軸調は白味のない緑色で、高台内部の軸葉を掻き取った部分は緋色を呈する。23はわずかに残存する体部外面に微少な隆起が確認できることから、太宰府Ⅱ類の鎗蓮弁文碗と推測した。見込みには幾何学花文が押印されている。24は外面には線描き蓮弁文が確認できる。小野分類B群に属する。38は角形に削り出した高台は、畳付の外側を削ぎ稜を持たせる。軸葉はオリブ色で、厚みが薄く、高台内部を施軸しない。小野分類C群に属する。43は見込みに印花文を施す。軸葉は厚みが薄く、高台内部の軸を輪状に掻き取る。小野分類C群に属する。127はわずかに残存する体部には、外面にかすかな隆起を確認できることから、鎗蓮弁文碗であると推測した。見込みには幾何学花文が押印させている。太宰府Ⅱ類に属する。131は外面には線描き蓮弁文を描き、オリブ色の軸葉を施す。小野分類B群に属する。135は高台内部は施軸せず、内面は見込みの軸葉を円状に掻き取る。小野分類B群に属する。248～253は龍泉窯系青磁である。248は鎗蓮弁文を有し太宰府Ⅱ類に属する。249～252は線描き蓮弁文を有し、249は小野分類B群、

250~252は小野分類C群に属する。253は雷文帯の文様を有し、小野分類B群に属する。1459は器厚が薄く、下位で張りをもって立ち上がる。釉調は白味が勝った緑色で、高台は施釉しない。1464は外面に鎬蓮弁文を有する。太宰府Ⅱ類に属する。1473は体部外面にほぼ等間隔に縦の飾目文を施し、見込み外周には輪状の沈線を巡らせる。太宰府V類に属する。1485は中国産青磁（龍泉窯系）の端反碗である。体部上位と同じ厚みで口縁部をつくる。1499は碗の底部である。高台部は、疊付の外側を削り、内面の施釉を略す。釉調はくすんだ緑色を呈する。254は龍泉窯系青磁の皿、若しくは坏で、体部が腰で折れている。255は龍泉窯系青磁の坏で、見込みに双魚と思われる貼付文を有する。太宰府Ⅲ類に属する。1482は中国産青磁の直向皿の口縁部でE群に属する。1497は直口皿の口縁部である。

白磁（1・86・241~247・1473・1486）

1は面取盃である。体部外面及び口縁端部に面を取る。内面~外面腰部までを施釉し、それ以下を露胎させる。見込みにトチン痕が確認できる。86は口禿碗である。外反する口縁の端部と内面の釉薬を削り取っている。太宰府Ⅳ類に属する。241は高い高台を持つ、太宰府V類の碗の底部である。242は見込みの軸を輪状に削り取る太宰府Ⅳ類の碗の底部である。243・244は端反皿で、243は口縁部、244は底部である。245・246は面取坏の口縁部で、1と同一個体の可能性がある。243~246は15世紀後半~16世紀前半に属する。247は小野分類B群に属する。体部が残っていないので、加工円盤の可能性が高い。1486は碗で高台を角形につくり、疊付及び高台内面には施釉しない。

青白磁（45・239・240）

45は梅瓶である。SKA100・SKB226・遺物包含層から出土したのも含み、部位別破片数は口縁部1、胴部6、底部1である。これらの破片は接合できなかったが、胎土・釉薬の色調、文様、厚み等から同一個体と判断した。口縁部直下に突帯を巡らせ、胴部には渦巻文を描く。13世紀の景德鎮窯系である。239・240も梅瓶で、それぞれ口縁部、底部の破片である。45とは別個体の破片である。

染付（18・26・29・33・64・256）

図示したものの全てが蓮子碗である。18は口縁部の外面には芭蕉葉文を描く。26は外面が芭蕉葉文、内面の図柄は不明である。29は外面に波濤文帯及び芭蕉葉文、内面は見込みに蓮花を描く。SKB231から出土した破片と接合する。33は外面に芭蕉葉文を描く。64は外面に芭蕉葉文を描く。256は口縁部内面に圈線、外面に波濤文帯を描く。33と同一個体の可能性がある。小野分類C群に属する。

瀬戸美濃大窯陶器

天目茶碗（36・74・91・103・106・110・229・230・1461・1467・1470・1472）

36は第3段階に属する。74は直線的に開いた体部を口縁直下で直立させ、口縁部はS字状に外反させる。高台脇の削り込みは明瞭である。91は直線的に開いた体部を上位で直立させ、先端部をやや外反させる。高台脇の削り込みは深く、体部下位~高台には錆化粧を施す。103は体部に張りを持たせて立ち上げ、口縁部を軽く外反させている。体部下位には錆化粧が施されている。第1段階に属する。106は体部から口縁部にかけての変化が曲線的で、器体は薄肉である。第2段階に属する。110は体部をわずかに張りを持たせて立ち上げ、口縁部を軽く外反させる。第3段階に属する。229は第4段階前半、230は第3段階後半、1461は第2段階に属する。1467・1472は底同一個体の可能性がある。輪高台で脇の削り込みは2mm程度である。錆化粧の掛けを施す。第1段階に属する。1470は非常に浅い内反り高台で、脇の削り込みが深い。体部はほとんど張りなく開き、口縁部直下で直立し、端部の反

りはない。体部下位から高台は露胎する。第3段階前半に属する。

丸碗 (47・102・231・1460・1465・1494)

47は第1段階に属する。102は青磁を模倣し、体部外面には線描き連弁文を描く。第1段階前半に属する。231・1465は外面に線描き連弁文を有する。いずれも第1段階に属する。1460は第1段階に属する。1494は鉄軸丸碗である。体部の張りは弱く、口縁直下で肥厚する。第1段階に属する。

平碗 (4)

4は第1段階に属する。

端反皿 (30・31・34・35・65・73・81・232・1463・1478・1480・1496)

30・34・65・81・1478・1496は第1段階に属する。81は全面施軸しており、内外面の同じ位置にいずれも3つのトチン痕を確認できる。1273は体部は丸みを持たせ、口縁部に向かうにつれ薄くつく。31・35・73・232・1463・1480は第2段階前半に属する。232は底部は付け高台である。1463は口縁部をゆるやかに外反させる。1480は体部の張りは弱く、口縁部は緩やかに外反する。

丸皿 (28・93・134・233～235・265)

28は削り出し高台の内部中央を除き、全面に施軸する。第2段階後半に属する。93は第3段階に属する。134は厚くつくった底部に、内側だけを削り込み高台とする。底部内面は広く、器高は低い。第4段階後半に属する。234は削り出し高台、第2段階に属する。235は付け高台で、器体は厚手で低い。第4段階に属する。

小皿類 (1502)

1502は見込みに印花を施す。第1段階前半に属する。

措鉢 (17・236)

17は1段階、236は第3段階前半に属する。

加工円盤 (237・238)

237・238はともに天目茶碗の底部を転用した加工円盤である。237は輪高台で、第1段階に属する。238は内反り高台で、第2段階に属する。どちらも外面には銷化粧が見られる。

瀬戸美濃連房陶器

天目茶碗 (10・1481)

10は角形の削出高台である。1481は体部が口縁に向かい明瞭に屈曲し立ち上がる。体部下位は露胎する。第1段階に属する。

丸碗 (6・95)

6・95は鉄軸丸碗である。6は体部下位以下を露胎させる。95は第3～5小期に属する。

尾呂茶碗 (258・259)

259は削り出し高台を持つ。258は第5～6小期、259は第7小期に属する。

腰鑲茶碗 (261)

せんじ (260)

260は完形で出土した。灰釉と鉛釉を掛け分け、高台内部にまで施釉を施す。

広東茶碗 (262)

262は見込みに五弁花を描く。火気を受けている。

碗 (1501)

1501は外面に1条の沈線と波状の櫛描文を施す。第1～2段階に属する。

水注 (21)

21は蓋で、水注の落とし蓋と推測した。銅緑釉を施す。第1～2小期に属する。

菊皿 (58)

58は高台とその内部には丁寧なナデ調整が施され、全面を施釉する。第2小期に属する。

折縁皿 (264)

264は見込みに欄竹文の鉄絵が見られる。第2小期に属する。

播鉢 (9・266・267)

9は口縁端部を外面を折り返して玉縁状につくる。第6小期に属する。266・267は第9小期に属する播鉢である。

鉢 (1468・1474)

1468は第3段階に属する。1474は体部下位を除き、灰釉を漬け掛ける。第1段階に属する。

徳利 (257)

257は第2小期に属する。

猪口 (263)

263は完形で出土した猪口である。明治期以降のものと推測される。

水滴 (128・270)

128・270ともに魚形水滴で第1～2小期に属する。

茶入 (53・269)

53は鉄釉茶入である。胴部には不均等な凹みをもたせ、施釉にも作意が感じられる。いわゆる織部好みの茶入で、第1～2小期に属する。269は第1～4小期のものと推測される。

行平 (268)

底部片である。形状から土瓶の可能性がある。

灯明具 (138)

138は灯明受皿で、受部を口縁部より低くつくる。第11小期に属する。

合子 (1490)

1490は底部片で器体は薄く、底部は中央がわずかに浮き上がる。外面に銅緑釉を施す。

瀬戸美濃連房磁器**端反碗 (40)**

40はの染付端反碗である。外面に草花文、口縁部内面に二重圈線を施す。

肥前産磁器**染付皿 (11)**

11は小皿である。口縁部は外面に圈線、内面に襷文を描く。

唐津産陶器**碗 (274)**

274は体部下位から高台までにヘラ調整の痕跡が残る。高台外面には明瞭な稜をつくり、内部の中

尖は盛り上がる。銷軸で全面施軸した後、緑がかった灰軸を上掛ける。

信楽産陶器

壺 (273)

273は壺の口縁部で、焼成により長石が吹き出している。

土製品

土鈴 (126)

126は上部の摘み部分に、棒状工具で穿孔する。

土錘 (271・272)

271・272はともに両端に面取りが見られないタイプで近世以前のものである。質量は、271が3.4g、272が5.2gである。

石製品

砥石 (275～304・1504～1507)

A・B区の遺構内から13点、遺物包含層から22点、計35点が出土した。C区では遺構内から5点、遺物包含層から4点、計9点出た。275～282は鳴滝産の仕上げ砥である。278は手持ち使いの中砥で、産地は不明である。283は置き使いの荒砥、若しくは中砥である。284は硯を転用した砥石である。285は手持ち使いの中砥である。286は置き使いの荒砥である。287は置き使いの荒砥石、若しくは中砥石である。288～292は中砥である。292は研ぎ面が4面あるが、2面が曲面、別の2面が平面となっていることから、手持ち・置き両方で使われたものと判断した。293・294、296～303は鳴滝産の仕上げ砥である。295は荒砥である。304は在地の砂岩を用いた荒砥である。1504～1506は仕上げ砥でいずれも鳴滝産である。1507は伊予産の中砥で、砥面は4面であるが、うち曲面2・平面2となっており、置き・手持ちの両方に使用されたと推測される。

石臼 (305～312)

A・B区の遺構内から3点、遺物包含層から5点、計8点出た。内訳は粉挽き用の石臼3、茶臼5である。305～307は粉挽き用石臼で、305・306は下臼、307は上臼である。305は完形で、10溝である。308は茶臼の下臼で、6溝である。309・310は茶臼の上臼である。311・312は茶臼で、311は下、312は上臼である。311は、308と同様10溝である。

金属製品 (313～342、1509～1512)

A・B区の遺構内から58点、遺物包含層から32、計90点が出土した。鉄製品は鎌3、鉞3、鋤3、釘30、鏝2、楔2、鉄鍋9、刀子5、鉄旗7、遊輪4、小札4、鐿1、棒状鉄製品2、板状鉄製品1、不明鉄製品8、計83点である。銅製品は和鏡1点、鍔形台1、小柄2、煙管3、計7点である。C区は遺構内から23、遺物包含層7点、計30点出た。内訳は馬鎌1、鎌6、釘3、刀子4、小柄1、煙管5、不明鉄製品8である。339は鉄鎌である。340は鏝である。341は木瓜形の鉄鐿で、表面に裝飾のない簡素なものである。1509は刀子である。刃部先端のわずかに欠損しているが、刃渡りは約10cmである。1510は小柄で刃部側からの外圧で著しく曲げられており、刃部のほとんどを欠損している。1511・1512は煙管の雁首で、ともにSKC62から出た。首が長く火皿の位置が高めであり、ともに18世紀のもの判断した。

鍛冶関連遺物 (343～347・1508)

A・B区の遺構から38点、遺物包含層から26点、計64点出土した。内訳は埴場5、輪の羽口11、鉄滓48、C区の遺構から52点、遺物包含層から1、計53点出土した。内訳は輪の羽口1、鉄滓52である。343・344は埴場である。343は内面にスラグが付着している。345～347は輪の羽口で、345はSK388出土、346・347は遺物包含層出土である。いずれも口部周辺にはスラグが付着しており、弱い磁性をもつ。1508はSKC62から出土した輪の羽口である。

銭貨 (348～401・1513～1526)

A・B区の遺構内から17点、遺物包含層から47点、計64点出土した(複数の銭貨が付着しているものも1点とした)。内訳は渡来銭32、模鑄銭1、近世銭貨17、不明銭貨9、近代貨幣3が出土した。C区では遺構内から10点、遺物包含層から7点、計17点出土した。内訳は渡来銭8、近世の銭貨6、近代の貨幣1、不明の銭貨2である。

348～362はA・B区の遺構から出土した銭貨である。348はSKB287より出土した北宋銭である。349はSK114から出土した銭貨で「寶」の文字しか確認できないが、銭文の特定はできなかったが書体から判断して渡来銭と思われる。350・351はSKB121から出土した北宋銭である。350は北宋銭、351は4点の銭貨が付着している。被熱による変形のため判読不能であった。掲拓を略し写真のみ掲載した。352はSKB200から出土した北宋銭である。353はSKB77から出土した古寛永である。354はSIA54から出土した新寛永で、裏の穿上に「長」の文字が確認できる。355はSKA248から出土した。28点の銭が火気を受け、銭褶の状態のまま付着したものである。このうち1点は「永楽通寶」の文字が確認できるが、ほかの銭貨は不明である。356・357はともに北宋銭で、それぞれSKB27・SK100から出土した。358はSK145から出土した唐銭である。359は明銭を模倣し大隅国加治木村(鹿児島県)で鑄造された模鑄銭である。SKB78から出土した。裏面の穿上に加治木を示す「治」の文字を確認できる。360はSK230から出土した北宋銭である。361はSKA107から出土した新寛永である。362はSKB14から出土した銭貨であるが、被熱による変形のため判読不能である。363～401はA・B区の遺物包含層から出土した銭貨である。363～385は渡来銭で、386の朝鮮通寶1点を除くすべてが中国銭である。363は唐銭、364～380は北宋銭、381は南宋折二銭(二文通用銭)の磨輪銭、382～385は明銭である。371は2点の北宋銭の裏面同士が付着したものである。387～400は近世の銭貨で、387・388は古寛永、389～399は新寛永、400は天保通寶(当百銭)である。401は、錯により2枚の銭貨は付着したもので、2枚の銭文は確認できない。1513～1521はC区の遺構から出土した渡来銭である。1513はSKC90から出土した北宋銭、1515はSKC93から出土した明銭である。1516～1521はSKC51からの一括取り上げで、すべて北宋銭である。近世の銭貨はすべて寛永通寶である。遺構から1点出土した。1514はSKC90から出土した古寛永で、明暦2年(1656)初鑄の銭貨である。1522～1526はC区の遺物包含層出土した銭貨である。1522～1524は古寛永、1525・1526は新寛永である。

木製品 (402～405)

402～404はSKA151から出土した中世の杭、405はSKB154から出土した中世の柱礎である。

第3節 縄文土器

縄文土器は234,273点出土した。すべての土器に大別の時期を表す記号(S・Z・C・K・B・X)と様式・型式を表す細分記号(1~13)を組み合わせた分類記号を付与し、各遺構の出土遺物は第1分冊第68~114表・130~142表にまとめた。遺構全体の出土遺物は第4表にまとめた。A・B区では縄文時代中期後葉の縄文土器の出土割合が多く、次いで前期後葉、後期後葉の縄文土器の割合が多い。C区も中期後葉・前期後葉の縄文土器の出土割合が多いが、後期・晩期の割合が少ない傾向にある。

遺物包含層出土の縄文土器については、表5のとおり、部位ごとに分け、口縁部有文のみ時期分類した(S・Z・C・K・B・X)。分類の対象はA・B区(14・15年度調査分)の口縁部有文11,708点、C区の有文土器1,001点の合計12,709点となり、グリッドごとの出土数及び質量を第97~101・106・107表にまとめた。A・B区では縄文時代中期後葉の縄文土器の出土割合が多く、次いで前期後葉、後期後葉の縄文土器の割合が多い。C区も縄文時代中期後葉・前期後葉の縄文土器の出土割合が多いが、後期・晩期の割合が少ない傾向にある。

第4表 遺構出土縄文土器一覧

上：破片数、下：質量(g)

A・B区

S.1	S.2	S.3	小計	
1	19	43	63	
29.1	290	458.7	777.8	

Z.1	Z.2	Z.3	Z.4	Z.5	Z.6	Z.6 a	Z.6 b	Z.7	Z.8	Z.9	Z.10	Z.11	小計
1	236	193	213	457	525	13	6	100	456	160	1269	47	3674
3	1229.3	978.5	1720.8	4035.4	4007.4	191.2	38.7	865.1	3976.5	1921.3	9993.9	616.4	29177.7

C.1	C.2	C.3	C.4	C.5	C.6	C.7	C.8	C.9	C.10	C.11	C.12	C.13	小計
31	179	172	341	1231	314	281	500	85	264	1484	138	817	6037
357.2	2011.4	2983.1	5082.9	14542	6996.8	5306.1	12891.9	2111.3	3230.8	23831.9	2502.6	13633	95501

K.1	K.2	K.3	K.4	K.5	K.6	K.7	K.8	K.9	K.10	小計
793	24	45	166	395	16	347	120	27	821	2747
11372.7	668.8	991.5	2889.5	5560	335.9	5712.4	1332.5	625.5	11205.7	40734.5

B.1	B.2	B.3	B.4	B.5	B.6	B.7	B.8	B.9	小計
39	101	226	79	2	32	1	31	65	947
860.5	1943.4	3043.2	1982.3	74.6	699.8	9.2	537.3	7186	16316.3

X.1	X.2	X.3	X.4	X.5	小計
395	3053	773	6916	25209	36436
2869.7	26296.2	5933.9	40654.7	190807.3	286592

合計				
49901				

C区

S.1	S.2	S.3	小計	
0	5	0	5	
0	74.3	0	74.3	

Z.1	Z.2	Z.3	Z.4	Z.5	Z.6	Z.6 a	Z.6 b	Z.7	Z.8	Z.9	Z.10	Z.11	小計
17	23	83	33	271	124	0	0	1156	94	71	191	1	2064
101.9	303.8	422.3	248.4	2210.9	808	0	0	6467.2	654.5	737.3	888.8	2.8	12725.9

C.1	C.2	C.3	C.4	C.5	C.6	C.7	C.8	C.9	C.10	C.11	C.12	C.13	小計
39	41	95	44	696	135	186	109	191	41	87	14	3591	5289
497	672.6	1213.3	643.6	8718.6	2990.1	3702	2132.9	3274.2	604.6	1676.5	275.7	35043.3	61444.4

K.1	K.2	K.3	K.4	K.5	K.6	K.7	K.8	K.9	K.10	小計
36	5	13	16	32	2	12	10	172	266	564
664.4	100.7	329.3	315.9	523.4	74.2	151.9	95.3	3546.6	3623.5	9425.2

B.1	B.2	B.3	B.4	B.5	B.6	B.7	B.8	B.9	小計
0	0	11	0	0	0	0	1	4	16
0	0	125.9	0	0	0	0	33.4	92.8	252.1

X.1	X.2	X.3	X.4	X.5	小計
87	609	324	1147	10593	12760
499.4	3720.3	2213.4	7810.4	49758.2	84001.7

合計				
23608				
167923.6				

第5表 遺物包含層出土縄文土器部位別一覧

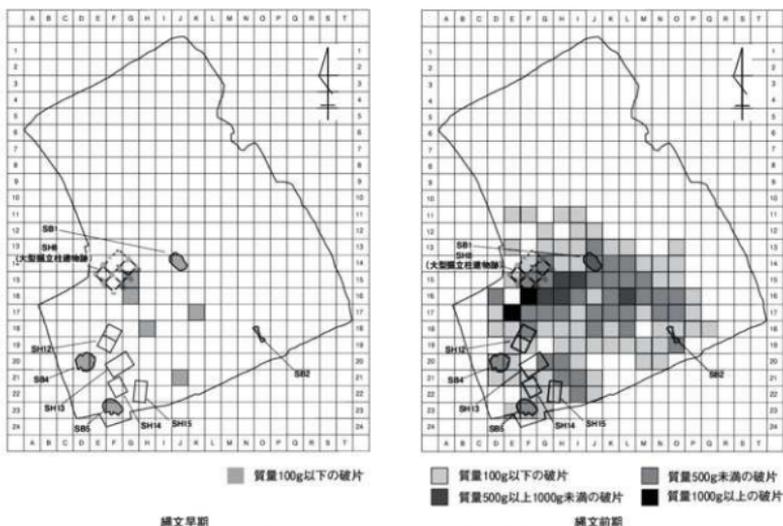
調査年度/部位等	口縁有文	口縁無文	底部	胴部文様	胴部無文	注口	土製円蓋	土器片鉢	焼成粘土塊	その他	合計
14年度調査分	4322	1966	868	11992	39524	42	10	0	13	40	58777
	61828.6	24589.9	24129.9	1197.4	298287.8	1382.9	2206.6	0	145.5	0	422509.2
15年度調査分	7386	3746	1531	20057	60209	34	22	2	61	3581	96689
	111297.8	51645.6	40246.7	267593.7	242104	973.7	547.3	130.4	709.2	0	715248.4
17年度調査分	1001	347	317	6511	0	6	3	0	20	0	8205
	11791.6	8172	7027.7	52817	0	46.7	42.9	0	102	0	79999.9
合計	12709	6059	2716	38560	99793	82	35	2	94	3621	160050
	184918	84407.5	71404.3	332384.7	540391.8	2403.3	810.8	130.4	956.7	0	1217807.5

第6表 遺物包含層出土縄文土器時期別一覧（口縁有文のみ）

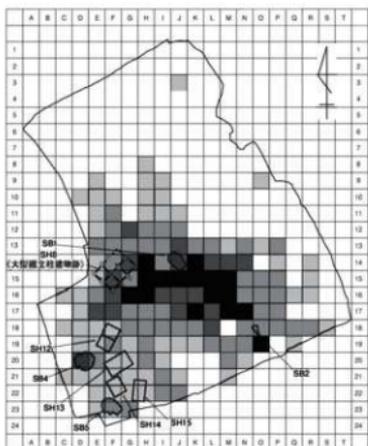
調査区	破片・質量	早期	前期	中期	後期	晩期	不明	合計
A・B区	破片数	6	1322	2940	4682	495	2263	11708
	質量 (g)	117.5	13326.5	50785.1	76284.8	10372.8	22219.7	173126.4
C区	破片数	0	293	334	207	3	164	1001
	質量 (g)	0	3110.1	4400.1	2840.1	34	1407.3	11791.6
合計	破片数	6	1615	3274	4889	498	2427	12709
	質量 (g)	117.5	16436.6	55185.2	79124.9	10406.8	23647	184918

遺物包含層における縄文土器の地区別出土傾向を時期ごとに概観する（第2図～第3図）。図は第5表の結果をもとに地区別に質量を集計した。遺構は主な縄文時代の遺構のみ図示した。なお、遺構の時期は縄文時代後期末葉のSB3を除き、全てが中期後葉である。

早期は点数が少なく、散漫な分布傾向となる。前期は15～17列にかけて東西方向に出土量が多い。特に出土量が多いE17・F16グリッドは、C区第4調査面の遺構の検出状況とほぼ一致する。中期は15～17列G～Nグリッドで出土量が多い傾向にあり、SH8・SB1・SB2間のグリッドとほぼ一致する。後期は中期とほぼ同じ出土傾向を示す。SB3を検出したF18・19グリッドは出土量が多い地区に近接する。晩期は後期とは分布傾向が異なり、J18・K18・19グリッドで出土量が多い。

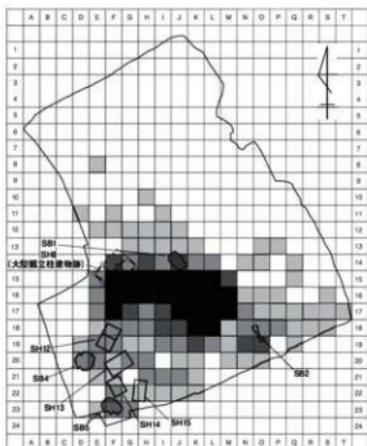


第2図 縄文土器の出土分布図(1)



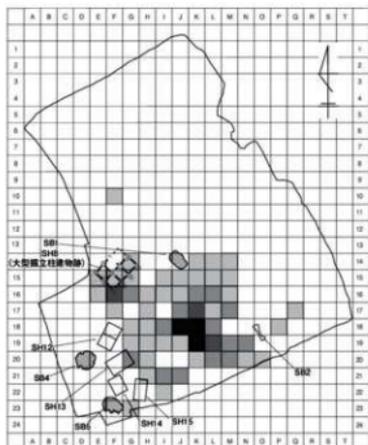
質量100g以下の破片
 質量500g未満の破片
 質量500g以上1000g未満の破片
 質量1000g以上の破片

縄文中期



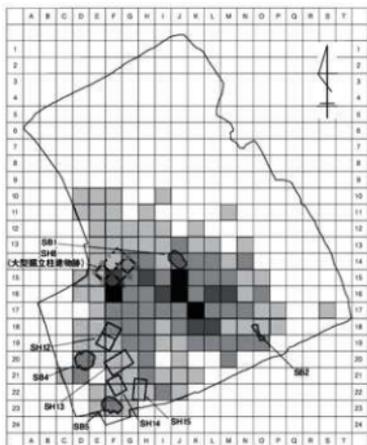
質量100g以下の破片
 質量500g未満の破片
 質量500g以上1000g未満の破片
 質量1000g以上の破片

縄文後期



質量100g以下の破片
 質量500g未満の破片
 質量500g以上1000g未満の破片
 質量1000g以上の破片

縄文晩期



質量100g以下の破片
 質量500g未満の破片
 質量500g以上1000g未満の破片
 質量1000g以上の破片

時期不明

第3図 縄文土器の出土分布図(2)

以下、各分類ごとの概要を述べ、代表的な土器（以下に示す括弧内の数字は、挿図中の遺物番号）を挙げて説明する。

S1群 押型文系土器様式に該当する土器群 (1003)

1003は器面が摩耗し文様の詳細は不明であるが、内面に斜行した沈線が確認できることから高山寺式と思われる。

S2群 条痕文系土器様式に該当する土器群 (529・814・841・842・978・979・1009・1010)

二枚貝を用いて貝殻条痕を施すのを特徴とし、素地に植物繊維を含む。比較的器面が厚く、胴上部に屈曲部分及び段に短沈線を施す(529・814・841・842・978・1009・1010)。茅山下層式に相当する。

S3群 S1・2群に含まれないが早期と思われる土器群

素地に植物繊維を含むが条痕調整が確認できないもの。

Z1群 羽島下層Ⅱ式・北白川下層Ⅰ式に該当する土器群 (784・1011・1012)

1011・1012はD字形の連続爪形文を口縁部に沿って多条に施す。784は、外面にC字形連続爪形文を施し、内面に条痕と思われる調整痕が認められる。

Z2群 北白川下層Ⅱa式に該当する土器群 (474・900・1013)

474・900は口縁部文様帯にC字形連続爪形文が施し、地文が無文となる。1013は口縁が波状となり、端部に短沈線を施す。

Z3群 北白川下層Ⅱb式(古)に該当する土器群 (909・914・1014・1015)

C字形爪形文を施し、地文が無文のもの(909・914・1014・1015)。同じC字形爪形文でも小型で密に施されたものはZ8群と分類した。1014・1015は、赤色顔料が付着する。

Z4群 北白川下層Ⅱb式(新)に該当する土器群 (526・593・748・883・894・902・1598)

爪形・刻み(526・593・748・883・894・902)・縄文などを施文した突帯文を施し、突帯文の体部の地文が無文であるもの。748・902・1598は、赤色顔料が付着する。

Z5群 北白川下層Ⅱc式に該当する土器群 (421・586・698・723・731・742・939・947・1016～1018・1030・1603)

爪形・刻み(421・1030・1016)・縄文(723・939・947)などを施文した突帯文を施したもので、突帯文の体部の地文が縄文であるもの。

Z6群 北白川下層Ⅲ式(～大歳山式)に該当する土器群 (439・440・443・445・446・448・475・511・542・606・690・732・851・890・891・892・906・918・920・973・984・987・1019・1020・1604)。

縄文地で、突帯を半截竹管状工具で押し引いたり(440・511・542・690・890・891・892・918・973・984・987)、ナデ引いたもの(439・443・446・448)。そのうち、突帯の断面が三角形で押引の間隔が狭いものを特に大歳山式(当遺跡ではZ6群b)とした。また、前期と思われる底部で、底部側縁に凹みを作るもの(445)は特にこの群の底部とした。

Z7群 北白川下層Ⅱa～Ⅱc式に該当する全面縄文もしくは無文の土器に該当する土器群 (441・442・447・975)

口縁部付近まで縄文があり(441・442・447・975)、爪形文や突帯のない薄手の土器。口縁部に直交して棒状工具を押ししたもの(441・442)が目立つ。975は、赤色顔料が付着する。

Z 8 群 諸磯式に類似する土器群 (444・450・632・692・785・823・940・946・971・998・1021～1029)

器壁が薄手で、白色の胎土で、主に平行沈線で文様を描いたもの。また Z 3 群に似るが、爪形が小さく、密に施されたものも含めた。赤色塗彩されたもの (444・692・823・940・971・998・1021・1023・1026・1029) が多い。緑孔土器は、器壁が厚く無文で口縁に沿って孔が穿たれたもの (632・1024) で Z 8 群とした。表面は磨かれ、赤色塗彩したものもある (450・1027)。

Z 9 群 前期と判断される底部で、Z 1～Z 8 群に分類できないもの (878・1602)。

878は、赤色顔料が付着する。

Z 10 群 前期と思われるが Z 1～Z 8 群に分類できないもの (406・738・861・905・907・908)

無文のもののうち、胎土や器壁の薄さから Z 7 群と思われるが、小破片のものは Z 10 群とした。861は、赤色顔料が付着する。

Z 11 群 北白川下層Ⅱ C～Ⅲ式と思われるが分類できないもの (407・449・533・919・921)。

C 1 群 船元Ⅰ式に該当する土器群 (416・545・697・876・1031・1032)

縄文が地文で、爪形文で文様を施し (416・876)、頸部に段若しくは強くびれをもつキャリパー形口縁のもの。口縁部内面に段をもつものはなく、いずれも船元・里木第2様式に相当する。

C 2 群 船元Ⅱ式に該当する土器群 (452・536・540・622・646・930・974・1034・1601・1605・1606)

船元・里木第3様式に相当する。縄文が地文で円形刺突文を施したり (540・646・930・1034・1601・1604)、刻目隆帯で連弧文 (1034・1601・1606) や三角形文 (974) を描いたもの。地文が襷りの粗い細長い縄文の場合は、この群の可能性が高いが、各群との区分が明確ではないため X 4 群に分類した。622は、赤色顔料が付着する。

C 3 群 船元Ⅲ式に該当する土器群 (507・623・633・637・642・672・825・1033・1035・1036・1066・1583)

船元・里木第4様式に相当する。縄文地に半截竹環状工具による平行沈線文で文様を描くもの。平行沈線だけで連弧文を描くタイプ (633・672・825) と隆帯と平行沈線によって三角形を基本モチーフとする文様を描き、基本的に口縁部と胴部を隆帯によって区画するタイプと三角形文と連弧文の組み合わせを平行沈線で表現したタイプがある。粒の大きい縄文が地文で、主に平行沈線でなぞった隆帯で文様を描くものをこの群に含めたが、当遺跡では、器面が摩耗し原体が分かりにくいものが多い。このため、区別できないものについては C 3・4 群とした。1035は、赤色顔料が付着する。

C 4 群 船元Ⅳ式に該当する土器群 (455・502・517・609・627・634・638・650・691・824)

船元・里木第4～第5様式に相当する。縄巻縄文 (条が深淺になる) を地文とし、平行沈線で文様を描くもの。平行沈線だけで連弧文を描くタイプ (455・502・517・609・634・691) と隆帯と平行沈線によって三角形を基本モチーフとする文様を描き、基本的に口縁部と胴部を隆帯によって区画するタイプと三角形文と連弧文の組み合わせを平行沈線で表現したタイプがある。縄巻縄文が認識できたもの (824) は、文様がなくても当群に含めた。

C 5 群 里木Ⅱ式に該当する土器群 (422・453・456・457・461・467・503・504・537・611・617・618・626・629・630・635・640・643・647～649・653・685・686・696・700・728・767・811・

820・838・928・951・968・970・990～995・1005・1564・1566～1568)

船元・里木第5～第6様式に相当する。キャリバー形の口縁を持ち、口縁部下に頸部無文帯を持つ土器。地文は摺糸文で、主に平行沈線や沈線で文様を描くものを含めた。

C 6群 咲畑・醍醐式第1様式に併行する土器群 (423・582・614・658～661・699・740・777・859・925・926・950・952・965・988・1037・1562・1563・1565・1569～1572・1574・1607)

極端なキャリバー形口縁をもち、口縁部に渦巻文や楕円形区画文を配し、胴上部には棒状工具による連弧文を施すもの。区画内に縄文を充填するものがある。

C 7群 咲畑・醍醐式第2様式に併行する土器群 (417・437・468・473・477・480・516・543・577・578・652・654・674・694・695・703・712・735・747・752・766・787・788・790・796・862・863・885・886・897・899・916・922・943・953・962・1006・1038～1041・1573・1576・1579・1591)

器厚が厚く、口縁部に渦巻区画文を施し、ゆるやかなキャリバー形口縁を持つもの。C 8群と区別がつかないものについてはC11群とした。

C 8群 咲畑・醍醐式第3様式に併行する土器群 (505・568・608・665・769・864・865・1042・1044～1047・1588)

器厚が厚く、隆帯を用いず渦巻文や区画文を描くもの。山形口縁や突起状口縁を持つものもこれに含めた。C 7群と区別がつかないものについてはC11群とした。

C 9群 神明式の一部に該当する土器群 (475・501・687・771・812・856・896・1575・1578・1578・1580・1581・1592～1597)

咲畑・醍醐式第1様式に併行する。第2様式にまで時期が下がるものも含めた。本来、神明式に包摂される土器は多様であるが、ここでは無文地で、口縁部に方形区画を持つものや橋状把手による立体的な装飾を持つものとした。細い沈線を充填することが特徴である。内面に蓋受け状の隆帯をめぐらすものが多い。咲畑式に似ているが、無文部となる部分に装飾を加えた土器についてもこの群に含めた。咲畑・醍醐式第1様式の口縁部が直立するものに外見上似たもの、同様式の深鉢B類に似たもの、胴部がくびれ口縁が開き口縁部を方形区画や橋状把手で立体的に装飾するものなどがある。

C 10群 船元Ⅲ式の在地化したものとされる土器群 (465・506・508・619・620・625・729・806～809・829・830・836・929・938・967・997・1004・1048)

船元・里木式第4～第5様式に併行する。無文地で、密集した隆帯や波状文帯を持つものや短沈線を密に施した土器をそれと認識した。赤色塗彩されたものが目立つ (619・1048)。

C 11群 中期後葉の土器のうち分類できないもの (428・469・476・645・768・827・828・847・855・969・999・1008・1582・1584～1587・1589)

厚手で、主に縦区画内に縄文や矢羽根状沈線を充填したもの。脚付底部についてはこの群の底部として分類した。

C 12群 上記以外の中期の土器で型式がわかるもの (496・497・500・597・600・636・639・644・651・770・800・818・893・972・1049～1062)

600は、信州系か。500は、上山田式併行か。800・636・639は山田平式、972・1050・1052・1055は北裏式、644は井戸尻式、651は勝坂Ⅰ式である。1054・1058～1060は赤色顔料が付着する。

C 13群 中期と思われる破片や中期と思われるが型式不明のもの (438・451・499・557・567・601・

602・621・628・641・664・675・701・739・789・791・801・805・819・915・932・948・963・966・981・985・986・989・1000～1002・1041・1063・1064・1067・1068・1070・1561・1577・1590)

675は、赤色顔料が付着する。

K1群 中津式に該当する土器群 (418・420・430・436・459・460・462・466・569・663・702・708・709・716・725・733・734・736・786・792・793・797～799・826・879・904・913・917・955・979・1071・1072)

中津・福田KⅡ式第1・第3様式に相当する。幅広い磨消縄文で文様を描くもの。第1様式は中津Ⅰ式に相当する。口唇部が肥厚するものが多くなり、端部に刻みを加える例もある。725は、赤色顔料が付着する。

K2群 福田KⅡ式に該当する土器群 (491・532・587・782・880・976)

中津・福田KⅡ式第3様式に相当する。3本沈線（縄文部に沈線を1本加えたもの）による磨消縄文帯を持つもの。中津式に似るが、磨消縄文帯の幅が狭く、沈線が変曲点で離れたり、くいちがったりするものについてはこの群に含めた。

K3群 四ッ池式に該当する土器群 (519・534・670・710・715・746・895・957・980・1073～1075)

中津・福田KⅡ式第4様式に相当する。口縁部の肥厚や屈曲が強まり文様帯として独立する。

K4群 北白川上層式に該当する土器群 (431・463・464・498・510・538・580・607・724・730・751・773・911・924・927・1007・1077・1078・1080～1082・1541・1600)

緑帯文土器第1様式に相当する。口縁部・頸部・胴部分かれ、屈曲ないし肥厚した口縁部に文様を集約させたもの。文様は渦巻文とそれをつなぐ区画文・直線文が基本となる。胴部文様が横割りである緑帯文を持つ土器をそれと認識した。

K5群 一乗寺K式及び元住吉山Ⅰ式に該当・併行する土器群 (484・527・528・591・683・870・875・877・1076・1079・1083～1088・1560)

緑帯文土器第2様式に相当する。磨消縄文帯が帯状になり、口縁に平行、若しくは水平に何重にも施される。結節縄文や、付加条の末端折り返し部の施文、貝殻による擬縄文があるものも含めた。877・1076は、赤色顔料が付着する。

K6群 元住吉山Ⅱ式に該当・併行する土器群 (518・520・539・547・573・872・884・889・898・949・977・1089～1091)

凹線文土器様式元住吉山Ⅱ式に相当する。凹線の間隔が密接し、凹線上下に刻みが施されるもの。口縁の波頂部に巻き貝による先端刺突や側面圧痕文を施す。巻貝先端垂直刺突、巻貝先端斜位刺突、巻貝の側面押捺による扇形圧痕文、巻貝未使用で円く押さえた凹円文、凹円文の周囲に粘土をU字状に貼り付けたもの、ハ字状に貼り付けたもの、扇形圧痕に似せて三角形にへこませたものがある。872は、赤色顔料が付着する。

K7群 宮滝式に併行する土器群 (412・419・478・483・546・548・555・560・585・588・592・594・595・612・705・706・711・713・719・720・726・741・765・772・776・781・794・795・803・845・867・887・944・1095～1098・1113・1115～1118)

宮滝式前期・後期に相当する。凹線文と貝殻状圧痕文を基調として施文されたもの。1096・1113・

1115～1118は赤色顔料が付着する。

K 8 群 堀之内式・加曾利 B 式に該当する土器群 (539・558・559・562・563・565・589・613・662・743・744・755・779・817・882・1092～1094・1099～1104)

堀之内・加曾利 B 式に相当する。刻みのある隆線が口縁部に貼り付けられるものが多い。口唇が内屈するものや内面に沈線を持つものが多い。744は赤色顔料が付着する。

K 9 群 上記の分類にない後期の土器で型式の分かるもの (485・549・556・566・590・704・714・722・774・775・816・835・848・852・854・888・903・935・942・945・958・1105 ～ 1107・1527～1540・1542～1553・1557・1558・1599)

1530・1534・1536は八日市新保 I 式、1535・1537～1540・1542・1543・1545～1553は八日市新保 I ～ II 式、1528・1529・1544・1545・1599は八日市新保 II 式である。590は八日市新保式か。556・704・903・942は八日市新保式併行である。774・775・848・852・854・935・945は、八日市新保式併行か。566・888・1531は井口 I 式、1532は井川津式である。958は気屋式である。816は西北出式である。835は中部（高井東式）である。549は長谷式である。722は曾谷式併行か。485は縮付土器である。549・935・1544・1549・1557は、赤色顔料が付着する。

K 10 群 分類できないが、後期と思われるもの (424・426・433・434・479・481・482・488・509・522・550・579・584・610・655・668・688・707・717・718・727・745・749・757・815・821・822・901・910・954・1108～1112・1114・1554～1556・1559・1608)

K 1・K 2 群の区分ができない磨消縄文の破片はこの群に含めた。550・757・1109・1111は、赤色顔料が付着する。

B 1 群 寺津式・本刈谷式に併行する土器群 (551・598・599・721・737・844・853・923・936・1119・1120)

西日本磨研第 1 様式・滋賀里 I ～ III a 式に相当する。口縁部外面を段状に肥厚し、半截竹管による押引文を施したもの。598・936は赤色顔料が付着する。

B 2 群 稲荷山式に併行する土器群 (413・521・680・831・1121～1124)。

西日本磨研土器第 2 様式・滋賀里 III b 式に相当する。口縁端部に刺突や押引を施すものをまとめた。

B 3 群 西之山式に併行する土器群 (408・409・493・494・575・678・681・682・684・753・778・810・956・1048・1125)

おおむね凸帯文系第 1 様式に相当する。口縁部に刻目を持ち、頸部の境が認められるものをそれと認識した。ただし B 4 群とは頸部の段の有無で分けた。778は赤色顔料が付着する。

B 4 群 五貫森式に併行する土器群 (603・615・616・656・657・676・679・761・813・849)

おおむね凸帯文系第 2 様式に相当する。B 3 群との区別は頸部の段のある土器、また背の高い凸帯をめぐらすものも B 4 群として区分した。

B 5 群 馬見塚式に併行する土器群 (524・832・1128)

おおむね凸帯文系第 3 様式に相当する。貝殻を押圧した凸帯を有するもの。

B 6 群 B 3～B 5 群に分類できない凸帯文系土器 (523・525・530・531・535・541・561・571・576・605)

B 7 群 有文精製土器 (834)

834は赤色顔料が付着する。

B 8 群 上記の分類にない晩期の土器で型式の分かるもの (411・489・572・754・850・869)

B 9 群 分類できないが晩期と思われるもの (410・427・487・492・552~554・564・666・667・673・756・758・763・780・804・833・846・868・871・873・881・933・941・960・961・1037・1063・1126・1127)

条痕調整や削り調整がみられるものをこの群とした。413は赤色顔料が付着する。

時期不明

X 1 群 (544) 隆帯系。隆帯を貼り付けた破片で、時期の特定ができないもの。

X 2 群 (458・490・581・760・783・860) 沈線系。沈線を施した破片で、時期の特定ができないもの。

X 3 群 (454・689・759・837) その他。刺突や圧痕などの文様や沈線と縄文のように複合した文様を施した破片で、時期の特定ができないもの。

X 4 群 (415・432・514・596・693・762・764・858・964・983) 縄文・撚糸文系。縄文・撚糸文を施した破片で、時期の特定ができないもの。

X 5 群 (414・425・429・435・470・486・495・512・513・515・570・583・631・669・671・677・750・802・840・843・857・866・874・931・934・937・959・982・996) 無文。無文の土器片で、時期の特定ができないもの。底部も含む。後期後半や晩期の無文の破片が多く含まれている可能性がある。

第4節 土製品

土器片円盤 (471・472・604・624・649・839・938・1043・1065・1066・1069)

土器片を転用して円形に加工したものを土器片円盤とした。形状は全て円形及び楕円形である。A・B区で49点、C区で3点、計52点が出土した。罫縁に打欠きが見られるもの34点、スレ痕が見られるものを18点が出土した。

624・938・1043・1065・1069は罫縁に打欠きが見られる。471・472・604・649・839・1066はスレ痕が見られる。

焼成粘土塊

284点11,010グラム出土した。握りの痕跡が認められるものが10点で370グラム、平坦な面が見られるものが274点で10,640グラムが出土した。

握りの痕跡が認められるものは、胎土が均質で混和材と思われる鉱物が少ない。一方、平坦なものも、握り拳大のものもあり、礫を多く含む特徴がある。特に、SH 8の柱穴であるSK1000の埋土中からは大量の焼成粘土塊が出土した。握りの痕跡があり、均質のもの8点330グラムが含まれるが、大半は、礫を含む粘土である。礫を含むものは、113点8390グラム出土し、最大のものは1540グラムある。凸凹ではあるが、面をなす部分がある。断面は赤色化しているが、この面は層状に白色化している。この違いは焼成による違いとも考えられるが、赤色化した部分より礫を含まないことから、胎土による違いの可能性もある。

土製耳飾 (574)

1点出土した。外縁部を欠損する。

第5節 縄文時代の石器

石器及び石核・剥片類は、36,434点出土した。このうち、遺構内及び遺物包含層から出土した器種別点数は第7表に記載したとおりである。剥片石器では石鏃、礫石器では切目石錘や打欠石錘の出土点数が多い。

遺物包含層における石器の地区別出土傾向を概観する（第4図）。図は第102～104・107表の結果をもとに地区別に点数を集計し、10点未満、10点以上100点未満、100点以上300点未満、300点以上に分けて作成した。また、遺構との位置を確認するために主な縄文時代の遺構を図示した。なお、図示した遺構の時期は縄文時代後期末葉のSB3を除き、全てが中期後葉である。

15～17列E～Nグリッドで石器の出土量が多い傾向にある。石器の出土が集中する部分は縄文時代前期・中期・後期の土器の出土分布（第2・3図）とほぼ同じ出土傾向を示す。

しかしながら、縄文時代前期・中期・後期の土器と比べ分布範囲は広範囲に及び、調査区北側まで広がる。

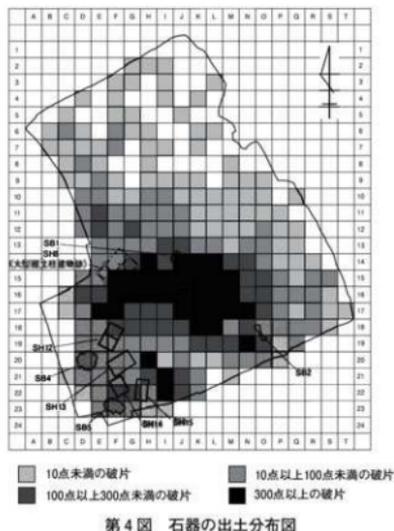
以下、各器種ごとに説明する。ただし、尖頭器などの剥片剥離方法が特徴的な石器類や石棒や装飾品類など個々に異なる製作痕・使用痕・付着物を残す石製品類については、具体的に説明を加え、他の器種は分類及び細分類内容を記載する。

尖頭器（1129～1132・1609～1612）

鋭利な先端部を作り出した石器。1129～1131・1609～1612は横長の剥片を素材とし、全体に調整剥離を行う。1132は有茎の尖頭器で、縦長の剥片を素材とし全体剥離整形後、側面を丁寧に種々の斜状剥離で直線状に整える。最後に舌部を作り出す。

石鏃（1133～1246・1613～1622）

鋭利な先端部と柄を装着するための基部を作り出した小型の石器。分類は基部の平面形と側縁形を組み合わせた大下明氏の分類（大下2003）をもとに細分したが、当遺跡では側縁の形態のうち3類と4類の区分が不明確であったため、3・4類とした。また、石鏃と比べ大きく、側縁の整形が粗雑なものは未製品と判断した。



第4図 石器の出土分布図

第7表 石器器種別点数一覧

器種名	道橋			包含層			合計
	A・B区	C区	合計	A・B区	C区	合計	
異形石器	1	1	2	11	2	13	15
尖頭器	0	2	2	4	2	6	8
石鏃	324	108	432	1286	150	1436	1868
石鏃	102	43	145	308	55	363	508
石筈	36	6	42	90	10	100	142
楕形石器	80	24	104	177	15	192	296
へう形石器	6	2	8	12	2	14	22
スクレイパー	227	55	282	518	52	570	832
石匙	0	1	1	0	1	1	2
石核	100	28	128	230	38	268	396
切刃石鏃	468	111	579	1329	94	1423	2002
打欠石鏃	334	96	430	906	87	992	1422
打製石芥	33	18	51	115	18	133	184
磨製石芥	24	12	36	77	8	85	121
粗製石器	8	4	12	31	6	37	49
瓦	0	0	0	1	1	2	2
垂飾り	0	0	0	3	0	3	3
珠状耳飾	2	0	2	2	0	2	4
石製品	2	2	4	7	0	7	11
石棒	3	0	3	16	0	16	19
石剣	0	0	0	0	1	1	1
石冠	0	1	1	0	0	0	1
石刀	0	0	0	2	0	2	2
石皿	25	4	29	6	6	12	41
砥石	1	0	1	1	0	1	2
磨・砥石	201	52	253	558	69	627	880
B F	378	179	557	1219	208	1427	1984
U F	141	75	216	442	64	506	722
湖片	4264	1529	5793	17358	1665	19023	24816
分宮礎	1	7	8	2	4	6	14
礫石器	5	0	5	3	0	3	8
大打ち石	0	4	4	4	3	7	11
焼熱礫	19	0	19	5	0	5	24
炉石	0	2	2	0	0	0	2
合計	6785	2366	9151	24723	2561	27283	36434

基部の平面形による分類

I類: 基部が凹むもの

- a 脚端部が尖り、基部下縁がふくらむもの。基部の挟りが3mm以上のもの。
- b 脚端部が尖るもの。基部の挟りが3mm以上のもの。
- c 脚端部が丸いもの。基部の挟りが3mm以上のもの。
- d 基部が浅い弧状にくぼむもの。基部の挟りが3mm未満のもの。
- e 直線的な基部端部に挟りを持つもの

Ⅱ類:基部が平らになるもの

Ⅲ類:基部が凹くなるもの

Ⅳ類:基部がふくらむもの

Ⅴ類:基部が尖るもの

Ⅵ類:基部に基部を持つもの

側縁形の平面形による分類

1類:側縁形が直線的になるもの

2類:側縁形が外湾し肩を張った形状になるもの

3類:側縁形が内湾し、内側に入るもの

4類:側縁形が内湾し、屈曲部をもつもの

I a 1類 (1133・1134・1613) 45点、I a 2類 (1135) 26点、I a 3・4類 (1136) 7点、I b 1類 (1137～1153・1614・1615) 190点、I b 2類 (1154～1159) 57点、I b 3・4類 (1160～1165) 37点、I b 5類 (1166～1169) 8点、I c 1類 (1170～1185) 136点、I c 2類 (1186・1187) 23点、I c 3・4類 (1188) 6点、I d 1類 (1189～1209・1616～1618) 293点、I d 2類 (1210～1217) 69点、I d 3・4類 (1218) 33点、I d 5類 (1219・1220) 38点、I e 1類 (1222) 7点、I e 2類 1点、Ⅱ 1類 (1223～1230) 40点、Ⅱ 2類 (1231) 55点、Ⅲ 1類 (1232) 6点、Ⅲ 2類 (1233～1238) 41点、Ⅳ 1類 (1239・1240) 5点、Ⅴ 1類 1点、Ⅴ 2類 (1241) 3点、Ⅵ 2類 (1242) 7点、未製品 (1243～1246・1619・1620) 167点、不明 (1621・1622) 567点出土した。

石錐 (1247～1279・1623～1633)

剥片の尖頭状の端部に縁縁からの剥離調整により先端部を作り出した石器、又は、尖頭状の端部が摩耗している石器を石錐とした。錐部と基部の形状により4分類し、さらに二次加工や素材の違いにより細分した。

1類 素材となる剥片の側面に調整を加えて錐部を作りだし、平面形が概ね三角形若しくは菱形となり、錐部と基部との境が不明瞭なもの。さらに縦長剥片を素材とするものをa類 (1249～1252・1623・1624)、横長剥片を素材とするものをb類 (1247・1248・1625) とした。1247・1249～1251・1624・1625は剥片の側面に調整し、錐部を整える。1248・1252・1623は一辺を折り取り、縦長に整形した後には錐部を整える。

2類 素材となる剥片の側面に調整を加えて錐部を作りだし、基部との境が明瞭なもの。さらに縦長剥片を素材とするものをa類 (1253～1256・1626・1627)、横長剥片を素材とするものをb類 (1257～1266・1628・1629) とした。

3類 素材となる剥片の側面のはほぼ全面に調整を加えることにより細身の棒状になるもの。折り取りした後で全体を調整するものをa類 (1267～1269・1630・1631)、剥片を調整するものはb類 (1270～1277・1632・1633) とした。1272～1274・1277・1632・1633は両面全体を丁寧に調整し、棒状に整形する。

4類 (1278・1279) つまみ部の部分が折損のため、分類できないものをまとめた。

I a類66点、I b類65点、2 a類68点、2 b類98点、3 a類36点、3 b類100点、4類75点出土した。

石匙 (1280~1291・1634~1637)

素材剥片の一部に2か所から剥離を行い、つまみ状の小突起を形成し、縁辺部に連続的な剥離調整で刃部を作り出した石器をまとめた。つまみ部と刃部の関係から3分類した。

1類 つまみ部に対し、刃部が縦に長いもの及び刃部が斜め方向のもので、いわゆる縦型石匙及び斜刃形石匙である。幅広のものは左右対照的となるもの(1280~1284・1634・1636)、細長いものは左右非対称のもの(1282・1283)が多い。

2類 つまみ部に対し、刃部が横に長いもの。いわゆる横型石匙である。側面の成形方法により直線的に整えるものをa類(1285~1288・1635)、外湾するものをb類(1289・1290・1637)とした。

3類(1291)折損により分類ができないものをまとめた。

1類34点、2 a類40点、2 b類31点、3類37点が出土した。

石篋 (1638・1639)

ほぼ左右対称で両面全体を丁寧成形し、ほぼ左右対称に成形する石器をまとめた。

スクレイパー (1292~1312・1640~1649)

素材剥片の縁辺部に連続した剥離を施して、一側面に1/2以上の範囲に作りだした石器及び、抉り状の刃部をもつ石器をまとめた。分類は主に刃部位置及び刃部形状の違いに着目して以下のとおり分類した。

1類 素材剥片の側面・端部(素材剥片の打点側又は末端側)を刃部調整するもの

- a 素材剥片の側面を直線的に刃部調整するもの。素材剥片は縦長剥片が多く、背面は刃部に對して平行するものが多い。
- b 素材剥片の側面を曲線的に刃部調整するもの。また、直線的な刃部と曲線的な刃部を組み合わせたものも含めた。鋭利な尖頭部とそれに続く側縁に二次加工が施されるものが多い。
- c 素材剥片の端部を直線的に刃部調整するもの。
- d 素材剥片の端部を曲線的に刃部調整するもの。

2類 素材剥片の側面にノッチ状の抉りを持つ石器である。

3類 素材剥片のほぼ全周を曲線的に刃部調整するもの。

4類 1類と2類の刃部形状を組み合わせたものでいわゆる複合スクレイパーといわれるものxをまとめた。

1 a類(1292~1294・1640・1641) 114点、1 b類(1295~1301・1642・1643) 144点、1 c類(1302~1311・1644・1645) は108点、1 d類(1306・1308・1646・1647) は125点、2類(1310・1648) は19点、3類(1312・1649) は2点、4類は338点、不明2点が出土した。

ヘラ形石器 (1313・1314・1650・1651)

平面形がヘラ状の截断刃器をまとめた。

楔形石器 (1315~1324・1652~1657)

剥片の相対する二側面に潰れ状の剥離痕が発達する石器をまとめた。石材により以下のとおり分類した。

1類(1315~1322・1652~1655) 石鏃など小型の剥片石器の素材となるチャートや下呂石製のもの

2類 (1323・1324・1656・1657) 打製石斧などの大型の剥片石器の素材となる砂岩や多孔質安山岩製のもの

1類は261点、2類は35点出土した。

石核 (1325～1331・1658)

概ねネガティブな剥離面によって構成されるものをまとめた。

調整剥離を施す剥片 (RF)

縁辺の一部に大ききの違う剥離が不連続に施される石器をまとめた。他の石器と比べ、素材剥片獲得時の形状を変えていないものが多い。

微細な剥離痕を有する剥片 (MF)

背面にきわめて広い自然を残す素材を用い、微細な剥離が不連続に施される石器、又は、無加工の使用痕のある石器をまとめた。

石製品 (1332・1453～1457・1659)

棒状のものや礫に線刻のあるものや礫表面に溝状の擦痕があるものをまとめた。1332は多孔質の安山岩を素材とし、短軸方向に一条の溝をつくるもので浮き石の可能性がある。1455・1456は、扁平な川原石を素材とし表面に溝をつくるもので、線刻礫と思われる。1453は棒状のもので、長軸端には磨痕がある。1454は蛇紋岩製のもので、おそらく、磨製石斧が折損し、その後、垂飾に転用するために正面・右側面・下面を平坦に整え、右側面に穿孔をしようとしたものと思われる。

打欠石錘 (1370～1375・1670・1671)

礫の長軸又は短軸の両端を打ち欠き、紐かかりの部分を作出した石器をまとめた。石材により砂岩・ホルンフェルス製のものを1類 (1370～1372・1374・1375・1670・1671)、泥岩製のものを2類 (1373) とした。1374は紐擦れ痕(带状痕)が残る。1類は1366点、2類は56点出土した。

切目石錘 (1333～1369・1660～1669)

礫の長軸又は短軸の両端に切り目を入れることにより紐掛かりの部分を作出した石器をまとめた。石材により砂岩・ホルンフェルス製のものを1類 (1333～1368・1660～1669)、泥岩製のものを2類 (1369) とした。1340・1342・1349・1354・1364～1367・1662・1663・1668は紐擦れ痕(带状痕)が残る。1類は1938点、2類は64点出土した。

粗製石器 (1376～1380・1672～1675)

円礫及び円礫素材の剥片や板状の剥片を利用し、側縁に刃部を作りだした石器。形状・大きさは打製石斧に似るが、刃部は側縁にあり、使用痕も側縁に観察できることが多いため、別器種として分類した。

打製石斧 (1381～1390・1676～1683)

円礫及び円礫素材の剥片や板状の剥片を利用し、長軸の一端に刃部を作りだした石器。使用による摩耗・欠損と刃部再生が頻繁に行われているため、範型を抽出することが難しいが、使用によるリダクションを受けていない資料を検討したうえで範型を抽出した。リダクションを受けたものについては、制作時からの変形を受けていない部分を基に分類を行った。また、1・2類については石材により泥岩製のものをa類、それ以外のものをb類として細分した。

1類 両側縁をほぼ平行になるもの。いわゆる短冊形と呼ばれるものをまとめた。刃部は直線的と

調整する。

1 a 類 (1381~1383・1385~1387・1676) 1385・1386は使用痕・リダクションが認められないもの。いずれも川原石を素材とする。主要剥離面の打面は川原石を分割したような平坦な剥離面から作出されている。基部となる部分を中心に両側面を整えるため、撥形となる。刃部は素材剥片の縁辺を加工することなく、そのまま利用するため、円刃となる。1387は、リダクションしたもの。欠損した刃部を調整しているため、素材剥片時の打点は、長軸のほぼ中央となる。

1 b 類 (1384) 1384は、短冊形のもの。川原石を素材とする。素材剥離時の打点が刃部近くとなるため、リダクションが行われている可能性がある。他のものと比べ、刃部・基部ともに肉厚に作られている。

2 類 両側縁が基部に向かって収束するもので、いわゆる撥形。

2 a 類 (1386・1387・1677)

2 b 類 (1388・1678・1679・1681) 1388は、リダクションが認められないもの。比較的小さく扁平な川原石を素材とし、全体を短冊状に整える。刃部は原礫面をそのまま利用するため、円刃となる。1679は赤色顔料が付着する。

3 類 (1389・1390・1680) 着柄部に抉りを入れて作り出したもので、いわゆる分銅形。

1389・1390は、川原石を素材とし、着柄部に抉りを作り出す。刃部付近には刃こぼれ・摩耗がみられる。1389はリダクションしたもの。欠損した刃部を丸く調整する。

4 類 (1682・1683) 未製品や破片のため平面形が不明のものをまとめた。

1 a 類78点、1 b 類12点、2 a 類54点、2 b 類11点、3 類7点、4 類22点が出土した。

磨製石斧 (1391~1395・1684~1689)

敲打・剥離により成形し、研磨を加えて仕上げられた斧形石器である。形状・大きさにより3分し、さらに1・2 類については、基部の断面形状により a~c 類に細分した。

形状・大きさによる分類

1 類 両側縁が基部に向かって収束するものでいわゆる撥形。

2 類 両側縁をほぼ平行になるもの。

3 類 小型の磨製石斧を一括した。

4 類 製作によって生じた剥片及び使用によって生じた破片をまとめた。

断面形状による分類

a 類 断面形状が楕円形のもの。分厚い斧身でいわゆる乳棒状と呼ばれるもの。

b 類 断面形状が丸みを帯びた長方形のもの。いわゆる定角式が丸くなったタイプのもの。

c 類 断面形状が長方形のもの。いわゆる定角式と呼ばれるもの。

1 a 類 (1391) 9点、1 b 類 (1393・1684) 8点、1 c 類 (1392・1685・1686) 40点、2 b 類 (1687) 2点、2 c 類 (1394・1688) 28点、3 類 (1395・1689) 14点、4 類20点が出土した。

磨・敲・凹石類 (1396~1420・1690~1697)

主に拳大の楕円礫(川原石)を用い、その表面に使用痕としての敲打痕・磨痕・擦痕が観察できる石器をまとめた。一般的に磨石、凹石、敲石と細別されるが、本遺跡では1つの石器の表面に複数の使用痕が観察されることからあえて細別せず、使用痕の種類と位置の観察を行った。1396~1401・

1404・1409・1410・1416・1695～1697は赤色顔料が付着する。いずれも敲打痕のある部分には赤色顔料は付着せず、磨痕のある部分に付着することから磨痕との関係が強いと思われる。

石皿 (1421～1426・1698・1699)

川原石の平坦な面又は凹んだ面に擦痕・磨痕が確認できるものをまとめた。1421～1423・1425・1699は赤色顔料が付着する。

砥石 (1427)

礫の表面に溝状や帯状の痕跡（砥面）が認められるもの。

石棒・石剣・石刀 (1428～1436・1700)

素材を敲打・研磨によって長く棒状に成形されたもの。1428～1430は長楕円形の川原石を素材とし敲打・研磨により断面形を円形に整えたもので、1428は胴部下半、1429は頭部、1430は頭部・基部を欠損している。1432～1436は結晶片岩や泥岩などの緻密な石材を利用し、主に研磨によって全体整形するもので断面形が円形及び楕円形のもの（1431～1435）と丸みを帯びた三角形のもの（1436）・丸みを帯びたレンズ状のもの（1700）がある。

石冠 (1705)

石製品のうち、斧状や棒状に成形した小型のものをまとめた。1705は、楕円形の川原石を敲打・研磨によって成形したもので、断面形を三角形に、端部を平坦に整える。

異形石器 (1437～1444・1701～1703)

1437・1438は鉤形のもの。1439・1440・1703は基部を石鎌の様に成形しているが、先端部が丸くなり明瞭でないことから異形石器とした。1441・1442・1444・1701・1702は石匙のようにつまみ部分があるが、石匙に比べ、刃部が極端に長いこと（1441）や彎曲すること（1442）や小さいこと（1444）から異形石器とした。

装飾品類 (1445～1452・1703)

玉・小玉・玦状耳飾をまとめた。1445～1448は玦状耳飾りである。1445・1446は1/2以上を欠損している。1445・1446の補修孔は両面から穿孔している。孔内に円周に沿った擦痕とそれに直交する細かい擦痕がみられることから錐状の工具による穿孔であったと思われる。1449は裏両面からの穿孔で、孔内に円周に沿った擦痕とそれに直交する細かい擦痕がみられることから錐状の工具による穿孔であったと思われる。1449～1451は小玉である。1449は完形品で孔部は片面から穿孔される。1450・1451は表裏両面からの穿孔で、孔内に円周に沿った擦痕とそれに直交する細かい擦痕がみられることから錐状の工具による穿孔であったと思われる。1452・1704は小玉である。1452は完形品で孔部の穿孔は表裏両面から行われる。孔内に円周に沿った擦痕を観察できる。全体を丁寧な研磨によって丸く整える。1704は破損品で管玉に近い形状である。孔内に円周に沿った擦痕を観察できる。

第6章 自然科学分析

第1節 自然科学分析の概要

本節では、自然科学的分析を実施した経緯と、結果の概要及び考察を述べる。

1 中世遺物の顔料と漆（第2節）

実施の経緯 当遺跡において出土した中世遺物の中に、内面に赤色顔料と思われる物質が付着した陶器、破面に漆と思われる物質が付着した磁器、受け皿部等に漆と思われる物質が付着した茶臼、研面の裏に漆と思われる物質が付着した砥石が含まれていた。

赤色顔料と思われる物質が付着した陶器は、古瀬戸の壺2個体、水注2個体、緑釉小皿1個体、時期不明の壺1個体である。数量的にかなりまとまって出土しているため、付着した物質を分析することにより、当時、これらの容器がどのような用途かを推定することが可能になると考えた。

漆と思われる物質が断面に付着した磁器は、青白磁の梅瓶であった。中世において青白磁は高級器として中国より輸入されていた。当時、陶磁器が破損した場合、漆で接着して補修を行っている類例が見られる。今回出土した青白磁に付着している物質が漆であると判明すれば、破損した梅瓶の修復が行われている可能性が極めて高いと言えると考えた。

N11グリッド周辺から出土した茶臼下臼の受け皿部及び中央円柱部側面には漆と思われる物質が付着していた。大泉寺（甲府市）宝物殿に収蔵される茶臼は、武田信玄の遺品と伝えられる伝世品であるが、同部位に黒漆が施されている。これと同様の加工が施されている可能性が高いと思われるため、分析する必要があると考えた。

漆と思われる物質が裏面に付着した砥石は、形状や石材から見て、中世に流通していた鳴滝砥（京都産）と推定される。裏面に漆を塗ることで大工道具や刀の刃部を保守すると言われており、分析することで、当時の砥石使用法を知る手がかりになると考えた。

結果の概要と考察 赤色顔料と思われる物質が付着した中世陶器は全て酸化鉄を主体とするが、リン、イオウなどの顔料成分が含まれているものもあることから、顔料の可能性を残す。梅瓶に付着した物質は鉄分が多く、漆成分と確定はできなかった。茶臼に付着した物質は漆で、前述の武田信玄の遺品と伝えられる伝世品は、原料の碾茶及び挽いた茶が直接触れる部分を仕上げていると言われている（三輪1978）。当遺跡出土の茶臼も同様の技法を用いていたと思われる。砥石に付着した物質は鉄分が多く、漆ではなかった。

2 土器胎土及び粘土塊の材料分析（第3節）

実施の経緯 焼成粘土塊は、一般的に土器製作によって生じた残滓であると解釈され、遺跡周辺で採取された可能性が極めて高い。また、この資料の出土例は少なく、胎土分析を行うことにより、遺跡出土の土器が在地産か搬入品かの判断や同じ徳山地区内の他遺跡出土遺物と胎土を比較する指標とすることができるのと考えた。そこで、当遺跡の粘土層から採取した粘土、焼成粘土塊、当遺跡の粘土層にない海綿骨針様のものを胎土を含む縄文土器（浅鉢）をそれぞれ分析することで、集落周辺の粘

土を採取し土器を製作するものと製品が搬入するものを推定する手がかりになると考えた。

結果の概要と考察 焼成粘土塊及び、土坑出土粘土塊は砂粒に堆積岩類を極めて多く含む。これは当遺跡周辺の組成と一致する。縄文土器の浅鉢は水性で、砂粒に深成岩類を多く含むことから、他地域のものであると思われる。これらのことから、浅鉢は搬入された可能性がある。

第2節 中世遺物の顔料と漆

1 始めに

当遺跡の調査では、漆質物や赤色顔料が付着した古瀬戸緑釉小皿や青白磁などが出土した。ここでは、これら付着物について、X線分析顕微鏡あるいは顕微鏡赤外分光分析を用いて材質分析を行った。分析は藤根久（パレオ・ラボ）が担当した。

2 試料と方法

試料は、予めマイクロスコープを用いて写真撮影した（図版104及び図版105）。試料は、漆質物が付着した3試料、赤色顔料が付着した6試料の合計9試料である（第8表）。なお、試料No. 3とNo. 8及びNo. 9は、蛍光X線分析と顕微鏡赤外分光分析を行った。

漆質物が付着した試料は、手術用メスなどを用いて1mm角程度の試料片を採取した。採取した試料片は、薄く押しつぶして厚さ1mm程度に裁断した臭化カリウム（KBr）結晶板に挟んで、油圧プレス器を用いて約7トンで加压整形した。測定は、フーリエ変換型顕微鏡赤外分光光度計（日本分光製 FT/IR-410、IRT-30-16）を用いて透過法により赤外吸収スペクトルを測定した。

赤色顔料が付着した試料は、遺物片を試料台に載せてX線分析顕微鏡を用いて典型的な部分についてポイント分析した。測定は、株堀場製作所製X線分析顕微鏡XGT-5000Type IIを用いた。ポイント測定は、X線導管径100 μ m、電圧50KV、電流自動設定、測定時間500secである。定量計算は、標準試料を用いないFP法（ファンダメンタルパラメータ法）で半定量分析を行った。

第8表 分析を行った遺物とその詳細（XRF; 蛍光X線分析, FT-IR; 赤外分光分析）

No.	遺物No.	遺構	種別	器種	分析対象	備考
1	A2447-2,3	SIAS2	古瀬戸	緑釉小皿	内面赤色顔料	XRF
2	B220	SKB34	近世陶器か	壺か	内面赤色顔料	XRF
3	B384-2	SKB145	青白磁	梅瓶	漆か	FT-IR, XRF
4	B844-1,2	011	古瀬戸	有耳壺	内面赤色顔料	XRF
5	A2536	I16	古瀬戸	水注	内面赤色顔料	XRF
6	B396-9	F11	古瀬戸	壺	内面赤色顔料	XRF
	B1075-67, 82	F12				
7	A2809-1	SKA248	古瀬戸	水注	内面赤色顔料	XRF
8	B571-1,2	N11	茶臼	下臼	受け皿部等付着物	FT-IR, XRF
9	A2752-4,5	I21	砥石	仕上砥	研ぎ面裏面付着物	FT-IR, XRF

3 結果

[赤外分光分析]

第5図に、試料 (No. 3、No. 8、No. 9) と生漆の赤外吸収スペクトルを合わせて示した。なお、縦軸は透過率 (%T: Transmittance)、横軸が波数 (Wavenumber (cm⁻¹); カイザー) である。第8図の吸収スペクトルに示した数字は、生漆の赤外吸収位置を示す。なお、ピーク検出結果は、漆の吸収位置と強度を示す。

試料 No. 3 は、遺物の切断面の一部に付着するが、赤色を呈し硬質物である。漆のピーク No. 2 及び No. 3 に相当するピークが見られるものの、他のピークでは一致しない。ピーク No. 2 及び No. 3 の吸収が僅かであることから、漆の成分が炭化あるいは熱変質したと考えられるが同定はできない。なお、蛍光 X 線分析では鉄が最大46.32% 検出され、その他ではリンが4.41%、イオウが0.40% 含まれていた。

一方、試料 No. 8 は、生漆の赤外吸収とほぼ一致することから、漆と同定される。

また、試料 No. 9 は、漆などの有機物に由来するようなピーク (たとえばピーク No. 2 や No. 3 付近の吸収) が見られないことから、無機物である。蛍光 X 線分析では鉄 Fe₂O₃ が63.78% と高いことか、鉄分が付着していることは間違いない。

[蛍光 X 線分析]

第6～8図に、各試料の蛍光 X 線分析の結果を示す。なお、測定位置は矢印の示すポイントである。なお、アルミニウム (Al₂O₃) やケイ素 (SiO₂) は直接測定していることから焼き物胎土の化学組成を反映している。また、鉛は試料 No. 1 において明瞭に検出されたが、その他の試料では計算されているものの誤差内であり有意でない。

試料 No. 1 は、典型的に赤味の強い部分を分析したが、鉄 (Fe₂O₃) は比較的高いものの20.05% 程度であった。その他の元素ではリン (P₂O₅) が15.26% と多く含まれ、イオウ (SO₃) も0.83% 含まれていた。これらリンやイオウは、顔料の材料として多く含まれていたことが考えられる。なお、鉛 (PbO) が明瞭に検出され、0.27% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄である。

試料 No. 2 は、内側全面に赤色物が厚く付着するが、鉄が最大70.90% 検出された。その他ではリンが14.80% と多く含まれ、イオウが0.47% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄である。

試料 No. 3 は、鉄が最大46.32% 検出され、その他ではリンが4.41%、イオウが0.40% 含まれていた。有機物も付着するが赤色物の主な成分は鉄である。

試料 No. 4 は、内側全面に赤色物が厚く付着するが、鉄が最大60.58% 検出された。その他ではリンが7.11%、イオウが0.32% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄である。

試料 No. 5 は、古瀬戸鉄軸水注で内側に斑状に付着又は吸着しているが、鉄が最大25.51% 検出された。その他ではリンが3.01%、イオウが0.37% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄と考えられる。

試料 No. 6 は、内側のほぼ全面に薄く赤色物が付着するが、鉄が最大84.61% 検出された。その他ではリンが9.16%、イオウが0.17% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄である。

試料 No. 7 は、内側のほぼ全面に赤色物が付着するが、鉄が最大85.89% 検出された。その他ではリンが1.81% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄である。

試料 No. 9 は、ほぼ全面に赤色物が付着するが、鉄が最大20.05% 検出された。その他ではリンが5.79%、イオウが0.44% 含まれていた。赤色物の主な成分は鉄である。

第9表 付着物の蛍光X線分析結果(半定量分析:FP法)

No	種類	Al ₂ O ₃ (%)	SiO ₂ (%)	P ₂ O ₅ (%)	SO ₃ (%)	K ₂ O (%)	CaO (%)	TiO ₂ (%)	Cr ₂ O ₃ (%)	MnO (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	CuO (%)	ZnO (%)	B ₂ O ₃ (%)	SrO (%)	Y ₂ O ₃ (%)	ZrO ₂ (%)
1	A2447-2,3	11.53	43.80	15.26	0.83	3.99	1.76	2.18	0.04	0.04	20.05	0.02	0.07	0.04	0.03	0.01	0.08
2	B220	4.56	5.16	14.80	0.47	1.14	2.76	0.03	0.01	0.06	70.90	0.01	0.02	0.03	0.01	0.00	0.00
3	B384-2	12.59	33.82	4.41	0.40	1.31	0.65	0.35	0.01	0.05	46.32	0.01	0.02	0.02	0.00	0.01	0.01
4	B844-1,2	13.03	18.04	7.11	0.32	0.41	0.17	0.11	0.00	0.10	60.58	0.00	0.01	0.02	0.01	0.01	0.03
5	A2536	7.22	48.18	3.01	0.37	2.81	9.82	1.08	0.09	1.61	25.51	0.03	0.07	0.02	0.08	0.01	0.05
6	B396-9 B1075-67,82	2.81	2.76	9.16	0.17	0.01	0.11	0.01	0.01	0.15	84.61	0.00	0.02	0.06	0.01	0.00	0.00
7	A2809-1	2.30	8.54	1.81	0.00	0.39	0.66	0.03	0.00	0.14	85.89	0.04	0.01	0.03	0.02	0.00	0.04
9	A2732-4,5	13.89	14.69	5.79	0.44	0.21	0.59	0.21	0.04	0.10	63.78	0.11	0.05	0.05	0.02	0.00	0.02
	最大値	2.30	2.76	1.81	0.00	0.01	0.11	0.01	0.00	0.04	20.05	0.00	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00
	最小値	13.89	48.18	15.26	0.83	3.99	9.82	2.18	0.09	1.61	85.89	0.11	0.07	0.06	0.08	0.01	0.08

第10表 分析の詳細と分析結果

No	遺物No	種別	器種	付着状況	同定結果	備考
1	A2447-2,3	古瀬戸	緑釉小皿	内底面全面	酸化鉄	リン多く、イオウ、鉛を含む
2	B220	近世陶器か	壺か	内面全面	酸化鉄	リン多く、イオウ含む
3	B384-2	青白磁	梅瓶	切断面に一部付着	酸化鉄&有機物	鉄、リン、イオウを含む
4	B844-1,2	古瀬戸	有耳壺	内面全面	酸化鉄	リン多く、イオウ含む
5	A2536	古瀬戸	水注	内面斑状に吸着?	酸化鉄	リン含む
6	B396-9 B1075-67,82	古瀬戸	壺	内面全面に薄く付着	酸化鉄	リン多く含む
7	A2809-1	古瀬戸	水注	内面のはば全面	酸化鉄	リン含む
8	B571-1,2	茶臼	下臼	受け皿部	漆	
9	A2732-4,5	砥石	仕上げ砥	研ぎ面裏面はば全面	酸化鉄	リン多く、イオウ含む

4 終わりに

試料 No. 8 の茶臼は、赤外分光分析により漆と同定された。その他の赤色付着物は酸化鉄を主体とした成分であるが、多くの試料においてリンが多く含まれ、イオウも検出された。リンやイオウは、顔料の材料として多く含まれていたことが考えられる。また、試料 No. 1 では鉛が明瞭に検出された。

第3節 土器胎土及び粘土塊の材料分析

1 始めに

土器の胎土分析は、一般的には製作地の推定を目的として行われる場合が多い。しかしながら、例えば胎土に含まれる岩石片の特徴から、これら砂粒物の示す地域がいずれであるかを推定することは容易でない。土器胎土は、基本材料として粘土と砂粒などの混和材から構成されるが、粘土材料は比較的良質とも思える粘土層から採取されたことが、粘土採掘坑の調査から推察される(藤根・今村、2001)。一方、混和材としての砂粒物は、これら粘土採取の際に粘土層の上下層に分布する砂層などを採取したことが予想される。東海地域には、弥生時代後期の赤彩を施したパレススタイル土器が知られているが、これら3分の1程度の土器では、砂粒物として火山ガラスが多量に含まれるが(藤根、

1996; 車嶋ほか、1996)、これら火山ガラスは、粘土採取の際に上下層に分布したと思われるテフラ層と予想される。このように、胎土中の混和材は、砂層の特徴である可能性が高く、現河川砂とは大きく異なることから、現在の河川砂との比較では問題が大きい。こうしたことから、以前に堆積した段丘堆積物の砂層などとの比較検討が必要と思われる。土器胎土については、第一に土器に使用した粘土や混和材がどのような特徴を持つかを討が必要と思われる。土器胎土については、第一に土器に使用した粘土や混和材がどのような特徴を持つかを十分理解することが重要であり、こうした特徴を持つと思われる粘土層や砂層などと比較検討すべきと考える。

ここでは、当遺跡から出土した縄文時代中期末の浅鉢胎土、焼成粘土塊、縄文時代の土坑内から出土した粘土塊について、これら胎土及び粘土塊の粘土あるいは砂粒物の特徴について調べた。分析は、藤根久・長友純子（パレオ・ラボ）が担当した。

2 試料と方法

試料は、縄文時代中期末の浅鉢胎土及び焼成粘土塊の各1試料と、土坑（SK915とSK790）内出土の各粘土塊試料である（第11表）。これら土器は、次の手順に従って偏光顕微鏡観察用の薄片を作成した。なお、粘土塊は、乾燥した後、電気炉を用いて750°C、6時間で焼成した。

(1) 試料は、始めに岩石カッターなどで整形し、恒温乾燥機により乾燥した。全体にエポキシ系樹脂を含浸させ固化処理を行った。これをスライドガラスに接着し平面を作成した後、同様にしてその平面の固化処理を行った。

(2) さらに、研磨機及びガラス板を用いて研磨し、平面を作成した後スライドガラスに接着した。

(3) その後、精密岩石薄片作製機を用いて切断し、ガラス板などを用いて研磨し、厚さ0.02mm前後の薄片を作成した。仕上げとして、研磨剤を含ませた布板上で琢磨し、コーティング剤を塗布した。

第11表 分析した焼成粘土塊・浅鉢胎土とその肉眼的特徴

No	試料	遺構	遺物上No	時期	色(断面)	中黒層の有無						備考	
							石英	長石	輝石類	白色粒子	赤色粒子		砂粒物
1	粘土塊	SK790	6998	縄文中期後半	SIR 6/6 橙色	-				○		細粒	微量を含む
2	粘土塊	SK915	-	縄文時代	SY 6/4 オリブ黄色	-				○		細粒	礫を含む
3	浅鉢	SKA174	AI343-14	縄文中期後半頃	2.SY 7/1 灰白色	ややあり	○	○	△	△	○	細粒	骨針化石を含む

[骨針化石]

海綿動物の骨格を形成する小さな珪質、石灰質の骨片で、細い管状や針状などを呈する。海綿動物は、多くは海産であるが、淡水産としても日本において23種ほどが知られ、湖や池あるいは川の水底に横たわる木や貝殻などに附着して生育する。

[植物珪酸体化石]

植物の細胞組織を充填する非晶質含水珪酸体であり、大きさは種類によっても異なり、主に約10～50μm前後である。一般的にプラント・オパールとも呼ばれ、イネ科草本、スゲ、シダ、トクサ、コケ類などに存在することが知られている。ファン型や垂鈴型あるいは棒状などがあるが、ここでは大型のファン型と棒状を対象とした。

[石英・長石類]

石英あるいは長石類は、いずれも無色透明の鉱物である。長石類のうち後述する双晶などのように光学的に特徴をもたないものは石英と区別するのが困難である場合が多く一括して扱う。なお、石英・長石類（雲母）は、黄色などの細粒雲母類が含まれる石英又は長石類である。

[長石類]

長石は大きく斜長石とカリ長石に分類される。斜長石は、双晶（主として平行な縞）を示すものと累帯構造（同心円状の縞）を示すものに細分される（これらの縞は組成の違いを反映している）。カリ長石は、細かい葉片状の結晶を含むもの（パーサイト構造）と格子状構造（微斜長石構造）を示すものに分類される。また、ミルメカイトは斜長石と虫食い状石英との連晶（微文象構造という）である。累帯構造を示す斜長石は、火山岩中の結晶（斑晶）の斜長石にみられることが多い。パーサイト構造を示すカリ長石はカコウ岩などの $\text{SiO}_2\%$ の多い深成岩や低温でできた泥質・砂質の変成岩などに産する。ミルメカイトあるいは文象岩は火成岩が固結する過程の晩期に生じると考えられている。これら以外の斜長石は、火成岩、堆積岩、変成岩に普通に産する。

[雲母類]

一般的には黒雲母が多く、黒色から暗褐色で風化すると金色から白色になる。形は板状で、へき開（規則正しい割れ目）にそって板状には剥がれ易い。薄片上では長柱状や層状に見える場合が多い。カコウ岩などの $\text{SiO}_2\%$ の多い火成岩に普遍的に産し、泥質、砂質の変成岩及び堆積岩にも含まれる。なお、雲母類のみが複合した粒子を複合雲母類とした。

[輝石類]

主として斜方輝石と単斜輝石とがある。斜方輝石（主に紫蘇輝石）は、肉眼的にビールびんのような淡褐色及び淡緑色などの色を呈し、形は長柱状である。 $\text{SiO}_2\%$ が少ない深成岩、 $\text{SiO}_2\%$ が中間あるいは少ない火山岩、ホルンフェルスなどのような高温で生じた変成岩に産する。単斜輝石（主に普通輝石）は、肉眼的に緑色から淡緑色を呈し、柱状である。主として $\text{SiO}_2\%$ が中間から少ない火山岩によく見られ、 $\text{SiO}_2\%$ の最も少ない火成岩や変成岩中にも含まれる。

[角閃石類]

主として普通角閃石であり、色は黒色から黒緑色で、薄片上では黄色から緑褐色などである。形は細長く平たい長柱状である。閃緑岩のような $\text{SiO}_2\%$ が中間的な深成岩をはじめ火成岩や変成岩などに産する。

[ガラス質]

透明の非結晶の物質で、電球のガラス破片のような薄くて湾曲したガラス（バブル・ウォール型）や小さな泡をたくさん持つガラス（軽石型）などがある。主に火山の噴火により噴出された噴出物と考える。なお、濁ガラスは、非晶質でやや濁りのあるガラスで、火山岩類などにも見られる。

[凝灰岩質]

凝灰岩質は、ガラスや鉱物、火山岩片などの火山砕屑物などから構成され、非晶質でモザイクな文様構造を示す。起源となる火山により鉱物組成は変わる。

[複合鉱物類]

構成する鉱物が石英あるいは長石以外に重鉱物を伴う粒子で、雲母類を伴う粒子は複合鉱物類（含

雲母類)、輝石類を伴う粒子を複合鉱物類(含輝石類)、角閃石類を伴う粒子を複合鉱物類(角閃石類)とした。

[複合石英類]

複合石英類は石英の集合している粒子で基質(マトリックス)の部分を持たないものである。個々の石英粒子の粒径は粗粒なものから細粒なものまで様々である。ここでは、便宜的に個々の石英粒子の粒径が約0.01mm未満のものを微細、0.01~0.05mmのものを小型、0.05~0.1mmのものを中型、0.1mm以上のものを大型と分類した。また、等粒で小型の長石あるいは石英が複合した粒子は、複合石英類(等粒)として分類した。この複合石英類(等粒)は、ホルンフェルスなどで見られる粒子と考える。

[砂岩質・泥岩質]

石英、長石類、岩片類などの粒子が集合し、それらの間に基質の部分を持つもので、含まれる粒子の大きさが約0.06mm以上のものを砂岩質とし、約0.06mm未満のものを泥岩質とする。

[不透明・不明]

下方ボーラーのみ、直交ボーラーのいずれにおいても不透明なものや、変質して鉱物あるいは岩石片として同定不可能な粒子を不明とする。

3 結果

胎土中の粒子組成は、任意の位置での粒子を分類別に計数した(第12表)。また、計数されない微化石類や鉱物・岩石片を記載するために、プレパラート全面を精査・観察した。以下では、粒度分布や0.1mm前後以上の鉱物・岩石片の砂粒組成あるいは計数も含めた微化石類などの記載を示す。なお、不等号は、概略の量比を示し、二重不等号は極端に多い場合を示す。

No.1: 60~400 μm が多い(最大粒径2.2mm)。石英・長石類)砂岩質)複合石英類(微細)、角閃石類、ガラス質、単斜輝石、斜方輝石、ジルコン、雲母類、植物珪酸体化石

No.2: 300~700 μm が多い(最大粒径2mm)。砂粒の淘汰が非常に良い。斜長石(双晶)石英・長石類)複合石英類、カリ長石(パーサイト)、複合石英類(微細)、ガラス質、カリ長石(微斜長石)、角閃石類、泥岩質、雲母類、凝灰岩質、単斜輝石、骨針化石、植物珪酸体化石

No.3: 150 μm ~1.2mm, 最大粒径2.6mm。複合石英類(微細)石英・長石類)泥岩質、雲母類、角閃石類やや多い、単斜輝石、斜方輝石、ジルコン、[複合石英類]、植物珪酸体化石少ない。

(1) 微化石類による材料粘土の分類

検討した胎土中には、その薄片全面の観察から、珪藻化石や骨針化石などが検出された。これら微化石類の大きさは、珪藻化石が10~数100 μm (実際観察される珪藻化石は大きいもので150 μm 程度)、骨針化石が10~100 μm 前後である(植物珪酸体化石が10~50 μm 前後)。一方、碎屑性堆積物の粒度は、粘土が約3.9 μm 以下、シルトが約3.9~62.5 μm 、砂が62.5 μm ~2mmである(地学団体研究会・地学事典編集委員会編、1981)。このことから、植物珪酸体化石を除いた微化石類は胎土の材料となる粘土中に含まれるものと考えられ、その粘土の起源を知るのに有効な指標になると考える。

なお、植物珪酸体化石は、堆積物中に含まれているものの、製作場では灰質が多く混入する可能性が高いなど、他の微化石類のように粘土の起源を指標する可能性は低いと思われる。

検討した胎土は、微化石類により、a) 水成粘土を用いた胎土、b) その他の粘土、に分類された。以下では、分類された粘土の特徴について述べる。

a) 水成粘土を用いた胎土（1胎土）

これらの胎土中には、水成を指標する骨針化石が含まれていた。

b) その他粘土を用いた粘土（2粘土塊）

これら胎土中には、水成起源を指標する珪藻化石や骨針化石は含まれていなかった。

第12表 粘土塊・浅鉢胎土の粘土との砂粒の特徴

No	試料	粘土の特徴			砂粒の特徴				鉱物の特徴				植物性有機体化石	その他の特徴
		分類	種類	骨針化石	分類	堆積岩類	深成岩類	凝灰岩類	テフラ	ジルコン	角閃石類	輝石類		
1	粘土塊	その他	-	C	○			△	+	+	+	+	△	細粒砂
2	粘土塊	その他	-	C	○	△		△	+	++	+	+	△	砂粒の混入状態は土器胎土様
3	浅鉢	□	水成	△	Bc	△	○	△	+	+	+	+	○	砂粒の淘洗が非常に良い

(2) 胎土中の砂粒組成による分類

ここで設定した複合鉱物類は、構成する鉱物種や構造的特徴から設定した分類群であるが、地域を特徴づける源岩とは直接対比できない。このため、各胎土中の鉱物、岩石粒子の岩石学的特徴は、地質学的状況に一義的に対応しない。

ここでは、比較的大型の砂粒について起源岩石の推定を行った（第13表）。岩石の推定は、泥岩質や砂岩質あるいは複合石英類（微細）が堆積岩類、複合石英類（大型）や複合鉱物類（含輝石類・含角閃石類・含雲母類）が深成岩類、凝灰岩質が凝灰岩類、片理複合石英類が片岩類、斑晶質が火山岩類、ガラス質がテフラ（火山噴出物）である。なお、褐色の岩石片が一部見られたが、これらは変質岩類とした。土器胎土は、深成岩類を主体として堆積岩類などを伴うBc群である。粘土塊No.1及び粘土塊No.2は、いずれも堆積岩類を主体としたC群である。

第13表 粘土塊中の岩石片の分類と組み合わせ

		第2出現群						
		A	B	C	D	E	F	G
		片岩類	深成岩類	堆積岩類	火山岩類	凝灰岩類	流紋岩類	テフラ
第1出現群	a	片岩類	Ba	Ca	Da	Ea	Fa	Ga
	b	深成岩類	Ab	Cb	Db	Eb	Fb	Gb
	c	堆積岩類	Ac	Bc	Dc	Ec	Fc	Gc
	d	火山岩類	Ad	Bd	Cd	Ed	Fd	Gd
	e	凝灰岩類	Ae	Be	Ce	De	Fe	Ge
	f	流紋岩類	Af	Bf	Cf	Df	Ef	Gf
	g	テフラ	Ag	Bg	Cg	Dg	Ef	Fg

(3) 粘土塊及び浅鉢の胎土材料の特徴

粘土塊は、砂岩質の砂粒を特徴的に含む。なお、水成環境を指標するような珪藻化石などの微化石類は含まれていない。遺跡周辺の揖斐川上流域は、能郷白山が花崗閃緑岩などからなるが、大半の部分は那比、上麻生及び金山ユニットのチャートや砂岩あるいは石灰岩などが分布する地域である（地質調査所、1992など）。こうしたことから、粘土塊の砂粒組成は、周辺地域の砂粒組成ともし問題ない。一方、浅鉢胎土は、淘汰が非常に良く、斜長石（双晶）などが特徴的に多く含まれ、深成岩類を主体とした組成を示す。また、粘土部分には大型の骨針化石が含まれていた。浅鉢胎土中の砂粒組成は、主に深成岩類に隣接するような地域であるが、土器材料として利用できる程度の水成粘土が分布する地域と推定される。対象とした浅鉢は、北陸系の土器と考えられているが、こうした地域では骨針化石を含む海成層が分布することから、こうした土器の製作地の可能性が予想される。ただし、骨針化石は海成堆積物に多く含まれるが、古琵琶湖層群のように淡水成堆積物中にも含まれることがあるため、具体的な地域については言及できない。

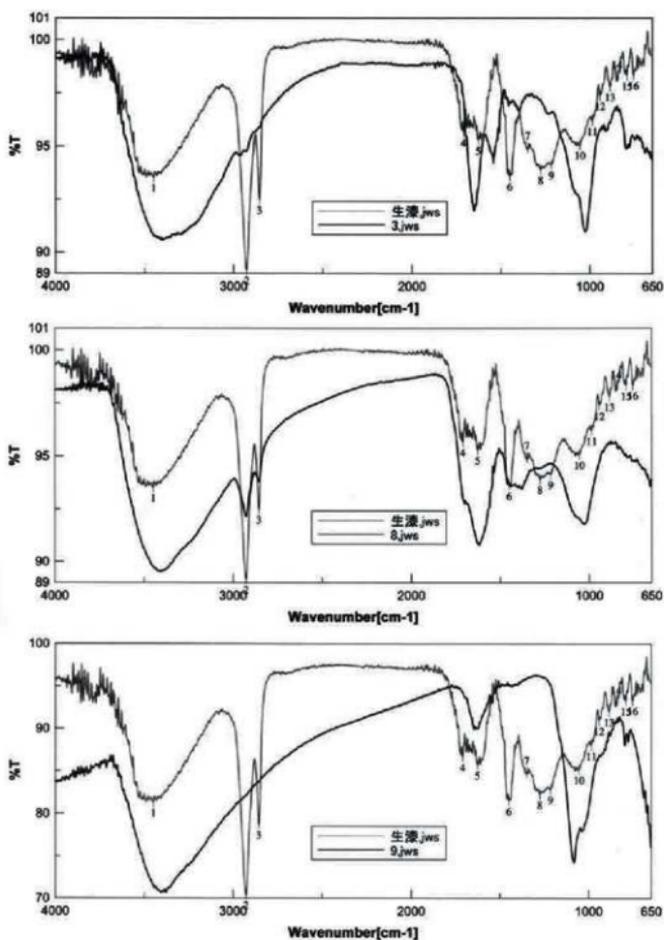
なお、試料No.2の粘土塊は、顕微鏡観察において土器胎土中の砂粒分布に類似していた。以上の土器の材料の検討から、粘土塊と浅鉢胎土は、材料について共通点はなく異なった材料と考える。これら粘土塊は、当地で製作されたであろう土器の材料あるいは床材などに使用されたものと考えられる。

4 終わりに

土器作りは、一般的に微化石類を良好に含むことから、相当良質の粘土層を利用したことが考えられる。対象とした浅鉢は、骨針化石を特徴的に含み、砂粒組成が粘土塊中の砂粒組成と大きく異なる結果となった。今後、土器材料として良質の粘土層の広域的な調査が不可欠と考え、こうした粘土や砂粒の特徴と比較検討する事により、土器作りあるいは製作地などについての詳細が明らかになるものとする。

引用・参考文献

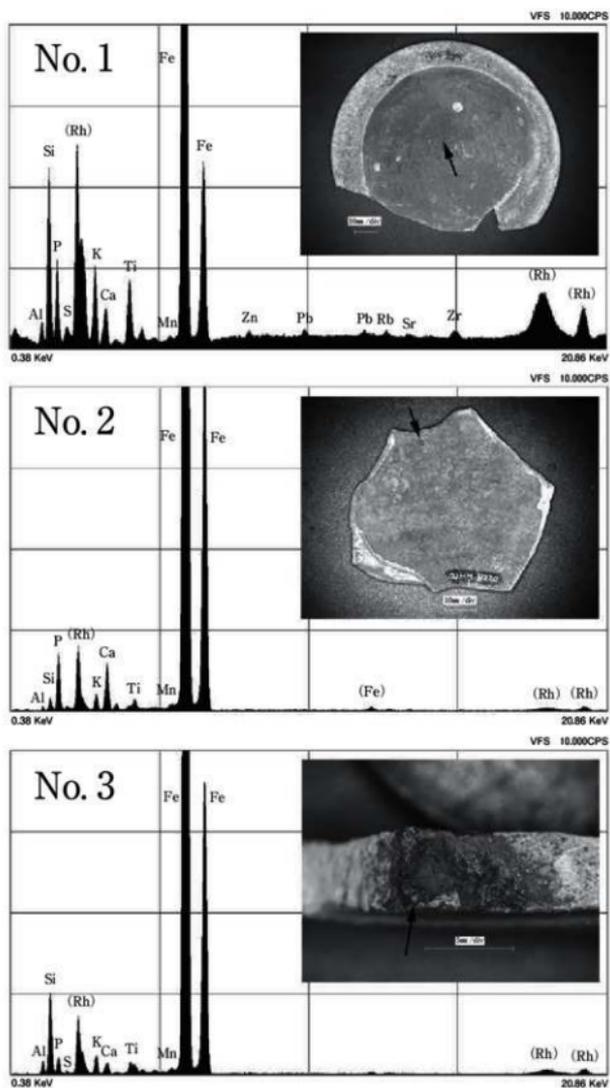
- 安藤一男 1990「淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用」『東北地理』42.2,p73-88.
 地学団体研究会・地学事典編集委員会編 1981「増補改訂 地学事典」,平凡社,p1612.
 地質調査所 1992 20万分の1地質図幅「岐阜」,地質調査所
 藤根久 1998「東海地域（伊勢-三河湾周辺）の弥生および古墳土器の材料」『土器・墓が語る』
 第6回東海考古学フォーラム岐阜大会108-117.
 藤根久・今村美智子 2001「第3節 土器の胎土材料と粘土採掘坑対象堆積物の特徴」『波志江中宿遺跡』日本道路公団・伊勢崎市・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団、p262-277.
 小杉正人 1988「珪藻の環境指標種群の設定と古環境復元への応用」『第四紀研究』27,p1-20.
 車崎正彦・松本完・藤根久・菱田量・古橋美智子 1996「(39) 土器胎土の材料-粘土の起源を中心に-」『日本考古学協会第62回大会研究発表要旨』,p153-156.
 三輪茂雄 1978「石臼探訪」産業技術センター



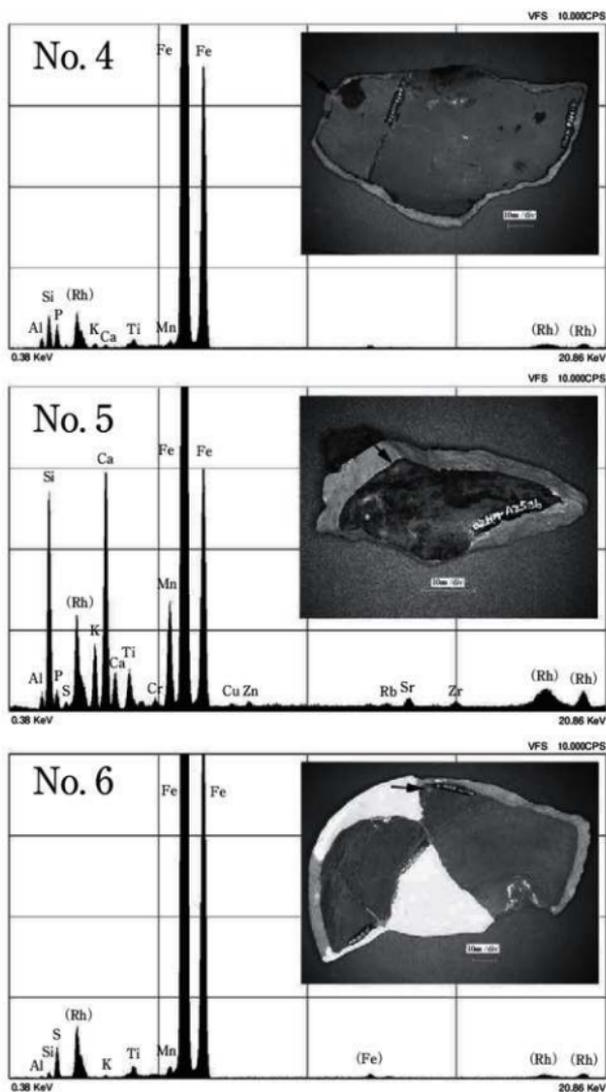
ピーク検出結果

No.	位置	強度	No.	位置	強度	No.	位置	強度
1:	3449.06	93.5368	2:	2928.38	89.1931	3:	2856.06	92.4929
4:	1709.59	95.6852	5:	1626.66	95.3069	6:	1450.21	93.6188
7:	1349.93	94.9413	8:	1276.65	93.9144	9:	1215.90	94.1453
10:	1056.80	95.0817	11:	987.38	96.2200	12:	943.98	87.3599
13:	888.06	97.8158	14:	848.63	98.2700	15:	792.60	98.3351
16:	755.96	98.3444						

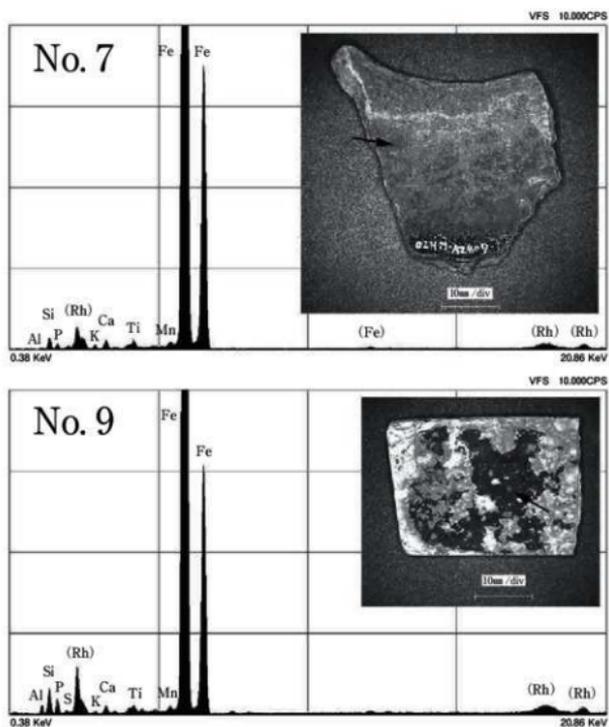
第5図 No. 3、No. 8、No. 9の赤外吸収スペクトル図
(縦軸は透過率、横軸は波数を示す)



第6図 No. 1～No. 3の蛍光X線スペクトル図
(矢印のポイントは測定位置を示す)



第7図 No. 4～6の蛍光X線スペクトル図
(矢印のポイントは測定位置を示す)



第8図 No. 7、No. 9の蛍光X線スペクトル図
(矢印のポイントは測定位置を示す)

第7章 考察

第1節 A・B地区第2調査面及びC区第3調査面検出遺構の検討

ここでは、主に第A・B地区2調査面及びC区第3調査面において検出された遺構について、種類別に分析を行った上で、それらの空間構成と変遷を検討する。

1 竪穴住居跡

第4章で報告した竪穴住居跡5軒の所属時期は、次のとおりである。

中期 1軒 SB2

中期後葉4軒 SB1・SB4・SB5

後期末葉1軒 SB3

竪穴住居跡の認定は、比較的遺構密度が低く後世の攪乱によって改変を受けないC区では竪穴状の掘り込みや炉・柱穴などの確認が可能であり、2軒の住居跡(SB4・SB5)を確認した。一方、遺構密度が高く後世の攪乱による改変を受けたA・B区の調査では、最終的に竪穴住居跡を検出し認定することができなかった。ここでは、検出した単独の炉跡や土器埋設遺構を含めて、住居跡の抽出を行う。抽出の方法は、徳山の遺跡の縄文時代の竪穴住居跡の集成(長谷川2006)を参考に炉跡とした遺構を中心に同心円上に配置される土坑、及び炉跡の四方の一辺を中心に同心円上に配置される土坑の確認を行った。同心円の半径についても集成を参考に半径1.8m前後を中心に確認した。したがって、通常の竪穴住居跡の認定条件となる竪穴状の掘り込みは確認できないが、柱穴配置・炉跡の配置をもって竪穴住居跡と判断した。

以上の作業を行い、新たに6軒の住居跡を確認した(第9図)。一般的に住居跡内の炉跡の位置は、住居跡内中央奥にある場合とほぼ中央にある場合の2通りがある。炉跡と柱穴との関連では、前者が炉跡の一辺を中心に柱穴を配置するタイプ、後者が、炉跡を中心に柱穴を配置するタイプとなる。今回、新たに認定した6軒は、全て炉跡の一辺を中心に柱穴を配置するタイプであった。机上の作業で確認した仮定の竪穴住居跡であるが、第4章では取り上げていないため、新たに認定した竪穴住居跡をSB6～SB11とし、以下に説明する。

SB6 SF1を炉跡とした。主柱穴は4本(SK335・SK101・SK359・SK325)が想定できる。入り口の部分ではSZB2が検出されている。SZB2は、遺構内の土器は側壁に密接した形で正位に置かれていることから埋壘と思われる。埋壘の時期から竪穴住居跡は縄文時代中期後葉に所属すると思われる。

SB7 SK220を炉跡とした。主柱穴は4本(SK216・SK218・SK227)が想定できるが、うち1つは中世の遺構と重複するため、検出できなかった。入り口の部分の埋壘は確認できなかった。炉跡内出土遺物の時期から竪穴住居跡は縄文時代中期後葉に所属すると思われる。

SB8 SF18を炉跡とした。主柱穴は4本(SK663・SK671・SK116・SKB120)が想定できる。入り口の部分の埋壘は確認できなかった。炉跡内出土遺物の時期から竪穴住居跡は縄文時代中期後葉に

所属すると思われる。

SB9 SF15を炉跡とした。主柱穴は4本（SK519・SK482・SK526・SK370）及び、7本（上記4本にSK523・SK483・SK375）が想定できる。入り口の部分ではSZ2が検出されている。SZ2の土器は側壁に密接した形で正位に置かれていることから埋甕と思われる。埋甕の時期から竪穴住居跡は縄文時代中期後葉に所属すると思われる。

SB10 SF5を炉跡とした。主柱穴は4本（SK329・SK110・SK320・SK446）が想定できる。炉跡と柱穴の配置の関係をみると、主軸に対して炉跡が若干西側に偏る。入り口の部分の埋甕は確認できなかった。炉跡内出土遺物の時期から竪穴住居跡は縄文時代中期後葉に所属すると思われる。

SB11 SF12を炉跡とした。主柱穴は4本と想定できるが、うち一本の位置は後世の擾乱のため、確認できなかった。残り3本の柱穴はSK363・SK146・SK140が想定できる。入り口の部分の埋甕は確認できなかった。炉跡内出土遺物の時期から竪穴住居跡は縄文時代中期後葉に所属すると思われる。

2 掘立柱建物跡

第4章で報告した5棟は、SH8を除き柱穴内出土遺物が少量であり、所属時期を決定することが困難である。このため、SH8を除き遺構調査面から縄文時代中期とした。所属時期は次のとおりとなる。

中期 4軒 SH12・SH13・SH14・SH15

中期後葉1軒 SH8

掘立柱建物跡の確認は、比較的遺構密度が低く後世の擾乱によって改変を受けないC区では可能なものの、遺構密度が高いA・B区では確認が困難であるため、本調査では掘立柱建物跡を認定することができなかった。縄文時代中期のA・B区の土坑のうち、平面形状が円形に近く、断面形状が方形に近いもの及び、柱状の堆積をする土坑の配置を確認した。その結果、掘立柱建物跡1軒を仮定した。この遺構を新たにSH16とした。

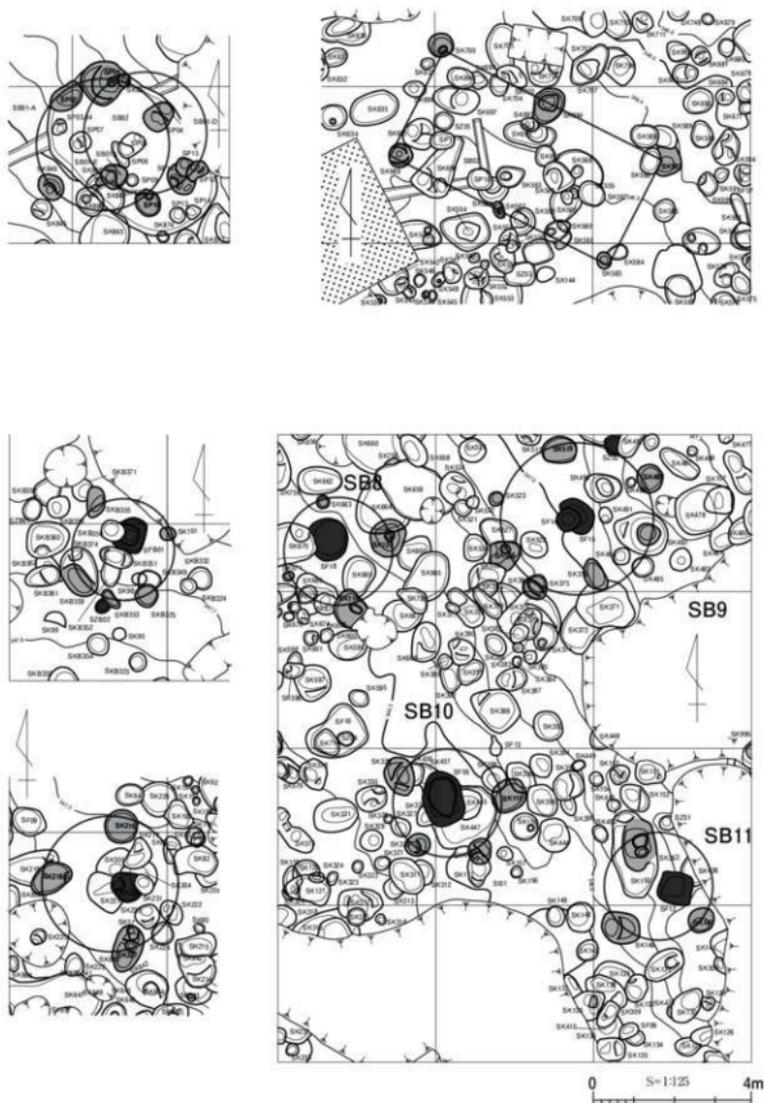
SH16

形状と規模 平面形は長方形である。柱真々で長辺約6.25m・短辺約2.95m、面積約18.4㎡を測る。

柱穴の状況 柱穴は6基（SK761・769・786・879・887・960）で構成される。柱穴の深さは0.11～0.58mを測り、不定である。

3 その他の土坑について

土坑の機能としては、一般的に竪穴住居跡や掘立柱建物跡の柱穴、貯蔵施設、墓などが考えられているが、柱穴を除くと機能を推定できる遺構は少ない。当遺跡においても、遺構の形状や上部遺構の有無から分類作業を行ったが、区分が難しく確認するまでに至らなかった。また、当遺跡で比較的多く出土した骨片のうち、時期の分かる土坑から出土した骨片について同定作業を行ったが、すべて獣骨と同定されたため、土坑の機能を推定するに至らなかった。しかし、掘立柱建物跡の柱穴に比べ、



第9図 竪穴住居跡及び堀立柱建物跡

長・短径が大きい土坑が住居跡の内側の掘立柱建物跡と重複する部分、直径約18mの範囲に分布する。また、石を伴う土坑についても住居跡の内側部分に多いことから、墓域は、住居跡の内側にある可能性が高い。

4 第3調査面検出遺構の空間構成（第10図）

上記の検討を踏まえ、第3調査面検出遺構の空間構成の検討を行う。

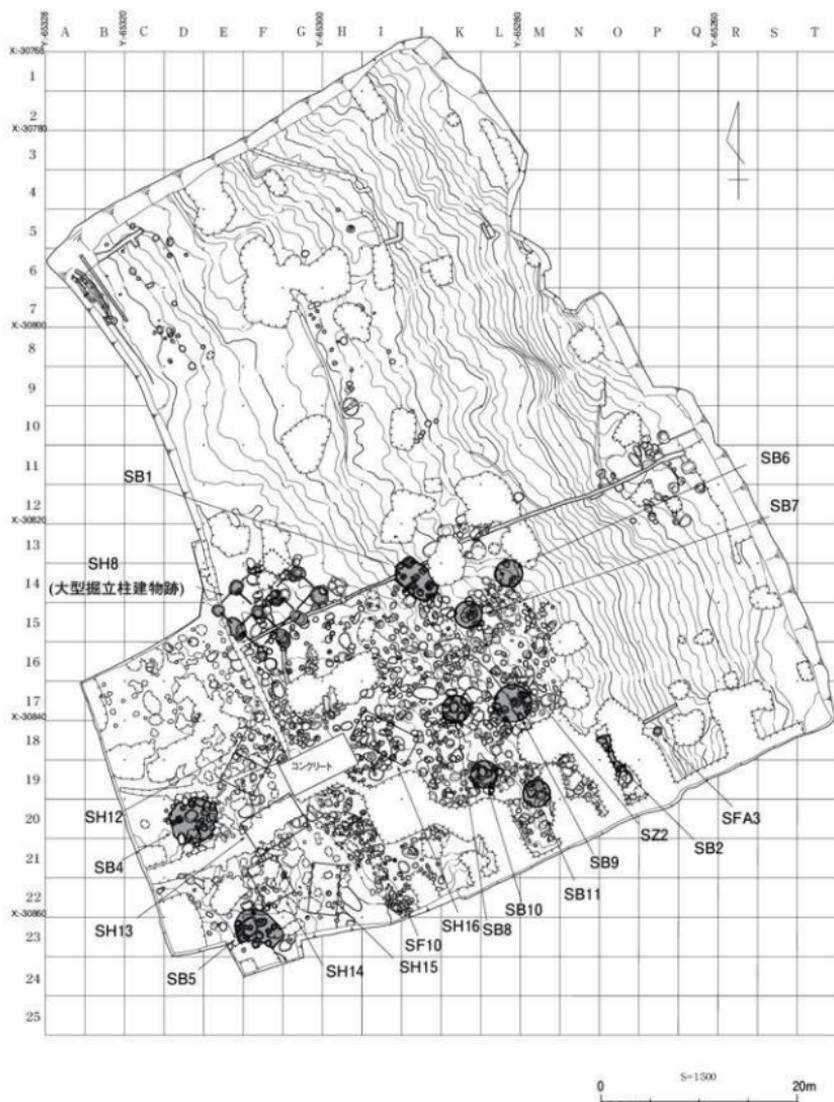
堅穴住居跡の分布状況は概ね環状に配置されている。また、堅穴住居跡は調査区北西側を中心とした一群（SB1・SB2・SB6～SB11）と調査区南西側の一群（SB4・SB5）に分けることができる。この内側には掘立柱建物跡が配置する。墓穴を想定できる土坑は、前述したとおり、掘立柱建物跡と重複する部分に分布する。このことから環状集落の空間構成として指摘されている「集落空間を同心円状に区分する構造」（重帯構造）と、「墓群・住居群・廃棄帯」などを直線的に区分することが可能である。

分節構造については先に述べたとおり、大きく2大群の区分が可能である。廃棄帯は、第5章第3節第3図のように、堅穴住居跡を含む内側に広く分布しており、堅穴住居跡群の分布と同様に大きく2分することができる。

次にSH8の検討を行う。SH8は、2間×3間の総柱の建物跡である。中期の堅穴住居跡内側に配置される掘立柱建物跡と異なり、柱穴の大きさ・深さがともに1m近くある。この時期の規模の大きい掘立柱建物跡の類例として岐阜県関市塚原遺跡のSH9があるが、1間×4間（3.60m×8.21m）であり、本遺跡のSH8（2間×3間、6.30m×8.30m）と比べると小さい。

環状集落の空間構成からみても、SH8は2大群の区分外に位置する。このことから、堅穴住居跡の内側にある掘立柱建物跡とは性格が異なることが想定できる。前述した塚原遺跡では中期の掘立柱建物跡が19棟検出されているが、SH9を含めて堅穴住居跡の内側にあり、掘立柱建物跡の梁及び桁が環状集落構造に沿う。また、堅穴住居跡及び掘立柱建物跡は密接し、重複する傾向にある。しかしながら、当遺跡のSH8は、環状集落構造と掘立柱建物跡の主軸は異なる。また、堅穴住居跡の内側の掘立柱建物跡は軸を同一とする点で異なる。

以上のことから、SH8は、住居跡群の内側を構成する掘立柱建物跡とは性格が異なることが想定でき、性格として、集落のモニュメント的な構造物の可能性もあるが、想像の域を出ない。



第10図 縄文時代中期後半の遺構配置図

第2節 出土した縄文土器の検討

本節では、第4表から第6表で示した縄文土器の各時期及び各分類の出土量をもとに、各時期での出土量の増減を確認し、そのうえで旧徳山村の他遺跡と縄文土器の出土傾向の比較を行う。

1 時期別の縄文土器出土量について

縄文時代早期 当遺跡では早期の土器を63点確認した。S3群とした土器は貝殻条痕調整を確認できない資料ではあるが、胎土中に繊維を含むという早期後半の縄文土器の特徴がある。このため、当該期の土器の大半は早期後半のものと思われる。

縄文時代前期 前期と判断した土器で古いものは北白川Ⅰb類である。先行する羽島下層Ⅱ式はない。次に北白川Ⅱa式、北白川Ⅱb式（古段階）、北白川Ⅱb式（新段階）、北白川Ⅱc式、北白川Ⅲ式と続き、大歳山式まで確認できる。出土量は、北白川Ⅰb式が少なく、北白川Ⅱa式、北白川Ⅱb式（古段階）となると増加し、北白川Ⅱb（新段階）式から北白川Ⅲ式が出土量は更に増加し、ピークとなる。Ⅲ式から大歳山式の土器の中には、過渡期的な土器が少量見られ、大歳山式と認識できるのは、僅かである。

縄文時代中期 船元Ⅰ式から神明式まで確認できる。出土量は、里木Ⅱ式から取組式までまとまって出土し、出土量のピークは里木Ⅱ式となる。竪穴住居跡や掘立柱建物跡のこの時期に該当する。

縄文時代後期 中津式から宮滝式、八日市新保Ⅱ式まで確認できる。出土量は、中津式、一乗寺K式及び元住吉山Ⅱ式、宮滝式がピークとなる。当遺跡でK9群とした土器の多くは、八日市新保式であり、後期末葉の出土量は多いと思われる。八日市新保Ⅱ式の時期の竪穴住居跡を確認した。

縄文時代晩期 寺津式から馬見塚式まで確認でき、西之山式の出土量が多い。

2 他の遺跡の縄文土器出土傾向の比較

小の原遺跡・山手宮前遺跡・榎原神向遺跡で早期後半の土器がまとまって出土したが、当遺跡では少量の出土であり、この時期に該当する遺構もない。早期後半になると、出土量がやや増加するが、こうした状況は上記以外の遺跡と同様の傾向を示す。早期末から前期初頭は、小の原遺跡を除く遺跡で土器が少なくなる傾向にあり、当遺跡も同様の傾向を示す。当遺跡では北白川Ⅱb（新段階）式から北白川Ⅲ式が出土量のピークとなるが、揖斐川本流上流域では最も出土量が多く、この時期に集落を形成する尾元遺跡や上原遺跡と同様の出土傾向を示す。縄文時代中期の土器は船元Ⅰ式が少なく、里木Ⅱ式に出土量のピークとなる。このことは、この時期に集落を形成する戸入村平遺跡・上原遺跡・山手宮前遺跡・塚奥山遺跡と同様の傾向を示す。後期の土器は、断絶なく出土する。後期末に出土量が増加することは、いんべ遺跡と同様の傾向を示す。晩期凸帯文期の土器が増加することは、いんべ遺跡・はいづめ遺跡・上原遺跡と同様の傾向を示す。

第3節 出土した石器の検討

本節では、当遺跡出土の石器群の変遷について検討する。方法として、当遺跡の石器を器種ごとに検討したうえで当遺跡の出土石器の器種別割合を他遺跡と比較し、石器群の変遷を検討する。併せて石器石材を検討する。

1 石器器種の検討

当遺跡では、製品及び剥片・碎片を合わせて、36,435点出土した。これらの石器の所属時期は石器自体で決定することが困難なため、所属時期の分かる遺構内から出土した石器に限定した。時期認定でき、なおかつ一定量出土している遺構は、縄文時代中期の住居跡1軒、中期後葉の住居跡3軒、後期末葉の住居跡1軒の合計5軒の堅穴住居跡に限られ、第14表のとおりとなる。以下、器種ごとに検討する。

石鎌のうち、堅穴住居跡床面直上から出土した資料はSB1から出土した2点のみで、いずれもチャート製で1b1類である。揖斐川町山手宮前遺跡SB6（中期後葉）にも類例があり、中期後葉段階の所産と思われる。石冠はSB3床面直上で1点出土している。半円形の形状は、揖斐川町はいづれ遺跡・上原遺跡で類例はあるが、斧状に整える点で異なる。

次に剥片の石材を検討する。時期別に各石材の割合が変化するかをみるために、堅穴住居跡の残存状態が良いSB3とSB4に限定し比較する。SB3は29点中チャート20点、砂岩・泥岩4点、下呂石3点、サヌカイト2点となる。SB4は43点中チャート42点、黒曜石1点であり、中期後葉では大半がチャートであるが、後期末葉になると下呂石、サヌカイトの割合が増加することが分かる。塚奥山遺跡住居跡資料でも後期末葉から下呂石・サヌカイトの割合が増加するという結果が得られており、後期末葉になると下呂石・サヌカイトが石材として搬入された可能性がある。しかしながら、原礫の状態で持ち込まれたのか、板状の大型剥片なのかは、石核資料がないため不明である。

第14表 堅穴住居跡内出土石器一覧

遺構名	所属時期	遺物名													合計				
		石鎌	石鏃	楔形石器	スクレイパー	石核	切刃石鏃	打欠石鏃	打製石斧	磨製石斧	粗製石器	石製品	石皿	磨・蝕石		RF	UF	剥片	分選確
SB 1	縄文時代中期後葉	21	5	3	4	8	13	9		1	1		2	5	15	2	171		260
SB 2	縄文時代中期		1	1	1											2		10	15
SB 3	縄文時代後期末葉	2	2	2	1	1	7	4	3			1		3	5	11	29		71
SB 4	縄文時代中期後葉			1	1	5	9	4		2				2	7	9	43		85
SB 5	縄文時代中期後葉					1	1								3		2		7

次に遺物包含層出土の縄文土器を時期別に分け、出土地区の違いから土器廃棄ブロックを検討し、これらの時期に帰属する石器群を検討した。しかしながら、第2・3図に示すとおり、縄文土器は時期別に出土場所に傾向はあるものの明確に分けることができない。また、石器も縄文土器が多く出土している場所から出土しており、明確に分けることができない。

形態的な特徴及び徳山の各遺跡の出土傾向から個々の器種の所属時期を検討すると、有舌尖頭器(1132)は草創期から早期前半、左右対称の石匙(1285・1286・1635)や球状耳飾(1445~1448)は前期後葉、石鏃は縄文時代前期後葉、切目石鏃のうち、2類とした泥岩製のもので素材周縁剥離を加えるタイプは前期後葉から中期、大型の石製品類の石棒(1428~1430)は中期後葉、中型の石製品類の石棒・石剣は後期後葉(1431~1436・1700)と思われる。石鏃は1a1類・1a2類は前期後葉が主体であると思われる。当遺跡で出土量の多い基部が浅い弧状に凹むタイプは長二等辺三角形形状のものが多く、斉一性が高い。また、石材も下呂石・安山岩・サヌカイトの割合が多く、特に1d5類は安山岩13、下呂石14、チャート1と在地性の石材を利用した石鏃より他地域の石材を利用した石鏃が多い傾向にある。同様の傾向が、いんべ遺跡下段資料に多くみられることから後期~晩期の所産と思われる。したがって、当遺跡の石器群は明確な時期をすべての器種に対して分離はできないが、有舌尖頭器をのぞき、土器の時期と同様に、縄文時代早期、前期後葉、中期から晩期の複合的な石器群といえる。

2 石器器種別割合の比較

次に、当遺跡と徳山の各遺跡出土の石器の用途別の割合を比較する。比較する石器は、狩猟具(石鏃)、採集具(打製石斧)、漁撈具(石鏃)、調理具(敲石・磨石・凹石)で行った。また、地理的な条件を考慮し、分析を行うために徳山の地域区分を行った(第11図)。区分は、揖斐川本流と西谷の合流点を中心にして半径2kmを目安にエリアを設定し、エリア1を本流上流域(さらにエリア1-1とエリア1-2に分ける)、エリア2を本流と西谷川の合流域、エリア3を西谷川(さらにエリア3-1とエリア3-2に分ける)とした。

時期別エリア別みると、早期ではエリア3の主要石器出土量が多い傾向にある。小の原遺跡の主要石器割合は石鏃が多く、一定量の敲石・磨石・凹石が伴う。前期になると、エリア2の主要石器出土量が増加する。主要石器割合も変化し、上原遺跡第1地点のように石鏃が主体となる。また、打製石斧の出土量が増加する傾向にある。中期~後期になると、エリア1-1で主要石器出土量が増加する。また、エリアごとに主要石器割合が異なり、エリア1では石鏃と石鏃、エリア2では打製石斧と石鏃、エリア3では石鏃が主体となる。また、石器出土量の多い遺跡(2000点以上)と石器出土量の少ない遺跡(2000点未満)の差が顕著になる。石器出土量の多い遺跡は各エリア1遺跡であり、この遺跡のほぼ中間地点に次に石器出土量の多い遺跡が位置する傾向にある。晩期になると、エリア2で打製石斧の出土量が増加する。また、エリア3の主要器種別割合が変化し、エリア3-1では敲石・磨石・凹石、エリア3-2では石鏃と敲石・磨石・凹石が主体となる。

当遺跡の主要石器割合は、石鏃が主体で次いで石鏃となる。主要石器出土量はエリア1-2で最も多い。石鏃が多い傾向は、前期ではエリア2、中期から後期ではエリア1-1でみられる。当遺跡は、形状から前期のものも少量であるが出土していることから前期に導入され、中期以降、増加したものである。石鏃が多い傾向は中期から後期にエリア1-1でみられる現象である。当遺跡の石鏃も形状や石材から後期以降のものが多いことから同様の傾向を示すものと思われる。打製石斧については、主要石器割合からみると少ない傾向にあるが、当遺跡の対岸には、打製石斧の割合が多い檀原神向遺跡があり、補完する関係の可能性があると思われる。

3 小型剥片石器石材の検討

他地域からの搬入石材を検討するため、石器製作過程で生じる非製品（石核・剥片）と製品（小型剥片石器・RF・UFを含む）の石材を第20・21表のとおり集計した。搬入石材は揖斐川上流域で採取可能な石材を除いたもの（第1分冊第2章 p11参照）で、黒耀石・サヌカイト・下呂石を示す。当遺跡では前述したように石鏃については、後期末葉から下呂石やサヌカイト製のものが増加する傾向にあるが、その他の器種については時期を特定できる資料が少ない。このため、徳山の各遺跡の資料と比較することで当遺跡での石材搬入の時期別変遷を検討する。また、徳山の各遺跡の報告で石材や産地を特定する分析についても第16～19表のとおり集計した。集計がない遺跡及び産地同定した遺物ではできる限り実見し、集計及び遺物名の変更をした。

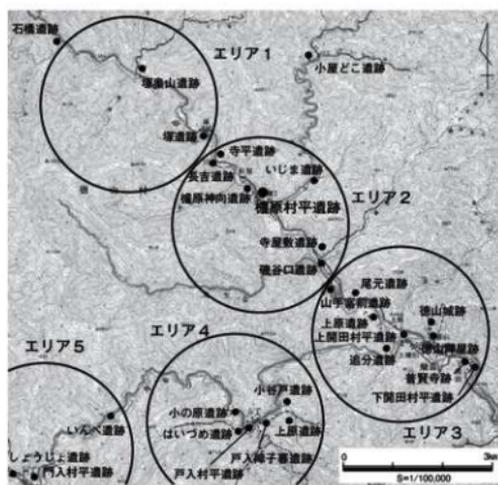
徳山における石材原産地推定結果の表（以下、「分析表」とする。）及び石器石材表（以下、「石材表」とする。）を集計すると以下のことが推定できる。

- ①黒耀石 縄文時代前期は長野県霧ヶ峰産が入る（分析表の上原第1地点資料）。小の原遺跡資料で石核1点出土していることから、石器の素材として搬入された可能性がある（石材表）。縄文時代中期から後期では霧ヶ峰産の他に静岡県柏崎西産・東京都神津島産が入る。上原第3地点資料で製品の他に霧ヶ峰産の原礫面の残る石核2点があることから、前期に引き続き、石器の素材として搬入された可能性がある（分析表）。分析数が少ないが、静岡県柏崎西産・東京都神津島産の石核がないことから製品のみ搬入された可能性がある。後期から晩期になると出土点数が少なくなる傾向にある。
- ②サヌカイト 縄文時代前期は奈良県二上山産で非製品も入る（分析表の小の原遺跡・上原遺跡資料）。上原第一地点では、製品・非製品ともあり、一定量出土することから、素材として搬入され、加工された可能性がある（石材表）。縄文時代中期から後期は二上山産のほか香川県金山産も搬入する（分析表の戸入村平遺跡・上原遺跡資料）。晩期は、いんべ遺跡・はいづめ遺跡をみると製品・非製品ともあり、一定量出土することから、素材として搬入され、加工された可能性がある（石材表）。
- ③下呂石 縄文時代前期から入る。上原遺跡では角礫面のある剥片2点が入る（分析表）。戸入村平遺跡・上原遺跡・いじま遺跡をみると、縄文時代中期にかけて増加することが分かる（石材表）。さらに縄文時代後期～晩期にかけて増加し、円礫面のある石核及び楔形石器が入る（石材表のはいづめ遺跡）。

以上のことから、搬入石材の時期的変遷は以下のようになる。

前期の石材産地は150km圏内のとどまる。中期から後期になると、黒耀石の石核が入る。また、産地は柏崎西、神津島、金山と約250km圏内に広がる。ヒスイ製品も搬入するようになる。晩期になると黒耀石が減少し、下呂石製品が増加する。下呂石は円礫面を残す石核も見られるようになる。

当遺跡の搬入石材は他の遺跡と比較すると、下呂石の量が多い傾向にある。石器別では、石鏃・石錐・楔形石器・RF・剥片が多い。石鏃は前述したように後期以降の基部が浅い弧状に凹むタイプで規格性が高く、石材は下呂石・安山岩・サヌカイトの割合が多い。石錐は、側面に極浅剥離を持つものが多い。また、楔形石器が多いことを踏まえるならば、後期以降、下呂石を利用した剥片石器生産が行われた可能性が高い。サヌカイトは製品が多器種にわたり、時期を特定できる資料が少ないため、時期的な推移が不明である。黒耀石は出土量が少なく、製品も石鏃・尖頭器・異形石器など特定な器種に限られる。剥片は破片に近いことから、製品として少量搬入された可能性が高い。



(国土地理院発行の5万分の1地形図「冠山」平成7年)

第11図 徳山の遺跡位置図

第15表 石器主要器種割合表

エリア	遺跡名	主体時期	石鏃		打製石斧		石鏃		磨・磨・凹石		(計)
			点数	割合	点数	割合	点数	割合	点数	割合	
1-1	塚原山 塚	中～後期主体	4392	43%	485	5%	4356	43%	959	9%	10192
		中期後葉～後期主体	229	22%	105	10%	625	59%	100	9%	1059
合計			4621	41%	590	5%	4981	44%	1059	9%	11251
1-2	徳原神向 寺屋敷 長吉 磯谷口 いじま 穂原村平	早期前半～中期	11	15%	21	29%	3	4%	38	52%	73
		早期後半～中期主体	13	54%	0	0%	0	0%	11	46%	24
		早期～晩期	3	11%	24	86%	0	0%	1	4%	28
		中～後期主体	2	4%	14	31%	27	60%	2	4%	45
		中期後半主体	80	34%	14	6%	113	48%	31	13%	238
		前～晩期主体	1868	29%	184	3%	3425	54%	880	14%	6337
合計			1977	29%	257	4%	3568	53%	963	14%	6765
2	下関田村平①・Ⅱ層 上原1 上原4 尾元 山手宮前 上関田村平 上原3 上原2 下関田村平Ⅱ層 追分 上原6	早期主体	2	67%	0	0%	0	0%	1	33%	3
		前期後葉主体	244	15%	204	12%	911	55%	302	18%	1661
		早～中期主体	6	8%	34	43%	25	32%	14	18%	79
		前～中期主体	62	19%	158	48%	48	15%	59	18%	327
		中期主体	69	19%	30	9%	233	66%	23	7%	355
		中期主体	39	13%	42	14%	179	57%	52	17%	312
		中期主体	31	26%	68	57%	10	8%	10	8%	119
		中～後期主体	809	16%	676	13%	3198	63%	408	8%	5091
		中～晩期主体	10	9%	33	29%	51	45%	19	17%	113
		後～晩期主体	3	4%	68	84%	8	10%	2	3%	81
時期不明	1	3%	26	79%	6	18%	0	0%	33		
合計			1276	16%	1339	16%	4669	57%	890	11%	8174
3-1	小の原遺跡 戸入村平 はいづめ	早～前期主体	1415	73%	28	1%	24	1%	466	24%	1933
		中期主体	622	21%	198	7%	1633	56%	489	17%	2942
		晩期主体	34	4%	64	8%	15	2%	663	85%	776
合計			2071	37%	290	5%	1672	30%	1618	29%	5651
3-2	いんべ上 いんべ下	早～中期	130	44%	14	5%	96	33%	53	18%	293
		後～晩期	84	40%	5	2%	19	9%	101	48%	209
合計			214	43%	19	4%	115	23%	154	31%	502

※網掛けの部分は、4つの石器のなかで1番多いものと2番目に多いもの（1番目の半分以下）のものを示す。

第16表 ヒスイの原産地分析

遺跡名	分析番号	出土地点	石材	時代	判定	遺物名	出典
戸入村平遺跡	34727	P414	ヒスイ	縄文時代中期～後期主体	糸魚川	玉	戸入村平遺跡
樺島山遺跡	55708	14-TW4K I 003	ヒスイ	縄文時代中期～後期主体	糸魚川	玉	上原遺跡 I
樺島山遺跡	93294	15-TW8E II 088	不明	縄文時代中期～後期主体	不明	磨製石斧(定角式)	上原遺跡 I

第17表 黒曜石の原産地分析

遺跡名	分析番号	出土地点	石材	時代	判定	遺物名	出典
上原遺跡第1	31421	SK44	黒曜石	縄文時代前期	和田峠	異形石器	戸入村平遺跡
上原遺跡第1	50813	1-96AH1L 78 II 17368	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50815	3-96AH1P 77 III 19649	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50818	6-96AH1X 67 II 15972	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50819	7-96AH1N 72 II 14921	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50820	8-96AH1L 74 III 17796	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50821	9-AH1G 71 II 2711	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50822	10-AH1K 75 II 2039	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50824	12-AH1J 68 I 006	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50826	14-96AH1M 74 III 14869	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50827	15-96AH1M 72 II 15227	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50828	16-96AH1U 69 II 15880	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50829	17-AH1SB10-7625	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50830	18-96AH1L 70 II 14122	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50831	19-AH1J 73 II 1229	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第1	50832	20-AH1J 74 II 2957	黒曜石	縄文時代前期後葉～末葉	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
山手宮前遺跡	47860	1-00B, S86	黒曜石	縄文時代中期後葉	霞ヶ峰	刮片	山手宮前遺跡
山手宮前遺跡	47861	2-029, S86	黒曜石	縄文時代中期後葉	和田峠	刮片	山手宮前遺跡
戸入村平遺跡	31413	S81	黒曜石	縄文時代中期後葉	霞ヶ峰	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31414	S81	黒曜石	縄文時代中期後葉	霞ヶ峰	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31415	S82	黒曜石	縄文時代中期後葉	霞ヶ峰	刮片	戸入村平遺跡
上原遺跡第3	50814	2-95AH3-83u I 770	黒曜石	縄文時代中期主体	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
上原遺跡第3	50816	4-95AH3-80u I 350	黒曜石	縄文時代中期主体	霞ヶ峰	石核	上原遺跡 I
上原遺跡第3	50817	5-95AH3-80v I 368	黒曜石	縄文時代中期主体	霞ヶ峰	石核	上原遺跡 I
上原遺跡第3	50823	11-95AH3表併011	黒曜石	縄文時代中期主体	霞ヶ峰	ドリル	上原遺跡 I
上原遺跡第3	50825	13-95AH3-78u I 762	黒曜石	縄文時代中期主体	霞ヶ峰	UF	上原遺跡 I
戸入村平遺跡	31416	8K	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	神津島	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31417	9E	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	神津島	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31418	11J	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31419	5M	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31420	12M	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31423	7L	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	柏崎西	微細片	戸入村平遺跡
上原遺跡第2	50849	1-AH96 II 040	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50850	2-AH1J9035	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50851	3-93AH138 I 008	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50852	4-AH16K II 059	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50853	5-AH17L II 071	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50854	6-AH18J II 051	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50855	7-AH18L II 045	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50856	8-93AH190 II 011	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50857	9-AH21K II 110	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50858	10-AH23H I 042	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50859	11-AH23H I 091	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50860	12-AH23J I 120	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50861	13-AH25F II 039	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50862	14-AH25J I 059	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50863	15-92AH25J 061	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50864	16-92AH25K241-089	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡第2	50865	17-92AH25K262-002	黒曜石	縄文時代中期～後期主体	霞ヶ峰	刮片	上原遺跡 I
上原村平遺跡	31422	SK34	黒曜石	縄文時代中期末～後期	霞ヶ峰	微細片	戸入村平遺跡

第18表 下呂石の原産地分析

遺跡名	分析番号	出土地点	石材	時代	判定	遺物名	出典
上原遺跡1	50847	35-AH11 74 II 1189	流紋岩	縄文時代前期後葉～末葉	下呂	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡1	50848	36-AH1K 77 II 236	流紋岩	縄文時代前期後葉～末葉	下呂	刮片	上原遺跡 I
戸入村平遺跡	31425	S81	流紋岩	縄文時代中期後葉	下呂	刮片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31433	6H	流紋岩	縄文時代中期～後期主体	下呂	刮片	戸入村平遺跡
上原遺跡2	50889	41-AH11F I 003	流紋岩	縄文時代中期～後期主体	下呂	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡2	50890	42-93AH14H II 049	流紋岩	縄文時代中期～後期主体	下呂	刮片	上原遺跡 I
上原遺跡2	50891	43-92AH40B II 002	流紋岩	縄文時代中期～後期主体	下呂	刮片	上原遺跡 I
戸入村平遺跡	31455	4I	流紋岩	縄文時代中期～後期主体	下呂	刮片	戸入村平遺跡

第19表 サヌカイトの原産地分析

遺跡名	分析番号	出土地点	石材	時代	判定	遺物名	出典
小の原遺跡	31435	S81	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31436	S81	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31437	S81	サヌカイト	縄文時代前期	不明	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31438	S81	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31439	S81	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31440	S81	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31441	S82	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31442	S82	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
小の原遺跡	31443	S82	サヌカイト	縄文時代前期	二上山	割片	戸入村平遺跡
上原遺跡第2	50833	21-AH1F' 63 II 2129	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	石核	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50834	22-AH1K' 63 II 002	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	RF	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50836	24-96AH1W' 74 II 14745	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	割片	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50838	26-96AH1K' 71 III 117801	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	RF	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50839	27-96AH1N' 76 II 13951	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	UF	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50840	28-96AH1W' 69 II 13938	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	RF	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50841	29-96AH1Q' 75 I 001-2	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	RF	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50842	30-AH1H' 61 II 2286	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	割片	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50843	31-96AH1N' 72 II 14302	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	石核か	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50844	32-AH1G' 68 II 6454	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	RF	上原遺跡Ⅱ
上原遺跡第2	50846	34-AH1I' 70 II 4293	サヌカイト	縄文時代前期後葉～末葉	二上山	UF	上原遺跡Ⅱ
戸入村平遺跡	31424	S81	サヌカイト	縄文時代中期後葉	金山東	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31426	S82	サヌカイト	縄文時代中期後葉	金山東	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31427	S83	サヌカイト	縄文時代中期中葉	二上山	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31428	S84	サヌカイト	縄文時代中期後葉	二上山	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31429	S84	サヌカイト	縄文時代中期後葉	二上山	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31430	106	サヌカイト?	縄文時代中期～後期主体	不明	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31431	5M	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31432	7W	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	戸入村平遺跡
戸入村平遺跡	31456	4E	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	戸入村平遺跡
上原遺跡第2	50866	18-AH6D II 004	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50867	19-AH6J I 003	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	金山東	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50868	20-93AH9R006	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50869	21-AH1I I 008	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50870	22-AH11N I- II 008	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50871	23-AH12H I 013	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50872	24-AH15E II 059	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50873	25-93AH15 II 056	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50874	26-93AH16D II 001	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50875	27-AH19M II 004	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50876	28-AH20K II 105	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	不明	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50877	29-AH22K II 126	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50878	30-AH23J II 073	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50879	31-92AH24E II 001	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50880	32-92AH26C II 002	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50881	33-AH26H II 033	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50882	34-92AH27G II 006	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50883	35-92AH30J II 049	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	不明	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50884	36-92AH33G II 021	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50885	37-91AH315-16-001	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50886	38-92AH32K271-002	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50887	39-93AH335-002	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	不明	割片	上原遺跡Ⅰ
上原遺跡第2	50888	40-92AHP161-002	サヌカイト	縄文時代中期～後期主体	二上山	割片	上原遺跡Ⅰ

第20表 徳山の各遺跡主要石器別石材一覧表(1)

植原村平遺跡 前期～後期主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	4	12	199	1457	199	1871
尖頭鏃	1	0	0	6	1	8
石鏃	0	15	103	301	9	508
石鏃	0	12	2	104	24	142
スクレイパー	0	16	0	826	10	852
眞形石器	1	1	0	9	4	15
楔形石器	0	10	32	215	39	296
R・F	0	8	48	1811	117	1984
U・F	1	0	7	703	8	719
削片	12	174	821	21907	1841	24815
石核	0	0	1	362	13	396
計	19	248	1213	27861	2265	31606
製品数	6	56	304	2783	247	6395

植原神向遺跡 早期前半主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	0	0	0	15	0	15
尖頭鏃	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	5	0	5
石鏃	0	0	0	1	0	1
スクレイパー	0	0	1	50	1	52
眞形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	15	0	15
R・F	0	0	0	38	0	38
U・F	0	0	1	36	0	37
削片	0	0	0	293	1	294
石核	0	0	0	33	1	34
計	0	0	1	485	3	489
製品数	0	0	1	71	1	161

小の原遺跡 早～前期主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	0	37	23	1355		1415
尖頭鏃	0	1	0	6	2	9
石鏃	0	2	0	278		280
石鏃	0	3	1	204		4
スクレイパー	0	4	0	4	536	4
眞形石器	0	5	0	11	5	21
楔形石器	0	1	0	131		1
R・F	0	2	2	612		4
U・F	0	0	0	782		0
削片	3	87	7	32835		97
石核	1	6	0	7	550	7
計	4	148	33	37300	2	37487
製品数	0	52	24	2396	2	2789

寺屋敷遺跡 早～中期主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	0	0	0	11	2	13
尖頭鏃	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	4	0	4
石鏃	0	0	0	3	1	4
スクレイパー	0	0	0	19	0	19
眞形石器	0	0	0	0	1	1
楔形石器	0	0	0	0	0	0
R・F	0	0	0	18	1	19
U・F	0	0	0	17	0	17
削片	0	0	0	102	9	111
石核	0	0	0	2	1	2
計	0	0	0	176	15	190
製品数	0	0	0	37	4	77

尾元遺跡 前～中期主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)	
石鏃	0	4	4	2	96	0	62
尖頭鏃	0	0	0	1	0	1	
石鏃	0	0	0	24	0	24	
石鏃	0	1	1	5	0	7	
スクレイパー	0	0	1	49	5	55	
眞形石器	0	0	0	0	0	0	
楔形石器	0	0	0	25	0	25	
R・F	0	0	1	169	14	184	
U・F	0	0	3	382	10	395	
削片	1	2	2	685	54	744	
石核	0	2	0	10	3	15	
計	1	10	9	1406	86	1512	
製品数	0	5	4	135	5	753	

下関田村平遺跡VI・VII 早期主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	0	0	0	1	1	2
尖頭鏃	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	1	0	1
スクレイパー	0	0	0	2	0	2
眞形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	0	0	0
R・F	0	0	0	0	0	0
U・F	0	0	0	4	0	4
削片	0	0	0	30	0	30
石核	0	0	0	0	4	4
計	0	0	0	38	5	43
製品数	0	0	0	4	1	9

長吉遺跡 早期後半主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	0	0	0	3	0	3
尖頭鏃	0	0	0	1	0	1
石鏃	0	0	0	7	0	7
石鏃	0	0	0	1	0	1
スクレイパー	0	0	0	6	0	6
眞形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	8	0	8
R・F	0	0	0	4	0	4
U・F	0	0	0	0	0	0
削片	0	2	0	344	14	360
石核	0	0	0	11	0	11
計	0	2	0	385	14	401
製品数	0	0	0	18	0	30

いんへ遺跡上段 早～中期

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	0	1	2	126	1	130
尖頭鏃	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	1	42	0	43
石鏃	0	1	0	17	0	18
スクレイパー	0	0	0	28	0	28
眞形石器	0	0	0	1	0	1
楔形石器	0	0	0	5	0	5
R・F	0	0	0	81	0	81
U・F	0	0	0	95	1	96
削片	0	0	6	3366	22	3394
石核	0	0	0	53	0	53
計	0	2	9	3814	24	3849
製品数	0	2	3	214	1	402

上原遺跡第1地点 前期後半主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	5	5	6	228	0	244
尖頭鏃	0	3	0	9	1	12
石鏃	1	1	0	96	1	99
石鏃	0	2	0	24	0	26
スクレイパー	0	1	1	189	2	193
眞形石器	0	0	0	2	0	2
楔形石器	0	0	0	6	0	6
R・F	5	9	2	420	1	437
U・F	6	3	0	256	0	265
削片	20	5	0	5332	188	7338
石核	0	2	0	113	3	115
計	37	31	9	6674	188	8737
製品数	6	12	7	547	4	1284

山手宮前遺跡 中期主体

	黒曜石	サヌカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏃	3	0	1	60	5	69
尖頭鏃	0	0	0	1	0	1
石鏃	0	0	0	11	0	11
石鏃	0	0	0	5	1	6
スクレイパー	0	0	0	16	0	16
眞形石器	0	0	0	1	1	2
楔形石器	1	0	0	3	0	4
R・F	2	0	0	58	0	60
U・F	0	0	0	49	0	49
削片	2	0	0	667	53	722
石核	0	0	0	28	2	30
計	8	0	1	899	62	970
製品数	3	0	1	94	7	218

第21表 徳山の各遺跡主要石器別石材一覧表(2)

上屋田村平遺跡 中期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	1	2	1	35	0	39
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	8	0	8
石砦	0	0	0	6	0	6
スクレイパー	0	1	0	21	0	22
磨形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	1	1	0	3	0	5
R・F	0	0	0	44	0	44
U・F	0	0	0	154	0	154
削片	1	0	2	1235	77	1315
石核	0	0	0	144	0	144
計	3	4	3	1650	77	1737
製品数	1	3	1	70	0	278

上屋遺跡第2地点 中～後期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	3	64	14	727	1	809
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	10	1	243	0	254
石砦	0	12	0	27	1	40
スクレイパー	0	8	3	407	2	411
磨形石器	1	2	0	2	0	5
楔形石器	1	16	2	221	0	240
R・F	0	12	1	691	0	704
U・F	4	14	2	857	0	877
削片	20	472	47	14000	0	14539
石核	0	4	0	0	0	4
計	29	614	70	17175	4	17483
製品数	4	96	18	1406	4	2940

磯谷口遺跡 中～後期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	1	0	0	1	0	2
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	0	0	0
石砦	0	0	0	1	0	1
スクレイパー	0	0	0	0	0	0
磨形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	0	0	0
R・F	0	0	0	3	0	3
U・F	0	0	0	3	0	3
削片	0	0	0	31	1	32
石核	0	0	0	1	0	0
計	1	0	0	65	1	66
製品数	1	0	0	2	0	140

下屋田村平遺跡Ⅱ層 中～晩期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	0	0	0	10	0	10
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	0	0	0
石砦	0	0	0	0	0	0
スクレイパー	0	0	0	8	0	8
磨形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	12	0	12
R・F	0	0	0	8	0	8
U・F	0	0	0	5	0	5
削片	0	0	0	425	0	425
石核	0	0	0	12	0	12
計	0	0	0	480	0	480
製品数	0	0	0	18	0	43

いんべ遺跡下段 晩期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	0	24	9	52	1	86
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	4	0	4
石砦	0	0	0	2	0	2
スクレイパー	0	5	1	2	0	8
磨形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	2	0	2
R・F	0	2	1	11	0	14
U・F	0	0	0	10	0	10
削片	0	86	42	650	17	795
石核	0	1	0	2	0	3
計	0	118	53	739	18	928
製品数	0	29	10	64	1	130

戸入村平遺跡 中期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	1	43	18	560	0	622
尖頭器	0	1	0	1	0	2
石鏃	0	8	3	226	0	237
石砦	0	0	0	14	0	14
スクレイパー	1	7	0	316	2	326
磨形石器	0	0	0	1	0	1
楔形石器	0	1	0	242	0	243
R・F	0	2	2	228	1	233
U・F	0	3	1	300	1	305
削片	20	196	71	11340	214	11841
石核	0	2	0	123	3	128
計	22	268	95	13351	221	13957
製品数	2	64	21	1118	2	1988

いじま遺跡 中期後半主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	0	0	4	83	3	90
尖頭器	0	0	0	1	0	1
石鏃	1	0	0	18	0	19
石砦	0	1	0	5	0	6
スクレイパー	0	0	1	142	3	146
磨形石器	0	1	0	0	0	1
楔形石器	0	0	0	24	0	24
R・F	0	0	2	153	3	158
U・F	2	0	0	179	0	181
削片	0	2	8	681	14	695
石核	0	0	0	29	1	30
計	3	4	15	1285	24	1331
製品数	1	2	5	249	6	626

塚遺跡 中～後期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	1	1	7	221	0	230
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	43	0	43
石砦	0	0	0	1	0	1
スクレイパー	0	0	1	196	0	197
磨形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	28	0	28
R・F	1	1	0	134	0	136
U・F	1	0	0	140	3	144
削片	11	23	8	351	164	377
石核	0	1	2	38	1	42
計	14	26	18	432	168	458
製品数	1	1	8	461	0	779

追分遺跡 後～晩期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	0	0	0	3	0	3
尖頭器	0	0	0	0	0	0
石鏃	0	0	0	0	0	0
石砦	0	0	0	2	0	2
スクレイパー	0	0	0	2	0	2
磨形石器	0	0	0	0	0	0
楔形石器	0	0	0	0	0	0
R・F	0	0	0	140	3	144
U・F	0	0	0	0	0	0
削片	0	0	0	42	1	43
石核	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	49	1	50
製品数	0	0	0	7	0	7

はいづめ遺跡 晩期主体

	黒曜石	ササカイト	下呂石	チャート	その他	(計)
石鏢	1	0	1	21	11	34
尖頭器	0	0	0	1	0	1
石鏃	0	0	0	0	0	0
石砦	0	0	0	5	3	8
スクレイパー	0	0	0	7	3	10
磨形石器	0	0	0	1	0	0
楔形石器	0	0	2	1	3	6
R・F	1	14	6			21
U・F	0	1	1			2
削片	6	46	36	256	17	361
石核	0	1	1	1	0	3
磨材削片	0	1	0	0	0	1
計	9	63	47	293	37	447
製品数	1	0	3	36	20	63

部分を確認できなかったことを示す

第4節 結語

調査結果として得られた考古学的成果と、旧徳山村域における当遺跡の評価を箇条書きとし、本書のまとめとする。

- ・東日本の縄文時代中期の遺跡で多く認められる環状集落の空間構成を持つことが明らかになった。旧徳山村域では、塚奥山遺跡、上原遺跡、戸入村平遺跡で環状集落の構造を持つことが報告されている。これらの遺跡の石器出土量は他の遺跡と比べ、格段に多いことから、拠点的な集落である可能性が高い。
- ・本報告の検討結果から拠点集落とされる遺跡は搬入石材使用の剥片・石核・製品の割合が多いことが分かった。特に、当遺跡では下呂石の剥片・石核・製品が多いことから縄文時代後期以降、交易センターとしての役割を担っていた可能性がある。
- ・当遺跡の主要石器の検討から、前期後葉以降石錘が導入され、中期以降に増加し、後期以降は石鎌が増加する傾向があることが分かった。打製石斧の出土割合は少ないが、当遺跡の対岸の榎原神向遺跡と補完する関係の可能性が想定できる。
- ・出土土器は、縄文時代早期後半から晩期前葉まで、ほぼ連続と認められ、中期後葉の土器が一定量を占めることを確認した。また、前期後葉、後期後葉の土器も一定量出土することから、当遺跡が各時期を通じて集落の役割を担っていた可能性がある。
- ・2間×3間の総柱の建物跡（SH 8）を確認した。この遺構は、環状構造を持つ集落跡で堅穴住居跡群の内側に配置されることが多い掘立柱建物跡とは性格が異なり、集落のモニュメント的な構造物の可能性が高い。

引用・参考文献

- 赤羽一郎 1984 『常滑焼～中世窯の様相～』ニューサイエンス社
- 泉拓良 1981 『近畿地方の土器』『縄文文化の研究4 後期Ⅱ』種山園
- 1984 『第2節遺物Ⅰ、遺物』『栗津貝塚湖底遺跡』滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会
- 1985 『1 中期末縄文土器の分析』『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅲ-北白川追分町縄文遺跡の調査-』京都大学埋蔵文化財研究センター
- 1996 『歴史発掘② 縄文土器出現』講談社
- 宇野隆夫 1992 『食器計量の意義と方法』『国立歴史民俗資料館研究報告』第40集
- 小野正敏 1991 『城館出土の陶磁器が表現するもの』『中世の城と考古学』
- 2002 『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会
- 小野木学 1997 『美濃地方における中世前期の土師器皿の様相』『美濃の考古学』第2号美濃考古学会4 刊行会
- 江戸遺跡研究会 2001 『図説 江戸考古学研究辞典』柏書房
- 大下明 2003 『縄文時代の石器Ⅱ-関西の縄文前期・中期-』
- 『関西における縄文時代前・中期石器群の概要と組成の検討』
- 岐阜県教育委員会 1985 『掛斐川上流域徳山ダム・杉原ダム水没地区埋蔵文化財分布調査報告書』
- 小林達雄・小川忠博 1989 『縄文土器大観1 草創期・早期・前期』小学館
- 『縄文土器大観2 中期Ⅰ』小学館
- 『縄文土器大観3 中期Ⅱ』小学館
- 『縄文土器大観4 後期・晩期・続縄文』小学館
- 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1996 『古瀬戸をめぐる中世陶器の世界～その生産と流通～』

- 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1997「瀬戸美濃系大室とその周辺」
- 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2001「瀬戸大室とその周辺」
- 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2002「財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 江戸時代の瀬戸窯」
- 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2003「財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 江戸時代の美濃窯」
- 財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 2004「財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 江戸時代の瀬戸・美濃窯」
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1995「下巾上道跡」
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 2001「佐口道跡」
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 2002「徳山降屋跡」
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1994「戸入村平道跡」岐阜県文化財保護センター調査報告書第11集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1997「山手宮前道跡」岐阜県文化財保護センター調査報告書第28集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1997「西田道跡」岐阜県文化財保護センター調査報告書第29集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1998「塚道跡」岐阜県文化財保護センター調査報告書第27集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 2000「いんべ道跡」岐阜県文化財保護センター調査報告書第55集
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 2000「戸入村平道跡Ⅱ小谷戸道跡」岐阜県文化財保護センター調査報告書第64集
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2003「尾元道跡」
- 岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第82集
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2003「寺平道跡」
- 岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第83集
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2005「重竹道跡・上西田道跡」
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2005「土岐口西山3・4号古窯跡」
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2006a「いじま道跡・権原神向道跡」
- 岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第95集
- 菅原正明 1989「西日本における瓦器生産の展開」『国立歴史民俗博物館研究報告19集』
- 瀬戸市史編纂委員会 1998「瀬戸市史 陶磁史篇一〜五」
- 瀬戸市民俗資料館 1986「瀬戸大室発掘調査報告」『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要』
- 田口昭二 1983「考古学ライブラリー17 美濃焼」ニューサイエンス社
- 2001「美濃焼とは 古代から江戸時代まで」
- 中世土器研究会編 1996「概説 中世の土器・陶磁器」
- 郡立学校遺跡調査会 1990「白鳳」
- 中野晴久 1997「瓷器系中世陶器の生産」財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター
- 長谷川幸志 2006「徳山縄文時代の建物遺構について」『徳山特別展 講演会』発表要旨
- 岐阜県教育文化財団文化財保護センター
- 長谷部宗爾 1995「日本出土の中国陶磁」平凡社版
- 藤沢良祐 1994「山茶碗研究の現状と課題」『研究紀要第3号』三重県埋蔵文化財センター
- 藤沢良祐 1986「古瀬戸」『概説一 中世の土器・陶磁器』
- 藤沢良祐他 1996「古瀬戸をめぐる中世陶器の世界へその生産と流通〜」財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター
- 藤沢良祐他 1986「瀬戸大室発掘調査報告」『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要』V 瀬戸市民俗資料館
- 藤沢良祐他 1997「瀬戸美濃系大室とその周辺」財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター
- 藤沢良祐他 1998「瀬戸市史 陶磁史篇一」瀬戸市史編纂委員会
- 藤沢良祐他 2001「瀬戸大室とその周辺」財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター
- 藤沢良祐他 2002「財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 江戸時代の瀬戸窯」
- 藤沢良祐他 2003「財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 江戸時代の美濃窯」
- 藤沢良祐他 2004「財団法人 瀬戸市埋蔵文化財センター企画展 江戸時代の瀬戸・美濃窯」
- 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 1997「常安王神の森道跡」福井県埋蔵文化財調査報告書第35集
- 増子康真 1998「東海地方西部地域の縄文中期後半土器編年再考」『古代人』第59号 名古屋古学学会
- 増子康真 2003「東海地方の縄文後期中葉土器群の研究一特に近畿との関係〜」『縄文時代』第14号 縄文時代文化研究会
- 増子康真・山下勝年 2002a「東海西部の縄文中期前葉土器編年」『古代人』第62号 名古屋古学学会
- 増子康真・山下勝年 2002b「山田平式について」『伊勢湾考古』第16号 知多古文化研究会
- 町田勝則 1996「石器の研究法」『長野県の考古学』財団法人長野県埋蔵文化財センター研究論集I

第22表 中近世陶磁器観察表 (A・B区) (1)

採集番号	写 真 図 番 号	遺跡	区画 東西 南北	種類・産地	器種・分類	部位	法量 (cm)			残存率 口縁 (A・I2) 底面 (B・4)	調整	胎土色調	陶質	時期・型式	備考		
							口縁	高さ	底径								
1	1	5I1A	E 7-8	中国産白磁	面取立	口縁部	(8.0)	-	-	1.6	-	ヘラ調整/ヘラ調整	10YR/2	白磁陶	18c後半-18c前半	見込みにトナリあり。	
2	1	5I1A	E 7-8	韓国産陶磁	壺	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	-	V期前半		
3	1	5KX74	E 8	京産産陶磁	壺	口縁部	(29.2)	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ ナデ+指圧	10YR/2	-	6b形式		
4	1	5KA87	E 11	瀬戸東濃陶磁 (大)	平碗	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	灰陶	大塚1段階		
5	1	5KA205	H 16	中国産青磁	瓶	底部	-	-	-	1	-	回転ナデ/回転ナデ	N8/0	青磁陶	小野分蔵C群	見込みに「新式」あり。	
6	1	5KA8	C 6	瀬戸東濃陶磁 (大)	丸罎	底部	-	-	5.2	-	4	新出高倉・回転ナデ /回転ナデ	10YR/3	鉄釉	遠藤3-4小期		
7	1	5KA9	C 6	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5Y7/1	灰陶	遠藤3期		
8	1	5KA9	C 6	韓国産陶磁	壺	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	7.5YR/3	-	V期後半		
9	1	5KS	C 6	瀬戸東濃陶磁 (大)	椀鉢	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ /回転ナデ	10YR/3	鉄釉	遠藤6小期		
10	1	5KA3	C 5	瀬戸東濃陶磁 (大)	天目茶碗	底部	-	-	4.9	-	4	新出高倉・回転ナデ /回転ナデ	10YR/3	鉄釉	遠藤3-4小期		
11	1	5KA3	C 5	肥前産土佐磁器	小皿	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/1	透明釉	-		
12	1	5S025	I 14	吉野川系陶磁	平碗	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/1	透明釉	遠藤3/古		
13	1	5S026	I 14 12	吉野川系陶磁	平碗	口縁部	(16.8)	-	-	3.2	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	灰陶	遠藤3/新		
14	1	5S026	I 14	吉野川系陶磁	椀鉢	口縁部	(29.6)	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/3	鉄釉	遠藤3/新		
15	1	5S026	I 14	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	(13.2)	-	-	2.0	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	灰陶	遠藤3/新		
16	1	5S026	I 14	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	(10.1)	-	-	1.2	-	回転ナデ/回転ナデ	7.5YR/2	灰陶	遠藤3/新		
17	1	5S026A	K 18	瀬戸東濃陶磁 (大)	椀鉢	口縁部	(25.4)	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/4	鉄釉	大塚1段階		
18	1	5S026A	K 18	中国産土佐磁器	菓子碗	口縁部	(12.5)	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5B/2	透明釉	小野分蔵C群	芭蕉葉文・漢 蓮文あり	
19	1	5K114 SK27	P 11 11	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	(11.6)	-	-	1.8	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5B/2	灰陶	遠藤3/新		
20	1	5K114	P 11	吉野川系陶磁	椀鉢	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/3	鉄釉	遠藤3/新		
21	1	5K114	P 11	瀬戸東濃陶磁 (大)	水注	口縁部	(8.1)	(1.7)	(4.8)	2.5	1	回転ナデ+底部回転承 せり底/回転ナデ	10YR/4	縁飾鉄釉	遠藤1-2小期		
22	1	5K114	P 11	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	灰陶	遠藤3/古		
23	1	5K119	P 11	中国産青磁	瓶	底部	-	-	-	1	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5Y7/1	青磁陶	大塚半2期	縁飾赤文・漢 蓮文あり	
24	1	5K0121	K 8	中国産青磁	縁 線	底部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	N8/0	青磁陶	縁飾赤漢文		
25	1	5K0121	K 8	韓国産陶磁	椀鉢	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	-	V期新前半		
26	1	5K0122	K 8	中国産土佐磁器	菓子碗	底部	-	-	-	-	-	不明/不明	2.5B/1	透明釉	小野分蔵C群	外側に芭蕉葉 文・見込みに文 飾あり	
27	1	5K0171	K 8	韓国産陶磁	椀鉢	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	-	V期中後半	標目単位10条 (3.0cm)	
28	1	5K0197	K 9	瀬戸東濃陶磁 (大)	丸罎	口縁部- 底部	10.7	2.3	6.0	12.0	4	回転ナデ+底部ナデ +見込高倉/回転ナデ	2.5Y7/1	灰陶	大塚2段階	変形	
29	2	5K0197 S0221	K 9	中国産土佐磁器	菓子碗	底部	-	-	(4.5)	-	2	不明/不明	5Y6/1	透明釉	小野分蔵C群	外側に芭蕉葉 文・見込みに漢 蓮文あり	
30	1	5K0197	K 9	瀬戸東濃陶磁 (大)	縁取皿	口縁部	(9.9)	-	-	3.3	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	灰陶	大塚1段階		
31	1	5K0197	K 9	瀬戸東濃陶磁 (大)	縁取皿	口縁部	(10.2)	-	-	2.0	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5Y7/1	灰陶	大塚2段階前半		
32	2	5K0197	K 9	韓国産陶磁	椀鉢	口縁部	(45.1)	-	-	1.9	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	-	V期新後半	標目単位10条 幅2.7cm	
33	1	5K0198	K 9	中国産土佐磁器	菓子碗	口縁部	(12.5)	-	-	1.4	-	不明/不明	5Y6/1	透明釉	小野分蔵C群	芭蕉葉文・漢 蓮文あり	
34	1	5K0198	K 9	瀬戸東濃陶磁 (大)	縁取皿	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	5Y6/1	N8/0	透明釉	大塚1段階	
35	1	5K0198	K 9	瀬戸東濃陶磁 (大)	縁取皿	口縁部	(6.2)	-	-	2.9	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5Y7/1	灰陶	大塚2段階前半		
36	1	5K0198	K 9	瀬戸東濃陶磁 (大)	天目茶碗	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/7	鉄釉	大塚3段階		
37	1	5K0198	K 9	韓国産陶磁	椀鉢	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	N8/0	-	V期新後半		
38	1	5K0200	K 9	中国産青磁	瓶	底部	-	-	(3.4)	-	2	回転ナデ/回転ナデ	7.5YR/1	青磁陶	小野分蔵C群		
39	1	5K0202	K 9	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部- 底部	(11.3)	2.3	(5.5)	2.8	2	回転ナデ/回転ナデ /回転承せり底	10YR/2	灰陶	遠藤3/古		
40	1	5K0252	K 10	瀬戸東濃陶磁 (大)	家付縁取皿	口縁部	(12.3)	-	-	1.6	-	不明/不明	N8/0	透明釉	江戸期		
41	2	5K0254	K 10	韓国産陶磁	椀鉢	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/1	-	V期古	標目単位10条 幅3.0cm	
42	2	5K0192	K 9	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	(9.4)	-	-	2.1	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/2	灰陶	遠藤3/新		
43	2	5K005	J 10	中国産青磁	瓶	底部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ /新出高倉	2.5B/1	青磁陶	-	内面に底部に 印花文	
44	2	5K005	J 10	韓国産陶磁	椀鉢	口縁部- 底部	36.9	12.4	14.6	8.8	9	回転ナデ/回転ナデ	7.5YR/2	-	V期中後半	標目単位10条 幅3.0cm	
45	2	5K0145	I 11	中国産青白磁	梅瓶	口縁部- 底部	-	-	(10.0)	-	1	回転ナデ/回転ナデ /新出高倉	N8/0	青白磁陶	13c	漢文・ 縁飾蓮葉文あり	
46	2	5K040	E 8	京産産	坏壺	口縁部	-	-	1米満	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.5B/1	-	8C前半	東濃陶磁器少 数あり	
47	2	5K0340	F 12	瀬戸東濃陶磁 (大)	丸罎	口縁部	12.8	-	-	6.4	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/1	灰陶	大塚1段階		
48	2	5K0341	G 12	吉野川系陶磁	縁飾小皿	口縁部	(8.1)	-	-	1.3	-	回転ナデ/回転ナデ	10YR/3	灰陶	遠藤3/古		
49	2	5K0210	I 21	灰釉陶器	瓶	底部	-	-	(7.2)	-	2	回転ナデ+底部回転承 せり底/回転ナデ	N8/0	灰陶	東山72期形式		

第23表 中近世陶磁器観察表 (A・B区) (2)

観測番号	窯場	窯	通構	区画	種別・産地	器種・分類	部位	法量 (cm)			残存率	調整	胎土色調	釉薬	時期・型式	備考		
								口徑	器高	底径								
50	2	6	SKA210	I	21	磁前産陶器	燈鉢	底部	-	-	(16.8)	-	2	回転ナデ / 回転ナデ	109B-2	-	V期古段陶片	器目単位12条(幅3.2cm), 断面外面に削文
51	2	6	SKA210	I	21	灰釉陶磁器	片口鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	575/1	-	裏10段式	荒削平
52	2	6	SKA217	H	20	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	575/4	-	V期新段陶	器目単位10条(幅2.8cm)
53	2	1	SKA221	H	20	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	茶入	底部	-	-	4.1	-	4	瀬戸ナデ・底部回転ナデ付ナデ / 回転ナデ	109B/1	鉄釉	通構19段式	縁部
54	2	1	SKA146	A	2	常滑産陶器	壺	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	109A/1	-	6 a 形式	
55	3	6	SIAS	Q	16	磁前産陶器	燈鉢	口縁部~底部	(34.4)	11.5	(16.2)	2.9	2	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/1	-	V期新段陶	小笠原目単位11条(幅3.3cm)
56	3	6	SIAS	Q	16	磁前産陶器	壺	口縁部	(23.4)	-	-	2.3	-	板ナデ / ナデ・陶磁器	2.575/1	-	V期後半	
57	3	7	SIAS SKA130	Q	15~18	磁前産陶器	壺	底部	-	-	13.4	-	3	回転ナデ・板ナデ / 回転ナデ・板ナデ	2.576/4	-	16C	断面あり
58	3	7	SIAS	O	15	常滑産陶器	壺	底部	-	-	8.6	-	3	回転ナデ / 付け高台	2.577/1	反映	通構2段陶	
59	3	7	SIAS	G~H	17~18	磁前産陶器	壺	口縁部	(14.8)	-	-	1.2	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/1	-	15c~18cか	
60	3	7	SIAS	G~H	17~18	磁前産陶器	壺	口縁部	(9.6)	-	-	1.0	-	回転ナデ / 回転ナデ	575/2	-	15c~18cか	
61	3	7	SIAS	G~H	17~18	磁前産陶器	燈鉢	底部	-	-	(14.0)	-	2	回転ナデ / 不明	109B/2	-	V期新段陶	器目単位12条(幅3.1cm)
62	3	2	SIAS2	H	20~21	古瀬戸系陶器	縁鉢(小笠原)	口縁部~底部	10.4	2.0	5.5	7.9	12	回転ナデ / 回転ナデ / 回転ナデ・板ナデ	109B/1	反映	後1期	
63	3	7	SIAS2	H	20~21	古瀬戸系陶器	折縁深皿	口縁部	-	-	-	1.未測	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/3	反映	大塚1段式	
64	3	1	SIAS8	G	18	中国産交趾陶器	童子鏡	伴部	-	-	-	-	-	不明 / 不明	2.578/2	透明釉	小野分器C群	外面に巴草文
65	3	7	SIAS8	G	18	磁前産陶器(大塚)	碗底皿	口縁部	(11.2)	-	-	1.2	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.577/1	反映	大塚1段陶	
66	3	7	SK96	I	4	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/5/1	-	V期中段陶	器目単位9条(幅3.0cm)
67	3	2	SK834	O	5	古瀬戸系陶器	新甕	口縁部~底部	(12.0)	2.3	(5.1)	1.7	3	回転ナデ / 回転ナデ	2.577/1	反映	後1古	
68	3	1	SK834	O	5	古瀬戸系陶器	瓶	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/2/4	反映	通構13段	
69	3	13	SK8276 カク クワン	G	5	磁前産陶器	壺	口縁部	(14.4)	-	-	1.3	-	回転ナデ / 回転ナデ・板ナデ	109B/1	-	15c~18c	
70	4	7	SK827	G	5	古瀬戸系陶器	新甕	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/1	反映	後1古	
71	4	7	SK827	G	5	磁前産陶器	燈鉢	底部	-	-	(14.0)	-	1	回転ナデ / 回転ナデ	1097/4	-	V期	
72	4	7	SK8120	K	8	古瀬戸系陶器	平碗	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	反映	後1古	
73	4	7	SK8120	K	8	瀬戸黄瀬陶器	碗底皿	口縁部	(10.2)	-	-	2.1	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	反映	大塚2段陶片	
74	4	7	SK8153	K	8	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	天目茶碗	口縁部・伴部	(12.1)	-	-	2.1	-	回転ナデ・板ナデ付回転ナデ付 / 回転ナデ	109B/3	鉄釉(縁部)	大塚2段陶片	
75	4	7	SK8153	K	8	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/3	-	V期中段陶	
76	4	7	SK8153	K	8	磁前産陶器	燈鉢	底部	(52.0)	-	(16.1)	2.3	2	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/3	-	V期中段陶	器目単位11条(幅3.3cm)
77	4	7	SK8153	K	8	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	(52.0)	-	-	1.1	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/3	-	V期中段陶	器目単位11条(幅3.3cm)
78	4	7	SK8153	K	8	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	-	V期中段陶	
79	4	8	SK8153	K	8	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	(44.2)	-	(20.2)	1.7	1	回転ナデ / 回転ナデ	109B-2	-	V期中段陶	
80	4	7	SK8153	K	8	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	109B-2	-	V期中段陶	
81	4	1	SK8189	L	9	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	碗底皿	口縁部~底部	11.4	2.4	5.8	1.未測	12	回転ナデ / 回転ナデ / 板ナデ付回転ナデ	N7/0	反映	大塚1段式	
82	4	8	SK8142	H	7	灰釉陶磁器	片口鉢	口縁部	(28.6)	-	-	1.2	-	回転ナデ / 回転ナデ	109B/1	-	裏7段式	荒削平
83	4	8	SK8142	H	7	古瀬戸系陶器	新甕	口縁部	(14.4)	-	-	2.6	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	反映	前1期	
84	5	8	SK8142	H	7	常滑産陶器	三筋壺	口縁部	(13.0)	-	-	1.0	-	回転ナデ / 回転ナデ・板ナデ	1097/2	-	12c~13c	
85	5	8	SK8142	H	7	常滑産陶器	三筋壺	胴部	-	-	-	-	-	板ナデ / 板ナデ	1097/1	-	12c~13c	辻線
86	5	2	SK8145	I	8	中国産白磁	口元皿	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.577/1	古磁釉	大塚前1期	
87	5	8	SKA284	I	14	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	N6/0	-	V期古段陶	辻線
88	5	8	SKA284	I	14	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	(32.8)	-	-	1.1	-	回転ナデ / 回転ナデ	576/3	-	V期古段陶	辻線
89	5	2	SKA248	I	6	古瀬戸系陶器	水注	口縁部	(6.5)	-	-	2.7	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.576/1	反映	後1期-1期	断面に付着物
90	5	8	SKA130	Q	15~18	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	加工片甕	底部	-	-	4.0	-	4	回転ナデ / 回転ナデ	1097/1	鉄釉	後1古	天目茶碗転写
91	5	2	SKA129	Q	15~18	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	天目茶碗	口縁部~底部	(11.8)	(11.6)	4.2	3.0	12	回転ナデ / 回転ナデ / 底部板ナデ付	109B/3	鉄釉(縁部)	大塚3段陶片	
92	5	8	SKA129	Q	15~18	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	(46.0)	-	-	1.2	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	-	V期古段陶	器目単位9条(幅3.0cm)
93	5	8	SK8259	Q	12	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	丸皿	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.577/2	反映	大塚3段式	
94	5	8	SK8259	Q	12	古瀬戸系陶器	新甕	口縁部	(12.7)	-	-	1.0	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	反映	後1期	
95	5	8	SK8259	Q	12	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	丸皿	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.577/2	鉄釉	通構3~5小	
96	5	8	SK8265	Q	12	古瀬戸系陶器	折縁深皿	口縁部	(30.2)	-	-	1.0	-	回転ナデ / 回転ナデ	2.577/2	反映	後1期	
97	5	8	SK8265	Q	12	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ / 回転ナデ	1097/2	-	V期中段陶	
98	5	8	SK8265	Q	12	磁前産陶器	燈鉢	口縁部	-	-	1.未測	-	-	回転ナデ・板ナデ / 回転ナデ・板ナデ	1097/2	-	V期中段陶	器目単位4条(幅3.0cm)
99	5	9	SK8265	Q	12	磁前産陶器	双耳壺	口縁部	(18.2)	-	-	1.8	-	回転ナデ / 回転ナデ・板ナデ	109B/2	-	16C	断面あり
100	5	9	SK8266	Q	12	磁前産陶器	壺	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ / 回転ナデ・板ナデ	109B/2	-	16C	
101	5	9	SKA40	B	5	灰釉陶磁器	瓶	底部	-	-	(7.4)	-	2	回転ナデ / 板ナデ付回転ナデ / 回転ナデ	1097/1	反映	新13号形式	
102	5	9	SKA121	Q	16	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	丸瓶	口縁部	(12.1)	-	-	1.未測	-	不明 / 不明	1097/3	反映	大塚1段陶片	
103	5	9	SKA122	Q	16	瀬戸黄瀬陶器(大塚)	天目茶碗	口縁部	(12.0)	-	-	1.8	-	回転ナデ / 回転ナデ	109B/3	鉄釉(縁部)	大塚1段陶	

第25表 中近世陶磁器観察表 (A・B区) (4)

観測番号	区画	窯場	区画		種類・産地	器種・分類	部位	法量 (cm)		残存率	調製	胎土色調	釉薬	時期・型式	備考			
			東西	南北				口径	器高							口径 (a/12)	器高 (b/4)	
162	7	12	-	R	17	反胎系陶器	片口鉢	底部	-	-	-	1	回転ナデ/底部貼付高付/回転ナデ	2.916/2	-	第5~6型式	底面平	
163	7	12	-	R	13	反胎系陶器	片口鉢	底部	-	-	(10.8)	-	3	回転ナデ/下部にケズリ/ナデ	10/96/1	-	第10型式	底面平
164	7	12	-	R	15	反胎系陶器	片口鉢	底部	-	-	(10.2)	-	2	回転ナデ/底部貼付高付/回転ナデ	10/97/2	-	第9~10型式	底面平
165	8	12	-	J	15	常滑系陶器	三股盆	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ/指付	10/96/1	-	12c~13c	辻線
166	8	12	-	R	16	常滑系陶器	三股盆	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ/指付	10/96/1	-	12c~13c	辻線
167	8	12	-	C	8	常滑系陶器	三股盆	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ/指付	10/96/1	-	12c~13c	辻線
168	7	12	-	I	15	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/96/1	-	5型式	
169	7	12	-	F	12	常滑系陶器	壁	口縁部	(44.2)	-	-	-	-	回転ナデ/底ナデ/底ナデ	96/0	-	6 a型式	
170	7	12	-	R	13	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/94/1	-	6 a型式	
171	7	12	-	K	11	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ/ナデ	10/95/1	-	6 a型式	
172	7	12	-	C	7	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/ナデ/回転ナデ/ナデ	5/96/4	-	7型式	
173	7	12	-	I	15	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/96/1	-	10型式	
174	8	12	-	F	12	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	5/96/4	-	8期後半	
175	8	12	-	C	6	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/2	-	V期前半	
176	8	13	-	O	11	常滑系陶器	壁	口縁部	(42.0)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/1	-	V期前半	
177	8	13	-	O	11	常滑系陶器	壁	口縁部	(34.2)	-	-	-	-	回転ナデ/ナデ/回転ナデ/ナデ	10/97/1	-	V期前半	
178	8	12	-	R	11	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/1	-	V期後半	
179	8	12	-	R	12	常滑系陶器	壁	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/1	-	V期後半	
180	8	13	-	R	18	常滑系陶器	壁	口縁部	(20.6)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.914/1	-	V期後半	
181	8	13	-	F	16	常滑系陶器	壁	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ/底ナデ/ナデ	7.5187/6	-	B区	押込み
182	8	13	-	O	5	常滑系陶器	蓋	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/ナデ/回転ナデ/底ナデ	10/96/1	-	15c~16c	
183	8	13	-	F	11	常滑系陶器	蓋	口縁部	(16.2)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	7.5196/3	-	15c~16c	
184	8	13	-	F	11	常滑系陶器	蓋	口縁部	(16.2)	-	-	-	-	回転ナデ/ナデ/回転ナデ/ナデ	7.5196/3	-	15c~16c	
185	8	13	-	O	11	常滑系陶器	蓋	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/94/1	-	V期後半	
186	8	13	-	F	12	常滑系陶器	蓋	口縁部	(14.3)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/1	-	V期古段	
187	8	13	-	J	11	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(26.5)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/2	-	2後半	
188	8	14	-	R	20	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	(13.7)	-	11	回転ケズリ/底ナデ/回転ナデ	10/96/1	-	8期後半以降	
189	8	14	-	L	17	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/4	-	7前半	
190	8	13	-	L	17	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/1	-	V期古段	
191	9	13	-	R	16	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(33.6)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.916/2	-	V期古段	
192	8	14	-	R	11	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/2	-	V期中段	
193	9	14	-	O	15	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(34.3)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/96/2	-	V期中段	径目単位11条(幅2.8cm)
194	9	14	-	F	12	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	7.5198/3	-	V期中段	径目単位11条(幅3.0cm)
195	9	14	-	F	12	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(36.1)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/1	-	V期新段	径目単位9条(幅2.9cm)
196	9	13	-	G	7	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(34.7)	-	-	-	-	回転ナデ/不明	5/97/6	-	V期新段	径目単位11条(幅3.0cm)
197	9	13	-	R	16	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ケズリ/回転ナデ	10/96/2	-	V期新段	
198	9	13	-	P	13	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/2	-	V期新段	径目単位8条(幅2.7cm)
199	9	14	-	F	11	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(42.0)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/96/2	-	V期新段	径目単位10条(幅2.7cm)
200	9	14	-	R	20	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(44.8)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	7.5195/3	-	V期新段	径目単位10条(幅2.7cm)
201	9	14	-	O	15	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	(46.2)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.916/1	-	V期新段	径目単位8条(幅3.0cm)
202	9	14	-	R	12	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	7.5196/2	-	V期新段	
203	9	14	-	I	15	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	5/95/1	-	V期新段	
204	9	13	-	K	8	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ/	10/96/2	-	V期新段	
205	10	13	-	K	13	常滑系陶器	燈鉢	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/95/2	-	V期新段	径目単位9条(幅2.4cm)
206	10	14	-	O	10	常滑系陶器	燈鉢	底部	-	-	(16.9)	-	1	底ナデ/底ナデ/底ナデ	10/96/2	-	V期新段以降	径目単位8条(幅2.5cm)
207	10	14	-	R	11	常滑系陶器	燈鉢	底部	-	-	(14.3)	-	2	回転ナデ/回転ナデ	10/96/2	-	V期	径目単位12条(幅2.8cm)
208	10	14	-	R	11	常滑系陶器	燈鉢	底部	-	-	(14.4)	-	1	ナデ/不明	7.5197/4	-	V期	径目単位9条(幅2.8cm)
209	10	15	-	G	20	古瀬戸系陶器	有耳壺	底部	-	-	(10.6)	-	4	回転ナデ/底部回転ケズリ/回転ナデ/底ナデ	10/97/1	反胎	後3期	SK2222出土破片と一致
210	10	15	-	G	6	古瀬戸系陶器	口立有耳壺	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/1	反胎	後3期	
211	10	15	-	R	2	古瀬戸系陶器	筒形有耳壺	口縁部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.917/2	反胎	後1~2期	
212	10	3	-	L	14	古瀬戸系陶器	瓶子(土製)	口縁部	(4.6)	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	2.917/1	反胎	後3期	
213	10	3	-	F	11	古瀬戸系陶器	瓶子(土製)	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/4	反胎	後1~2期	内面に赤色物質付着
214	10	3	-	O	11	古瀬戸系陶器	有耳付壺	胴部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	10/97/3	反胎	後3期	内面に赤色物質付着
215	10	3	-	I	16	古瀬戸系陶器	耳付水注	胴部	-	-	-	-	-	不明/不明	10/96/1	反胎	後2~3期	内面に赤色物質付着
216	10	3	-	O	11	古瀬戸系陶器	煎茶小口	口縁部~底部	(7.2)	2.0	4.4	5.0	3	回転ナデ/回転ナデ/回転ナデ/底ナデ	10/97/1	反胎	中2期	
217	10	3	-	I	15	古瀬戸系陶器	煎茶小口	口縁部~底部	(10.7)	2.6	5.2	3.5	4	回転ナデ/回転ナデ/回転ナデ/底ナデ	2.917/1	反胎	後3期	
218	10	3	-	R	20	古瀬戸系陶器	煎茶小口	口縁部~底部	(9.7)	2.0	4.5	1.3	4	回転ナデ/回転ナデ/回転ナデ/底ナデ	2.917/1	反胎	後3期	
219	10	15	-	F	10	古瀬戸系陶器	煎茶小口	口縁部~底部	(12.2)	2.5	(5.1)	1.3	1	回転ナデ/回転ナデ/回転ナデ/底ナデ/ケズリ/底ナデ/高付	2.917/2	反胎	後3期	

第26表 中近世陶磁器観察表 (A・B区) (5)

調査 番号	発見 時期	遺構	位置		種類・産地	器種・分類	部位	法量 (cm)			埋存率	観察	粘土色調	胎質	時期・型式	備考				
			東西	南北				口径	器高	底径										
								口縁	器高	底径										
220	10	3	-	K 9	吉野戸系陶器	天目茶碗	口縁部	11.8	-	-	6.7	-	-	黒點ナデ / 黒點ナデ	1098/2	鉄胎 (緑胎)	鎌古銅			
221	10	15	-	I P 13	吉野戸系陶器	煎茶	口縁部	14.3	-	-	1.8	-	-	黒點ナデ / 黒點ナデ	2377/2	反映	鎌1期			
222	10	15	-	K 10	吉野戸系陶器	煎茶付大皿	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	7.56/1	反映	鎌古				
223	10	3	-	G 18	吉野戸系陶器	煎茶中皿	口縁部- 底部	19.2	5.5	10.0	1.5	2	-	-	黒點ナデ / 黒點ナデ / 黒點赤じり灰	1097/3	反映 (緑胎)	中1期		
224	10	15	-	L 18	吉野戸系陶器	湯灌大皿	口縁部	29.2	-	-	-	1.1	-	-	黒點ナデ / 黒點ナデ	2377/2	反映	鎌1期		
225	10	15	-	I 9	吉野戸系陶器	博鉢	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	1097/3	鉄胎	鎌古			
226	10	15	-	N 10	吉野戸系陶器	博鉢	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	1097/3	鉄胎	鎌古銅			
227	10	15	-	I 4	吉野戸系陶器	博鉢	口縁部	-	-	-	0.5	-	-	-	2378/2	鉄胎	鎌古銅			
228	10	15	-	O 12	吉野戸系陶器	博鉢	底部	-	-	-	1.0	4.6	-	4	-	不明 / 黒點ナデ / 煎 り出し灰胎	1092/1	反映	鎌古銅	加工門縁か
229	11	15	-	H 16	瀬戸系陶器 (大器)	天目茶碗	口縁部- 底部	12.0	-	-	2.7	-	-	-	1098/2	鉄胎 (緑胎)	大塚4期半			
230	11	4	-	H 20	瀬戸系陶器 (大器)	小天目茶碗	口縁部- 底部	6.2	3.6	2.8	5.8	4	-	-	1098/2	鉄胎 (緑胎)	大塚2段階前半			
231	11	15	-	O 11	瀬戸系陶器 (大器)	丸鉢	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	1098/2	反映	大塚1段階			
232	11	15	-	G 15	瀬戸系陶器 (大器)	碗	口縁部- 底部	12.0	2.4	16.2	1.6	1	-	-	1097/2	反映	大塚2段階前半			
233	11	15	-	J 13	瀬戸系陶器 (大器)	丸鉢	口縁部- 底部	10.0	2.4	5.1	1.7	2	-	-	2378/1	反映	大塚2段階			
234	11	15	-	H 12	瀬戸系陶器 (大器)	丸鉢	口縁部- 底部	10.6	2.1	6.1	1.8	2	-	-	1097/1	反映	大塚2段階後半			
235	11	15	-	N 9	瀬戸系陶器 (大器)	丸鉢	口縁部- 底部	10.7	2.0	5.0	1.7	1	-	-	1097/2	反映	大塚2段階前半			
236	11	15	-	P 11	瀬戸系陶器 (大器)	博鉢	口縁部	17.0	-	-	-	1.2	-	-	1098/1	鉄胎	大塚3段階前半			
237	11	15	-	I 15	瀬戸系陶器 (大器)	加工門縁	底部	-	-	-	1.2	4.8	-	4	-	不明 / 黒點ナデ / 煎 り出し灰胎	1098/2	鉄胎	大塚1段階	天目茶碗
238	11	15	-	O 15	瀬戸系陶器 (大器)	加工門縁	底部	-	-	-	1.2	4.0	-	4	-	不明 / 黒點ナデ / 煎 り出し灰胎	1098/3	鉄胎	大塚2段階	天目茶碗
239	11	4	-	F 15	中国産青白磁	瓶	口縁部	6.3	-	-	3.5	-	-	-	1097/1	85-0	青白磁胎	14c	沈積	
240	11	4	-	R 17	中国産青白磁	瓶	底部	-	-	-	-	-	-	-	1097/1	85-0	青白磁胎	14c		
241	11	4	-	E 11	中国産白磁	瓶	底部	-	-	-	4.9	-	-	2	-	不明 / 黒點ナデ / 煎 り出し灰胎	85-0	白磁胎	大塚中V期	沈積
242	11	4	-	R 15	中国産白磁	瓶	底部	-	-	-	4.8	-	-	2	-	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	1098/2	白磁胎	大塚中X期	
243	11	4	-	P 12	中国産白磁	碗	口縁部	12.7	-	-	-	1.2	-	-	-	不明 / 不明	2378/1	白磁胎	15c後半から16c前半	
244	11	4	-	F 12	中国産白磁	碗	底部	-	-	-	6.9	-	-	2	-	黒點ナデ / 黒點ナデ / 粘付灰胎	2378/1	白磁胎	15c後半から16c前半	
245	11	4	-	G 5	中国産白磁	碗	底部	-	-	-	1米満	-	-	-	-	1098/2	白磁胎	15c後半から16c前半		
246	11	4	-	E 6	中国産白磁	碗	底部	10.0	-	-	-	1.1	-	-	-	不明 / 不明	1098/3	白磁胎	15c後半から16c前半	
247	11	4	-	I 21	中国産白磁	加工門縁	底部	-	-	-	1.2	4.2	-	4	-	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	1097/3	白磁胎	小野分館B群	
248	11	4	-	K 22	中国産青磁	瓶	口縁部	15.1	-	-	-	1.6	-	-	-	87-0	青磁胎	大塚中I期	鎌古銅文	
249	11	4	-	G 7	中国産青磁	瓶	口縁部	-	-	-	-	1米満	-	-	-	87-0	青磁胎	小野分館B群	鎌古銅文	
250	11	4	-	K 9	中国産青磁	瓶	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	2378/1	青磁胎	小野分館C群	鎌古銅文の裏か い漆文文		
251	11	4	-	I 13	中国産青磁	瓶	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	87-0	青磁胎	小野分館C群	鎌古銅文の裏か い漆文文		
252	11	4	-	N 12	中国産青磁	瓶	底部	-	-	-	-	-	-	-	-	85-0	青磁胎	小野分館C群	鎌古銅文の裏か い漆文文	
253	11	4	-	N 12	中国産青磁	瓶	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	2378/1	青磁胎	小野分館B群	鎌古銅文		
254	11	4	-	G 18	中国産青磁	瓶	口縁部	-	-	-	1米満	-	-	-	1098/1	青磁胎	大塚中I期	土灰みに 夏倉の粘付文あり		
255	11	4	-	O 6	中国産青磁	杯	底部	-	-	-	-	-	-	-	2378/1	青磁胎	大塚中II期	土灰みに 夏倉の粘付文あり		
256	11	4	-	K 9	中国産白磁	湯子	口縁部	12.5	-	-	2.0	-	-	-	不明 / 不明	578/1	透明胎	黒點ナデ / 黒點ナデ / 黒點ヘタケスリ	鎌古銅文	
257	11	16	-	J 13	瀬戸系陶器 (清器)	徳利	底部	-	-	-	7.3	-	-	2	-	1098/3	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ / 黒點ヘタケスリ	鎌古銅文	
258	11	16	-	K 13	瀬戸系陶器 (清器)	虎目茶碗	口縁部	12.0	-	-	2.5	-	-	-	1047/1	胎質 うのひ	黒點ナデ / 黒點ナデ	鎌古銅文		
259	11	16	-	J 13	瀬戸系陶器 (清器)	虎目茶碗	底部	-	-	-	4.5	-	-	4	-	1097/1	胎質	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	鎌古銅文	
260	11	16	-	E 10	瀬戸系陶器 (清器)	せんじ	口縁部	10.0	5.0	3.4	8.0	4	-	-	1077/1	胎質	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	鎌古銅文		
261	11	4	-	L 3	瀬戸系陶器 (清器)	湯子	口縁部- 底部	9.3	5.0	4.4	4.4	2	-	-	1098/3	反映・鉄胎	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	鎌古銅文		
262	12	16	-	S 14	瀬戸系陶器 (清器)	沓茶碗	口縁部- 底部	11.5	6.2	5.8	4.2	2	-	-	-	1098/2	透明胎	不明 / 不明 / 煎 り出し灰胎	鎌古銅文	
263	12	4	-	P 13	瀬戸系陶器 (清器)	膳口	口縁部- 底部	5.0	3.2	3.6	10.8	4	-	-	-	1097/2	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ	鎌古銅文	
264	12	16	-	F 15	瀬戸系陶器 (清器)	煎茶碗	口縁部- 底部	13.8	2.8	7.8	1.2	2	-	-	-	1098/2	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ	鎌古銅文	
265	12	16	-	M 9	瀬戸系陶器 (清器)	北野丸鉢	口縁部- 底部	13.4	2.6	18.2	2.2	1	-	-	-	1097/3	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	鎌古銅文	
266	12	16	-	R 17	瀬戸系陶器 (清器)	博鉢	口縁部	13.7	-	-	-	2.1	-	-	-	1097/3	鉄胎	黒點ナデ / 黒點ナデ	鎌古銅文	
267	12	16	-	H 17	瀬戸系陶器 (清器)	行平	口縁部- 底部	13.7	15.9	16.8	1.3	2	-	-	-	1097/3	鉄胎	黒點ナデ / 黒點ナデ / 黒點ヘタケスリ	鎌古銅文	
268	12	16	-	M 16	瀬戸系陶器 (清器)	行平	口縁部	-	-	-	-	-	-	-	578/1	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ / 黒點ヘタケスリ	鎌古銅文		
269	12	16	-	I 12	瀬戸系陶器 (清器)	茶入	底部	-	-	-	4.1	-	-	2	-	87-0	鉄胎	黒點ナデ / 黒點ナデ	鎌古銅文	
270	12	16	-	O 15	瀬戸系陶器 (清器)	水筒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	578/1	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ	鎌古銅文	
271	12	16	-	G 2	土製品	土罐	-	-	-	-	3.1	-	-	-	-	1097/2	-	-	-	
272	12	16	-	D 4	土製品	土罐	-	-	-	-	3.5	-	-	-	-	1097/3	-	-	-	
273	12	16	-	I 11	磁器	香	口縁部	12.0	-	-	-	1.4	-	-	-	1097/1	-	-	-	
274	12	4	-	H 16	表産陶磁器	瓶	口縁部- 底部	11.0	5.3	4.2	1.8	4	-	-	-	2378/1	反映	黒點ナデ / 黒點ナデ / り出し灰胎	17c前半	

第27表 磁石観察表 (A・B区)

掲載番号	図版	写真図版	遺構	区画		層位	種別	法量 (cm)			質量 (g)	使用方法	産地	備考
				東西	南北			長さ	幅	厚さ				
275	13	17	SK114	F	H	—	仕上付磁 (灰緑色系)	3.7	3.0	2.7	6.7	磨き	鳴滝産	折損、焼熱
276	13	17	SKA100	D~E	10~11	—	仕上付磁 (灰褐色)	7.7	4.9	1.3	93.0	磨き	鳴滝産	折損
277	13	17	SK835	G	5	—	仕上付磁 (灰褐色)	6.3	1.3	1.2	14.1	磨き	鳴滝産	折損
278	13	17	SK259	Q	12	—	中磁	6.3	3.5	2.1	63.0	磨き	不明	折損
279	13	17	SK813	J	2	—	仕上付磁 (灰緑色系)	5.6	2.7	1.2	23.8	磨き	鳴滝産	折損
280	13	17	SK388	L	18	—	仕上付磁 (灰褐色)	5.4	3.1	2.2	3.9	磨き	鳴滝産	折損
281	13	17	SK388	L	18	—	仕上付磁 (黄褐色)	6.2	3.1	2.9	9.9	磨き	鳴滝産	折損
282	13	17	SK70	K	13	—	仕上付磁 (黄褐色)	5.2	3.0	0.6	21.9	磨き	鳴滝産	折損
283	14	18	SK118	F	11	—	荒磁、若しくは中磁	16.5	8.5	3.5	594.0	磨き	大村産	大型、折損
284	14	18	試掘7の遺構	—	—	—	中磁か	8.7	6.2	1.1	83.3	磨き	—	磁を転用、折損
285	14	18	SKA210	I	21	—	中磁	9.8	9.0	3.8	391.0	磨き	釜口産	折損
286	14	18	SI449	G~H	17~18	—	荒磁	4.2	2.8	2.8	35.6	磨き	大村産	折損
287	14	18	SK388	L	18	—	荒磁、若しくは中磁	23.3	10.4	33.5	917.0	磨き	大村産	大型、折損、鉄錆付着
288	15	17	—	R	17	—	中磁	5.1	2.8	2.3	43.4	手持ち	伊予産か	折損
289	15	17	—	R	15	—	中磁	7.4	3.3	2.0	52.5	手持ち	不明	折損
290	15	17	—	K	15	—	中磁	7.2	2.5	3.3	107.5	手持ち	不明	折損
291	15	17	—	K	15	—	中磁	7.6	2.9	2.8	88.7	手持ち	不明	折損
292	15	17	—	Q	15	—	中磁	10.0	2.8	2.3	135.8	磨き	伊予産か	折損
293	15	17	—	R	13	—	仕上付磁 (灰緑色系)	11.1	6.8	1.1	120.8	磨き	鳴滝産	折損
294	16	17	—	C	8	—	仕上付磁 (灰褐色)	7.3	3.4	1.4	39.8	磨き	鳴滝産	折損
295	16	17	—	E	11	—	荒磁	6.1	4.2	1.0	25.3	磨き	不明	折損
296	16	17	—	H	12	—	仕上付磁 (灰褐色)	5.1	3.4	0.7	11.7	磨き	鳴滝産	折損、焼熱
297	16	17	—	I	21	—	仕上付磁 (灰褐色)	3.5	2.5	0.6	12.0	磨き	鳴滝産	折損
298	16	17	—	G	17	—	仕上付磁 (灰褐色)	2.6	1.7	0.5	2.5	磨き	鳴滝産	小片
299	16	17	—	E	12	—	仕上付磁 (灰褐色)	4.4	3.2	0.7	12.2	磨き	鳴滝産	折損
300	16	17	—	R	17	—	仕上付磁 (灰褐色)	4.7	3.0	0.7	12.5	磨き	鳴滝産	折損
301	16	17	—	Q	16	—	仕上付磁 (灰褐色)	5.4	3.2	0.9	22.7	磨き	鳴滝産	折損
302	16	17	—	R	16	—	仕上付磁 (黄褐色)	4.1	2.9	0.8	15.1	磨き	鳴滝産	折損
303	16	17	—	—	—	—	仕上付磁 (灰褐色)	2.8	2.4	0.5	4.7	磨き	鳴滝産	小片
304	17	18	—	—	—	—	素焼 荒磁	14.9	19.7	5.2	1217.0	磨き	在地	自然石を利用

第28表 白磁観察表 (A・B区)

掲載番号	図版	写真図版	遺構	区画		層位	種別	部位	法量 (cm)			単位目数	残存率 a/12	備考
				東西	南北				直径	厚さ	質量 (g)			
305	17	18	—	—	—	素焼	石臼	下臼	37.5	13.3	37000	6	12.0	
306	17	18	—	N	11	—	石臼	下臼	28.0	11.5	5000	—	4.0	欠損、焼熱
307	18	18	—	—	—	攪乱	茶臼	上臼	∅31.0	11.2	5000	9	4.3	欠損
308	18	19	SKA20	B	6	—	茶臼	下臼	(25.5)	11.5	4000	9	5.0	欠損
309	18	18	SKB28	F	11	—	茶臼	上臼	(30.0)	—	503	—	3.5	破片
310	18	18	SK37	P	12	—	茶臼	上臼	(18.0)	—	542	—	2.8	欠損
311	18	19	—	N	11	—	茶臼	下臼	31.5	9.4	7000	—	6.1	欠損
312	18	18	—	H	20	—	茶臼	上臼	—	—	176	—	—	破片

第29表 金属製品観察表 (A・B区)

採集番号	図版	写真図版	遺構番号	区画		層位	製品名	法量 (cm)				質量 (g)	材質	製法	備考 (残存・類)
				東西	南北			全長	最大幅	厚さ	高さ				
313	19	20	SKA89	D	12	—	釘	(3.8)	0.9	0.5	—	2.0	鉄	鍛造	欠損
314	19	20	SK30	O	11	—	釘	(12.7)	0.6	0.6	—	12.4	鉄	鍛造	欠損
315	19	20	SK8157	F	10	—	釘	16.9	2.2	1.2	—	87.5	鉄	鍛造	
316	19	20	SKA130	Q	15~16	—	鉄線	(5.3)	1.4	1.2	—	6.4	鉄	鍛造	欠損
317	19	20	SKA130	Q	15~16	—	鉄線	(4.4)	0.7	0.7	—	3.9	鉄	鍛造	欠損
318	19	20	SKA130	Q	15~16	—	鉄線	(4.2)	0.7	0.4	—	2.6	鉄	鍛造	欠損
319	19	20	SKA130	Q	15~16	—	鉄線	(3.5)	0.7	0.6	—	2.6	鉄	鍛造	欠損
320	19	20	SKA130	Q	15~16	—	鉄線	(2.6)	1.1	1.0	—	3.6	鉄	鍛造	欠損
321	19	20	SKA130	Q	15~16	—	不明	(3.5)	1.4	1.3	—	3.7	鉄	鍛造	欠損、赤色顔料付着
322	19	20	SKA130	Q	15~16	—	釘	(4.3)	0.5	0.4	—	1.7	鉄	鍛造	欠損、赤色顔料付着
323	19	20	SKA130	Q	15~16	—	釘	(2.9)	0.5	0.2	—	0.7	鉄	鍛造	欠損
324	19	20	SKA130	Q	15~16	—	釘	(1.8)	0.5	0.3	—	0.4	鉄	鍛造	欠損
325	19	20	SKA130	Q	15~16	—	小孔 (鑿)	(5.5)	2.1	0.3	—	5.5	鉄	鍛造	欠損 鍛造 赤色顔料付着
326	19	20	SKA130	Q	15~16	—	小孔 (鑿)	(5.4)	2.0	0.2	—	4.6	鉄	鍛造	欠損 鍛造 赤色顔料付着
327	19	20	SKA130	Q	15~16	—	小孔 (鑿)	(2.5)	2.0	0.2	—	3.1	鉄	鍛造	欠損 鍛造 赤色顔料付着
328	19	20	SKA130	Q	15~16	—	小孔 (鑿)	(2.7)	2.0	0.2	—	2.5	鉄	鍛造	欠損 鍛造 赤色顔料付着
329	19	20	SKA2	D	4	—	遊輪 (馬具)	(2.7)	2.9	0.7	—	4.3	鉄	鍛造	欠損
330	19	20	SKA121	Q	16	—	鉄線	(22.1)	1.0	0.7	—	39.7	鉄	鍛造	欠損
331	19	20	SKA238	K	17	—	遊輪 (馬具)	6.1	3.6	0.9	—	32.2	鉄	鍛造	
332	19	20	SK63	L	14	—	鑿	(8.2)	1.6	0.4	—	13.7	鉄	鍛造	欠損
333	19	20	SK388	L	18	—	釘か	(7.8)	1.6	1.2	—	27.8	鉄	鍛造	欠損
334	19	20	SK388	L	18	—	合釘	11.8	1.1	0.8	—	16.4	鉄	鍛造	
335	20	21	SK8198	K	9	—	銅形台 (青)	(8.5)	(5.3)	1.7	—	30.6	銅	—	欠損、端の目遣かしあり
336	20	21	SKA100	D→E	10→11	—	樽管 (履首)	5.1	火照径 1.5	小口径 0.7	1.4	5.1	真鍮	—	
337	20	21	SK8342	G	12	—	小柄	(9.8)	1.4	0.7	—	20.2	銅 (小柄) 鉄 (蓋)	—	刃部欠損
338	20	21	SK109	S	16	—	小柄	(9.7)	1.4	0.6	—	22.4	銅 (小柄) 鉄 (蓋)	—	刃部欠損
339	20	20	—	H	17	—	鉄線か	(5.3)	1.3	1.1	—	11.7	鉄	鍛造	欠損
340	20	20	—	G	15	ペルト3下	鑿	(6.1)	1.0	1.0	—	22.9	鉄	鍛造	欠損
341	20	20	—	O	15	—	鑿	7.0	6.4	0.6	—	9.9	鉄	鍛造	欠損
342	20	21	—	H	20	I	銅線	—	径 (12.0)	0.8	2.4	12.5	銅	鍛造	欠損

第30表 鋳冶関連遺物観察表 (A・B区)

採集番号	図版	写真図版	遺構番号	区画		層位	種類	法量 (cm)			質量 (g)	材質	磁性	備考
				東西	南北			最大径	孔径	厚さ				
343	20	21	SK388	L	18	—	鑿の頸口	6.7	2.0	4.7	24.3	砂岩	弱	破片、口部にスラグ付着、熱による変色
344	20	21	—	H	17	I	鑿の頸口	7.7	1.8	5.9	42.2	砂岩	弱	破片、口部にスラグ付着、熱による変色
345	20	21	—	C	5	黒粘土	鑿の頸口	7.5	3.1	4.4	22.9	砂岩	弱	破片、口部にスラグ付着、熱による変色
346	20	21	SKA76	E	12	—	坩堝	—	—	2.1	55.3	砂岩	—	破片、内面に不純物付着、熱による変色
347	20	21	SKA33	C	5	—	坩堝	—	—	3.4	89.9	砂岩	—	破片、熱による変色

第31表 銭貨観察表 (A・B区) (1)

観 察 番 号	区 区 区	通 橋	区画		部位	銭文	分類	法量 (mm)		質量 (g)	材質	国名	初鋳年	備考		
			東西	南北				外径	内径							
348	21	22	58287	0	11	—	嘉祐通寶	背陽起 (篆書)	24.8	20.8	1.1	2.3	銅	中国 (北宋)	1056	磨食
349	21	22	58114	P	11	—	〇〇〇貫	—	—	—	1.5 (0.6)	銅	—	—	—	磨食、欠損
350	21	22	58121	K	8	—	元徳通寶	得元 (真書)	—	—	1.4	3.7	銅	中国 (北宋)	1078	磨蝕による変形
351	—	22	58123	K	8	—	—	—	—	—	—	9.3	銅	—	—	磨蝕による変形 4枚付着
352	21	22	58200	K	9	—	天徳通寶	正様 (磨蝕銭)	23.2	19.8	1.1	2.3	銅	中国 (北宋)	1017	—
353	21	22	58077	K	3	—	寛永通寶	古寛永 岡山銭貨永徳管	24.4	20.0	1.3	3.7	銅	日本	1637	—
354	21	22	51454	H	21	—	寛永通寶	新寛永 長崎銭貨長	—	—	1.2 (0.9)	—	銅	日本	1767	欠損
355	21	22	58026	G	16	—	永樂通寶	正様	—	—	—	(91.0)	銅	中国 (明)	1408	磨蝕による変形 20点が付着、一部欠損
356	21	22	58027	G	5	—	元祐通寶	泰昌 (篆書)	25.1	20.2	1.4	(2.4)	銅	中国 (北宋)	1066	一部欠損
357	21	22	58100	P	11	—	治平通寶	長字 (真書)	24.5	19.2	1.2	(2.1)	銅	中国 (北宋)	1064	一部欠損
358	—	22	58145	P	15	—	開元通寶	—	—	—	1.2 (1.0)	銅	中国 (唐)	966	磨食、欠損	
359	21	22	58078	K	3	—	洪武通寶	加治本銭 中学背治	23.6	19.5	1.3	1.9	銅	日本	190	—
360	21	22	58230	H	20	—	元徳通寶	得元 (真書)	24.4	19.5	1.6	2.7	銅	中国 (北宋)	1078	—
361	21	22	584107	S	16	—	寛永通寶	新寛永 十万里銭虎ノ尾貫小学	23.5	18.7	1.1	2.2	銅	日本	1736	—
362	—	22	58114	J	2	—	—	—	—	—	2.1	3.1	銅	—	—	磨蝕による変形
363	21	22	—	H	14	1	開元通寶	低損通	24.1	20.1	1.2	2.3	銅	中国 (唐)	621	—
364	22	22	—	G	16	1	天聖元寶	正郭 (真書)	25.1	20.8	1.3	3.0	銅	中国 (北宋)	1023	—
365	22	23	—	K	9	1/2	天聖元寶	輪郭 (篆書)	24.7	20.0	1.3	2.9	銅	中国 (北宋)	1023	—
366	22	23	—	H	9	1/2	皇寧通寶	広穿 (篆書)	24.5	19.8	1.3	(2.4)	銅	中国 (北宋)	1039	一部欠損
367	22	23	—	G	11	1	皇寧通寶	—	—	—	1.2 (1.1)	銅	中国 (北宋)	1039	欠損	
368	22	23	—	H	20	1	治平元寶	正字 (篆書)	24.3	18.5	1.3	3.0	銅	中国 (北宋)	1064	—
369	22	23	—	L	14	1	治平元寶	磨質 (篆書)	24.4	18.5	1.3	2.7	銅	中国 (北宋)	1064	—
370	22	23	—	I	11	1/2	聖寧元寶	狭元 (篆書)	23.2	19.1	1.5	3.4	銅	中国 (北宋)	1068	—
371	22	24	—	H	14	1	聖寧元寶	正郭 (篆書)	—	—	—	7.0	銅	中国 (北宋)	1068	3枚付着、中央は銭文不明
							聖寧元寶	輪郭 (篆書)	—	—	—	—	銅	中国 (北宋)	1101	—
372	22	23	—	H	14	1	聖寧元寶	大字 (篆書)	24.6	19.4	1.3	2.8	銅	中国 (北宋)	1068	—
373	22	23	—	F	12	1	元徳通寶	背陽輪 (篆書)	24.3	18.6	1.4	2.3	銅	中国 (北宋)	1078	—
374	22	23	—	G	11	1	元徳通寶	西出 (真書)	24.9	20.1	1.2	2.6	銅	中国 (北宋)	1078	—
375	22	24	—	0	11	1	元祐通寶	背陽起 (真書)	—	—	—	6.9	銅	中国 (北宋)	1078	2点付着、うち1点は銭文不明
376	22	23	—	0	11	1	元祐通寶	広穿 (篆書)	24.7	18.4	1.3	2.9	銅	中国 (北宋)	1068	—
377	22	23	—	G	5	1	元祐通寶	小様 (篆書)	23.9	18.5	1.0	2.2	銅	中国 (北宋)	1068	—
378	22	23	—	0	16	1	聖寧元寶	磨産 (篆書)	23.9	19.7	1.2	(2.4)	銅	中国 (北宋)	1101	一部欠損
379	23	23	—	H	5	1	宣和通寶	短貫小学 (篆書)	25.0	20.5	1.5	2.8	銅	中国 (北宋)	1119	—
380	23	23	—	H	20	1	宣和通寶	厚肉磨産 (篆書)	23.9	20.5	2.0	(3.0)	銅	中国 (北宋)	1119	一部欠損
381	23	23	—	K	17	1	聖徳通寶	折二銭 背元	20.9	—	1.9	2.6	銅	中国 (南宋)	1205	磨蝕銭、磨食
382	23	23	—	J	11	1	洪武通寶	背一銭摩字	22.5	18.0	1.9	3.5	銅	中国 (明)	1368	—
383	23	23	—	H	14	1	永樂通寶	西縁	25.5	20.7	1.4	3.2	銅	中国 (明)	1408	—
384	23	23	—	H	14	1	永樂通寶	正様	—	—	—	1.6 (1.6)	銅	中国 (明)	1408	欠損
385	23	23	—	K	16	1	永樂通寶	正様	—	—	—	1.5 (2.0)	銅	中国 (明)	1408	欠損
386	23	23	—	L	9	1/2	朝鮮通寶	入足貫	23.8	20.2	1.5	(2.4)	銅	朝鮮	1423	磨食、一部欠損
387	23	24	—	0	19	1	寛永通寶	古寛永 岡山銭貨長字	24.4	18.9	0.9	(1.7)	銅	日本	1637	一部欠損
388	23	24	—	I	14	1	寛永通寶	古寛永 北戸銭貨永	23.6	18.7	1.2	2.4	銅	日本	1637	—
389	23	24	—	L	4	1	寛永通寶	新寛永 御字小文	25.3	20.4	1.3	3.1	銅	日本	1668	磨蝕
390	23	24	—	P	13	1	寛永通寶	新寛永 御字背文判輪	24.7	19.3	1.6	4.2	銅	日本	1668	—

第32表 銭貨観察表 (A・B区) (2)

採集番号	図版	写真図版	遺構	区画		層位	銭文	分類	法量 (cm)			質量 (g)	材質	国名	物議年	備考
				東西	南北				外径	内径	厚心					
391	23	24	—	G	7	I	寛永通寶	新寛永 蘭字背文	25.0	19.4	1.4	(2.9)	銅	日本	1668	一部欠損
392	23	24	—	K	15	I	寛永通寶	新寛永 経原銭草点永	—	—	1.1	(1.0)	銅	日本	1700	腐食、欠損
393	23	24	—	L	3	攪乱	寛永通寶	新寛永 四ツ貫銭助永	24.0	19.0	1.2	(1.6)	銅	日本	1708	腐食、一部欠損
394	24	24	—	H	20	I	寛永通寶	新寛永 京都七条銭造永小通	24.5	19.8	1.2	2.7	銅	日本	1736	腐食
395	24	24	—	T	17	I	寛永通寶	新寛永 横大路銭造永	—	—	1.0	(0.9)	銅	日本	1736	欠損
396	24	24	—	R	13	表土	寛永通寶	新寛永 深川十方坪銭虎ノ尾寶	—	—	1.0	(0.5)	銅	日本	1736	欠損
397	24	24	—	P	15	I	寛永通寶	新寛永 横大路銭造永	23.0	19.1	1.1	(1.5)	銅	日本	1736	一部欠損
398	24	24	—	O	11	攪乱	寛永通寶	新寛永 吉田島銭神字	23.1	17.9	1.2	2.4	銅	日本	1739	
399	24	24	—	K	12	攪乱	寛永通寶	新寛永 蘭字背文	22.9	17.5	1.1	2.4	銅	日本	1741	
400	24	24	—	L	5	攪乱	天保通寶	本應広部	48.9 32.7	44.1 27.4	2.7	19.9	銅	日本	1845	
401	—	24	—	O	11	攪乱	—	—	—	—	—	(5.7)	銅	—	—	2点付着、銭文不明、一部欠損

第33表 木製品観察表 (A・B区)

実測番号	図版	写真図版	遺構	区画		層位	器種	時期	法量			形態・特徴	木取り	樹種
				東西	南北				長さ (cm)	厚さ (cm)	幅 (cm)			
402	25	—	3KA151	P	15	—	杭	中世	(56.5)	7.9	9.5	中心部分が二つに割れているが、全体的に良好な状態で出土した遺物である。直部には5箇の方向から削った加工痕が認められる。また、全体に焦げあとが認められる。	丸木 芯持ち	クリ
403	25	—	3KA151	P	15	—	杭	中世	(74.5)	9.0	8.9	丸木単材を利用した杭である。比較的良好な状態で出土しており、三方向から削った加工痕が認められる。	丸木 芯持ち	クリ
404	25	—	3KA151	P	15	—	杭	中世	(49.3)	7.0	7.3	比較的良好な状態で出土した杭である。直部は多数の削った加工痕が認められる。全体に焦げあとが認められる。	丸木 芯持ち	クリ
405	25	—	3K9154	G	9	—	柱礎	中世	(54.5)	18.0	18.8	中心部上方から腐食し、上方部は芯部のみ残存している。柱礎部に加工痕が5方向から認められる。	丸木 芯持ち	クリ

第34表 縄文土器観察表 (A・B区) (1)

編年 取上番号	形式・ 産地	分類	群種	部位	胎土		文様	胎色		直径 (cm)	径長内径(口径)		備考	図録	写真 掲載
					内面・外面	文様		外/内	表面		口径	径長			
406	A2569-17B	SK265	E10	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	刷み	にぶい黄褐色/灰黄褐色/ 灰黄褐色	—	(16.4)	—	—	内面に刷目無付着	26	29
407	A2444-11B	SK285	Z11	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 上に刷み・縄文 (RL)	にぶい黄褐色/灰褐色/にぶ い黄褐色	—	(12.3)	—	—	縁部孔あり	26	25
408	A2682-2B	SK262	83	深鉢	口縁部	ナデ・条線/ナデ	刷み	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	外面に灰化物付着	26	25
409	A2382-24B	SK262	83	深鉢	口縁部	ナズリ/ナデ	刷み	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	外面に灰化物付着	26	25
410	A2895-9	SK262	89	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	—	にぶい黄褐色/にぶい黄褐色/ 黄褐色	—	2.6	—	—	—	26	25
411	A2118-4	SK210	88	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線	黄褐色/にぶい黄褐色/灰黄 褐色	—	—	—	—	—	26	25
412	A2413-7	SI457	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	印線文・垂刺状高直 文文	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/にぶい黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
413	A2204-02	SI449	82	深鉢	口縁部	条線/ナデ	刷み	にぶい黄褐色/赤黄褐色/ にぶい黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
414	A2278	SI449	85	ミニチュア	裏面	ナデ/ナデ	—	いぶい褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	(7.5)	—	—	—	26	25
415	A2380-22B	SI449	84	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	縄文 (RL)	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	内面に灰化物付着	26	25
416	A2389-8B	SI449	C1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	高直文・縄文 (RL)	黄褐色/黄褐色/灰黄褐 色	—	—	—	—	—	26	25
417	A3003-13	SK431	C7-B	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・条線・刷実	にぶい褐色/灰白色/黄褐 色/灰白色	—	—	—	—	—	26	25
418	A3004-32	SK421	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	幾何・波線・刷実	黄褐色/灰白色/灰白色/ 黄褐色	—	—	—	—	外面に灰化物付着	26	25
419	A2992-20	SK424	K7-B1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	印線文・幾何文	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
420	A668-1B	SK130	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・幾何文 (RL)	にぶい黄褐色/にぶい褐色/ にぶい褐色	—	—	—	—	—	26	25
421	1112-3	SK70	Z5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 上に刷み・印状縄文 (条線・刷)	黄褐色/黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
422	739-14	SK73	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線・条線文 (L)	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
423	739-10B	SK73	06	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	條線・波線	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
424	81223-1	S281	K10	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	波線・縄文 (L和)	灰黄褐色/にぶい褐色/灰 黄褐色	—	—	—	—	波線縄文外	26	25
425	81496-15B	SI481	K5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	にぶい褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
426	A1622-5	SI44	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
427	A1681-4	SI44	99	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	凸線の上に刷み	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
428	A3446-34	SK283	C11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ・高直文	波線・刷実・縄文 (RL)	にぶい黄褐色/にぶい褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
429	81387-1B	SK305	35	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	波線	灰白色/灰褐色/黄褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	波面	26	25
430	A3084-2	SK283	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・縄文 (RL)	にぶい黄褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
431	A3559-14	SK283	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・条線	にぶい黄褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
432	81304-12B	S281	K4	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	刷実文 (L)	にぶい黄褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
433	A3700-02	SK283	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・縄文 (RL)	灰黄褐色/灰黄褐色/灰黄 褐色	—	—	—	—	—	26	25
434	A3464-28	SK283	K10	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	波線・刷実・幾何文 (RL)	灰黄褐色/黄褐色/灰白 色	—	—	—	—	—	26	25
435	A3463-28	SK283	85	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	—	黄褐色/灰白色/黄褐色/ 黄褐色	—	3.4	—	—	—	26	25
436	81070-9B	S281	K1	深鉢	口縁部→ 裏面	ナデ/ナデ	波線・幾何文 (RL)	にぶい褐色/にぶい黄褐色/ にぶい褐色	(32.8)	8.2	—	—	裏面外面に刷代痕(二本跡 A・二本裏り→一本跡付)	27	26
437	81491-1B	S282	C7-B	深鉢	口縁部→ 裏面	ナデ/ナデ	波線・縄文 (L和)	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	(27.8)	—	—	—	—	26	26
438	81710-1	SI46	C13	不明	口縁部	ナデ/ナデ	条線・押引・刷実	褐色/にぶい黄褐色/にぶ い黄褐色	—	—	—	—	—	26	25
439	A789-21	SI47	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 上に刷み	灰黄褐色/灰黄褐色/灰黄 褐色	—	—	—	—	—	28	25
440	8834-44	SI47	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(押引)口 縁部→刷実	灰黄褐色/にぶい黄褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	28	26
441	A790-52	SI47	Z7	深鉢	口縁部	ナデ/条線	口縁部部に刷み・縄文 (L和)	にぶい黄褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	28	26
442	A825-18	SI47	Z7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	縄文 (RL)	にぶい黄褐色/にぶい褐色/ 灰黄褐色	—	—	—	—	—	28	25
443	A790-47B	SI47	Z6	深鉢	口縁部→ 裏面	ナデ/ナデ	口縁部部に印線印文文 特珠家原文(ナデ引目) 縄文 (RL)	灰黄褐色/にぶい黄褐色/ 灰黄褐色	(20.6)	—	—	—	裏面外面に刷代痕あり	28	26
444	8832-28B	SI47	Z8	浅鉢	裏面	ナデ/ナデ	平行波線	褐色/黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	28	26
445	8834-28B	SI47	Z6	深鉢	裏面	ナデ/ナデ	波線・刷実	にぶい赤褐色/褐色/黄褐 色	—	10.8	—	—	—	28	26
446	A790-49B	SI47	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 刷実・縄文 (RL)	にぶい褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	—	—	—	—	—	28	26
447	8834-40B	SI47	Z7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ・高直文	口縁部部に刷み・特珠 家原文(ナデ引目)上 に刷み	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	28	26
448	8834-57	SI47	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 上に縄文 (RL)	にぶい褐色/黄褐色/黄 褐色	—	—	—	—	—	28	26
449	8834-58	SI47	Z11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 上に縄文 (RL)	にぶい褐色/黄褐色/黄 褐色	—	—	—	—	—	28	26
450	8832-28	SI47	Z8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特珠家原文(ナデ引目) 上に刷み	にぶい黄褐色/黄褐色/ 灰黄褐色	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	28	26
451	A790-48B	SI47	C13	不明	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刷実	にぶい赤褐色/にぶい赤褐 色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	29	26
452	8834-23	SI49	C2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	刷実・縄文 (RL)	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	29	26
453	A877-24	SI49	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	条線・押引・刷実	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/黄褐色	—	—	—	—	—	29	27
454	A877-25	SI49	K3	不明	裏面	ナデ/ナデ	波線・縄文 (RL)	黄褐色/にぶい黄褐色/灰 黄褐色	—	—	—	—	—	29	26
455	A1299-2B	SI412	C4	深鉢	口縁部→ 裏面	ナデ/ナデ	平行波線・幾何文 (RL にLも付着)	褐色/褐色/褐色	(36.5)	—	—	—	—	29	29

第36表 縄文土器観察表 (A・B区) (3)

編年番号	取上番号	形状・装飾	分類	器種	部位	器態		文様	色・胎土			注量 (cm)	採取口(種・寸)	備考	図録	写真掲載	
						外側/内面	文様		色	胎土	厚さ						
308	81273-133他	SK826	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-平行波線-刺突	にがい褐色/にがい褐色/黒褐色	—	—	—	—	—	—	34	28	
309	8084-25他	SK826	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-上に刻み-波線	灰黄褐色/灰白色/褐色	—	—	—	—	—	—	34	28	
510	81273-180	SK826	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-刺突	黒褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	28	内面に灰化物付着
511	A3040-7	SK826	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線(押引)	灰褐色/灰黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	34	28	
512	A3040-8	SK826	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	ナデ/ナデ	にがい褐色/にがい褐色/黒褐色	—	—	—	—	—	—	34	28	縄文巻跡少
513	A3040-9	SK826	Z5	深鉢	器底	ナデ/ナデ	—	にがい褐色/にがい褐色/黄褐色	—	—	6.2	—	—	—	34	28	
514	A2623-14	SK81	X4	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	縄文(L)	にがい褐色/にがい褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
515	A869	SI410	Z5	不明	—	—	—	灰黄褐色/~/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
516	A1310-15	SI421	C7-8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ-底縁圧痕	波線-刺突-縄文(隅)	にがい褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
517	A1275-158他	SI433	C4	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	平行波線-縄文(隅)	にがい褐色/にがい褐色/黒褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	内面に灰化物付着
518	A1590-13	SI440	K6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-刻み	灰白色/にがい褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
519	A1672-3	SI441	K3-4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-刺突-波線縄文(L)	にがい褐色/にがい褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	内外面に灰化物付着
520	A1590-8他	SI440	K6	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹縄文-縄文(二枚割)	にがい黄褐色/灰黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
521	A1767-8	SI445	R2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
522	A1769-38他	SI445	R10	鉢	口縁部~器底	ナデ/ナデ	無帯-波線	にがい黄褐色/にがい褐色/褐色	—	—	4.1	—	—	—	34	31	
523	A1572-8	SI442	R6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凸帯上に刺突	にがい褐色/褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
524	A2297-4	SI450	R5	深鉢	口縁部	無帯(有刻)/ナデ-底縁圧痕	凸帯上に底縁圧痕	灰褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	34	31	
525	A2297-3	SI450	R6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
526	A2468-3	SI452	Z4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	刻み-突帯上に刺突	褐色/黒褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
527	A2593-40	SI458	K5	深鉢	胴部	ナデ/ナデ-専用急須/ナデ	波線-条線-刻み	黄褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
528	A3701-22	SI461	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-刻み	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
529	A411	SK897	S2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-縄文(L)	黒褐色/褐色/黒褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
530	A568-2	SK418	R6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	褐色/褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
531	A4417-6他	SI463	R6	深鉢	口縁部~胴部	ナデ/ナデ	—	褐色/にがい褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
532	A625	SK431	K2	深鉢	口縁部	ナデ/底縁圧痕	波線-波線縄文(L)	にがい黄褐色/黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
533	A797-1他	SK454	Z11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊装容文(ナデ引)/口縁部刻み-刺突-縄文(L)	にがい褐色/黒褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	補修孔あり
534	A1584-7	SK477	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	口縁部に波線、刻み-波線	にがい黄褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
535	A2183-4	SK427	R6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凸帯上に刻み	灰褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
536	A1448-13	SK475	C2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ-底縁圧痕	無帯-押引-縄文(RL)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
537	A1846-25他	SK491	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-無文(L)	にがい黄褐色/灰褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	31	
538	A2484-10	SK425	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-刺突-縄文(RL)	灰黄褐色/灰黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	
539	A2336-30	SK425	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-上に刺突-波線-刻み-縄文(L)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	
540	A2625-158他	SK422	C2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-刺突-点状文	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	
541	A2265-17	SK429	R6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凸帯上に刻み	にがい褐色/にがい黄褐色/灰白色	—	—	—	—	—	—	35	33	
542	A712-2他	SK433	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊装容文(押引)/口縁部刻み-刺突-縄文(RL)	黒褐色/黒褐色/黒褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	
543	A3001-38	SK429	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-波線-縄文(L)	にがい褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	内面に灰化物付着
544	A2709-7	SK423	R1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-点状文	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	
545	A256-10	SK425	C1	深鉢	器底	ナデ/ナデ	刺突-縄文(RL)	にがい黄褐色/にがい褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	
546	A3027-4	SK428	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹縄文-専用底縁圧痕	黄褐色/にがい黄褐色/灰白色	—	—	—	—	—	—	35	33	
547	A3018-26	SK429	R6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-波線縄文(RL)	灰黄褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	内面に灰化物付着
548	A3023-3	SK425	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	刺突-専用底縁圧痕	褐色/灰褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	内面に赤色顔料付着
549	A2551-12	SK429	K9	深鉢	口縁部	ナデ/条線/ナデ	波線-条線	褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	内面に赤色顔料付着
550	A3043-198他	SK436	K10	注口土器	注口部	ナデ/ナデ	ヘラミズキ/底縁圧痕	褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	35	33	内面に赤色顔料付着
551	A3042-17	SK426	R1-2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にがい褐色/にがい黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	
552	A3104-608他	SK436	R9	深鉢	口縁部~胴部	ナデ/ナデ	ナデ/ナデ	にがい黄褐色/灰黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	補修孔あり、内面に灰化物付着
553	A3104-148他	SK436	R9	深鉢	口縁部	ナデ-条線/ナデ	—	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	内外面に灰化物付着
554	A3104-418他	SK436	R9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	にがい黄褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	内外面に灰化物付着
555	A2305-126	SK427	K7	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹縄文	灰黄褐色/灰黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	
556	A3005-116	SK427	K9	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にがい褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	
557	A3270-37	SK427	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線-縄文(L)	にがい黄褐色/黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	
558	A3038-91他	SK427	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-波線-刺突-専用底縁圧痕(L)/押引	灰白色/灰白色/褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	
559	A3038-54	SK427	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無帯-波線-刺突-波線縄文(RL)	灰白色/灰白色/褐色	—	—	—	—	—	—	36	33	

第37表 縄文土器観察表 (A・B区) (4)

観覧 番号	取上番号	地区・ 遺跡	分類	器種	部位	模様		文様	色部			重量 (g)	口径・高さ・口縁中径		備考	図録			
						(内面・内底)	(外面・外底)		口縁	器底	器高								
560	A267-1418	5A247	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文・垂貝貝面直文	にがい黄褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	36	33	
561	A267-1668	5A247	B6	深鉢	口縁部	ナデ・垂貝/ナデ	—	—	褐色/褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	36	32	
562	A3205-81	5A247	K8	深鉢	口縁部	ミガキ/ミガキ	—	波線・縄文 (L)	にがい褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	—	36	33	
563	A3273-31	5A247	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線・刺突・垂流縄文 (L)	灰黄褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	—	36	33	
564	A3205-1448	5A247	B9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	—	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	36	32	
565	A3207-209	5A247	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線・斜糸・垂流縄文 (L)	にがい黄褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	補修孔あり。内面に灰化物付着	36	32	
566	A3205-123	5A247	K9	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	波線・刺突・垂流縄文 (L)	にがい褐色/褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	補修孔あり	36	32	
567	A3235-13	5A250	C13	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	刺突・点形文	褐色/灰黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	36	32	
568	A3242-022	5A250	G8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	垂線・波線・垂糸文 (R)	にがい黄褐色/褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	36	32	
569	A3240-098	5A250	K1	深鉢	口縁部一 部部	ナデ/ナデ	—	波線・縄文 (L)	灰褐色/黄褐色/褐色	14.7	—	—	—	—	—	—	36	32	
570	A3211-028	5A251	X3	深鉢	底部	ナデ/ナデ	—	—	褐色/にがい褐色/にがい褐色	—	18.1	—	—	—	—	—	36	32	
571	A3138-6	5A269	B6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
572	A3181-18	5A270	B8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文・垂流縄文 (L)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
573	A3203-20	5A271	K6	深鉢	胴	ナデ/ナデ	—	垂線・波線・刺突	灰黄褐色/にがい黄褐色/黄色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
574	A3222-7	5A271	K5	土製深鉢	—	ナデ/ナデ	—	波線	にがい褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
575	A3181-23	5A270	B0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	口縁部部に斜糸	灰黄褐色/にがい褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	37	32	
576	A3240-198	5A277	B6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凸糸・凹線直文文	にがい褐色/にがい褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
577	A3266-1018	5A281	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線・縄文 (R)	にがい褐色/にがい褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
578	A3266-102	5A281	C7-8	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	波線・斜糸	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
579	A3249-43	5A281	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線・縄文 (R)	にがい褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	内面に灰化物付着	37	34	
580	A3448-3	5A286	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線	灰褐色/黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
581	A3269-26	5A286	C2	深鉢	胴部	ナデ/不明	—	—	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	32	
582	A343-078	5A286	G6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線・縄文 (R)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
583	A3274-18	5A286	X5	深鉢	底部	ナデ/ナデ・垂線直文	—	—	にがい褐色/にがい黄褐色/黄褐色	—	10.7	—	—	—	—	底部外面に焼状直文あり	37	34	
584	A4027-8	5A286	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	垂線・波線・刺突	にがい褐色/にがい褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
585	A3262-3	5A287	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文・垂貝貝面直文	灰褐色/灰黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	37	34
586	A3265-30	5A286	Z5	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線	灰黄褐色/灰黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
587	A3262-19	5A287	K2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線	灰白色/灰白色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
588	A3264-1698	5A289	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文・縄文 (不明)	灰褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
589	A3268-58	5A289	K8	注口土器	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線・垂流縄文 (R)	灰黄褐色/灰黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
590	A3269-64	5A289	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	波線	褐色/にがい褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
591	A3418-1928	5A312	X5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	刺状貝縄文 (L)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
592	A3269-9	5A312	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文	にがい黄褐色/灰白色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	37	34	
593	A4005-2	5A313	Z4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	特殊直文文 (ナデ付) 上に斜糸・垂糸	褐色/にがい褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	34	
594	A3279-19	5A315	K7	深鉢	口縁部	ミガキ/ナデ	—	凹線文	にがい褐色/にがい褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	34	
595	A3288-35	5A315	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文	にがい黄褐色/灰白色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	34	
596	A3276-4	5A315	X4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	縄文 (L)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	34	
597	A2683	5A312	C12	深鉢	ナデ/ナデ・ナデ/ナデ	—	垂糸・平行波線	褐色/灰黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	—	38	34	
598	A4011-188	5A315	B1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	凹線文	にがい褐色/にがい褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	38	34
599	B1119-2	5B318	B1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	垂線・刺突・縄文 (不明)	にがい褐色/にがい褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
600	B1300-9	5B322	C12	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	垂線・上に刺突・波線・縄文 (L)	にがい黄褐色/にがい褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
601	B1130-9	5B318	C13	深鉢	口縁部一 部部	ナデ/ナデ	—	波線	灰白色/黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
602	B1266-13	5B322	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	垂線・刺突・二枚貝貝面直文	にがい褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
603	A1832-20	5Z4	B4	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	ナデ/ナデ	にがい褐色/灰黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
604	A1834-10	5Z4	C13	内蓋	—	ナデ/ナデ	—	縄文 (R)	にがい褐色/にがい黄褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
605	A1834-15	5Z4	B6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	—	にがい黄褐色/黄褐色/黄色	—	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	38	35
606	705-47	5B1	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	刺突・口縁部部に貝面直文・縄文 (L)	灰褐色/黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	38	35
607	1149-52	5B1	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	垂線・波線	灰黄褐色/褐色/褐色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
608	837-65	5B1	O8	深鉢	口縁部一 部部	ナデ/ナデ	—	波線	灰白色/灰白色/灰白色	—	—	—	—	—	—	—	38	35	
609	2201-8	5B1	O4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	平行波線・垂流縄文 (R)	褐色/褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	—	—	波状口縁部	38	35
610	A1858-18	5Z4	K10	深鉢	胴部一 部部	垂線/ナデ	—	—	にがい褐色/褐色/褐色	—	7.5	—	—	—	—	—	38	37	

第39表 縄文土器観察表 (A・B区) (6)

調査 番号	取上番号	地区・ 遺跡	分期	種類	部位	胎土		文様	胎色			備考	図録	
						(内表/内底)	文様		胎色	胎色	胎色			
664	7029-9	9F18	C13	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/にがい褐色/ にがい褐色	白	底面	底面		41	38
665	4753-9	52Z	CB	深鉢	口縁部一 部	ナリ/ナテ	流線・縄文 (内)	にがい褐色/褐色/にがい 褐色	(25. 8)	12. 2	42. 5		42	39
666	4718-9	52Z	BB	深鉢	口縁部一 部	鼻縁 (内表) / ナテ	斜み	明赤褐色/明赤褐色/ナ 褐色	(23. 3)	—	23. 3		43	39
667	5344-1	52A・K18	BB	深鉢	胴部一 部	ナリ/ナテ	—	褐色/流黄褐色/にがい 褐色	—	5. 3	—		43	39
668	4816-15	52Z	K10	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・縄文 (外)	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/にがい黄褐色	—	—	—		44	38
669	4980-1	52Z	X3	深鉢	胴部	ミナキ/ミナキ	—	灰褐色/褐色/灰褐色	—	—	—		44	38
670	6264-1	52S	K3	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・縄文 (外)	灰褐色/灰褐色/灰褐色	—	—	—		44	38
671	6346-1	52S	X3	深鉢	胴部一 部	ナリ/ナテ	—	灰白色/にがい黄褐色/ 褐色	—	8. 2	—		44	39
672	6509-9	526	C3	深鉢	口縁部一 部	ナリ/ナテ	平行流線・口縁部に斜 み・縄文 (内)	にがい褐色/にがい褐色/ にがい褐色	(17. 7)	7. 3	23. 2		44	39
673	1903-1	5K122	BB	深鉢	胴部一 部	ナリ/ナテ	—	にがい褐色/灰黄褐色/灰 黄褐色	—	2. 4	—		44	40
674	536-10	9K57	C7-8	深鉢	口縁部一 部	ナリ/ナテ	流線・縄文 (外)	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/にがい黄褐色	(29. 2)	—	—		45	40
675	417-9	9K57	C13	皿	胴部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/にがい褐色/ にがい褐色	—	—	—		45	40
676	1518-95	5K110	B4	深鉢	口縁部	鼻縁	口縁部に斜み	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	—	—	—		45	40
677	1518-92	5K110	B3	皿	口縁部一 部	ナリ/ナテ	—	にがい褐色/流黄褐色/ 褐色	—	—	—		45	40
678	1601-1	5K110	B3	深鉢	口縁部一 部	ナリ/ナテ/ナテ	斜み	明褐色/明赤褐色/反 褐色	26. 6	—	—		46	40
679	1685-1	5K110	B4	深鉢	口縁部一 部	ナテ/鼻縁 (内表) /ナテ	口縁部に斜み	にがい褐色/にがい褐色/ にがい褐色	29. 0	—	—		46	40
680	1837-1	5K111	B2	深鉢	口縁部一 部	鼻縁 (内表) / ナテ	垂直流線	にがい黄褐色/褐色/褐色	(38. 2)	7. 7	46. 0		47	41
681	1859-1	5K111	B3	深鉢	口縁部一 部	鼻縁/ナテ	垂直流線	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/にがい黄褐色	(37. 0)	—	—		48	41
682	1864-1	5K111	B3	深鉢	口縁部一 部	ナテ・鼻縁/ナテ	口縁部に垂直流線	褐色/にがい褐色/にがい 褐色	28. 0	—	—		48	41
683	3374-1	5K130 K02	K5	深鉢	口縁部一 部	ナリ	流線・垂直流線 (内)	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/黄褐色	45. 0	11. 4	47. 0		49	41
684	1174-187	5K111	B3	深鉢	口縁部	ナリ・鼻縁/ナテ・鼻 縁	斜み	灰白色/にがい褐色/に がい褐色	—	—	—		49	41
685	2902-11	5K189	C5	深鉢	口縁部一 部	ナリ/ナテ	平行流線・流線・垂直 流線	にがい黄褐色/黄褐色/黄 褐色	—	—	—		49	41
686	5396-24	5K506	C3	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/流黄褐色/黄 褐色	—	—	—		49	41
687	5596-25	5K506	C3	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・縄文 (内)	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	—	—	—		49	42
688	4316-18	5K506	K10	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・斜・縄文 (外)	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	—	—	—		49	41
689	5508-14	5K506	X3	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	斜み	褐色/褐色/褐色	—	—	—		49	41
690	2266-9	5F201	Z6	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	特殊文文様 (押印) ・縄文 (外)	灰褐色/にがい褐色/反 褐色	—	—	—		49	42
691	2968-12	5K304	C4	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	平行流線	灰白色/反白色/反褐色	—	—	—		50	42
692	2651-9	5K201	Z8	深鉢	口縁部	ナリ/鼻縁	垂直流線	流黄褐色/流黄褐色/反 白色	—	—	—		50	42
693	2588-2	5K201	X4	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	口縁部に斜み・縄文 (内)	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/褐色	—	—	—		50	42
694	4772-38	5K478	C7	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい黄褐色/にがい 褐色/反褐色	—	—	—		50	42
695	4415-21	5K478	C7-8	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・流線	にがい黄褐色/にがい 褐色/反褐色	—	—	—		50	42
696	4380-13	5K478	C5	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	流黄褐色/流黄褐色/反 褐色	—	—	—		50	42
697	4330-12	5K478	C1	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	褐色/褐色/褐色	—	—	—		50	42
698	4580-11	5K478	Z5	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	特殊文文様 (ナリ)・斜 み・縄文 (外)	にがい褐色/にがい褐色/ 反褐色	—	—	—		50	42
699	3742-16	5K316	C3	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい赤褐色/にがい赤 褐色/反褐色	—	—	—		50	42
700	2892-22	5K229	C5	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/にがい黄褐色	—	—	—		50	42
701	4844-62	5K757	C13	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	鼻縁	にがい褐色/にがい黄 褐色/反褐色	—	—	—		50	42
702	6816-18	5K757	K3	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・垂直流線 (内)	灰白色/反白色/反褐色	(25. 9)	—	—		50	43
703	3831-42	5K371	C7-8	深鉢	口縁部一 部	ナリ/ナテ	流線	灰黄褐色/にがい黄 褐色/反褐色	—	—	—		50	42
704	6466-74	5K757	K9	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/反褐色/反 褐色	—	—	—		50	42
705	6280-32	5K757	K7	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/にがい黄 褐色/褐色	—	—	—		50	42
706	6277-4	5K757	K7	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/流黄褐色/ 流黄褐色	—	—	—		50	42
707	4844-62	5K757	K10	深鉢	胴部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/流黄褐色/ にがい褐色	—	—	—		50	42
708	7672-1	5K757	K1	皿	胴部一 部	ナリ/ナテ	流線・垂直流線 (外)	にがい褐色/反褐色/反 褐色	—	8. 7	—		51	43
709	6448-6	5K757	K1	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・垂直流線 (外)	灰白色/反白色/反褐色	—	—	—		52	43
710	4262-3	5K372	K3	深鉢	胴部	ナリ/ナテ	流線・斜	にがい褐色/にがい黄 褐色/にがい褐色	—	—	—		52	43
711	8046-21	5K658	K7	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい褐色/流黄褐色/ 流黄褐色	—	—	—		52	43
712	2233-08	51Z	C7-8	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線・斜・縄文 (外)	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	—	—	—		52	43
713	2187-29	51Z	K7	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	流黄褐色/にがい褐色/ 褐色	—	—	—		52	43
714	2187-40	51Z	K9	深鉢	口縁部	ナリ/ナテ	流線	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/褐色	—	—	—		52	43

第40表 縄文土器観察表 (A・B区) (7)

編年 番号	取上番号	形状・ 産地	分類	群類	部位	意匠 (内外の面)	文様	意匠			注記 (cm)	採取口種(産地)	備考	図録	写真 図録
								(外)	(内)	共通					
715	2233-210	S12	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刻み	にがい黄褐色/にがい黄褐色/反白色	—	—	—	—	—	52	43
716	2233-211	S12	K1	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・縄文 (丸)	淡黄褐色/淡黄褐色/淡黄褐色	—	—	—	—	—	52	43
717	2652-198	S12	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ・海胆窪	波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	52	43
718	2871-17	S12	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	52	43
719	5252-18	S635	K7	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	回線文	淡黄褐色/にがい黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	外面に磨石付	52	—
720	6020-24	S670	K7	深鉢	口縁部	条線/ナデ	回線文・垂折線	淡黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	52	—
721	5748-7	S670	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	52	—
722	5433-1	S626	K9	深鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	輪郭上に刻み・波線	褐色/にがい黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	52	44
723	7155-1	S670	25	深鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	突帯・縄文 (丸)	淡黄褐色/にがい黄褐色/淡黄褐色	—	—	—	—	—	52	44
724	801-2	S6300-819	K4	深鉢	口縁部～胴部	条線/ナデ	波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	137.40	(10.4)	—	—	—	53	44
725	9848-10	S670	K1	煮	海胆	ナデ/ナデ	波線・縄文 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	外面に赤色顔料付	53	45
726	6889-24	S600	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	回線文	黄褐色/黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	53	45
727	6889-32	S600	K10	不明	胴部	ナデ/ナデ	波線・垂折線 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/淡黄褐色	—	—	—	—	—	53	45
728	8192-6	S627	55	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線	反白色/反白色/褐色	—	—	—	—	—	53	45
729	8348-14	S627	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	淡黄褐色/淡黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	53	45
730	8738-5	S679	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・垂折線 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/反黄褐色	—	—	—	—	—	53	45
731	6838-9	S678	25	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	突帯・縄文 (丸)	淡黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	53	45
732	6887-7	S678	26	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	口縁縁部に突帯・波線・縄文 (丸)	黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	53	45
733	7174-1	S629-820	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・垂折線 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	53	45
734	7317-6	S629	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・突帯・垂折線 (丸)	黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	45
735	7200-2	S670	C7-8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭・波線	反白色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	内面に黒受け状の痕本有	54	45
736	4206-4	S630	K1	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	波線・垂折線 (丸)	にがい黄褐色/反黄褐色/反白色	—	—	—	—	—	54	45
737	8297-1	S630	K1-2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	口縁縁部に刻み・刺突	淡黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	45
738	4205-20	S630	210	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭・平行波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	45
739	4652-7	S632	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線 (不明)	褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	外面に磨石付	54	45
740	2623-23	S620	58	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭・波線・突帯・縄文 (丸)	淡黄褐色/にがい黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	54	45
741	8154-15	S685	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	回線文・垂折線	にがい黄褐色/黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	45
742	2207-9	S662	25	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊突帯文 (ナデ引)・縄文 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	45
743	5639-10	S616	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刺突	にがい黄褐色/にがい黄褐色/反黄褐色	—	—	—	—	—	54	45
744	5157	S606	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	内面に刺突 (縄文 (丸))	淡黄褐色/黄褐色/反黄褐色	—	—	—	—	内外面に赤色顔料・磨石付	54	45
745	5308-1	S687	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭・刺突 (縄文 (丸))	にがい黄褐色/にがい黄褐色/反白色	—	—	—	—	—	54	45
746	6010	S6713	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刺突	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	46
747	8452-2	S675	C7-8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刺突	淡黄褐色/反黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	46
748	6421-13	S675	24	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊突帯文 (ナデ引)・上に刻み・点刺文	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	内外面に赤色顔料付	54	46
749	5848-3	S670	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭・波線	淡黄褐色/黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	内面に磨石付	54	46
750	5880-14	S676	K5	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	—	12.1	—	—	—	内面外面に黒線 (二本線 & 二本線引・一本線引)	54	46
751	8140-5	S676	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・縄文 (丸)	淡黄褐色/淡黄褐色/反白色	—	—	—	—	—	54	46
752	5713-9	S681	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭	にがい黄褐色/淡黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	54	46
753	5046-33	S665	K3-4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	口縁縁部に刻み	淡黄褐色/褐色/反黄褐色	—	—	—	—	—	54	46
754	5044-36	S665	K8	浅鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ・海胆窪	波線	褐色/褐色/淡黄褐色	(19.0)	—	—	—	—	54	46
755	5247-9	S654	K8	浅口土器	底部	ナデ/ナデ	刺突	反白色/反白色/反白色	—	—	—	—	—	54	46
756	5046-29	S665	K9	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	波線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	54	46
757	5247-6	S654	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・垂折線 (丸)	淡黄褐色/反白色/褐色	—	—	—	—	外面に赤色顔料付	54	46
758	6034	S659	K9	深鉢	口縁部	条線/条線	—	にがい黄褐色/にがい黄褐色/反褐色	—	—	—	—	—	54	46
759	5870-1	S687	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・縄文 (丸)	にがい黄褐色/反褐色/褐色	—	—	—	—	内外面に磨石付	55	46
760	5090-27	S680	K2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にがい黄褐色/淡黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	55	46
761	5107-2	S687	K4	深鉢	口縁部	条線/ナデ	—	淡黄褐色/反黄褐色/黄褐色	—	—	—	—	—	55	46
762	5090-18	S680	K4	深鉢	不明	ナデ/ナデ	縄文 (丸)	淡黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	55	46
763	5039-5	S680-118	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刺突・垂折線 (丸)	にがい黄褐色/褐色/反黄褐色	—	—	—	—	—	55	46
764	4841-2	S634	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	縄文 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	55	46
765	4788-18	S634	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	回線文	にがい黄褐色/反黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	55	46
766	4519-3	S619	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にがい黄褐色/淡黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	55	46
767	4617	S621	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪郭・波線・刺突・断文 (丸)	褐色/反白色/にがい黄褐色/褐色	—	—	—	—	—	55	47

第42表 縄文土器観察表 (A・B区) (9)

編年 取上番号	形式・ 産地	分類	群類	部位	器名		文様	色		注量 lip	径長比(標準値)		備考	図録	写真 図録	
					外高/内高	文様		口部	底面		高さ	長さ				
820	436	SK31	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	文様無	灰白色/灰白色/褐色色	-	-	-	-	内面に灰色物付着	39	50	
821	929-16他	SK30	C10	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	文様	にぶい褐色/にぶい褐色/ 褐色色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	39	50	
822	930-20他	SK30	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	無様	にぶい褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	-	-	-	-	-	39	50	
823	1070-36他	SK37	Z8	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊装束文(ナデ有) にぶい褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	-	-	-	-	-	内面に赤色塗抹あり	60	51	
824	957-19	SK30	C4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊装束文(丸口、L、E、E 垂下)	にぶい褐色/にぶい褐色/ 黄褐色	-	-	-	-	-	60	51	
825	927-11他	SK30	C3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行波線 羽み・横文 (丸)	黄褐色/反黄褐色/褐色 色	-	-	-	-	-	60	51	
826	953-15	SK39	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯上に羽み・羽み	黄褐色/反白色/褐色色	-	-	-	-	口縁部の縁りが本装束的	60	51	
827	951-7他	SK36	C11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・平行波線 特殊文 (丸)	にぶい褐色/黄褐色/ 反白色	-	-	-	-	-	60	51	
828	967-10他	SK36	C11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・平行波線 特殊文 (丸)	にぶい褐色/黄褐色/ 反白色	-	-	-	-	-	60	51	
829	949-6	SK37	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯	にぶい褐色/褐色/にぶ い黄褐色	-	-	-	-	-	60	51	
830	947-7他	SK39	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にぶい褐色/反黄褐色/ 褐色色	-	-	-	-	-	60	51	
831	2533-6他	SK138	K2	深鉢	口縁部 - 胴部	特殊ケズリ/ナデ	口縁部部に刺突	にぶい黄褐色/反黄褐色/ 黄褐色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	60	51	
832	3535-7	SK138	K5	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	交差 波線文	反白色/反褐色/反白色	-	-	-	-	-	60	51	
833	3533-2他	SK138	K9	深鉢	口縁部	ミガキ/ナデ	波線	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/反白色	-	-	-	-	内外面に赤色顔料付着	60	51	
834	3770-3	SK139	K7	深鉢	胴部	ミガキ/ミガキ	波線 横波線文(丸)	褐色色/にぶい黄褐色/反 黄褐色	-	-	-	-	内外面に赤色顔料・黒色顔 料付着	60	51	
835	2895-10	SK149	K9	深鉢	口縁部	特殊/ナデ	隆帯・波線文 特殊波線 文	にぶい黄褐色/反黄褐色/ 褐色色	-	-	-	-	-	60	51	
836	2734-2他	SK168	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯上に羽み・波線 特 殊文(丸)	褐色/にぶい黄褐色/黄 褐色	-	-	-	-	-	60	51	
837	3912-14他	SK145	K3	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	刺突	にぶい黄褐色/褐色色/黄 褐色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	60	51	
838	2700-7	SK229	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線 特殊文(L)	にぶい黄褐色/ナデ 褐色/ 反白色	-	-	-	-	-	61	51	
839	3038-6	SK229	K4	円蓋	-	ナデ/ナデ	横文(丸)	反黄褐色/にぶい黄褐色/ 褐色色	-	-	-	-	-	61	51	
840	2700-19他	SK229	K5	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	-	にぶい黄褐色/反白色/褐 褐色	-	7.6	-	-	-	61	51	
841	2855-8	SK296	S2	深鉢	口縁部	口縁部	波線	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色/褐色色	-	-	-	-	-	61	51	
842	3017-12	SK297	S2	深鉢	口縁部	特殊/ナデ	-	にぶい黄褐色/反黄褐色/ 褐色	-	-	-	-	-	61	51	
843	3537-2他	SK327	K5	平鉢	口縁部	ナデ/ナデ	-	にぶい褐色/反褐色/反 褐色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	61	51	
844	3561-3	SK338	K1	浅鉢	口縁部	ミガキ/ナデ	波線	黄褐色/にぶい黄褐色/黄 褐色	-	-	-	-	外面に赤色顔料付着	61	51	
845	4067-10	SK371	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線文	にぶい褐色/にぶい黄褐色/ 褐色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	61	51	
846	3516-1他	SK331- K18	K9	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	波線 刺突	にぶい黄褐色/反白色/黄 褐色	-	35.7	5.3	-	内面に灰色物付着	61	53	
847	3831-47他	SK371	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	隆帯・波線	にぶい黄褐色/反白色/褐 褐色	-	-	-	-	-	62	53	
848	3874-1他	SK375	K9	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	波線文 特殊波線文・垂 下特殊波線文	にぶい褐色/にぶい黄褐色/ 反褐色	-	-	-	-	内外面に灰色物付着	62	53	
849	4954-16	SK376	K4-5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凸帯上に隆帯波線文	にぶい褐色/黄褐色/褐 褐色/にぶい黄褐色/褐色 色	-	-	-	-	-	62	53	
850	3810-3	SK386	K8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線文	にぶい褐色/反黄褐色/褐 褐色	-	-	-	-	-	62	53	
851	4267-8他	SK388	Z6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	突帯上に横文(L、R) 横文(L、R)	にぶい黄褐色/反白色/褐 褐色	-	-	-	-	-	62	53	
852	4272-12	SK398	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線 刺突	にぶい黄褐色/にぶい黄褐 色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	62	53	
853	3993-12	SK447	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線 特殊文	黄褐色/反白色/黄褐色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	62	53	
854	4068-4他	SK447	K9	深鉢	口縁部	ミガキ/ミガキ	波線	にぶい黄褐色/反褐色/褐 褐色	-	-	-	-	-	62	53	
855	4089-13	SK479	C11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	横文(丸)	にぶい褐色/にぶい褐色/ 反黄褐色	-	-	-	-	-	62	53	
856	5384-11他	SK481	C9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯上に刺突・波線	にぶい褐色/反黄褐色/褐 褐色	-	-	-	-	内面に重塗り状の凹凸有 り。内面に灰色物付着	62	53	
857	5129-10他	SK497	K5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	-	にぶい褐色/にぶい黄褐色/ 褐色	-	9.9	-	-	-	62	53	
858	4340-14他	SK499	K4	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	特殊文(丸)	にぶい褐色/にぶい黄褐色/ 褐色	-	-	-	-	-	62	53	
859	3029-1他	SK296- 442	C6	浅鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	隆帯 波線	褐色/褐色/反黄褐色	31.8	-	-	-	-	62	53	
860	4756-23	SK505	Z2	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	にぶい黄褐色/反黄褐色/ 反褐色	-	-	-	-	-	63	52	
861	4179-2他	SK520	Z10	浅鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	刺突	反白色/反白色/反黄褐色	-	-	-	-	内面に赤色塗抹あり	63	53	
862	4894-21他	SK525	C7-8	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	隆帯 波線 刺突	黄褐色/黄褐色色/反白 色	-	-	-	-	平塗面あり	63	52	
863	4803-11他	SK525	C7-8	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	隆帯 波線 刺突	にぶい褐色/にぶい黄褐色/ 褐色	-	17.5	-	-	-	外面に灰色物付着	63	54
864	4893-15	SK525	C8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線 口縁部部に羽み	反褐色/反褐色/反白 色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	63	52	
865	4895-1他	SK525	C8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	反褐色/にぶい褐色/褐色 色	-	-	-	-	-	63	52	
866	5550-5	SK538	K5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯	黄褐色/にぶい黄褐色/ナ デ 褐色	-	-	-	-	-	63	52	
867	5609-2	SK572	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線文 羽み	にぶい褐色/反褐色/褐色 色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	63	52	
868	4099-22他	SK574	K9	鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	-	褐色/反黄褐色/反白 色	-	-	-	-	内外面に灰色物付着	63	52	
869	5241-1他	SK396- K18	K8	鉢	口縁部 - 胴部	ミガキ/ミガキ	-	褐色/褐色/褐色色	19.5	-	-	-	-	63	54	
870	5069-6他	SK397	K5	深鉢	口縁部 - 胴部	ナデ/ナデ	波線文 羽み・刺突	にぶい褐色/褐色色/黄 褐色	-	22.2	-	-	内外面に灰色物付着	63	54	
871	5242-9	SK396	K9	深鉢	口縁部	特殊/ナデ	-	にぶい黄褐色/反褐色/褐 褐色/反白色	-	-	-	-	外面に灰色物付着	63	52	
872	5084-17	SK397	K6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線文 羽み	にぶい黄褐色/反褐色/褐 褐色	-	-	-	-	内外に赤色顔料付着。外周 に灰色物付着	63	54	
873	5506-6他	SK397	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線文	反褐色/反白色/反白 色	-	-	-	-	内面に灰色物付着	64	54	

第44表 縄文土器観察表 (A・B区) (11)

編年 取上番号	形式・ 産地	分類	群類	部位	器類		文様	胎土			注記 (cm)	胎内口縁凸出	備考	図録	写真 図録	
					内外口縁面	文様		色	質	厚さ						
926	7026-13	SK856	06	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・横文 (丸)	浅黄褐色/灰黄褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	67	56	
927	7303-1	SK862	64	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線	浅黄褐色/にがい褐色/灰白色	—	—	—	—	—	67	56	
928	7730-4	SK865	05	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・刺突・磨赤文 (丸)	にがい褐色/にがい褐色/灰白色	—	—	—	—	—	67	56	
929	7336-7他	SK873	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯	にがい褐色/にがい褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	67	57	
930	7386-2	SK871	C2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・押引・横文 (丸)	にがい褐色/にがい褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	67	56	
931	7051-3他	SK878	X5	蓋	口縁部～胴部	ミガキ/ナデ	—	にがい褐色/にがい黄褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	67	56	
932	7595-1他	SK857	C13	深鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ・隆帯	法線	にがい褐色/にがい褐色/赭灰色	—	—	—	(36.2)	—	67	57	
933	7064-1他	SK884	89	浅鉢	口縁部～胴部	ミガキ/ナデ/ナデ	法線	褐色/明褐色/にがい褐色	—	—	—	(21.1)	—	68	57	
934	7092-18他	SK884	X5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	にがい褐色/にがい褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	68	57	
935	7067	SK884	X9	鉢	胴部	ミガキ/ナデ	法線・刺突	にがい褐色/灰褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	68	58
936	7068	SK884	X4	浅鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	法線・折み	赭灰色/灰黄褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	68	56
937	7063-12	SK884	X5	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	にがい褐色/にがい黄褐色/灰白色	—	—	—	—	—	68	58	
938	8340-8	SK825	10	円蓋	—	ナデ/ナデ	隆帯	灰黄褐色/にがい黄褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	68	58	
939	8274-3	SK868	25	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	突帯上に横文 (丸)・ 横文 (丸)	にがい褐色/にがい褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	68	58	
940	8162-9	SK892	28	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行法線・点状文	にがい黄褐色/にがい黄褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	内外面に赤色顔料付着	68	58
941	8249-4	SK1395	89	蓋	口縁部	ナデ/ナデ	—	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	68	58	
942	8572-3	SK1234	X9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線	にがい褐色/褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	68	58
943	8609-6	SK1272	C7-B	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・法線	褐色/にがい褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	68	58	
944	8612-2	SK1274	X7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹線文・垂刺状隆帯	にがい黄褐色/にがい黄褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	68	58	
945	8613-5他	SK1274	X9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行法線・折み	灰褐色/灰褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	68	58	
946	8836-6	SK1287	28	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	突帯上に折み・平行法線	にがい黄褐色/赭灰色/赭灰色	—	—	—	—	—	68	58	
947	8704-8他	SK1278	25	深鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	突帯上に横文 (丸)・ 横文 (丸)	にがい褐色/にがい褐色/灰黄褐色	—	—	—	—	—	69	58	
948	9086-5	SK1303	C13	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・刺突	にがい褐色/褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	69	58	
949	8774-8	SK1291	86	注口土器	胴部	ナデ/ナデ	凹線文・折み・刺突	にがい黄褐色/にがい黄褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	69	58
950	9309-12他	SK1400	06	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・刺突	灰白色/灰白色/黄褐色	—	—	—	—	—	69	58	
951	9125-3他	SK1425 1429	05	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	法線・垂線	にがい褐色/にがい褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	69	58
952	8785-3他	SK1425	06	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・押引	にがい褐色/赭灰色/赭灰色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	69	58
953	8917-17	SK1433	C7-B	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・法線・刺突	明黄褐色/浅黄褐色/灰白色	—	—	—	—	—	69	58	
954	875-7他	SK869	89	10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・垂線	にがい褐色/にがい褐色/黄褐色	—	—	—	—	69	50	
955	7757-33他	SP18	X1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・横文 (丸)	にがい褐色/にがい褐色/褐色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	69	58
956	1850-1他	501	B3	深鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	口縁部部に折み	褐色/にがい褐色/赭灰色	—	—	—	(26.0)	—	69	58	
957	2732-12	513	X3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	横文 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/浅黄褐色	—	—	—	—	—	70	58	
958	2730-15	513	X9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線	にがい褐色/褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	70	58	
959	2734-5	513	X5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	口縁部部に折み	浅黄褐色/灰白色/赭灰色	—	—	—	—	—	70	58	
960	1861-7他	501	89	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	—	にがい褐色/にがい褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	70	58	
961	1907	501	89	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹線法線	にがい黄褐色/にがい黄褐色/灰白色	—	—	—	—	—	70	58	
962	8977-16他	SK1341 1344	C7-B	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・刺突・垂線	にがい褐色/灰白色/赭灰色	—	—	—	—	—	70	59	
963	8989-6	SK1369	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線	赭褐色/灰褐色/赭褐色	—	—	—	—	—	70	59	
964	9021-11	SK1369	14	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	横文 (丸)	灰褐色/にがい褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	70	59	
965	8278-8他	SK914	06	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・刺突	にがい褐色/にがい褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	70	59
966	8277-6他	SK914	C13	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	隆帯・法線	灰白色/灰白色/灰白色	—	—	—	—	—	70	59	
967	8241-1	SK967	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・折み・刺突	灰白色/灰白色/黄褐色	—	—	—	—	—	70	59	
968	8781-3他	SK1437	05	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行法線・磨赤文 (丸)	灰褐色/にがい黄褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	70	58	
969	8792-25	SK1437	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	—	にがい黄褐色/にがい黄褐色/赭灰色	—	—	—	12.2	—	底部外面に横状窪みあり・ 外面に灰化物付着	70	58
970	9130-10他	SK1468	05	深鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	法線 交互斜交・磨赤文 (丸)	黄褐色/灰褐色/灰褐色	—	—	—	—	—	70	59	
971	8640-4	SK1238	28	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	隆帯・法線	にがい褐色/明褐色/にがい褐色	—	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	70	60
972	8155-3他	SP7-015 17	C12	鉢	口縁部～胴部	ナデ/ナデ	隆帯上に押引・平行法線・ 刺突	にがい褐色/にがい黄褐色/赭褐色	—	—	—	33.9	—	10.3	70	61
973	7829-1他	502	26	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	特殊突帯文 (押引)	にがい褐色/黄褐色/黄褐色	—	—	—	(22.0)	12.5	10.5	71	61
974	8292-19他	502	02	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	口縁部部に折み・押引・ 横文 (丸)	にがい黄褐色/にがい黄褐色/にがい黄褐色	—	—	—	—	—	71	60	
975	8069-4	SK878	27	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	横文 (丸)	にがい褐色/灰褐色/赭褐色	—	—	—	—	—	外面に赤色顔料付着	71	60
976	8233	SK1774	X2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	法線・垂線法線 (丸)	黄褐色/にがい褐色/赭灰色	—	—	—	—	—	71	60	
977	8436-11	SK1219	X6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹線文・横文 (丸)	にがい褐色/にがい黄褐色/灰白色	—	—	—	—	—	外面に灰化物付着	71	60

第45表 縄文土器観察表 (A・B区) (12)

調査 番号	取上番号	地区・ 遺跡	分類	時期	部位	用途	文様	色部		重量 (g)	径 (mm)		備考	図録 掲載	
								口縁	底面		口縁	底面			
978	6320-20他	5030	32	深鉢	口縁部・ 腹部	ナデ / ナデ	刺突	にがい褐色 / にがい褐色 / 黄灰色	白磁	6.5	—	—	—	71	60
979	8711-12	503224	K1	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・散珠縄文 (L)	にがい褐色 / 褐色 / 黄灰色	—	—	—	—	—	71	60
980	8417-4	503233	K3	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・刺突	にがい黄褐色 / 灰褐色 / 黄灰色	—	—	—	—	—	71	60
981	8871-6	503300	C13	深鉢	腹部	ナデ / ナデ	縄文 (丸)	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 / 黄褐色	—	11.0	—	—	—	71	61
982	7974-10	503117	X3	鉢	口縁部	ミナキ / ナデ	—	褐色 / にがい褐色 / 黄灰色	—	—	—	—	—	71	60
983	7974-11	503117	X4	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	縄文 (丸)	にがい褐色 / にがい褐色 / 黄褐色	(26.6)	—	—	—	—	71	60
984	9135-16	503451	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (押引)・ 刺突・縄文 (丸)	にがい褐色 / 灰褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	72	60
985	9135-11他	503452	C13	深鉢	口縁部一 部部	ナデ / ナデ	波線・波線・点形文	にがい褐色 / にがい褐色 / 黄灰色	—	—	—	—	—	72	60
986	9135-6	503452	C13	深鉢	口縁部一 部部	ナデ / ナデ	波線・波線	にがい褐色 / にがい褐色 / 黄灰色	—	—	—	—	—	72	60
987	9104-6	503454	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (押引)・波 線	にがい褐色 / にがい褐色 / にがい褐色	—	—	—	—	—	72	60
988	9064-24他	503451	O6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・波線・点形文	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 色 / にがい黄褐色	—	—	—	—	—	72	60
989	9073-1他	503457	C13	深鉢	口縁部一 部部	ナデ / ナデ	波線・刺突・縄文 (丸)	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 色 / にがい黄褐色	(17.8)	(7.3)	(21.8)	—	—	72	61
990	9109-24	503463	O3	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 色 / にがい黄褐色	—	—	—	—	—	72	60
991	9060-54	503465	C6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・交互刻突・刺突文 (丸)	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 色 / 黄灰色	—	—	—	—	—	72	60
992	9173-29	503467	O5	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線・押引・刺突・ 刺突 (丸)	にがい黄褐色 / 黄褐色 / 灰 褐色	—	—	—	—	—	72	60
993	9178-33	503467	O5	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・波線・刺突・刺突文 (丸)	にがい黄褐色 / 灰黄褐色 / にがい黄褐色	—	—	—	—	—	72	60
994	9106-21	503467	O5	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・刺突・刺突文 (丸)	灰黄褐色 / にがい黄褐色 / にがい黄褐色	—	—	—	—	—	72	60
995	9173-35	503467	O5	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線・刺突文 (丸)	黄褐色 / 黄灰色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	72	60
996	9192-8他	503473	X5	深鉢	胴部一 部部	ナデ / ナデ	—	褐色 / 灰褐色 / にがい褐色	—	8.4	—	—	—	73	61
997	9175-13	503477	C10	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・平行波線・波線・刺 突文 (丸)	黄褐色 / にがい黄褐色 / 黄 褐色	—	—	—	—	—	73	59
998	9177-60	503477	Z8	深鉢	口縁部	ミナキ / ナデ	突刺上に刺突・波線・ 波線 (丸)	褐色 / にがい褐色 / にがい 黄褐色	—	—	—	—	—	73	59
999	9501-22	503478	C11	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・縄文 (丸)	黄褐色 / 黄灰色 / 黄褐色	—	—	—	—	—	73	59
1000	9177-42	503477	C13	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線・波線・押引	にがい黄褐色 / 黄褐色 / 灰 褐色	—	—	—	—	—	73	59
1001	9177-25他	503477	C12	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線・波線・押引・ 刺突	にがい褐色 / にがい褐色 / 黄褐色	—	—	—	—	—	73	60
1002	9177-56	503477	C13	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	貝類印文文・刺突	灰褐色 / にがい褐色 / 灰黄 褐色	—	—	—	—	—	73	60
1003	9053-4	503481	S1	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線	黄褐色 / 黄褐色 / 黄褐色	—	—	—	—	—	73	59
1004	9056-27	503485	C10	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波刺上に刺突・波線	灰黄褐色 / にがい黄褐色 / 黄褐色	—	—	—	—	—	73	59
1005	9133-20他	503485	O5	深鉢	腹部	ナデ / ナデ	波線・平行波線・刺突文 (丸)	にがい褐色 / にがい褐色 / にがい褐色	—	—	—	—	—	73	59
1006	9141-1他	503484	C7	深鉢	胴部一 部部	ナデ / ナデ	波線	黄褐色 / 黄褐色 / 黄褐色	—	(10.2)	—	—	—	73	61
1007	9041-35他	503495	K4	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・波線・貝類印文文 ・刺突 (丸)	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 色 / 刺突・黄褐色	—	—	—	—	—	73	59
1008	9186-51	503501	C11	深鉢	突起部	ナデ / ナデ	波線・刺突・点形文	灰黄褐色 / 灰黄褐色 / 褐色	—	—	—	—	—	74	59
1009	7683-179	515	S2	深鉢	口縁部	刺突 / ナデ	縄文 (不明)	にがい褐色 / 灰黄褐色 / 灰 褐色	—	—	—	—	—	74	63
1010	6477-8	515	S2	深鉢	口縁部	刺突 / ナデ	—	にがい褐色 / にがい褐色 / 黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1011	7832-6他	515	Z1	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	点形文	にがい褐色 / にがい黄褐色 色 / 灰黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1012	2926-10	516	Z1	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	点形文	にがい褐色 / にがい黄褐色 色 / 灰黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1013	2864-181他	516	Z2	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	口縁部刻突・刺突文 ・押引・貝類印文文	黄褐色 / 黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	74	63
1014	1774-1	820	Z3	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	押引・貝類印文文	黄褐色 / 黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	74	63
1015	2612-33	819	Z3	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	押引	にがい褐色 / にがい黄褐色 色 / 灰黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1016	2411-6他	820	Z5	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	突刺上に刺突・縄文 (丸)	黄褐色 / 黄褐色 / 灰黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1017	4098-117	716	Z5	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (ナデ引)・ 刺突・刺突 (丸)	にがい褐色 / にがい褐色 / にがい黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1018	2771-9他	516	Z3	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	突刺・縄文 (丸・丸)	灰黄褐色 / 黄褐色 / にがい 黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1019	2098-93他	817	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / 縄文 (丸) ナデ	特殊家畜文 (押引)・ 刺突・縄文 (丸)	にがい褐色 / にがい褐色 / にがい黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1020	8209-54	814	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (押引)・ 刺突・縄文 (丸)	にがい黄褐色 / にがい黄褐色 色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	74	63
1021	4096-57	715	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (ナデ引)・ 刺突・刺突 (丸)	灰黄褐色 / にがい黄褐色 / 黄褐色	—	—	—	—	—	74	63
1022	4098-105他	716	Z6	深鉢	腹部	ナデ / ナデ	—	にがい褐色 / 黄褐色 / 黄褐色	—	(15.3)	—	—	—	74	63
1023	7897-6	219	Z8	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (ナデ引)・ 刺突・平行波線	灰褐色 / 黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	74	63
1024	6444-1他	815	Z8	深鉢	口縁部一 部部	ナデ / ナデ	穿孔	にがい褐色 / にがい黄褐色 色 / 灰黄褐色	(15.5)	—	—	—	—	74	64
1025	42751-115他	121	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線	黄褐色 / 黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	74	64
1026	2301-75	122	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	平行波線	黄褐色 / にがい黄褐色 / 黄 褐色	—	—	—	—	—	74	64
1027	3764-112他	117	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	突刺上に刺突・平行波線	灰褐色 / にがい黄褐色 / 灰 褐色	—	—	—	—	—	74	64
1028	7722-1他	118	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	波線・刺突・波線縄文 (丸)	にがい黄褐色 / 刺突褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	74	64
1029	757-7他	817	Z6	深鉢	口縁部	ナデ / ナデ	特殊家畜文 (ナデ引)・ 刺突・刺突 (丸)	にがい褐色 / にがい褐色 / 灰褐色	—	—	—	—	—	75	64

第46表 縄文土器観察表 (A・B区) (13)

調査 年度	出土番号	形式・ 遺構	分類	器種	部位	位置		文様	色			備考	図録	写真 収録	
						(外/内)	(面)		土色	土質	土質				
1030	4119-60	F16	Z5-B	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢上に刻み・縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	-	-	-	75	64	
1031	365-79b	L15	C1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	押引・刻み・縄文・丸	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/にさ 褐色	-	-	-	75	61	
1032	363-295	L15	C1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・刻実・縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/深褐色/灰 褐色	-	-	-	75	64	
1033	7819-19b	W17	C3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行流線・縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/黒褐色/灰 褐色	-	-	-	75	62	
1034	4822-40b	D18-19	C2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線・刻実・押 引	深鉢	にがい褐色/灰褐色/黒 褐色	(22, 3)	-	-	75	64	
1035	41917-238b	K20-121	C3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/黄 灰色	-	-	-	75	65	内面に赤色顔料付
1036	8994-147b	W14	C3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・平行流線・縄文 (丸)	深鉢	深褐色/深褐色/灰白 色	-	-	-	75	65	
1037	1215-15b	W16-16	C6	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線・刻実	浅鉢	にがい褐色/にがい褐色/ にがい黄褐色	-	-	-	75	64	
1038	2558-17c	W6	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 灰褐色	-	-	-	75	64	
1039	7681-22a	G14	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線	深鉢	にがい褐色/深褐色/灰 褐色	-	-	-	76	63	
1040	1344-211b	L16	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線	深鉢	にがい黄褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	76	65	
1041	2558-17c	W6	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	にがい褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	76	63	
1042	1566-149b	W4	C8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実・穿孔	深鉢	深褐色/にがい褐色/灰 褐色	-	-	-	76	65	
1043	7859-11a	W15	4a	内蓋	-	ナデ/ナデ	流線	内蓋	深褐色/深褐色/黒 褐色	-	-	-	76	66	
1044	8169a-114b	W15	5a	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	深褐色/褐色/灰褐色	-	-	-	76	66	
1045	1245-34b	K15	C8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線・刻実・刻 実	深鉢	にがい褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	76	65	
1046	2662-199b	L15	C8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/褐色/にがい 褐色	(35, 3)	-	-	76	62	
1047	6085-151b	J15	C8	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線	深鉢	深褐色/深褐色/灰 褐色	-	-	-	77	66	
1048	428-9	W16	C10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・刻実	深鉢	深褐色/にがい褐色/ にがい褐色	-	-	-	77	66	内面に赤色顔料付
1049	42794-148b	K15	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・押引・刻み・縄 文	深鉢	にがい褐色/深褐色/黒 褐色	-	-	-	77	66	
1050	7937-29b	D16	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行流線・押引・刻み・ 縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 深褐色/黄褐色/黒 褐色	-	-	-	77	66	
1051	81000-152b	W14	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線・押引	深鉢	深褐色/にがい褐色/黒 褐色	-	-	-	77	66	
1052	1258-5	K16	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線	深鉢	深褐色/にがい黄褐色/黒 褐色	-	-	-	77	66	
1053	4962-63	F16	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢上に刻み・流線	深鉢	深褐色/深褐色/深褐色	-	-	-	77	66	
1054	4227-77	F15	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 黄灰色	-	-	-	77	66	内面に赤色顔料付
1055	1531-12	K16	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行流線・押引・縄 文	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ にがい褐色	-	-	-	77	66	
1056	4737-2	D17	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行流線・流線	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ にがい褐色	-	-	-	77	66	
1057	4119-41	F15	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線・穿孔	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 深褐色	-	-	-	77	66	
1058	7122-29	W14	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・刻実	深鉢	灰褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	77	67	内外面に赤色顔料付
1059	7122-23	W14	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・刻実	深鉢	灰褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	77	67	内外面に赤色顔料付
1060	7122-30	W14	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢	灰褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	-	77	67	内面に赤色顔料付
1061	3467-63	L19	C12	浅鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・流線	浅鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 灰褐色	-	-	-	77	67	内面に灰化層付
1062	4793-19b	D19	C12	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・平行流線・穿孔	深鉢	にがい褐色/にがい黄 褐色/にがい黄褐色	-	-	-	77	67	
1063	3272-160b	W16	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	刻実 (丸)	深鉢	にがい褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	78	67	
1064	43133-67b	F16	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢上に刻実	深鉢	にがい赤褐色/にがい褐色/ 灰褐色	-	-	-	78	67	
1065	4857-43	W15	3a	内蓋	-	ナデ/ナデ	縄文 (丸)	内蓋	にがい赤褐色/褐色/に がい黄褐色	-	-	-	78	67	
1066	81009-150	W4	C13	内蓋	-	ナデ/ナデ	流線・縄文 (丸)	内蓋	にがい褐色/深褐色/黄 灰色	-	-	-	78	67	
1067	4735-201b	K20	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	深鉢・刻実・縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	-	-	-	78	67	内外面に灰化層付
1068	465-244b	W15	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・磨滑縄文 (丸)	深鉢	にがい黄褐色/にがい黄 褐色	-	-	-	78	67	
1069	3118-49	I17	C13	内蓋	-	ナデ/ナデ	流線・縄文 (丸)	内蓋	にがい黄褐色/灰白色/黄 褐色	-	-	-	78	67	
1070	6627-47b	W19	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/褐色	-	-	-	78	62	
1071	493-127b	K16	X1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・磨滑縄文(オオバコ)	深鉢	にがい黄褐色/にがい黄 褐色/にがい褐色	-	-	-	78	67	
1072	1389-262b	W17	K1	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・磨滑縄文 (丸)	深鉢	にがい褐色/にがい褐色/ 褐色	-	-	-	78	67	
1073	1822-27	I16	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	にがい黄褐色/灰褐色/灰 褐色	-	-	-	78	68	
1074	1922-7	I16	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	にがい褐色/にがい黄褐色/ 黄褐色	-	-	-	79	68	
1075	2061-34	L19	K3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実・穿孔	深鉢	にがい褐色/にがい黄褐色/ 黄褐色	-	-	-	79	68	
1076	2369-79	F21	K5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実・縄文 (丸)	深鉢	深褐色/深褐色/深 褐色	-	-	-	79	68	内面に赤色顔料付、黒色 顔料付
1077	4313-114b	G16	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	縄文 (不明)	深鉢	にがい黄褐色/灰白色/黄 褐色	-	-	-	79	68	内面に灰化層付
1078	17280-18b	L38	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	平行流線・刻実・刻 実	深鉢	深褐色/褐色/褐色	-	-	-	79	68	
1079	42696-68b	W15	K5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・刻実	深鉢	灰褐色/深褐色/深 褐色	-	-	-	79	68	
1080	43721-221b	G16	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・縄文 (丸・丸)	深鉢	深褐色/灰褐色/灰 褐色	-	-	-	79	68	
1081	4769-143	W19	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・磨滑縄文 (丸)	深鉢	にがい赤褐色/褐色/にさ 褐色	-	-	-	79	68	
1082	42749-408b	D16-116	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	流線・磨滑縄文 (不明)	深鉢	にがい黄褐色/深褐色/ にがい黄褐色	-	-	-	79	68	

第47表 縄文土器観察表 (A・B区) (14)

調査 番号	取上り号	地区・ 遺跡	分類	器種	部位	用途		文様	色相			備考	図録		
						(内装・内面)	(外面)		流量 (cm)	色相	濃淡				
1003	A2799-68柄	F16・G16	K5	深鉢	口縁部	ナデ/赤漆	なし	流線・刺突・縹縄文 (二枚羽)	黒褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	79	69	
1004	A301-9柄	F16	K5	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・刺突	濃い赤褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	79	62	
1005	2493-50	H15	K5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・刺突・縹縄文 (丸)	灰黄褐色 / 濃い黄褐色 / 黄褐色	—	—	—	79	68	
1006	A2572-24柄	F15	K5	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	—	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	補修孔あり	80	69
1007	A2554-67柄	J16	K5	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・刺突	濃い黄褐色 / 灰黄褐色 / 黒色	—	—	—	80	69	
1008	A2552-232柄	J16	K5	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/3/1	なし	縹縄文・流線・刺突	濃い黄褐色 / 灰白色 / 灰褐色	(3.0)	—	—	80	69	
1009	A842-131	W16	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・刺突	暗赤褐色 / 灰褐色 / 灰褐色	—	—	—	80	69	
1000	A2567-220柄	K16	K6	深鉢	口縁部	赤漆・赤漆のちナデ	なし	縹縄文	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	80	69	
1001	3422-119	J16	K6	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/赤漆	なし	縹縄文・刺突	黄褐色・黄褐色 / 黒褐色	(21.4)	—	—	80	62	
1002	3152-144	K18	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・縹縄文 (丸)	黒褐色 / 褐色 / 黒色	—	—	—	80	70	
1000	3655-330	G17	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・縹縄文 (丸)	灰黄色 / 灰黄色 / 黄褐色	—	—	—	80	70	
1004	2015-43	J17	K0	注口土器	胴部	ナデ/ナデ	なし	流線・縹縄文 (丸)	黄褐色 / 褐色 / 灰黄褐色	—	—	—	80	70	
1006	A3165-44柄	F15	K7	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・刺突	濃い黄褐色 / 灰黄褐色 / 濃い黄褐色	(35.2)	—	—	81	62	
1009	A807-122柄	W16	K7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・穿孔	濃い黄褐色 / 灰白色 / 灰黄褐色	—	—	—	外面に黒色顔料付着	81	62
1007	1380	L17	K7	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・垂目縹縄文	濃い黄褐色 / 黒褐色 / 黒褐色	—	—	—	内外面に灰化物付着	81	70
1009	A185-25柄	G16	K7	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・垂目縹縄文	濃い黄褐色 / 暗褐色 / 黄褐色	—	—	—	81	70	
1009	A2591-228	F16	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線	黒褐色 / 灰褐色 / 灰褐色	—	—	—	81	70	
1100	A2355-1	G16	K0	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	なし	刺突・縹縄文 (二枚羽)	濃い黄褐色 / 灰白色 / 灰白色	—	—	—	81	70	
1101	A719-306	K15	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・刺突	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色	—	—	—	81	70	
1102	A2563-254柄	J16	K0	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・刺突・流線	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	外面に灰化物付着	81	70
1102	A2560-45柄	116	K0	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	流線・縹縄文 (丸)	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	11.8	—	—	81	62	
1104	1778-8	K20	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文	灰黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰白色	—	—	—	81	70	
1105	1822-29	116	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・流線・刺突	濃い黄褐色 / 灰褐色 / 灰褐色	—	—	—	82	71	
1106	7961-12	L15	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・縹文 (丸)	濃い赤褐色 / 灰褐色 / 灰褐色	—	—	—	82	71	
1107	A1709-80	K16	K0	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	縹縄文・刺突	濃い黄褐色 / 灰黄褐色 / 黒褐色	—	—	—	82	71	
1108	A1088-130	L16	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ・赤漆付 有	なし	流線・縹文 (丸)	灰褐色 / 灰黄褐色 / 褐色	—	—	—	82	71	
1109	A2765-19柄	G16	K10	鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	刺突	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 黄褐色	12.0	—	5.0	内外面に赤色顔料付着	82	62
1110	A2588	F15	K10	注口土器	—	ナデ/ナデ	なし	—	褐色 / 褐色 / 褐色	—	—	—	82	71	
1111	5431-115	J17	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・刺突	灰黄褐色 / 褐色 / 黒褐色	—	—	—	外面に赤色顔料付着	82	71
1112	7716-40	G18	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線・縹縄文 (丸)	灰黄褐色 / 灰黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	82	71	
1113	1415-24	L18	K7-81	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線	黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	外面に赤色顔料付着	82	71
1114	A3264-66柄	F16	K10	注口土器	胴部	ナデ/ナデ	なし	流線	濃い黄褐色 / 暗褐色 / 黄褐色	—	—	—	82	72	
1115	A1332-235	K15	K7-81	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線	灰褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	外面に赤色顔料付着	82	71
1116	A1617-114柄	L18	K7-81	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 黄褐色	—	—	—	外面に赤色顔料付着	82	71
1117	3463-103柄	L19	K7-81	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線	褐色 / 灰褐色 / 暗赤褐色	—	—	—	82	71	
1118	7722-119	L18	K7-81	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	流線・刺突	濃い黄褐色 / 濃い黄褐色 / 黄褐色	—	—	—	外面に赤色顔料付着	82	71
1119	1642-34	K16	K1	深鉢	口縁部→ 胴部	赤漆・ナデ/ナデ	なし	刺突	濃い黄褐色 / 灰白色 / 灰白色	—	—	—	外面に灰化物付着	82	71
1120	3422-123柄	J17	K1	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	なし	流線	黄褐色 / 濃い黄褐色 / 褐色	—	—	—	82	71	
1121	1665-11	K17	K2	深鉢	口縁部→ 胴部	赤漆・ナデ/ナデ	なし	刺突	黄褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	—	—	—	82	71	
1122	1548-11柄	K19	K2	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ/ナデ	なし	垂目縹縄文	灰褐色 / 濃い黄褐色 / 灰褐色	(26.8)	—	—	外面に灰化物付着	82	71
1123	1141-18柄	K18	K2	深鉢	口縁部	赤漆 / ナデ	なし	刺突	灰褐色 / 灰黄褐色 / 濃い黄褐色	—	—	—	82	72	
1124	A719-306柄	K15-18	K2	深鉢	口縁部→ 胴部	2/3ナデ / ナデ	なし	刺突	灰褐色 / 濃い黄褐色 / 灰白色	(21.0)	—	—	83	72	
1125	1465-19柄	K18	K3	深鉢	口縁部→ 胴部	ナデ・赤漆 / ナデ	なし	垂目縹縄文	灰黄色 / 黄褐色 / 黒褐色	(41.0)	—	—	83	72	
1126	7707-6柄	K18	K0	深鉢	胴部→ 底部	ナデ・赤漆 / ナデ	なし	—	濃い黄褐色 / 灰黄色 / 濃い黄褐色	—	7.6	—	内外面に灰化物付着	83	72
1127	7752-19柄	L18	K0	鉢	口縁部→ 胴部	2/3ナデ / 2/3ナデ	なし	—	黄褐色 / 褐色 / 褐色	(20.8)	16.9	10.2	83	72	
1128	2040-4柄	G20	K5	深鉢	口縁部	赤漆 / ナデ	なし	凸條上に縹縄文	濃い赤褐色 / 濃い黄褐色 / 褐色	—	—	10.2	83	71	

第48表 尖頭器計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1129	2158	45	I22	—	尖頭器	チャート	4.1	2.7	0.8	9.1	84	73
1130	152	—	G15	—	尖頭器	チャート	3.9	2.4	1.1	10.0	84	73
1131	7752	1	G18	—	尖頭器	チャート	3.5	1.5	0.6	3.5	84	73
1132	496	1	M16	—	有舌尖頭器	チャート	3.2	1.4	0.6	2.6	84	73

第49表 石鏃計測表 (A・B区) (1)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1133	2380	1	G20	—	チャート	1 a 1	2.4	2.1	0.2	0.8	84	73
1134	6892	6	—	SK775	チャート	1 a 1	1.9	1.7	0.2	0.5	84	73
1135	2093	17	K15	—	チャート	1 a 2	1.1	1.7	0.2	0.3	84	73
1136	A3636	1	F15	—	チャート	1 a 3・4	2.0	1.5	0.3	0.4	84	73
1137	2063	11	H6	—	チャート	1 b 1	(2.6)	(1.2)	0.3	(0.6)	84	73
1138	A1924	4	J21	—	チャート	1 b 1	(2.5)	(1.4)	0.4	(1.2)	84	73
1139	1411	2	—	S P8	チャート	1 b 1	2.4	2.0	0.2	0.8	84	73
1140	A1056	11	L15	—	チャート	1 b 1	2.3	1.5	0.2	0.6	84	73
1141	A1173	1	—	SKA173	チャート	1 b 1	2.2	1.3	0.4	0.7	84	73
1142	5043	5	J17	—	チャート	1 b 1	2.0	1.7	0.2	0.6	84	73
1143	A1089	65	L16	—	チャート	1 b 1	1.9	1.3	0.4	0.5	84	73
1144	5811	—	—	SK553	安山岩	1 b 1	2.1	1.4	0.3	0.5	84	73
1145	A1531	10	L17	—	チャート	1 b 1	1.9	1.4	0.4	0.6	84	73
1146	3719	6	K17	—	チャート	1 b 1	2.1	1.2	0.2	0.4	84	73
1147	2733	—	—	S13	チャート	1 b 1	2.0	1.2	0.2	0.4	84	73
1148	A161	2	D07	—	チャート	1 b 1	1.9	1.4	0.2	0.3	84	73
1149	7586	—	—	SK848	チャート	1 b 1	1.9	1.2	0.4	0.8	84	73
1150	4047	10	M17	—	石英	1 b 1	1.7	1.3	0.2	0.2	84	73
1151	S572	2	—	SK616	チャート	1 b 1	(1.6)	(1.0)	0.2	(0.3)	84	73
1152	A1721	37	K15	—	チャート	1 b 1	1.5	1.9	0.2	0.5	84	73
1153	A3419	4	F16	—	チャート	1 b 1	1.7	1.4	0.3	0.5	84	73
1154	7896	5	H16	—	安山岩	1 b 2	2.4	1.4	0.3	1.2	84	73
1155	A3103	14	J17	—	チャート	1 b 2	1.7	1.1	0.3	0.6	84	73
1156	A3053	49	F16	—	チャート	1 b 2	1.8	1.4	0.3	0.7	85	73
1157	A3342	1	—	SKA251	石英	1 b 2	1.4	1.0	0.2	0.3	85	73
1158	A1538	—	—	SI442	チャート	1 b 2	(1.3)	(1.2)	(0.2)	(0.2)	85	73
1159	2006	1	H20	—	下原石	1 b 2	1.0	1.4	0.2	0.2	85	73
1160	4987	3	—	SK496	チャート	1 b 3・4	3.1	1.6	0.4	1.2	85	73
1161	832	2	L16	—	チャート	1 b 3・4	(3.1)	(1.2)	0.3	(0.9)	85	73
1162	A2256	1	—	SKA220	チャート	1 b 3・4	2.7	2.0	0.3	0.8	85	73
1163	A1647	55	K15	—	下原石	1 b 3・4	2.4	1.5	0.5	1.1	85	73
1164	A734	16	O15	—	チャート	1 b 3・4	2.5	1.8	0.2	0.6	85	73
1165	A3821	1	F15	—	チャート	1 b 3	2.0	1.1	0.4	0.4	85	73
1166	7875	5	L36	—	チャート	1 b 5	2.2	1.9	0.4	1.2	85	73
1167	3121	13	J18	—	下原石	1 b 5	(1.9)	(1.4)	0.3	(0.7)	85	73
1168	32	3	—	白粘土断面	チャート	1 b 5	1.9	1.5	0.4	0.9	85	73
1169	A1089	64	L16	—	下原石	1 b 5	1.7	1.1	0.3	0.6	85	73
1170	A3729	1	H14	—	安山岩	1 c 1	3.5	1.4	0.4	1.5	85	73
1171	A658	—	—	O19	安山岩	1 c 1	3.1	1.6	0.4	1.4	85	73
1172	8325	23	J17_18	—	安山岩	1 c 1	2.6	1.9	0.3	1.0	85	73
1173	5486	4	—	SK636	チャート	1 c 1	2.8	1.6	0.5	1.6	85	73
1174	622	1	M16	—	チャート	1 c 1	(2.3)	(1.2)	0.3	(0.6)	85	73
1175	A1678	41	K14	—	チャート	1 c 1	(1.9)	1.6	0.4	(0.9)	85	73
1176	7682	4	G14	—	チャート	1 c 1	2.4	2.1	0.4	1.4	85	73
1177	A1400	10	K18	—	チャート	1 c 1	2.2	1.7	0.3	0.9	85	73
1178	A1678	42	K14	—	チャート	1 c 1	1.9	1.9	0.3	0.9	85	73
1179	719	1	N17	—	石英	1 c 1	1.3	1.0	0.2	0.5	85	73
1180	1473	1	L17	—	チャート	1 c 1	(2.0)	(2.1)	0.5	(1.4)	85	73
1181	8827	1	—	SK1399	安山岩	1 c 1	1.5	1.6	0.3	0.2	85	73
1182	993	1	—	SK87	チャート	1 c 1	1.2	1.3	0.2	0.2	85	73
1183	7485	3	K19	—	チャート	1 c 1	1.2	1.4	0.2	0.2	85	73
1184	4173	2	—	排土	チャート	1 c 1	1.4	1.5	0.2	0.3	86	73
1185	A3634	4	G16	—	チャート	1 c 1	1.2	1.6	0.3	0.4	86	73
1186	7365	2	H15	—	安山岩	1 c 2	1.4	1.6	0.2	0.1	86	73
1187	A2784	1	K17	—	下原石	1 c 2	1.6	1.3	0.3	0.5	86	73
1188	6274	3	—	SK660	安山岩	1 c 3・4	1.3	1.5	0.3	0.4	86	73
1189	A1576	2	—	SI423	安山岩	1 d 1	2.0	1.3	0.3	0.6	86	73
1190	A443	16	E12	—	チャート	1 d 1	2.0	1.2	0.3	0.5	86	73
1191	A480	1	R16	—	チャート	1 d 1	2.2	1.4	0.4	1.0	86	73
1192	A1050	27	M16	—	チャート	1 d 1	3.1	1.6	0.3	1.5	86	73
1193	2743	22	H15	—	チャート	1 d 1	(3.0)	(2.1)	0.5	(1.3)	86	73
1194	2966	4	G16	—	チャート	1 d 1	2.7	1.4	0.3	1.0	86	73
1195	A1613	32	K16	—	下原石	1 d 1	2.5	1.5	0.4	1.0	86	73
1196	364	50	L15	—	チャート	1 d 1	2.4	1.3	0.5	1.1	86	73
1197	6970	1	—	SK865	チャート	1 d 1	2.2	1.7	0.5	1.2	86	73
1198	7586	2	—	SK865	チャート	1 d 1	2.2	1.5	0.4	0.9	86	73
1199	543	3	M16	—	チャート	1 d 1	2.1	1.4	0.4	0.9	86	73
1200	A3549	24	H15	—	チャート	1 d 1	2.1	2.1	0.6	2.2	86	73
1201	A2946	1	K16	—	安山岩	1 d 1	2.2	1.2	0.2	0.4	86	74
1202	A2611	2	G15	—	安山岩	1 d 1	2.2	1.4	0.3	0.7	86	74
1203	7216	2	—	SK837	安山岩	1 d 1	1.8	1.4	0.4	0.6	86	74
1204	1383	1	K17	—	下原石	1 d 1	1.8	1.6	0.3	0.7	86	74

第50表 石鐘計測表 (A・B区) (2)

履録番号	取上番号	柱番	地区名	道標名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	回数	写真回数
1205	A1913	1	K19	—	チャート	I d 1	1.5	2.1	0.3	0.9	66	74
1206	A3206	4	—	SKA27	下呂石	I d 1	1.5	1.6	0.4	0.7	66	74
1207	A1216	5	L17	—	チャート	I d 1	1.3	1.4	0.3	0.5	66	74
1208	A1066	1	L16	—	チャート	I d 1 (1.3)	(1.7)	0.3	(0.5)	66	74	
1209	1140	5	K17	—	安山岩	I d 1	1.2	1.0	0.3	0.3	66	74
1210	A2136	8	L19	—	下呂石	I d 2	2.3	1.3	0.3	1.0	66	74
1211	A681	2	O16	—	チャート	I d 2	2.2	1.5	0.3	0.9	66	74
1212	4264	—	—	SK373	チャート	I d 2	2.2	1.3	0.5	1.5	67	74
1213	A1292	10	—	S1432	チャート	I d 2	2.0	1.5	0.4	1.2	67	74
1214	5893	1	—	SK706	チャート	I d 2	2.0	1.6	0.4	0.9	67	74
1215	901	5	L17	—	チャート	I d 2	1.9	1.4	0.4	0.9	67	74
1216	1144	2	K18	—	チャート	I d 2	1.6	1.6	0.3	0.8	67	74
1217	3211	—	—	SK146	黒曜石	I d 2	1.1	1.2	0.3	0.3	67	74
1218	A1819	1	—	SKA190	下呂石	I d 3・4	1.7	1.2	0.4	0.5	67	74
1219	1069	22	L18	—	安山岩	I d 5	2.1	1.3	0.4	1.1	67	74
1220	192	12	H14	—	下呂石	I d 5	1.9	1.8	0.5	1.4	67	74
1221	A1738	15	K15	—	下呂石	I d 5	1.2	(1.1)	0.4	(0.2)	67	74
1222	1413	5	M17	—	チャート	I e 1	(1.8)	(1.2)	(0.2)	(0.3)	67	74
1223	2720	—	—	SK229	チャート	II 1	2.3	1.9	0.5	1.6	67	74
1224	645	2	N17	—	チャート	II 1	2.4	1.5	0.5	1.4	67	74
1225	2160	6	J21	—	安山岩	II 1 (2.3)	1.2	0.4	(1.0)	67	74	
1226	1006	2	—	S81	チャート	II 1	2.0	1.2	0.3	0.8	67	74
1227	7488	3	H19	—	チャート	II 1	2.1	2.0	0.4	1.7	67	74
1228	B1503	—	F04	—	チャート	II 1 (1.6)	1.8	0.4	1.3	67	74	
1229	A2449	1	H17	—	チャート	II 1	1.4	1.0	0.3	0.5	67	74
1230	A1129	2	L17	—	下呂石	II 1	1.3	(1.1)	0.3	(0.4)	67	74
1231	1273	4	H16	—	チャート	II 2	3.2	2.5	0.7	5.0	67	74
1232	1346	8	L16	—	下呂石	II 1 (2.0)	(1.4)	(0.3)	(0.7)	67	74	
1233	3229	32	H20	—	チャート	II 2	3.0	2.3	0.6	4.4	67	74
1234	4364	—	—	SK320	チャート	II 2	2.6	1.9	0.8	3.3	67	74
1235	A1704	63	K14	—	下呂石	II 2	2.7	1.4	0.6	1.9	67	74
1236	3719	15	K17	—	チャート	II 2	2.1	1.7	0.6	1.8	67	74
1237	759	20	M15	—	チャート	II 2	1.8	1.3	0.3	0.6	67	74
1238	A1532	13	K18	—	チャート	II 2	1.8	1.6	0.5	1.5	67	74
1239	A2103	2	—	SKA210	安山岩	V 1	3.0	1.4	0.4	1.2	68	74
1240	A2108	—	O17	—	チャート	V 1	2.1	1.7	0.7	1.7	68	74
1241	A1331	18	L17	—	チャート	V 2	3.6	1.2	0.6	2.9	68	74
1242	7855	2	M17	—	サヌカイト	V 2 (2.8)	(1.2)	(0.3)	(0.9)	68	74	
1243	9154	2	—	SK1451	チャート	未製品	3.1	(3.0)	0.9	(6.4)	68	74
1244	B1173	6	H12	—	チャート	未製品	2.9	2.5	1.0	5.1	68	74
1245	A3015	2	—	SKA239	安山岩	未製品	1.6	1.0	0.3	0.5	68	74
1246	3151	30	K19	—	下呂石	未製品	2.8	3.8	0.8	6.9	68	74

第51表 石鐘計測表 (A・B区)

履録番号	取上番号	柱番	地区名	道標名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	磨耗	光沢	彫削	回数	写真回数
1247	996	10	—	S81	チャート	1b	2.8	1.7	0.5	2.3	—	—	—	68	74
1248	4872	4	G15	—	チャート	1b	3.4	1.2	0.6	2.7	—	—	—	68	74
1249	A889	10	O19	—	チャート	1a	3.1	2.3	0.8	3.9	—	—	—	68	74
1250	A3273	—	—	SKA247	チャート	1a	3.0	1.8	1.0	3.8	—	—	—	68	74
1251	6294	2	—	SK717	チャート	1a	1.8	1.7	0.2	0.2	—	—	—	68	74
1252	1422	35	K18	—	チャート	1a	3.3	1.7	0.8	4.1	—	—	—	68	74
1253	6845	5	—	SF19	チャート	2a (3.3)	2.1	0.6	(3.9)	—	—	—	—	68	74
1254	3295	5	L19	—	チャート	2a	3.0	2.2	0.8	4.0	—	—	—	68	74
1255	791	25	M19	—	チャート	2a	2.3	2.0	0.6	2.1	—	—	—	68	74
1256	1384	4	I21	—	赤松	2b (2.3)	1.1	0.5	(1.0)	—	—	—	—	68	74
1257	9110	2	—	SK1463	チャート	2b	6.0	3.0	1.0	14.1	—	—	—	68	74
1258	2357	2	H21	—	チャート	2b	3.8	1.4	0.5	2.5	—	—	—	69	74
1259	8508	—	—	SK927	チャート	2b	3.4	1.5	0.7	3.1	—	—	—	69	74
1260	937	—	—	SK84	チャート	2b (3.5)	1.4	0.8	(3.6)	—	—	—	—	69	74
1261	2259	6	—	SK220	チャート	2b (3.0)	1.7	0.5	(1.5)	—	—	—	—	69	74
1262	7912	10	O17	—	チャート	2b	3.8	1.9	1.0	5.3	—	—	—	69	74
1263	8773	—	—	SK1371	チャート	2b (3.5)	2.6	0.8	(6.8)	—	—	—	—	69	74
1264	2437	—	—	SK164	チャート	2b	3.5	2.1	0.7	5.2	—	—	—	69	74
1265	7311	1	—	SK842	チャート	2b	3.2	2.2	0.7	3.9	—	—	—	69	74
1266	A1458	5	K17	—	下呂石	2b	2.1	1.9	0.5	1.1	—	—	—	69	74
1267	A935	16	—	S149	チャート	3a	2.9	0.7	0.5	1.1	—	—	—	69	74
1268	7099	1	—	SK742	チャート	3a	2.7	0.8	0.5	0.9	—	—	—	69	74
1269	8960	1	—	SK1308	チャート	3a	2.5	0.7	0.5	0.9	—	—	—	69	74
1270	A2174	—	—	S1450	サヌカイト	3b	5.3	1.3	1.0	6.4	—	—	—	69	74
1271	A795	15	O19	—	チャート	3b	4.3	1.7	0.9	6.3	—	—	—	69	75
1272	7725	2	G18	—	チャート	3b (4.7)	1.1	0.7	(3.6)	—	—	—	—	69	75
1273	7759	—	117	—	チャート	3b	3.9	0.7	0.4	1.1	—	—	—	69	75
1274	267	3	—	SK47	チャート	3b (3.0)	0.6	0.4	(1.8)	—	—	—	—	69	75
1275	767	8	—	S81	チャート	3b	3.0	1.2	0.4	1.0	—	—	—	69	75
1276	6914	5	—	SK753	チャート	3b (2.4)	1.8	0.8	(2.9)	—	—	—	—	69	75
1277	A3411	1	H16	—	チャート	3b (2.3)	0.8	0.5	(1.0)	—	—	—	—	90	75
1278	A1804	9	—	S1445	チャート	4	3.3	1.8	0.6	3.1	—	—	—	90	75
1279	A952	2	—	SFA3	チャート	4 (3.8)	(1.2)	(1.4)	(5.2)	—	—	—	—	90	75

第52表 石匙計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1280	7871	—	J15	—	チャート	1	5.0	3.4	0.8	12.8	90	75
1281	A835	20	—	S1A7	サヌカイト	1	6.5	3.3	1.0	18.4	90	75
1282	7481	5	I18	—	アブライト	1	7.0	2.4	0.9	14.4	90	75
1283	9069	3	—	SK1460	安山岩	1	5.9	2.1	0.6	6.0	90	75
1284	7690	35	G17	—	泥岩	1	10.3	5.6	0.9	42.5	90	75
1285	5030	—	—	SK554	サヌカイト	2a	3.2	3.9	0.8	8.9	91	75
1286	2093	39	K15	—	チャート	2a	3.7	3.9	0.5	6.6	91	75
1287	8495	2	—	SK927	チャート	2a	2.8	4.5	0.5	6.4	91	75
1288	7243	4	I22	—	チャート	2a	1.4	3.7	0.9	3.6	91	75
1289	8325	32	J17・18	—	サヌカイト	2b	2.9	5.0	0.9	9.8	91	75
1290	7706	19	—	S83	チャート	2b	3.2	3.6	0.7	6.5	91	75
1291	A3053	117	F16	—	チャート	3	2.6	4.3	0.6	9.0	91	75

第53表 スクレイパー計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1292	A1955	6	M20	—	チャート	1a	6.7	2.9	1.0	26.8	91	75
1293	3767	21	L18	—	デイサイト	1a	8.9	3.0	1.4	46.8	91	75
1294	1537	47	L16	—	チャート	1a	4.7	2.3	0.8	10.0	92	75
1295	A1721	121	K15	—	チャート	1b	4.8	3.2	0.7	10.3	92	75
1296	5708	33	J17	—	チャート	1b	5.7	1.8	0.6	6.1	92	75
1297	6186	1	—	SK708	チャート	1b	7.0	3.3	1.5	26.5	92	75
1298	5124	1	—	SK376	サヌカイト	1b	13.6	5.3	2.0	137.4	92	75
1299	4551	18	H15	—	チャート	1b	7.0	4.1	1.3	51.6	93	76
1300	A3854	2	F16	—	チャート	1b	6.3	3.8	1.1	21.6	93	76
1301	1398	43	K16	—	チャート	1b	7.1	5.2	1.5	48.9	93	76
1302	A1089	52	L16	—	チャート	1c	4.4	3.9	1.4	18.8	93	76
1303	3559	1	—	SK327	安山岩	1c	5.2	3.5	1.2	19.3	93	76
1304	2731	2	—	S13	チャート	1c	3.3	6.6	0.8	16.5	93	76
1305	A1725	74	J15	—	サヌカイト	1c	4.6	5.9	0.6	19.5	94	76
1306	6392	8	—	SK749	チャート	1d	5.9	2.8	1.5	26.3	94	76
1307	5650	—	—	SK668	サヌカイト	1c	4.9	3.9	1.2	27.5	94	76
1308	9300	—	—	SK917	チャート	1d	4.6	3.2	1.5	20.0	94	76
1309	4223	52	F15	—	チャート	1c	3.2	4.2	1.1	13.8	94	76
1310	6145	38	J14	—	チャート	2	4.3	3.0	1.0	10.6	94	76
1311	A3105	4	—	SKA246	チャート	1c	2.3	5.7	0.8	10.3	94	76
1312	A1071	51	L15	—	チャート	3	2.4	2.3	0.8	4.6	94	76

第54表 ヘラ形石器計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1313	A1602	13	—	S1A29	チャート	3.8	1.9	1.0	7.3	94	76
1314	A1707	132	K15	—	チャート	3.0	2.3	1.2	7.6	94	76

第55表 楔形石器計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1315	A3660	1	—	SKA268	チャート	1	2.3	2.0	0.9	4.0	95	76
1316	A635	3	P15	—	チャート	1	2.4	1.8	0.7	3.8	95	76
1317	3917	7	—	SK371	チャート	1	2.7	1.3	1.0	4.8	95	76
1318	6264	9	—	SK749	チャート	1	2.4	2.1	0.9	4.7	95	76
1319	A1725	62	J15	—	下呂石	1	3.0	2.6	1.0	8.3	95	76
1320	A2241	22	I18	—	チャート	1	4.3	2.3	0.8	10.2	95	76
1321	3462	37	J17	—	チャート	1	5.2	3.9	2.6	70.1	95	77
1322	4622	2	—	SK483	砂岩	2	(3.4)	(4.1)	(1.5)	(23.9)	95	77
1323	A3292	19	J16	—	安山岩	2	6.3	3.4	1.5	51.4	95	77
1324	767	22	—	S81	砂岩	2	(7.5)	(4.1)	(2.6)	(106.8)	95	77

第56表 石核計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	柱番	地区名	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1325	1019	4	—	SB1	チャート	4.2	4.8	4.5	127.0	96	77
1326	A978	10	—	SI A9	チャート	3.7	6.2	3.1	110.6	96	77
1327	6290	—	—	SK715	流紋岩質溶岩	4.2	5.9	2.1	54.1	97	77
1328	3559	2	—	SK327	安山岩	5.1	5.4	1.6	40.4	97	77
1329	3444	2	—	SK359	安山岩	4.8	3.7	2.4	40.7	97	77
1330	6147	49	J15	—	チャート	3.1	7.7	1.8	43.0	98	77
1331	2414	30	H20	—	チャート	1.5	4.4	2.0	17.1	98	77

第57表 切目石錐計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	柱番	地区名	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	経路部計測 (cm)			帯痕	折痕	図版	写真図版
											a	b	L2				
1333	4336	4	—	SK494	砂岩	1	5.8	2.7	1.2	28.7	0.4	0.4	5.4	—	完	99	78
1334	4390	—	—	SK494	砂岩	1	5.4	2.7	1.9	39.8	0.3	0.3	5.1	—	完	99	78
1335	4336	3	—	SK494	砂岩	1	5.3	2.7	1.6	30.2	0.3	0.3	4.9	—	完	99	78
1338	4389	—	—	SK494	砂岩	1	4.5	2.1	1.1	15.0	0.2	0.2	4.2	—	完	99	78
1337	4388	—	—	SK494	砂岩	1	3.9	3.1	1.4	23.0	0.3	0.3	3.6	—	完	99	78
1338	4391	—	—	SK494	砂岩	1	3.5	2.3	1.4	16.2	0.3	0.3	3.2	—	完	99	78
1339	4336	2	—	SK494	砂岩	1	3.4	1.9	1.0	10.2	0.3	0.3	3.0	—	完	99	78
1340	9009	—	—	SK1399	砂岩	1	4.8	2.0	1.3	15.7	0.3	0.4	0.5	○	完	99	78
1341	9022	16	—	SK1399	砂岩	1	5.4	2.7	1.2	26.2	0.4	0.4	5.0	—	完	99	78
1342	9013	—	—	SK1399	砂岩	1	4.8	2.6	1.3	22.2	0.2	—	—	○	欠	99	78
1343	9022	11	—	SK1399	砂岩	1	4.9	2.6	1.2	20.8	0.3	0.4	4.7	—	完	99	78
1344	9012	—	—	SK1399	砂岩	1	4.1	2.9	1.1	17.6	0.3	0.4	3.8	—	完	99	78
1345	9020	6	—	SK1399	砂岩	1	3.9	2.5	0.8	11.5	0.3	0.4	3.5	—	完	99	78
1346	9022	12	—	SK1399	砂岩	1	3.9	2.9	1.2	15.0	0.2	0.2	3.7	—	完	99	78
1347	9010	—	—	SK1399	砂岩	1	4.0	2.7	1.1	18.0	0.3	0.3	3.7	—	完	99	78
1348	9022	6	—	SK1399	砂岩	1	4.2	1.9	1.3	15.4	0.4	0.4	3.9	—	完	99	78
1349	9020	4	—	SK1399	砂岩	1	4.0	2.1	1.1	12.2	0.2	0.3	3.7	○	欠	99	78
1350	9022	8	—	SK1399	砂岩	1	4.1	2.2	0.9	14.3	0.4	0.6	3.9	—	完	99	78
1351	9022	13	—	SK1399	砂岩	1	4.1	2.5	1.1	16.6	0.3	0.3	3.9	—	完	99	78
1352	9046	2	—	SK1399	砂岩	1	4.1	2.8	1.2	17.5	0.4	0.4	3.7	—	完	99	78
1353	9022	14	—	SK1399	砂岩	1	3.7	3.2	1.2	21.8	0.3	0.4	3.5	—	完	99	78
1354	9022	15	—	SK1399	砂岩	1	3.8	3.0	1.1	21.7	0.3	0.3	3.6	○	完	99	78
1355	9022	10	—	SK1399	砂岩	1	3.8	2.9	1.0	17.1	0.3	0.3	3.5	—	完	99	78
1356	9022	5	—	SK1399	砂岩	1	3.8	2.5	0.9	13.2	0.3	0.4	3.5	—	完	99	78
1357	9022	9	—	SK1399	砂岩	1	3.7	2.6	1.3	15.8	0.3	0.4	3.5	—	完	99	78
1358	9022	4	—	SK1399	砂岩	1	3.7	2.2	1.0	12.7	0.3	0.4	3.4	—	完	99	78
1359	9014	—	—	SK1399	砂岩	1	3.6	2.3	1.3	14.5	0.3	0.3	3.4	—	完	99	78
1360	9015	—	—	SK1399	砂岩	1	3.6	3.1	1.3	19.6	0.3	0.3	3.2	—	完	99	78
1361	9046	1	—	SK1399	砂岩	1	3.6	2.8	0.8	12.9	0.3	0.3	3.4	—	完	99	78
1362	9022	7	—	SK1399	砂岩	1	3.5	2.8	1.0	13.2	0.2	0.4	3.2	—	完	99	78
1363	9020	5	—	SK1399	砂岩	1	3.7	2.7	0.9	12.7	0.4	0.3	3.4	—	完	99	78
1364	9011	—	—	SK1399	砂岩	1	2.8	2.6	1.3	12.9	0.3	0.3	2.5	—	完	99	78
1365	8825	3	—	SK1399	砂岩	1	(4.3)	(2.1)	(1.3)	(13.4)	0.3	—	—	○	欠	99	78
1366	9017	—	—	SK1399	砂岩	1	(3.2)	(2.1)	(0.7)	(4.4)	—	—	—	—	欠	99	78
1367	9016	—	—	SK1399	砂岩	1	(2.3)	(2.1)	0.9	(4.6)	0.2	—	—	—	欠	99	78
1368	6147	45	J15	—	ホルンフェルス	1	4.7	2.4	(1.1)	(17.1)	0.5	0.5	4.1	—	欠	99	78
1369	7834	7	H16	—	泥岩	2	7.8	2.6	0.7	18.8	0.7	0.4	7.4	—	完	99	78

第58表 打欠石錐計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	柱番	地区名	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	経路部計測 (cm)			加工	帯痕	折痕	図版	写真図版	
											a	b	L2						
1370	9020	7	—	SK1399	砂岩	1	8.7	4.0	1.8	81.8	1.2	1.4	8.3	両面	両面	—	完	100	78
1371	8827	3	—	SK1399	砂岩	1	5.7	5.6	1.6	73.0	1.3	1.6	5.4	両面	両面	—	完	100	78
1372	8821	4	—	SK1399	砂岩	1	4.6	3.9	1.3	33.8	0.7	0.8	4.4	片面	片面	—	完	100	78
1373	9154	5	—	SK1451	泥岩	2	8.6	3.5	0.8	38.4	0.8	0.7	8.2	片面	片面	○	完	100	78
1374	9089	2	—	SK1374	安山岩	1	7.2	5.1	1.8	87.2	1.1	2.2	6.9	両面	両面	—	完	100	78
1375	7706	29	—	SK3	砂岩	1	4.4	2.9	1.4	24.9	0.9	1.1	4.4	両面	両面	—	完	100	78

第59表 粗製石器計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	柱番	地区名	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1376	623	77	M16	—	砂岩	8.7	7.1	2.1	171.6	100	79
1377	1890	1	J18	—	凝灰岩	9.5	3.9	1.7	81.8	100	79
1378	A1878	25	J22	—	泥岩	11.5	3.6	1.3	64.4	100	79
1379	A1650	20	K16	—	ホルンフェルス	19.8	13.3	4.1	672.4	100	79
1380	B1043	79	L14	—	泥岩	5.6	2.7	0.6	12.3	100	79

第63表 石皿計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	分類	赤色付着	図版	写真図版
1421	5197	—	—	SK632	安山岩	17.0	12.0	3.5	815.7	平1	○	107	84
1422	A3480	—	—	SI160	安山岩	26.5	11.8	4.0	2000	平1	○	107	84
1423	4881	—	—	SK478	砂岩	27.5	23.8	7.5	6800	平1	○	107	84
1424	A503	—	R17	—	安山岩	24.0	41.0	8.5	12600	平1	—	107	85
1425	7765	—	L17	—	安山岩	27.8	23.0	8.4	6200	凹1	○	108	84
1426	2241	—	—	SP-1	安山岩	36.0	32.0	13.0	15000	凹1	—	108	85

第64表 砥石計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1427	A2127	2	—	SKA210	安山岩	27.3	7.2	5.3	1800	108	85

第65表 石棒・石刀計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1428	B1328	—	F12	SKB347	石棒	安山岩	(27.0)	(14.2)	(12.0)	(6200.0)	108	85
1429	A1502	—	—	SI128	石棒	安山岩	(29.4)	(13.0)	(11.7)	(6800.0)	109	85
1430	A3053	129	F16	—	石棒	安山岩	(13.6)	(7.4)	(7.0)	(883.8)	109	86
1431	A2005	16	H20	—	石棒	ホルンフェルス	(4.9)	(2.3)	(1.6)	(20.4)	109	86
1432	A3765	—	E13	—	石棒	結晶片岩 (緑色片岩)	36.9	(3.2)	2.4	484.8	109	86
1433	1193	—	K18	—	石棒	結晶片岩 (緑色片岩)	(5.7)	(2.0)	(2.0)	(25.9)	110	86
1433	1440	—	K18	—	石棒	結晶片岩 (緑色片岩)	(9.2)	(2.5)	(2.5)	(96.3)	110	86
1434	3717	14	F17	—	石棒	結晶片岩 (緑色片岩)	(18.6)	(4.0)	(3.0)	(337.1)	110	86
1435	A1263	4	—	SI122	石棒	泥岩	12.5	2.7	1.8	93.5	110	86
1436	1284	—	L17	—	石刀	結晶片岩 (緑色片岩)	(16.4)	(3.7)	(3.1)	(281.7)	110	86

第66表 異形石器計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1437	442	14	I17	—	チャート	2.5	1.2	0.7	1.9	111	87
1438	1273	1	M16	—	黒曜石	1.1	1.6	0.4	0.7	111	87
1439	1135	11	K16	—	凝灰岩	1.3	1.0	0.4	0.4	111	87
1440	6877	2	O19	—	サヌカイト	2.9	1.7	0.6	1.9	111	87
1441	2997	—	I16	—	安山岩	4.1	1.1	1.0	22.0	111	87
1442	7493	3	F15	—	安山岩	(3.4)	5.1	0.5	(7.1)	111	87
1443	7746	24	J17	—	チャート	2.4	1.3	0.5	1.6	111	87
1444	2661	25	G16	—	チャート	1.6	0.8	0.1	0.2	111	87

第67表 装飾品計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1445	9069	2	—	SK1460	球状耳飾	滑石	4.1	1.9	(0.4)	4.8	111	87
1446	2574	—	—	SK201	球状耳飾	玉髓	(3.9)	(1.6)	(0.5)	3.5	111	87
1447	A913	—	N17	—	球状耳飾	蛇紋岩	(2.8)	(1.5)	0.4	3.4	111	87
1448	505	—	L14	—	球状耳飾	蛇紋岩	(4.1)	(6.1)	(0.3)	12.5	111	87
1449	A1635	—	K15	—	垂れ飾り	靛藍	2.8	1.0	0.6	3.1	111	87
1450	A1008	13	O19	—	垂れ飾り	滑石	(2.6)	(1.1)	(0.6)	2.7	111	87
1451	A2191	—	I22	—	垂れ飾り	滑石	(2.2)	(1.1)	(0.5)	1.8	111	87
1452	A2563	—	K16	—	玉	滑石	1.1	1.1	0.4	0.7	111	87

第68表 石製品計測表 (A・B区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1332	A3136	—	F16	—	浮石	安山岩	4.9	4.3	1.4	8.9	98	77
1453	A1075	4	M18	—	石製品	砂岩	5.2	0.8	0.7	5.4	112	87
1454	B1091	—	N13	—	石製品	蛇紋岩	4.8	3.5	2.3	93.0	112	87
1455	A559	8	Q16	—	石製品	砂岩	7.9	7.2	1.5	116.8	112	87
1456	A2320	—	L18	—	藤刺櫛	砂岩	10.2	5.8	2.0	167.3	112	87
1457	3894	2	—	SK400	藤刺櫛	泥岩	(5.4)	(3.9)	(1.0)	(22.3)	112	87

第69表 中近世陶磁器観察表 (C区) (1)

調査 年度	発見 時期	調査 場所	位置			種類・産地	器種・部分	部位	寸法 (mm)			保存 状況	成形・調整	施装 土色	時期・形式	備考				
			東西	南北	傾斜				口径	高さ	口径									
1458	113	88	SK230	E	16	-	古瀬戸系高輪陶器	有耳壺	口縁部	13.8	-	-	5.2	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/3	灰輪		
1459	113	88	SK263	D-E	16	-	中国産青磁	瓶	底部	-	-	-	-	-	112V	回転ナデ/回転ナデ /前出し 集合	青磁輪	65.9	15-16C	のみもとほり
1460	113	88	SK248	D	16	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	大甕	口縁部	113.8	-	-	1.2	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1027/1	大塚1段階		
1461	113	88	SK265	D-E	17-18	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	天目茶碗	口縁部	-	-	-	102V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/2	-		
1462	113	88	SK236	D-E	17-18	-	古瀬戸系高輪陶器	白土有耳壺	口縁部	114.0	-	-	1.1	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/2	徳沙吉		
1463	113	88	SK230	C	16	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	梅豆皿	口縁部	111.0	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/3	大塚2段階前半		
1464	113	88	SK238	E	17	-	中国産青磁	3脚瓶	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	青磁輪	2.5/6/1	13C	磁器関係	
1465	113	88	SK230	D	17	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	大甕	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/2	大塚1段階	漢字文	
1466	113	88	SK238	E	17	-	瀬戸系高輪陶器	狸鉢	底部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	-	1016/3	2段階後半	灰輪	
1467	113	88	SK248	D	16	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	天目茶碗	口縁部	-	-	-	102V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/2	大塚1段階		
1468	113	88	SK227	D	17	-	瀬戸系高輪陶器 (渡原)	餅	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/2	渡原第3段階		
1469	113	88	SK227	D	17	-	瀬戸系高輪陶器	壺	口縁部	116.0	-	-	1.2	-	横ナデ/横ナデ /前出し	灰輪	1016/3	V新		
1470	113	88	SK236	E	17	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	天目茶碗	底部	112.0	6.6	4.0	3.4	4	回転ナデ/回転ナデ /前出し 集合	灰輪	1010/3	大塚3段階前半		
1471	113	88	SK227 SK263	E	16/17	-	瀬戸系高輪陶器	壺	底部	-	-	-	-	-	ナデ/ナデ	-	1016/3	V新	漢字1集あり	
1472	113	88	SK248	D	16	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	天目茶碗	底部	-	-	3.8	-	4	回転ナデ/回転ナデ /前出し 集合	灰輪	1016/2	大塚1段階	漢字1集あり	
1473	113	88	SK238	D	16-17	-	中国産白磁	V新瓶	底部	-	-	5.4	-	4	回転ナデ/回転ナデ /前出し 集合	青磁輪	7.5/7/1	13C		
1474	113	88	SK243	-	-	-	瀬戸系高輪陶器 (渡原)	餅	口縁部	121.0	-	-	1.3	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/2	渡原第1段階		
1475	113	88	SK232	E	16	-	古瀬戸系高輪陶器	新甕	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/2	中1層		
1476	113	88	SK261	D	16	-	古瀬戸系高輪陶器	有耳壺	口縁部	113.0	-	-	1.8	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	2.5/6/2	漢字1集あり		
1477	113	88	SK261	D	16	-	瀬戸系高輪陶器	壺	口縁部	-	-	-	102V	-	横ナデ/横ナデ	-	2.5/6/3	分層前半		
1478	113	88	SK261	D	16	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	梅豆皿	口縁部	-	-	-	102V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/3	大塚1段階		
1479	113	88	SK261	D	16	-	古瀬戸系高輪陶器	天目茶碗	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/2	-		
1480	113	88	SK262	D	16	-	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	梅豆皿	口縁部	112.0	-	-	1.1	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/3	大塚1段階		
1481	113	88	SK262	D	16	-	瀬戸系高輪陶器 (渡原)	天目茶碗	底部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/1	渡原第1段階		
1482	113	88	SK233	D-E	21	-	中国産青磁	高口鉢	口縁部	114.0	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	青磁輪	1010/3	16C	磁器関係	
1483	113	88	SK238	E	20-28	-	瀬戸系高輪陶器	狸鉢	口縁部	126.0	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	-	7.5/6/3	V新	漢字1集あり	
1484	113	88	SK238	E	20-28	-	瀬戸系高輪陶器	狸鉢	底部	-	-	(12.5)	-	-	回転ナデ/回転ナデ	-	7.5/6/3	V新		
1485	114	88	SK228	D	21	-	中国産青磁	梅豆皿	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	青磁輪	2.5/7/1	-	磁器関係	
1486	114	88	SK244	E	21-22	-	中国産白磁	壺	底部	-	-	5.0	-	-	112V	不明/回転ナデ/ /前出し 集合	白磁輪	1016/2	-	
1487	114	88	SK243	D	15	-	古瀬戸系高輪陶器	梅豆皿	口縁部	112.0	-	-	1.4	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/2	徳沙吉		
1488	114	88	SK263	D	15	-	古瀬戸系高輪陶器	天目茶碗	底部	-	-	-	-	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/2	漢字1集あり		
1489	114	88	SK237	F	21-22	-	古瀬戸系高輪陶器	新甕	口縁部	114.0	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	2.5/7/3	徳沙吉		
1490	114	88	SK237	F	21-22	-	古瀬戸系高輪陶器 (渡原)	合子か	底部	-	-	-	-	-	112V	回転ナデ/回転ナデ	青磁輪	2.5/6/2	-	
1491	114	88	SK238	E	21-22	-	古瀬戸系高輪陶器	狸鉢	口縁部	-	-	-	102V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/2	徳沙吉		
1492	114	88	SK237	D	18	-	高輪系陶器	片鉢	口縁部	120.0	-	-	1.5	-	回転ナデ/回転ナデ	-	9/5/1	第7形式	漢字手	
1493	114	88	-	E	23	2x	古瀬戸	彫首付大甕	口縁部	126.0	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	2.5/6/1	徳沙吉	確認1位の内部には漢字1へうの漢字1集あり。	
1494	114	88	-	E	10	2x	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	大甕	口縁部	113.0	-	-	1.8	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/1	大塚1段階		
1495	114	88	-	E	17	2x	高輪系陶器	片鉢	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	-	2.5/7/1	第7形式	漢字手	
1496	114	88	-	E	18	2x	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	梅豆皿	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1016/3	大塚1段階		
1497	114	88	-	C	18	2x	中国産青磁	餅	口縁部	-	-	-	152V	-	回転ナデ/回転ナデ	青磁輪	7.5/6/1	16C		
1498	114	88	-	D	25	2x	渡原系陶器	餅	口縁部	-	-	-	152V	-	横ナデ/横ナデ	-	1016/2	第9-10形式		
1499	114	88	-	E	17	2x	中国産青磁	瓶	底部	-	-	14.0	-	1	不明/回転ナデ/ /前出し 集合	青磁輪	9/6/1	16C		
1500	114	88	-	D	17	2x	古瀬戸	小皿	底部	-	-	5.0	-	2	不明/回転ナデ/ /前出し 集合	灰輪	1010/2	徳沙吉		
1501	114	88	-	D	15	2x	瀬戸系高輪陶器 (渡原)	餅	口縁部	112.0	-	-	1.0	-	回転ナデ/回転ナデ	灰輪	1010/2	渡原第1-2段階	内部に漢字の刻印文あり	
1502	114	88	-	E	18	2x	瀬戸系高輪陶器 (大塚)	小皿	底部	-	-	5.2	-	4	不明/回転ナデ/ /前出し 集合	灰輪	9/6/1	大塚1段階	漢字1集あり	
1503	114	88	-	C	16	2x	瀬戸系高輪陶器	餅	口縁部	144.0	-	-	1.3	-	横ナデ/横ナデ /前出し 集合	-	7.5/6/3	分層前半		

第70表 砥石観察表 (C区)

掲載番号	図版	写真図版	遺構	区画		層位	種別	法量 (cm)			重さ (g)	使用方法	産地	備考
				東西	南北			長さ	幅	厚さ				
1504	115	91	SKC43	—	—	—	仕上げ砥	2.6	2.4	0.7	5.4	置き	鳴滝産	折損
1505	115	91	SKC108	D	16-17	—	仕上げ砥	3.7	2.1	0.4	2.9	置き	鳴滝産	折損
1506	115	91	SKC68	E	16	—	荒砥	12.7	6.6	3.2	557.0	置き	伊予産	折損
1507	115	91	SKC58	E	20-21	—	仕上げ砥	7.8	1.4	0.7	12.1	置き	鳴滝産	折損

第71表 金属製品観察表 (C区)

掲載番号	図版	写真図版	遺構名	区画		層位	製品名	法量 (cm)				質量 (g)	材質	製法	備考 (残存・錆)
				東西	南北			全長	最大幅	厚さ	高さ				
1509	115	91	—	E	17	II a	刀子	14.7	2.9	0.8	—	37.2	鉄	鍛造	基部欠損、錆蝕
1510	115	91	SKC30	—	—	—	小柄	7.1	2.1	0.5	—	10.9	鋼	鍛造	刃部一部残存、曲がり、錆蝕
1511	115	91	SKC62	—	—	—	煙管 (層首)	5.2	火口径 1.2	小口系 0.6	2.2	4.5	真鍮	鍛造	—
1512	115	91	SKC62	D	16	—	煙管 (層首)	(7.6)	火口径 不明	小口径 0.9	1.6	5.1	真鍮	鍛造	火口欠損、錆なし

第72表 鍛冶関連遺物観察表 (C区)

掲載番号	図版	写真図版	遺構番号	区画		層位	器種	法量 (cm)			重さ (g)	材質	磁性	備考
				東西	南北			最大径	孔径	厚さ				
1508	115	91	SKC96	E	17	—	鑪の羽口	(8.8)	(2.4)	(4.2)	59.6	砂岩	—	破片、熱による変色

第73表 銭貨観察表 (C区)

掲載番号	図版	写真図版	遺構	区画		層位	銭文	分類	法量 (mm)			質量 (g)	材質	国名	初铸年	備考
				東西	南北				外径	内径	厚み					
1513	116	92	SKC90	C	16	—	紹聖元寶	輪廓肥大 (篆書)	24.8	19.6	1.4	3.8	銅	中国 (北宋)	1094	
1514	116	92	SKC90	C	16	—	寛永通寶	古寛永 苜谷銭鑄足寶	25.0	20.2	0.9	(2.0)	銅	日本	1656	穴あり
1515	116	92	SKC93	D	17	—	永樂通寶	正様	25.1	21.0	1.3	(2.4)	銅	日本	1408	一部欠損
1516	116	92	SKC51	E	16	—	咸平元寶	仰元	24.7	18.3	1.3	2.7	銅	中国 (北宋)	998	
1517	116	92	SKC51	E	16	—	熙寧元寶	中字 (真書)	24.5	19.6	1.2	3.2	銅	中国 (北宋)	1068	
1518	116	92	SKC51	E	16	—	熙寧元寶	中字 (篆書)	24.3	20.5	1.4	3.6	銅	中国 (北宋)	1068	
1519	116	92	SKC51	E	16	—	嘉祐通寶	縮字 (篆書)	23.4	19.3	1.4	2.3	銅	中国 (北宋)	1056	
1520	116	92	SKC51	E	16	—	元豐通寶	美制 (真書)	24.6	19.6	1.3	3.3	銅	中国 (北宋)	1078	
1521	116	92	SKC51	E	16	—	紹聖元寶	闊縁小字 (真書)	24.4	16.1	1.2	3.0	銅	中国 (北宋)	1094	
1522	116	92	—	D	16	表土	寛永通寶	古寛永 尾長尾永短尾寶利輪	24.6	20.3	1.2	3.2	銅	日本	1637	
1523	116	92	—	D	17	II a	寛永通寶	古寛永 苜谷銭鑄足寶内疏寛	25.1	19.9	1.2	3.4	銅	日本	1656	
1524	116	92	—	D	16	II a	寛永通寶	古寛永 苜谷銭鑄足寶内疎寛	25.0	19.6	1.2	3.5	銅	日本	1656	
1525	116	92	—	D	17	II a	寛永通寶	新寛永 荻原銭草点永通	22.8	19.0	1.0	2.3	銅	日本	1700	
1526	116	92	—	—	—	表探	寛永通寶	新寛永 細字背元	22.4	17.3	1.1	2.4	銅	日本	1741	

第74表 縄文土器観察表 (C区) (1)

編年 番号	取上番号	形式・ 変種	分類	群種	部位	器態		文様	胎土	直径 (cm, 片内口径を除く)		備考	図録	写真 図録
						(外径/内径)	高さ			口径	高さ			
1527	1579-27	SK296	K9	深鉢	胴部・底 部	無文/ナデ	—	—	—	6.1	—	—	117	93
1528	1644-5	SK295	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1529	1644-6	SK296	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1530	1644-1	SK296	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1531	1565-4	SK296	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・垂れ線直交文様	—	—	—	—	—	117	93
1532	1580-11	SK296	K9	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1533	1556-3	SK296	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1534	1579-21	SK296	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1535	1644-2	SK296	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1536	1654-2	SK310	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1537	555-36	SK98	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1538	1953-3	SK001	K9	深鉢	口縁部・ 胴部	条線・条線	沈線・螺旋線文(LR)	—	—	—	—	—	117	93
1539	1053-6	SK201	K9	深鉢	口縁部	条線・条線	凹線文・刺突	—	—	—	—	—	117	93
1540	1054-1	SK203	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	—	—	—	117	93
1541	1517-52	SK297	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1542	1502-26	SK203	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1543	1183-2	SK203	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	—	—	—	117	93
1544	1229-7	SK1	K9	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・螺旋線文(LR)	—	—	—	—	—	117	94
1545	619-31	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1546	619-51	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	—	—	—	117	93
1547	957-43	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	93
1548	1459-8	SK1	K9	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	沈線・螺旋文(LR)	—	—	—	—	—	117	94
1549	959-17	SK1	K9	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	—	—	—	117	94
1550	1414-110	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	94
1551	1414-8	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	94
1552	957-25	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・垂れ線直交文様	—	—	—	—	—	117	93
1553	1414-96	SK1	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	117	94
1554	2130-29	SK12- 523	K10	ニガハ コップ	口縁部・ 胴部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	7.0	4.0	—	118	94
1555	2279-40	SK13	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	118	94
1556	2279-43	SK13	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・螺旋線文(LR)	—	—	—	—	—	118	94
1557	1426-11	SK146	K9	注口土器	胴部	ミガサ/ミガサ	沈線	—	—	—	—	—	118	94
1558	1426-18	SK146	K9	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	—	—	—	118	94
1559	2279-48	SK13	K10	鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	—	—	—	118	94
1560	2279-46	SK13	K10	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・刺突・縄文(LR)	—	—	—	—	—	118	94
1561	1313-21	SK146	C13	深鉢	口縁部・ 胴部	ナデ/ナデ	沈線	—	—	13.0	4.0	19.0	118	98
1562	1467-4	SK2	G6	深鉢	口縁部・ 胴部	ナデ/ナデ	沈線・条線・刺突	—	—	36.2	—	—	118	98
1563	1641-2	SK327	G6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	118	94
1564	967-233	SK2	C5	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	沈線・刺突・縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1565	1641-16	SK327	G6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1566	1641-17	SK327	C5	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1567	1061-2	SK225	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1568	1328-64	SK2	C5	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1569	1406-13	SK303	G6	深鉢	口縁部・ 胴部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	98
1570	1398-13	SK2	G6	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1571	1295-137	SK2	G6	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1572	1325-62	SK2	G6	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	94
1573	1294-17	SK2	C7	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	輪帯・沈線・刺突	—	—	—	—	—	119	94
1574	1468-6	SK2	G6	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	95
1575	1297-12	SK2	G9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	垂線・条線・刺突・ 縄文(LR)	—	—	—	—	—	119	95
1576	1298-51	SK2	C7	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	沈線・刺突	—	—	—	—	—	119	95
1577	1467-24	SK2	C13	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	輪帯	—	—	—	—	—	119	95

第75表 縄文土器観察表 (C区) (2)

調査 番号	取上番号	標尺・通 高	分類	時期	部位	器名		文様	胎土	重量 (g)	径長 (cm)		備考	図録 掲載
						(内径)	(外径)				口徑	高さ		
1578	1328-47他	S82	09	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線・押引	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	119	95
1579	2231-9他	S12	07	深鉢	口縁部一 胴部	ナデ/ナデ	波線	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰色	---	---	---	---	120	98
1580	2231-38他	S12	09	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰色	---	---	---	---	120	98
1581	2231-70他	S12	09	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰色	---	---	---	---	120	98
1582	2053-7	SK339	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	波線	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰色	---	---	---	---	120	95
1585	1867-2	SK420	C3	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刺突・縄文(丸)	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	内面に黄色粘付層	120	95
1584	1738-54	SK386	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	120	95
1586	2020-34	SK365	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線	灰色/黄褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	120	95
1586	2048-28	SK365	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	波線	灰色/黄褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	120	95
1587	2040-13	SK337	C11	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線・刺突・縄文(丸)	灰白色/灰白色/黄褐色	---	---	---	---	120	95
1588	1762-48他	SK386	08	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	雑草・波線	黄褐色/灰白色/灰-2層色	---	---	---	---	120	95
1588	2024-107	SK317	C11	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線	灰色/褐色/灰黄褐色/黄褐色	---	---	---	---	120	95
1590	1867-38他	SK420	C13	深鉢	胴部一 底	ナデ/ナデ	縄文(丸)	灰色/黄褐色/灰褐色/灰褐色	---	8.0	---	---	120	98
1591	2034-108	SK317	07	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	灰色/褐色/灰色/黄褐色/黄褐色	---	---	---	---	120	95
1592	821-42他	S11	09	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	121	95
1594	821-18他	S11	09	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線	黄褐色/灰白色/灰色	---	---	---	---	121	96
1594	863-122他	SK245- S11	09	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	褐色/褐色/灰黄褐色	---	---	---	---	121	96
1595	863-20他	S11	09	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線	褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	121	96
1596	822-77他	S11	09	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰色	---	---	---	---	121	97
1597	883-126他	S11	09	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	雑草・波線・刺突	褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	121	96
1598	1799-1	SK293	24	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	突帯・突帯上に部A点 刺突・縄文(丸)	黄褐色/黄褐色/灰色	---	---	---	内外面に黄色粘付層、外 面に黄色粘付層	121	97
1599	1967-1他	SK408- 453・416	K9	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	凹線文	黄褐色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	121	97
1600	2067-18他	SK453- 454	K4	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	波線	灰色/褐色/灰色/黄褐色/黄褐色	---	---	---	---	121	97
1601	1932-1他	SK389	C2	鉢	口縁部一 胴部	ナデ/ナデ	雑草・口縁部部に部A点 刺突・縄文(丸)	灰色/赤褐色/褐色/灰褐色	---	---	---	---	121	97
1602	2014-21	SK362	Z9	ニニチュア	蓋部	有眼圧痕/有眼圧痕	縄文(不明)	灰色/黄褐色/灰色/黄褐色	---	2.4	---	---	122	97
1603	2538-1他	SK582	Z5	深鉢	口縁部一 胴部	ナデ/ナデ	突帯・縄文(丸)	黄褐色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	122	97
1604	2311-1他	E17	Z6	鉢	口縁部一 胴部	ナデ/ナデ・ 有眼圧痕	雑草上に部A点・部A点 刺突・縄文(丸)	灰黄褐色/灰色/黄褐色/灰色/黄褐色	---	---	---	---	122	97
1605	2211-5	E17	C2	深鉢	口縁部一 胴部	ナデ/ナデ	特殊突帯文(押引)・縄 文(丸)	灰色/褐色/灰色/黄褐色/灰褐色	---	---	---	---	122	98
1606	1306-103他	S83	C2	深鉢	口縁部	ナデ/ナデ	雑草上に部A点・押引・ 有眼刺突帯文・縄文 (丸)	褐色/褐色/灰褐色	---	---	---	---	122	97
1607	555-1他	SK109	06	深鉢	胴部	ナデ/ナデ	黄緑粘層・波線・押 引	灰白色/灰黄褐色/灰色	---	---	---	---	122	97
1608	750-73他	SK118	K10	鉢	胴部一 底	ナデ/ナデ	波線・刺突	灰白色/灰白色/黄褐色	---	2.8	---	---	122	98

第76表 尖頭器計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1609	525	5	E17-18	—	SK95	尖頭器	チャート	(4.0)	1.6	1.0	(6.2)	123	99
1610	1160	7	D20	—	SK226	尖頭器	黒曜石	(2.8)	(3.0)	(0.9)	(7.0)	123	99
1611	1626	5	G22	Ⅲ	—	尖頭器	安山岩	(2.9)	(2.1)	(0.7)	(3.9)	123	99
1612	1025	17	E23	Ⅱ	—	尖頭器	チャート	(3.2)	1.7	0.7	(3.9)	123	99

第77表 石鏃計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1613	2269	20	—	—	SK491	石鏃	チャート	I a 1	1.9	1.7	0.2	0.4	123	99
1614	1480	1	F22	—	—	石鏃	下呂石	I b 1	1.6	(1.0)	0.2	(0.2)	123	99
1615	620	4	F19	—	SB1-3	石鏃	チャート	I b 1	(1.7)	(1.6)	0.4	(0.7)	123	99
1616	1260	24	F22	—	—	石鏃	下呂石	I d 1	(1.7)	1.8	0.4	(1.1)	123	99
1617	1616	7	—	—	SK297	石鏃	チャート	I d 1	(1.2)	(1.3)	0.2	(0.4)	123	99
1618	1616	9	—	—	SK297	石鏃	下呂石	I d 1	1.5	(1.3)	0.4	(0.5)	123	99
1619	1273	5	F22	—	—	石鏃	チャート	未製品	(2.4)	(1.7)	0.6	(2.3)	123	99
1620	2268	76	—	—	SK491	石鏃	チャート	未製品	(2.8)	(2.1)	(0.3)	(1.3)	123	99
1621	1184	3	E-F20	—	SK203	石鏃	下呂石	不明	(1.6)	(1.7)	(0.3)	(0.6)	123	99
1622	627	1	F19	—	SB1-2	石鏃	チャート	不明	(1.6)	(1.6)	(0.3)	(0.4)	123	99

第78表 石錐計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	磨耗	光沢	微細	図版	写真図版
1623	2509	—	—	—	SK583	石錐	チャート	1a	4.8	2.0	0.9	7.9	—	—	○	123	99
1624	2320	11	E17	M	—	石錐	チャート	1a	4.8	3.4	0.7	10.7	—	—	○	123	99
1625	2527	—	—	—	SK576	石錐	チャート	1b	4.7	2.4	0.7	8.8	—	—	○	123	99
1626	909	22	G22	—	SK169	石錐	チャート	2a	3.1	1.5	0.5	3.1	—	—	—	123	99
1627	1733	1	E16	Ⅲ	—	石錐	チャート	2a	2.9	1.8	0.6	2.8	○	○	—	123	99
1628	1712	16	E16	Ⅲ	—	石錐	チャート	2b	4.7	1.7	0.5	2.7	○	○	—	123	99
1629	1366	10	I22	Ⅲ	—	石錐	チャート	2b	4.0	1.5	0.5	3.0	○	○	—	123	99
1630	657	1	E23	Ⅲ	—	石錐	チャート	3a	2.3	0.6	0.4	0.6	—	—	○	124	99
1631	570	6	I22	I	—	石錐	サヌカイト	3a	3.1	0.7	0.3	0.8	—	—	—	124	99
1632	1346	3	F19	—	SB1	石錐	チャート	3b	2.5	0.6	0.4	0.8	○	○	—	124	99
1633	574	6	H21	I	—	石錐	チャート	3b	3.6	0.9	0.5	1.8	○	○	—	124	99

第79表 石匙計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1634	870	10	G21	—	SK164	石匙	チャート	1	5.2	2.6	1.0	13.6	124	99
1635	1912	1	—	—	SK364	石匙	サヌカイト	2a	4.4	6.1	1.0	20.8	124	99
1636	1403	53	E17	Ⅲ	—	石匙	チャート	1	3.7	3.7	0.9	11.7	124	99
1637	2404	2	—	—	SK532	石匙	チャート	2b	3.8	4.3	0.9	10.8	124	99

第80表 石篋計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1638	533	5	C16	—	SK90	石篋	チャート	4.1	2.0	0.9	11.2	124	99
1389	1719	3	F18	Ⅲ	—	石篋	チャート	5.3	3.6	1.4	34.3	124	99

第81表 スクレイパー計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1640	1088	2	E21	—	SK207	スクレイパー	チャート	1a	6.1	2.2	1.2	16.5	124	99
1641	1784	2	—	—	SK386	スクレイパー	チャート	1a	(4.8)	(3.8)	1.3	(20.0)	124	99
1642	1235	—	E19	—	SK223	スクレイパー	チャート	1b	6.0	3.1	0.9	16.7	125	99
1643	814	5	G22	—	SK169	スクレイパー	チャート	1b	5.9	2.6	0.9	12.6	125	99
1644	2110	—	—	—	SK461	スクレイパー	チャート	1c	2.6	6.8	1.2	24.6	125	99
1645	1012	16	E19	Ⅲ	—	スクレイパー	チャート	1c	4.4	6.0	0.7	23.1	125	99
1646	911	11	G22	—	SK187	スクレイパー	チャート	1d	3.4	2.9	1.0	14.4	125	100
1647	668	2	H21	—	SK151	スクレイパー	チャート	1d	4.2	2.5	0.9	13.0	125	100
1648	490	7	F21	Ⅲ	—	スクレイパー	チャート	2	2.9	2.1	0.4	2.9	125	100
1649	568	11	H22	I	—	スクレイパー	チャート	3	(2.6)	3.0	1.0	(8.5)	125	100

第82表 ヘラ形石器計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1650	1126	2	E20	—	SK205	チャート	2.2	1.6	0.5	1.7	125	100
1651	2320	24	E17	IV	—	チャート	3.9	2.2	0.8	7.9	125	100

第83表 楔形石器計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1652	955	2	F19	—	SB1-2	サマカイト	I	1.9	1.7	0.9	2.7	126	100
1653	1004	30	F22	II	—	チャート	I	3.5	3.8	0.8	14.8	126	100
1654	1905	1	—	—	SK428	下呂石	I	3.2	3.0	0.9	7.2	126	100
1655	1834	4	—	—	SK428	下呂石	I	2.8	3.8	0.9	10.4	126	100
1656	2115	1	—	—	SK442	砂岩	2	5.6	3.5	1.2	33.3	126	100
1657	2495	—	—	—	SK604	砂岩	2	4.4	3.7	1.2	29.1	126	100

第84表 石核計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1658	901	6	F22	—	SK198	チャート	6.7	7.1	7.1	417.3	126	100

第85表 石製品計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	種別	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1659	1082	2	F21	—	SK246	浮石	安山岩	8.5	6.8	3.0	55.2	127	100

第86表 切目石錐計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	経掛部計測			帯痕	折損	図版	写真図版
												a	b	L2				
1660	1184	27	E・F20	—	SK203	砂岩	I	4.4	2.6	1.8	29.4	0.2	0.2	4.3	—	欠	127	100
1661	1184	23	E・F20	—	SK203	砂岩	I	2.7	2.1	1.1	8.3	0.4	0.4	2.4	—	欠	127	100
1662	1055	13	F20	—	SK203	砂岩	I	5.5	3.3	1.4	39.6	0.3	0.4	5.2	○	完	127	100
1663	1055	11	F20	—	SK203	砂岩	I	3.7	2.4	1.0	14.6	0.3	0.4	3.3	○	完	127	100
1664	1526	10	D20	—	SB2-1	砂岩	I	(4.4)	3.6	1.1	(24.0)	0.5	—	4.0	—	欠	127	100
1665	1299	7	D20	—	SB2-2	砂岩	I	(3.7)	(2.4)	(0.6)	(6.9)	0.4	—	—	—	欠	127	100
1666	1301	11	D20	—	SB2-3	砂岩	I	4.3	1.3	0.9	8.6	0.2	0.2	4.1	○	完	127	100
1667	1329	6	D20	—	SB2-1	砂岩	I	4.2	2.9	1.3	21.8	0.3	0.5	3.8	—	欠	127	100
1668	1526	7	D20	—	SB2-1	砂岩	I	4.5	1.8	0.8	11.0	0.2	0.1	4.4	○	完	127	100
1669	1303	10	D20	—	SB2-4	砂岩	I	4.7	3.1	1.0	20.9	0.5	0.5	4.3	—	欠	127	100

第87表 打欠石錐計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	経掛部計測			加工		帯痕	折損	図版	写真図版
												a	b	L2	上端	下端				
1670	1573	5	D20	—	SB2-1	砂岩	I	8.0	5.1	1.9	104.2	0.8	0.8	7.8	両面	両面	—	欠	127	100
1671	1301	13	D20	—	SB2-3	砂岩	I	6.2	3.3	1.7	55.0	1.0	1.1	5.9	片面	両面	—	欠	127	100

第88表 粗製石器計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	図版	写真図版
1672	15	2	H21	I	—	泥岩	(12.4)	(5.4)	(1.6)	(155.5)	127	100
1673	2331	1	F18	IV	—	泥岩	14.2	3.3	0.9	47.9	127	100
1674	1657	—	—	—	SK296	泥岩	6.2	3.1	0.5	14.1	127	101
1675	1653	1	—	—	SK311	細粒凝灰岩	5.9	3.4	1.1	26.0	127	101

第89表 打製石斧計測表 (C区)

掲載番号	取上番号	枝番	地区名	層序	遺構名	石材	分類	前縁	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	幅面	先沢	彫痕	経状痕	図版	写真図版	備考		
																				1b	(11.5)
1676	1652	6	H21	Ⅲ	—	カルクフェルス	2b	4	(9.2)	(5.4)	(1.8)	(113.5)	1	—	—	—	—	128	101		
1677	2331	5	F18	IV	—	泥岩	2b	4	(9.2)	(5.4)	(1.8)	(113.5)	1	—	—	—	—	128	101		
1678	830	5	F21	—	SK174	礫山岩	2b	—	11.9	6.6	2.4	224.4	1	b	—	a	—	128	101	青色付着	
1679	1635	14	F19	—	SB1	砂岩	2b	5	(10.7)	(9.0)	(3.6)	(518.9)	1	c	c	—	—	128	101		
1680	1635	13	F19	—	SB1	砂岩	3	—	7.2	3.7	0.9	25.9	1	—	—	—	—	128	101		
1681	1100	—	E19	—	SK201	礫山岩	2b	4	(13.6)	(12.1)	4.3	(1192.7)	2	c	c	—	—	—	128	101	
1682	2007	1	—	—	SK169	四脚岩	4	—	13.6	13.8	3.0	798.0	2	—	—	—	—	—	128	101	
1683	1232	3	F19	—	SB1	砂岩	4	—	17.8	17.0	4.8	2290.0	2	—	—	—	—	—	129	101	

第97表 縄文土器 遺物包含層地区別出土一覧表
 (A・B区) (1)

地区/時期	上段：破片数 下段：質量 (g)							
	早期	前期	中期	後期	晩期	時期不明	合計	
Bトレン子		2					2	
		17.2					17.2	
Cトレン子					3	3	6	
					55.1		55.1	
D10			1			1	2	
			3.8			9.3	13.1	
D11				1		1	2	
				20.8		5.6	26.4	
E8					1		1	
				20			20	
E9			1				1	
			13.2				13.2	
E10			1			1	2	
			22.2			9.1	31.3	
E11		1	5		2	8	16	
		9	68.2			5.6	82.8	
E12			4	1		2	7	
			66.6	10.6		13.7	90.9	
E13		3	14			5	22	
		30.1	214.5			38.5	283.1	
E14			8			2	10	
			78.5			25.9	104.4	
E15			1				1	
			9.2			9.2	18.4	
F10			2		1	2	5	
			27.5		16.4	12	55.9	
F11		1	12	1		6	20	
		10.7	234.8	12.9		45	303.4	
F12			20		2	10	32	
			480.3	16.1		83	579.4	
F13			7			1	8	
			182			12.3	194.3	
F14		5	9	86		5	85	
		38.4	132.9	564.2		39.1	774.6	
F15		24	40	90	2	56	212	
		287.2	568.1	2096.9	9.5	599.2	3560.9	
F16		86	44	234	19	111	494	
		1110	862.6	3556.9	615.5	1060.8	7205.8	
F17		19	15	97	3	49	183	
		172.8	224.5	1711.1	67.9	329.8	2506.1	
F18				5		5	10	
				65.7		69.3	135	
G12		4	60	4		7	75	
		32.8	763.8	40.1		36.5	873.2	
G13		5	31	2		4	42	
		27.7	407	20.6		46.9	502.2	
G14		18	43	27	1	16	105	
		176.8	690.9	492.7	11.1	183.8	1555.3	
G15		2	28	30	129	2	38	229
		84.3	316.6	387.3	1978.9	19.9	492.9	3279.9
G16		1	81	92	256	11	52	493
		12	922.3	1950.2	3535.2	113.5	419.2	6952.4
G17			16	10	47		24	97
			134.9	165.2	839.6		167.1	1306.8

 第98表 縄文土器 遺物包含層地区別出土一覧表
 (A・B区) (2)

地区/時期	上段：破片数 下段：質量 (g)							
	早期	前期	中期	後期	晩期	時期不明	合計	
G18		5	12	32	2	20	71	
		59	128	469.7	55.1	141.4	853.2	
G19			4	4	5	5	18	
			31.4	44.6	85.5	117.8	279.3	
G20		5	1	8	7	3	24	
		60.8	8.7	138.3	177.6	49	434.4	
H8				1			1	
				38			38	
H9				2			2	
				28.7			28.7	
H10				3	1		4	
				85.2	14.9		100.1	
H11		1	3			5	9	
		11	40.3			38	89.3	
H12			17	4		3	24	
			214.6	60.2		13.5	288.3	
H13			7	16	3	5	31	
			65.6	243.1	73.1	75.8	457.6	
H14			9	53	41	25	128	
			67.8	1419.8	849.7	209.3	2546.6	
H14・15						1	1	
						2.6	2.6	
H15		55	74	75		40	244	
		620.2	1687	1681		613.6	4601.8	
H16		51	48	63	4	40	206	
		646.4	1171.1	1208	72.2	448.7	3546.4	
H16・17			1	7		5	13	
			11.6	93.3		29.9	134.8	
H17		15	13	25	1	9	63	
		130.4	162	393.1	12.4	102.7	800.6	
H18		1	2	17	10	3	13	46
		6.4	26.7	189	203.5	29.4	131.2	586.2
H19		12	11	4	8	13	48	
		66.4	115.4	78.2	66.6	145.3	473.9	
H20		33	21	18	5	16	93	
		321.6	202.2	226	88.7	121.3	959.8	
H21		14	5	9	5	8	41	
		92.2	32.7	108.9	72.7	111.9	418.4	
I9			1				1	
			8.5				8.5	
I10			2				3	
			12.9			0.9	13.8	
I11		1	4	2			7	
		5.3	26	9.6			40.9	
I12		2	13	3		3	21	
		23.1	104.4	36.6		13.1	177.2	
I13		6	19	2		8	35	
		43.5	254	28.9		76.2	402.6	
I13・14			4	1		3	8	
			36.8	23.9		16.2	76.9	
I14		8	20	9		3	40	
		86.4	237.1	107.5		45.1	476.1	
I15		50	52	104	2	45	253	
		515.2	1199.7	2187.5	35.5	475.5	4413.4	

第99表 縄文土器遺物包含層地区別出土一覧表
(A・B区) (3)

地区/時期	上段: 破片数						下段: 質量 (g)	合計
	早期	前期	中期	後期	晩期	時期不明		
I16		16	46	244	9	78	393	6640.9
		106	874.1	4585.5	87.5	987.8		
I16-17				3		1	4	
				16.2		12.6	28.8	
I17		6	15	46		40	107	
		55	280.4	865.5		329.4	1530.3	
I18		6	26	34	25	5	96	
		39.7	442.6	540.3	485.3	36	1543.9	
I19		1	5	8	4	2	20	
		10.9	48.9	279.7	41.6	27.9	409	
I20		1	1				2	
		9	2.6				11.6	
I21		47	10	18	12	7	94	
		409.4	123.2	162.2	186.6	55.3	936.7	
I22		40	22	7	4	20	93	
		401.5	183	74.4	68.2	309.8	1036.9	
I-J14		1			1	1	3	
		4.7			14.2	23.4	42.3	
J3			2				2	
			17.1				17.1	
J11			2				2	
			11.9				11.9	
J12		7	10	5			22	
		53.4	116.4	40.9			210.7	
J13		19	34	7		13	73	
		168.4	543.4	43.2		130.1	885.1	
J14		13	38	33		27	111	
		128	874	521.4		196	1719.4	
J15		29	116	163	8	97	413	
		303.2	2910.9	2892.8	20.5	1131.3	7258.7	
J16		16	54	301	2	101	474	
		92.6	938.7	4938	46.3	1149.8	7165.4	
J17		13	30	222	7	86	358	
		147.3	546.5	3200.2	191.1	823.3	4908.4	
J17-18		3	2		6	11		
		29.2	45.3		28.6	103.1		
J18		12	24	73	45	50	204	
		122.5	443.4	967.1	1339.8	452.5	3325.3	
J19		3	9	13	4	8	37	
		71.7	87.4	196.7	31.4	72.9	460.1	
J20				5		1	6	
				58.4		3	61.4	
J21		1	8	4	8	7	4	32
		10.8	85.6	32.8	118.6	118.9	16.8	383.5
J22			15	20	1		3	39
			92.7	326.6	10.7		30.9	460.9
K12						2	2	
						12.9	12.9	
K13			2	9	3		2	16
			15.5	107.2	27.5		6.8	157
K14			21	92	29	1	30	173
			200	1591.2	423.1	9.5	212.8	2436.6
K15			18	66	255	3	46	388
			183.4	1384.5	4306.9	64.8	327	6266.6

第100表 縄文土器遺物包含層地区別出土一覧表
(A・B区) (4)

地区/時期	上段: 破片数						下段: 質量 (g)	合計
	早期	前期	中期	後期	晩期	時期不明		
K16			19	42	334	14	46	455
			200.9	766.4	5833.7	291.8	439.7	7532.5
K17		1	13	72	230	20	104	440
		4	117.3	1212.9	3504	563.4	1125.6	6527.2
K18			3	14	168	65	77	327
			9.9	190.6	2226.1	2021.2	850.4	5298.2
K19			12	5	65	67	12	161
			85.9	47.9	935.3	1095.8	105.9	2270.8
K20					4	1		5
					64.9	9.5		74.4
K21					2		1	3
					33.6		19	52.6
K22					4			4
					54.4			54.4
L13			2	11			1	14
			19.4	231.3			6.7	257.4
L14			19	42	12	1	19	93
			134.8	675.4	141.4	9.2	164.7	1125.5
L15			30	119	72	5	32	258
			267.2	1835.9	1171.5	94.3	223.8	3592.7
L16			66	81	140	8	95	390
			689.6	1908.1	2827.7	108.3	962.8	6496.5
L17			16	38	124	1	53	232
			167.2	603.3	2014.3	18.9	484.2	3287.9
L18			25	31	173	7	100	336
			260.4	695.1	2175.3	109.3	791	4031.1
L19			9	23	27	24	27	110
			47.3	296.7	369.7	524.9	262	1500.6
L20						15		15
						413.6		413.6
L-W15-16			2	3				5
			11.2	29.2				40.4
M11							1	1
							11.7	11.7
M13				1				1
				7.7				7.7
M14			5	34		1	1	41
			47.1	558.8		3.2	4.2	613.3
M15			19	178	29	1	38	265
			149.5	2574.2	512.6	14.4	432	3682.7
M16			38	136	78	1	82	335
			371	2089.3	1407.1	27.3	726.2	4620.9
M17			11	79	107	7	48	252
			62	1096	1992.9	128.5	394.1	3673.5
M18					4		1	5
					49.1		11.1	60.2
M19			1	13	7	15	17	53
			10.1	171.8	88.3	217.9	123.4	611.5
M20			3	10	7	10	10	40
			21.4	189.1	66.1	162.9	116.7	556.2
M21				1				1
				19.7				19.7
N13				9			1	10
				133.4			4.4	137.8

第101表 縄文土器遺物包含層地区別出土一覧表
(A・B区)(5)

地区/時期	上段：破片数					下段：質量 (g)	
	早期	前期	中期	後期	時期不明	合計	
N14		4	67	7	15	93	
		28.4	882.6	94.7		119.6	1125.3
N15		4	14		4	22	
		35.4	129.6		34.1	199.1	
N16		20	28	3	13	64	
		261.8	386.2	28.7	81.6	758.3	
N17		16	75	13	32	136	
		186.2	1386.8	242.2	317.3	2132.5	
N17・18		1	1	1	1	4	
		8.6	20.8	29.4	5.6	64.4	
N18		3	22	16	6	47	
		23.5	359.1	180.2	61.3	624.1	
N19		8	26	57	11	24	126
		52	391	805.9	159.9	272	1680.8
N20		1	1	1	1	4	
		10.4	30.5	3.9	14	58.8	
09			2			2	
			33.1			33.1	
013		1	1	1		3	
		9.6	20.7	43.9		74.2	
014		1		4		5	
		2.9		55.9		58.8	
015		8	20		4	32	
		50.1	307.4		32.6	390.1	
016		13	16	3	11	43	
		179.9	254.2	38.9	160.3	633.3	
017		30	21	2	3	56	
		438.7	269.3	46.2	14.4	768.6	
018		2	14	6	4	26	
		32.2	232.5	104.2	40.7	409.6	
019		15	64	34	27	140	
		119.2	1389.8	601.6	231.6	2342.2	
020				2	2	4	
				27.2	39.7	66.9	
P13			8	3		11	
			102.6	51		153.6	
P14			1			1	
			6.3			6.3	
P15			11			11	
			169.1			169.1	
P16		1	7	2		10	
		7	187.9	11.1		206	
P17		3	7	5	5	20	
		38.3	102	67.9	44.5	252.7	
P18		1	12	13	1	10	37
		18.2	332.8	134.6	2.9	61.7	550.2
Q14				3		3	
				33.9		33.9	
Q15				3		3	
				74.5		74.5	
Q16			1			1	
			4.3			4.3	
Q17				1	1	2	
				11.2	7.8	19	

第102表 縄文土器遺物包含層地区別出土一覧表
(A・B区)(6)

地区/時期	上段：破片数					下段：質量 (g)	
	早期	前期	中期	後期	時期不明	合計	
Q18		1	7	8		16	
		30.9	132.8	41.3		205	
Q19			2	2		4	
			64.7	70.9		135.6	
R14			1			1	
			10.9			10.9	
R15			1			1	
			13.4			13.4	
R16			1			1	
			20.5			20.5	
R17				2		2	
				25.9		25.9	
R18			5	1		6	
			146.8	9.5		156.3	
S16				1		1	
				8.4		8.4	
S17				1		1	
				15.8	7.1	22.9	
S18			1	1		2	
			3.8	11.7		15.5	
T17				1		1	
				4.2		4.2	
北区一括			2			2	
			16.6			16.6	
南区		2	10	7		19	
		13.7	124	131.7		269.4	
水滲管 拡張部		1				1	
		12.2				12.2	
ペルト 壁		1	3	6		10	
		5.3	121.6	162.1		289	
ペルト トレンチ		13	16	8	1	38	
		101.4	256.7	107.1	21.8	587	
攪乱		8	19	2		29	
		92.8	299.8	20.1		412.7	
攪乱壁		2	1	7		10	
		18.1	8.2	181.6		207.9	
排土					1	1	
					7.6	7.6	
不明		1	6	2		9	
		2.9	60.3	51.3		114.5	
不明 南東部		2				2	
		16.8				16.8	
合計		6	1322	2940	4682	496	2262
		117.5	13326.5	50785.1	76284.8	10372.8	22239.7

第103表 石器 遺物包含層地区別出土一覧表 (A・B区) (1)

遺物 種別	縄文石器	尖頭器	石鏃	石鏃	石鏃	棒形石鏃	ヘラ形石鏃	スクレイパー	石鏃	切石鏃	打穴石鏃	打製石鏃	磨製石鏃	粗製石鏃	玉	魚骨	球状器	石製器	石棒	石刀	石皿	磁石	磨石	石 F	U F	割片	分銅	燧石器	火打石	燧石	合計	
地区																																
907P7												1													2	11					14	
86			2									1												1	1	4					9	
87			1																						1	7					9	
05																									1	3					4	
06			2																						1	7					14	
C7								1			1	2														5					6	
08									1		1															2					4	
09													1												1	5					7	
04									1	1															3						5	
06																										1					1	
07			1																						1	4					2	8
08									1																1	11					14	
09		1																							1	6					8	
010			2							1														1	1	13					19	
011				1	3			1	3	4	2	1													1	5	5				71	
012					1				2																2	1	12				18	
E7										1															2	1					4	
E8									1																1	3					5	
E9										6															1	11					18	
E10			2		1			1	2	4	1														2	1	19				33	
E11			6	1				2	1	2	7	1	1	1											14	3	126		2		167	
E12			2					1	4	3	5		2	1											1	5	5	79			108	
E13			2		1					1	3	1												2	3	1	43				67	
E14			1	2					3	3	6													2	2	14					34	
E15			6						1															1		4					12	
F3																															1	
F4			1									1													2	1					5	
F5																									2						2	
F6																									17						17	
F7																									16						16	
F9																											1				1	
F10										3															1	4					8	
F11			2	1	1	1		3		1	11	1													3	3	1	53			90	
F12			2	1	1	2		3	3	6	15	1													3	5	53				95	
F13								1	1	1	1															1	5				10	
F14			2		1			1	1	5	2	1														5	4	24			45	
F15	1		14	5	3	3		6	6	22	15	2	2												8	15	5	198			1 306	
F16			21	7	4	1		14	4	2	14	1													11	1	11	382			502	
F17			17	4	2	1		6	1	7																9	5	3	192			249
F18			2																						1	5					8	
G2												1														1					2	
G3																										1	1				2	
G5					1				1	1																1	4				8	
G6																										1	6				7	
G10					1																						1				2	
G11			1	1				1	4	6			1												1	1	9				25	
G12			3	3	1	2		5	4	14	13														3	11	2	6			121	
G13			3	2	1	1		1	2	9	1															6	4	49			88	
G14			6	1	1			3	3	14	15	1													2	1	3	77			136	
G15		1	16	5	2			15	7	21	23	4	2												9	25	3	248		1	382	
G16	1		47	13	2	8		14	6	29	13	5	1												23	48	17	682			909	
G17			18		3			2	2	6	4	1													5	18	4	164			227	
G18			1	12	3	1	4		2	2	2	1													11	9	2	167			217	
G19			2																							2	1	9			15	
G20			4	2		1		1	1	2															1	2	22				35	
H2																										1		2			3	
H6																											4				4	
H7																															1	
H8																											2				2	
H9			2								2	1																			7	
H10			1							2															1		8				12	
H11			3			1		1	2	9	14														1	2	1	26			60	
H12			3		1	1			2	5	3		1													1	4	3	43			67
H13			5						4	3	5	7														1	3	1	61			90
H14			16	5		5		6	1	25	14	4														6	24	9	238			353
H15			3	3	4	3		16	2	31	17	5	2	1											13	19	11	338			496	
H16			17	6	2	6		18	5	2	14	2														19	25	7	269			459
H17			12	2				4	1	8	2	3														7	12	2	126			179
H18			4	4		2				3	1	1														1	1	2	76			105
H19			5	1	1	1		1	1	1	1															4	2	53			71	
H20			19	6	2	2		3	2	16	7	2														9	18	4	198			291
H21			6	1	1			3		4	1															1	1	3	129			159

第105表 石器 遺物包含層地区別出土一覧表 (A・B区) (3)

地区	磨製石器	尖頭器	石錐	石鏃	石匙	棒状石器	へら形石器	スクレイパー	石鏃	切刃石鏃	打石心鏃	打製石片	磨製石片	粗製石器	玉	串刺	珠状石鏃	石製石鏃	石刀	石皿	砥石	磨製石	石片	UF	UF	分片	分片	燧石	火打石	燧石	合計
R17			41	5	2	2		9	4	34	26		2							1			14	28	6	485				659	
R18			1			1			1	2	1								1					1	1	1				28	
R19			6	5		1		1		6	1													2	3	3	112			140	
R20			5					1		3	5													1	5	1	53			74	
R21										1																	3			4	
R9				1																										1	
R10												1															1			2	
R11								1				1	1																	4	
R12						1		1		1																	3			6	
R13			1							3	13												1			1	11			30	
R14			6	2	1	3		7	3	14	25													4	2	8	114			189	
R15			2		1			2	1	3	4			1										1	12	2	95			124	
R16			11	3	2			4	2	8	8													3	11	6	133			191	
R17			18	2	1	1		10	4	23	14													4	16	14	238			348	
R18			7	2			1	2		5	4	1						1							5	4	81			112	
R19			24	10	2	3		7		25	9	2		2										3	30	7	244			368	
R20			3					4	1																3	2	33			46	
O9	1																						1			1	1			4	
O10											1																			1	
O11										1	1																1			3	
O12								1	2	2	1																			7	
O13			1					1	1	4														2						11	
O14										3	8													2						11	
O15			9	4	1			3	7	3	8	2												1	5					18	
O16			9	4	1			3	7	3	8	2												2	4	2	77			122	
O17			9	3				4	5	17	1	1	1											4	9	2	72			128	
O18			3	4		2		5	3	2	10													5	7	5	124			170	
O18			2					4		4	3		1											4	1					60	
O19			8	4	1	1		5	3	26	15							1						2	6	4	124			200	
O20			2	1			1																							25	
P11										1	1													1						3	
P12									1				1																	3	
P13										4																				7	
P14									1	4															1	1				7	
P15			1			1	1	1	2	3			1											2			9			20	
P16			1						3	4			1												1	2	5			17	
P17			2					4	2	7	7		2												5	5	7	35			76
P18			3	1				2		8	3														1			29			47
P19										2																				2	
P20																														3	
O10																														1	
O12																														2	
O13			2							1																				3	
O14								1		1														3						6	
O15									1	1																				4	
O16								1		2															1	1	1	7			15
O17										3		1																		4	
O18			1	1	1				4	4	1														1	1	1	12			26
O19			1						1																1					10	13
R14										1																					2
R15			1							4															2						17
R16			1					2		3	1														1	2				6	16
R17								1	1														1		2	2				22	29
R18				1				1	1	4	3														2	1				20	33
S15											1	1								1										9	13
S16			1					1		2															1					4	6
S17																									1					4	1
S18									2	1															1	2				2	8
T17			1																											6	7
擾乱			1					1																							2
北京			2																												2
塚土			3						1																3		5				12
不明			10	2	1			4	4	16	14		1	1											6	13	4	243		319	
南区			1					1	1	3															1	2				25	34
合計	11	4	1287	38	90	177	12	518	230	1329	96	115	77	31	1	3	2	7	16	2	6	1	558	1219	442	17368	2	3	4	5	24723

第106表 縄文土器遺物包含層地区別出土一覧表
 (C区) (1)

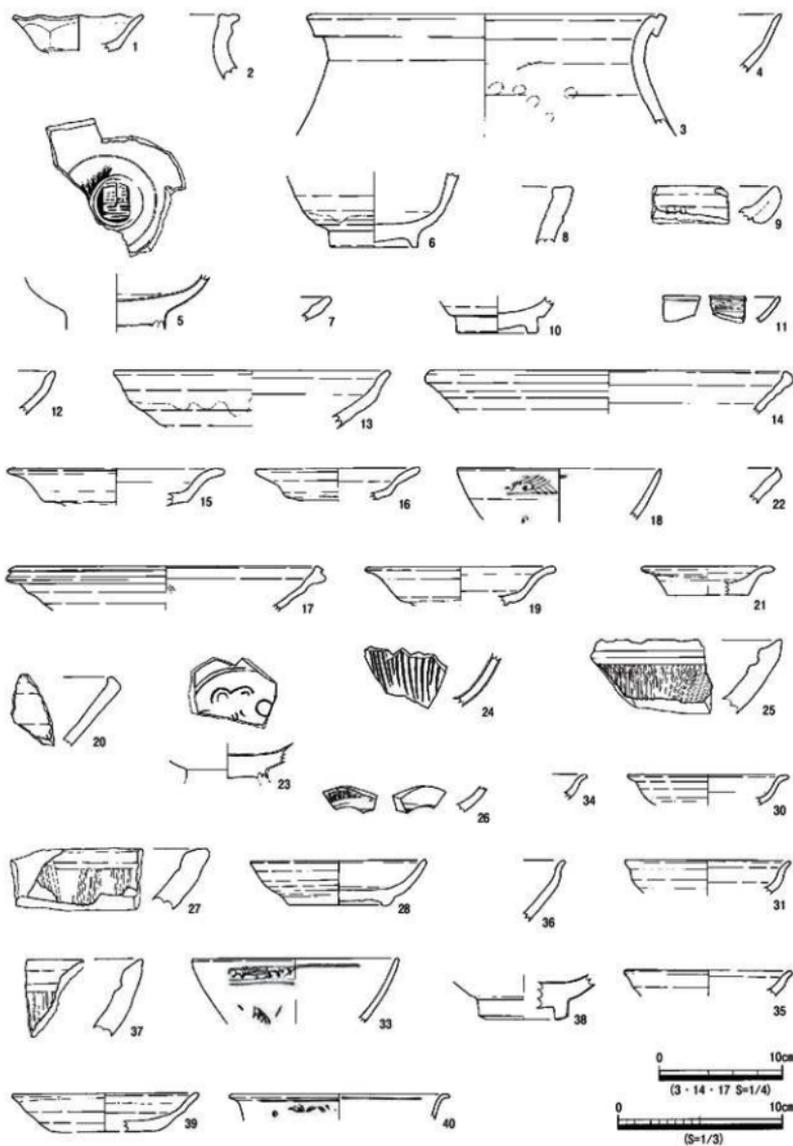
地区・時期	上段：破片数 下段：質量 (g)						
	早期	前期	中期	後期	晩期	時期不明	合計
C16			3				3
			30.1				30.1
C18			3				3
			25.8				25.8
G21			1		1	2	
			18		3.6	21.6	
D15					1	1	
					9	9	
D16		11	6		5	22	
		114.9	35.8		16	166.7	
D17		2	1			3	
		8.2	8			16.2	
D18		1	2			3	6
		3.8	62.2		24.7	90.7	
D19			6	4		1	11
			39.7	27.1		9.6	76.4
D20		2	57	4		12	75
		8.8	649.9	32.1		70.5	761.3
D21		1	2			11	14
		4.8	23.8			244.7	273.3
E13			2			2	
			61.4			61.4	
E15		13	5	9	1	4	32
		97.7	48.1	163.3	17.6	36.2	362.9
E16		25	27	12	1	7	72
		165.4	448.3	164	4.6	54.3	836.6
E17		100	44	23		10	177
		1499.3	886.5	237.8		76.1	2699.7
E18		3	6	3		2	14
		73.7	35.1	59.3		19.4	187.5
E19		3	7	18		9	37
		24.2	89.6	186.9		81	381.7
E20		5	28	9		1	43
		30.4	323.4	154.7		7.5	516
E21		5	4	3			12
		50.3	69.1	58.6			178
E22			2			1	3
			31			7	38
E23		2	1	3			6
		22.2	11.5	60.1		13.3	107.1
F18・19				1			1
				6.2			6.2
F16		10	2				12
		73.1	29.7				102.8
F17		28	33	11		15	87
		283.2	512.2	296.5		138.1	1230
F18		15	9	22		22	68
		119	91	252.9		149.1	612
F18・19						3	3
						16	16
F19		6	14	18		3	41
		73.5	172	256.3		46.6	548.4
F20			3	2		2	7
			40	27.9		5.7	73.6
F21		2	8	2		8	20
		9.3	67.5	26.7		45.7	149.2

 第107表 縄文土器遺物包含層地区別出土一覧表
 (C区) (2)

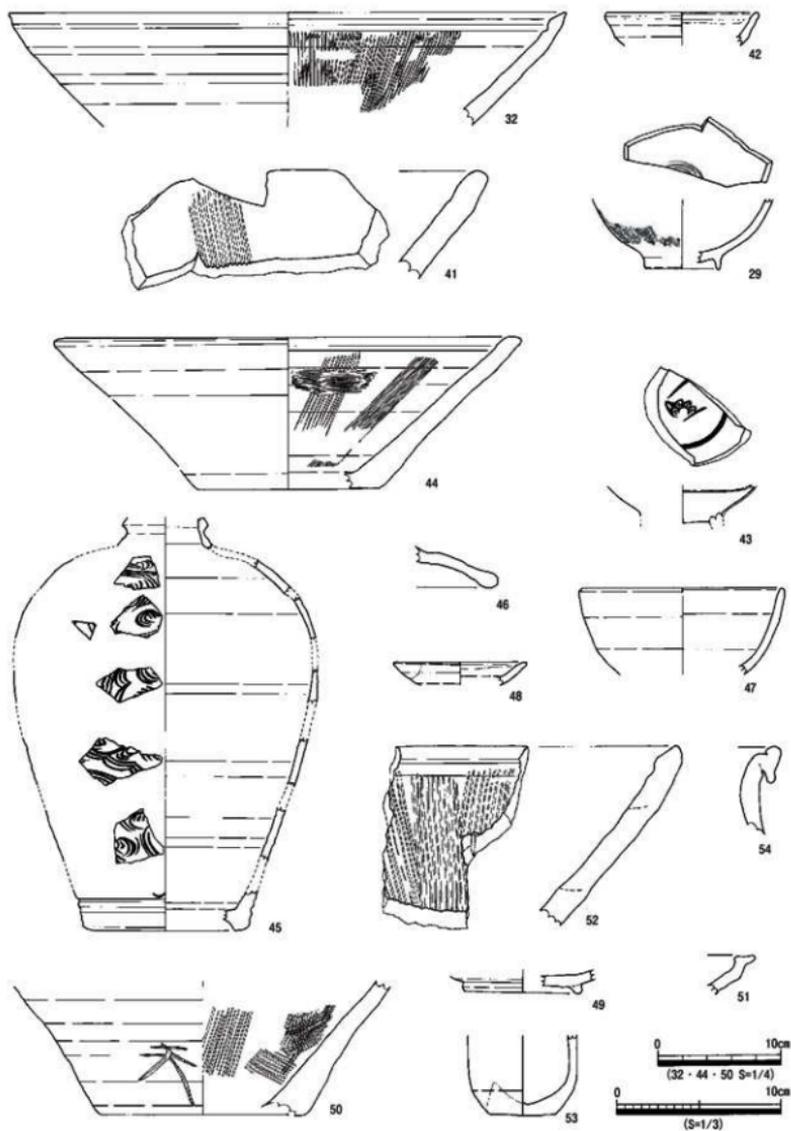
地区・時期	上段：破片数 下段：質量 (g)						
	早期	前期	中期	後期	晩期	時期不明	合計
F22		4	8	11			31
		15.4	61.5	177.9			62.7
F23		1	6	7			2
		3.3	78.2	107.5			11.2
G15		1					1
		15.4					15.4
G16		1	1				2
		5.3	16.8				22.1
G18			1				1
			5.9				5.9
G19				1			1
				5.1			5.1
G20		7	2	15		2	26
		50.4	5.7	124.1		17.7	197.9
G21		4	1			6	11
		44.3	3.1			38.4	85.8
G22		6	4	3		9	22
		34.1	52.6	33.7		74.7	195.1
G23		2	6	8	1	1	18
		12.6	121.8	109.1	11.8	10.9	266.2
H14		1	1				2
		7.3	8.4				15.7
H15		2					2
		17.6					17.6
H20		1	2			4	7
		7.8	75.4			33.5	116.7
H21		14	4	6		3	27
		140.5	30.2	70.3		16.2	257.2
H22		8	11	2		1	22
		36.7	46.5	19		8.2	110.4
I 22		7	6	1			14
		57.6	26.8	8.4			92.8
調査区			5	9		5	19
一帯			57.5	174.6		59.7	291.8
合計	0	293	334	207	3	164	1001
	0	3110.1	4400.1	2840.1	34	1407.3	11791.6

第108表 石器 遺物包含層地区別出土一覧表 (C区)

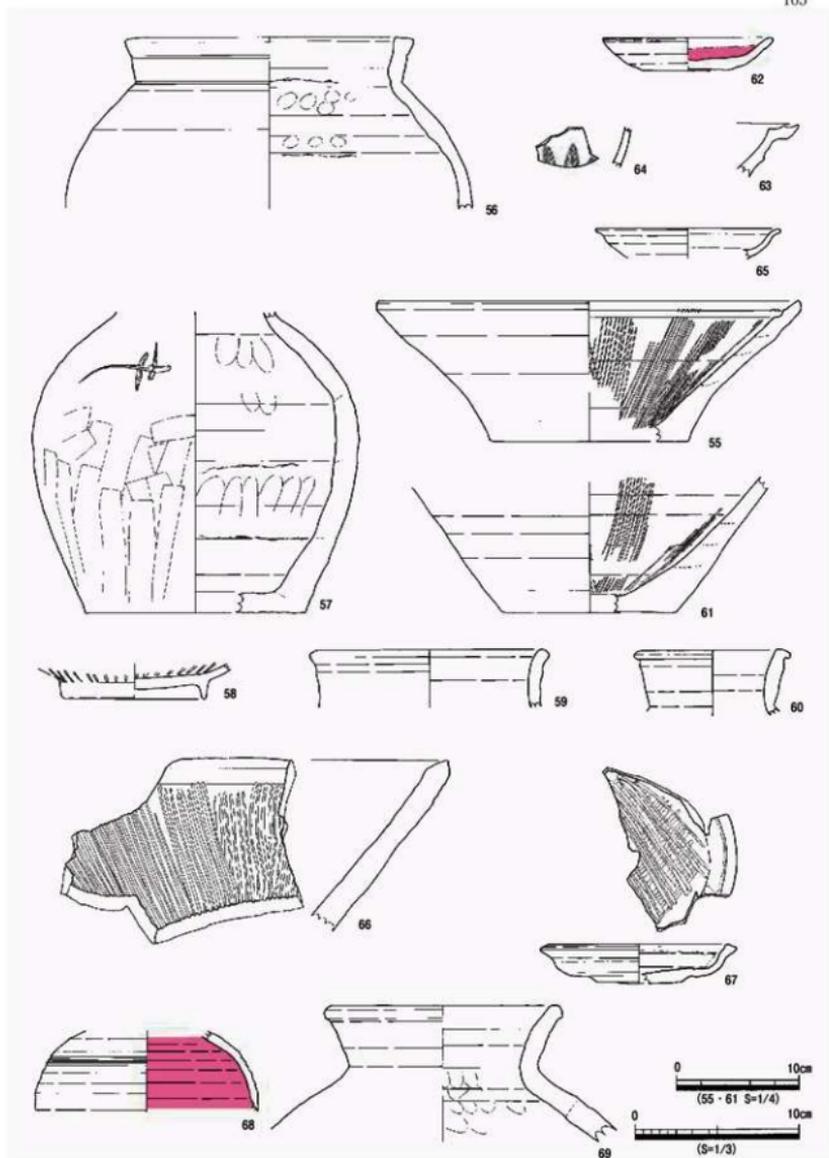
遺物種別	磨製石斧	石斧頭	石斧	石匙	磨製石匙	へら形石器	スクレイパー	石鏃	石鏃	切刃石鏃	打突石鏃	打突石斧	磨製石斧	磨製石鏃	五	石製	石製	石製	石皿	石皿	R F	U F	銅片	分銅	火打石	印石	合計	
C16																					2						2	
C17																							2	4			6	
C21																						2	5				7	
D15			3	2			1			3							1	3					21				34	
D16	1		5	2			4		2	3	3						4	8	3				87			122		
D17			1						1								1	1					8			12		
D18			4	2						1	1											3	15			26		
D19			1			1				1													12			16		
D20			3	2						5	6						5	5	1				21			48		
D21									1	1							1						8			12		
D22										2												1				3		
E13										1													3			4		
E14												1											6			8		
E15			8	2	1	1	1		2	1	7	1	1								6	10	3	43		87		
E16			8	6	1	2	3		5	5	9						1	3	21			4	157			225		
E17			25	9	1	1	1	6	3	12	10	1	1	1				2	20	4		241	1	1	340			
E18			3	1		2	1	3	1	1								2	5	3		31		1	54			
E19			4		1	4	1	2	1									2	2	2		29			48			
E20			8	1		1			4	3	1							2	6			38			64			
E21				1					3	1								4	3			30			42			
E22				1														1	2			12			16			
E23	1	2	2																1	1		23			30			
F16		2	2					1		1									1	1		7		1	16			
F17		6	2				6	2	5	11	3	1					1	9	4		2	104			156			
F18		7	1	1			2	1	1	8	4	4	1	2			1		4	7	4	105			153			
F19		1					5		3	5	2							3	5	1		29			55			
F20		3																	1			17			21			
F21		2	1	2			1		1	1									10	4		38			60			
F22		15	3		3		3	4	7	8	1	2	1				1	6	20	8		89			251			
F23		2	3				3	4			1								4			50			67			
G18		1						1	1									4	2	5		13			27			
G20		8	2					1	2				1	1				2	3	1		36	1		58			
G21		3					1		1	2		1						2	1			32			43			
G22		1	6	2	2		1	1	7	2	2							4	9	3		71			111			
G23		3	2		1				2	1								1	11	1		29			51			
H00		4		1			1		3	2		1						1	3	1		20			37			
H21		3	1		1			1	4	1	1		1					3	7	2		54	1		80			
H22	1	3	1				3		1									4	1			26	1		41			
H23		1					1											1	1			1			3			
I22		3	3	1	1	1	1		2	3	2							9	1			46			67			
I23		1																	1			2			4			
横塚										1												3			8			
トレンチ							2											2	1	1		1			6			
試掘坑(南)																						1				1		
調査区外		2						1	1	3								3	4	1		23				38		
合計	2	2	150	55	10	15	2	52	1	38	94	87	18	8	6	1	0	1	0	6	69	208	64	1605	4	3	0	2561



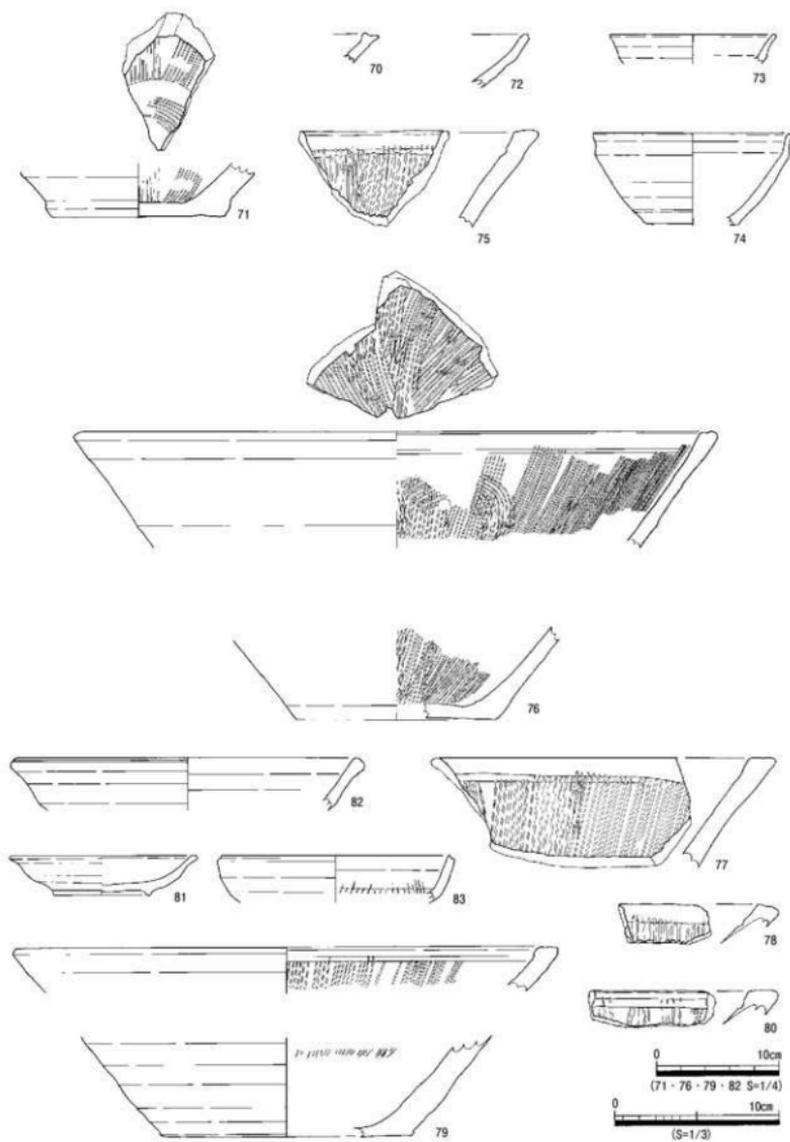
图版 1 A·B 区遺構出土中近世陶磁器 (1)



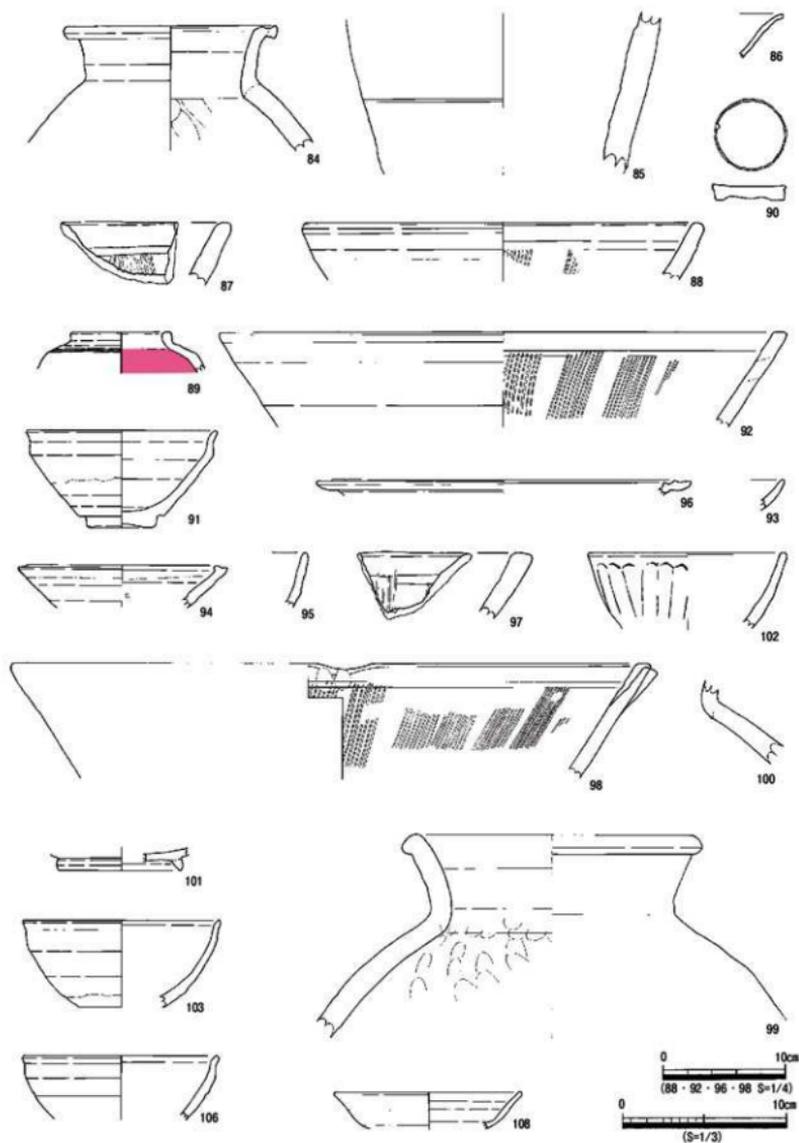
图版 2 A·B 区遗址出土中近世陶磁器 (2)



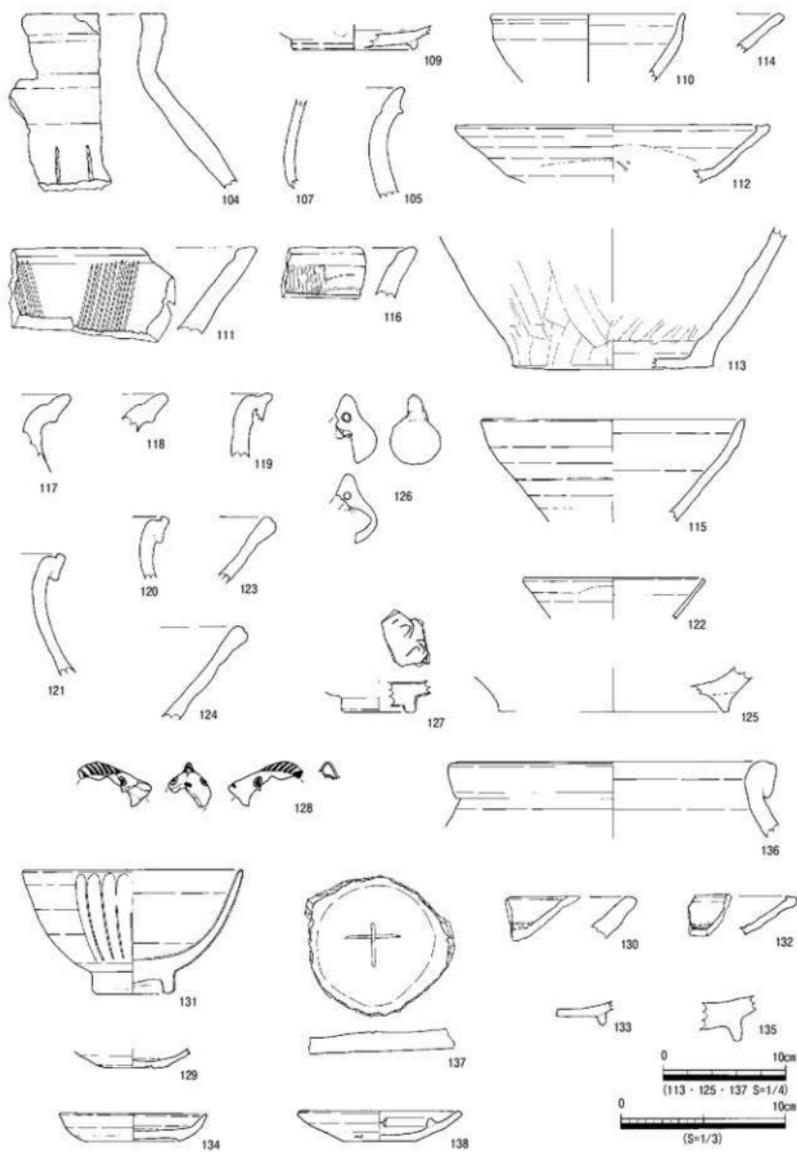
图版 3 A·B 区遺構出土中近世陶磁器 (3)



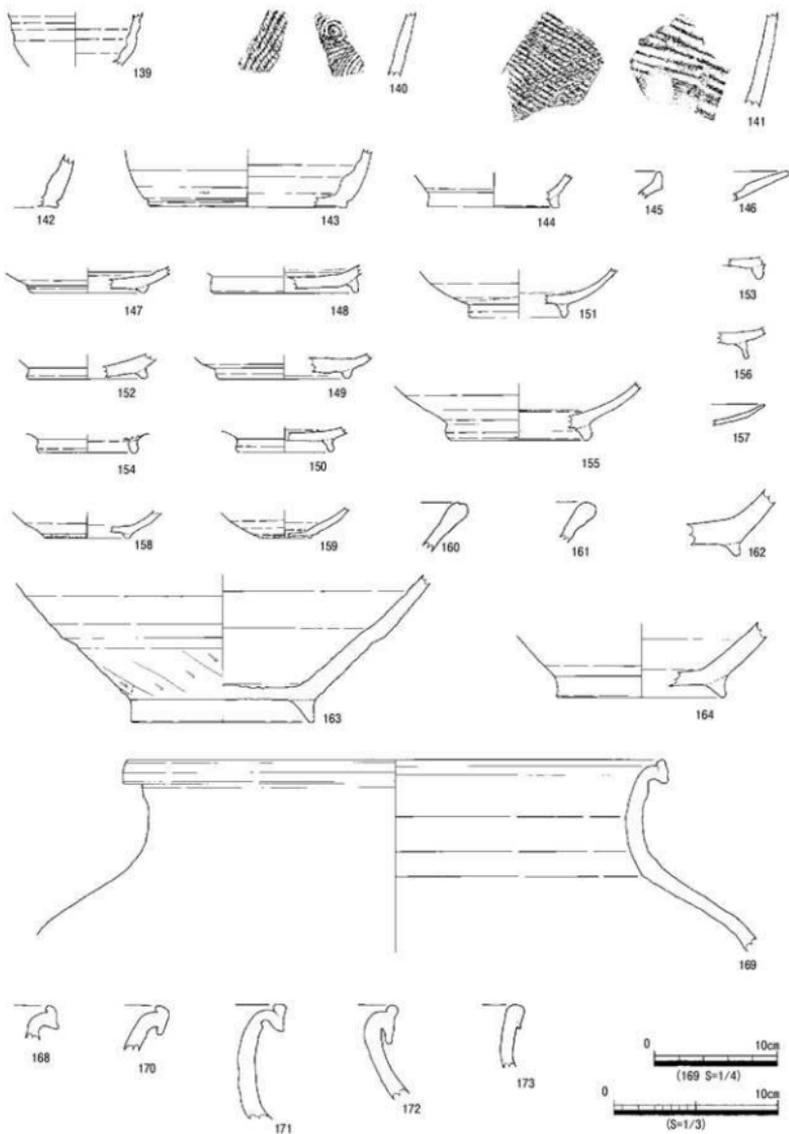
图版 4 A·B 区遗址出土中近世陶磁器 (4)



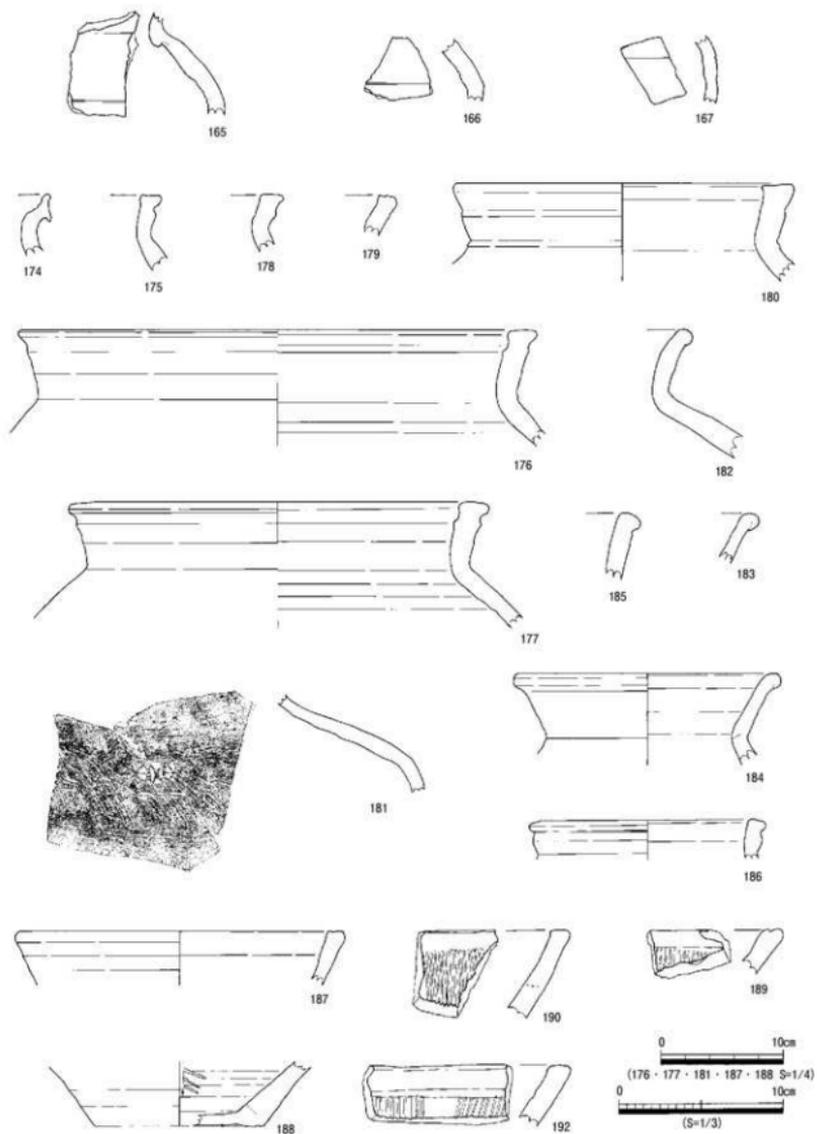
图版5 A·B区遺構出土中近世陶磁器(5)



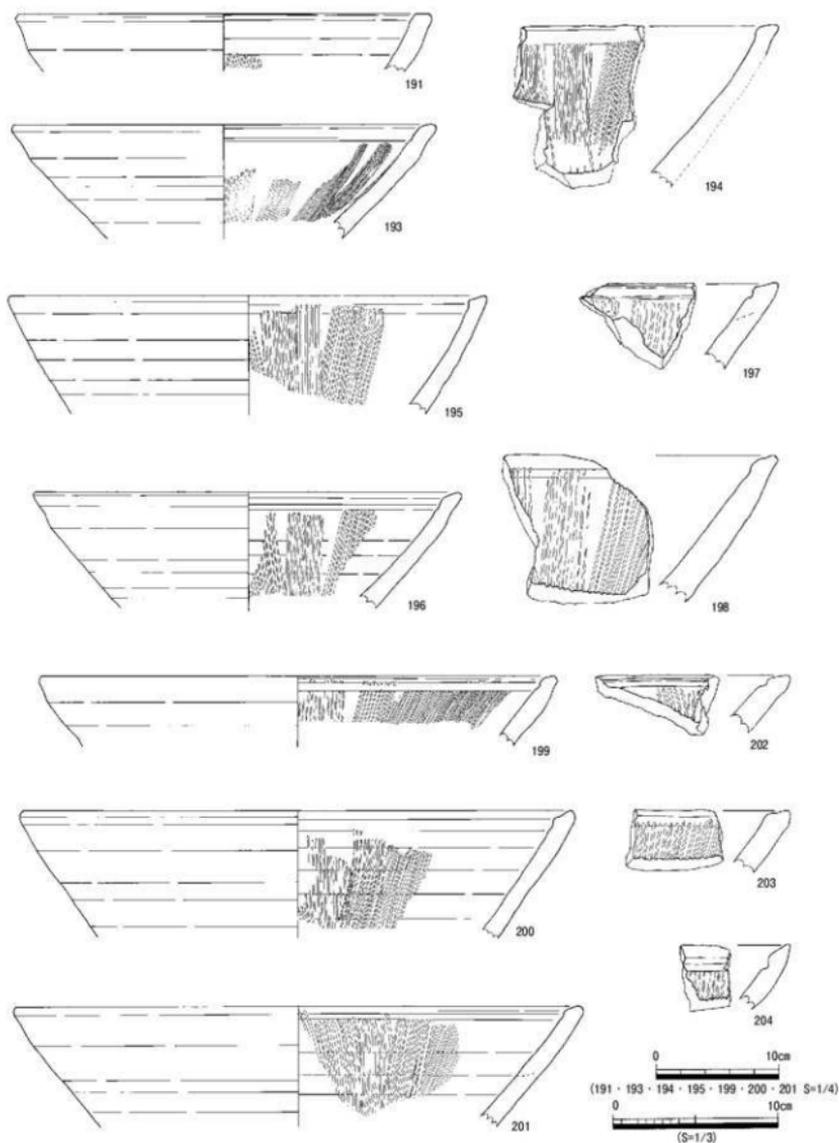
图版 6 A·B 区遗址出土中近世陶磁器 (6)



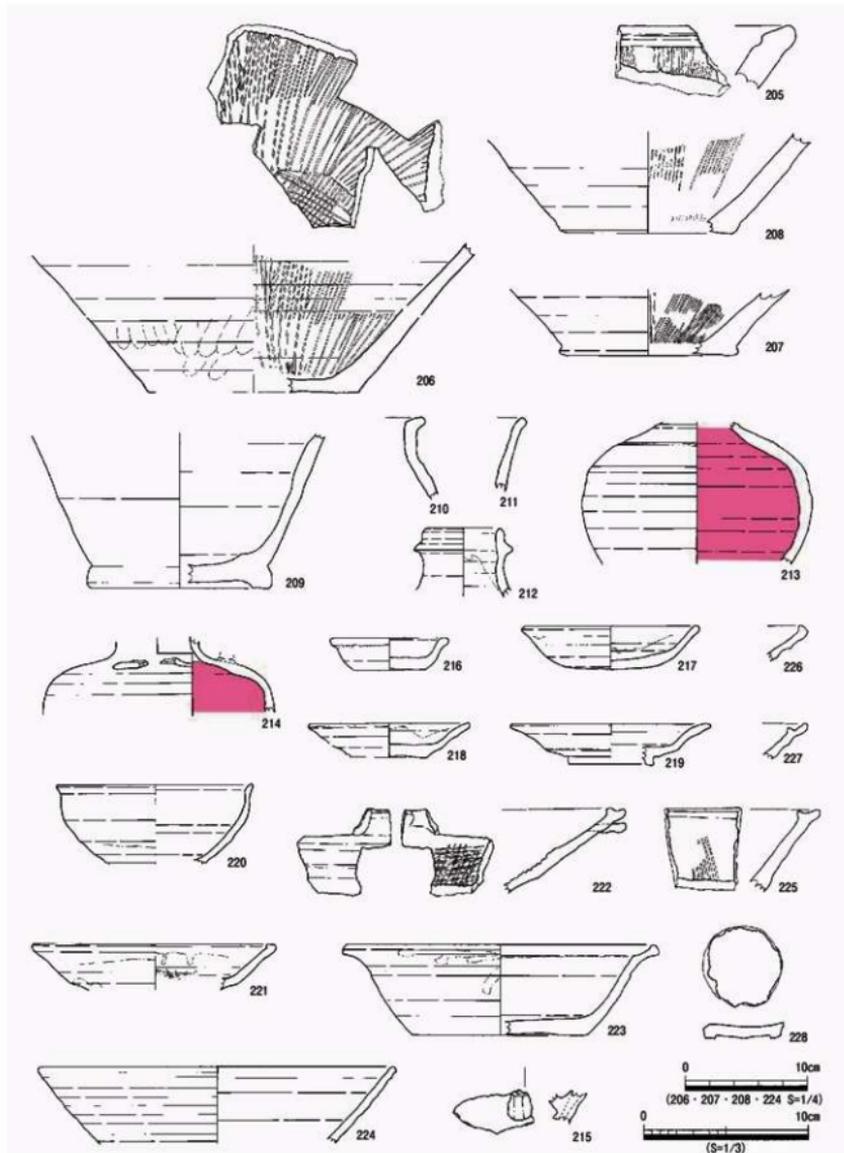
图版 7 A·B 区遗物包含层出土中近世陶磁器 (1)



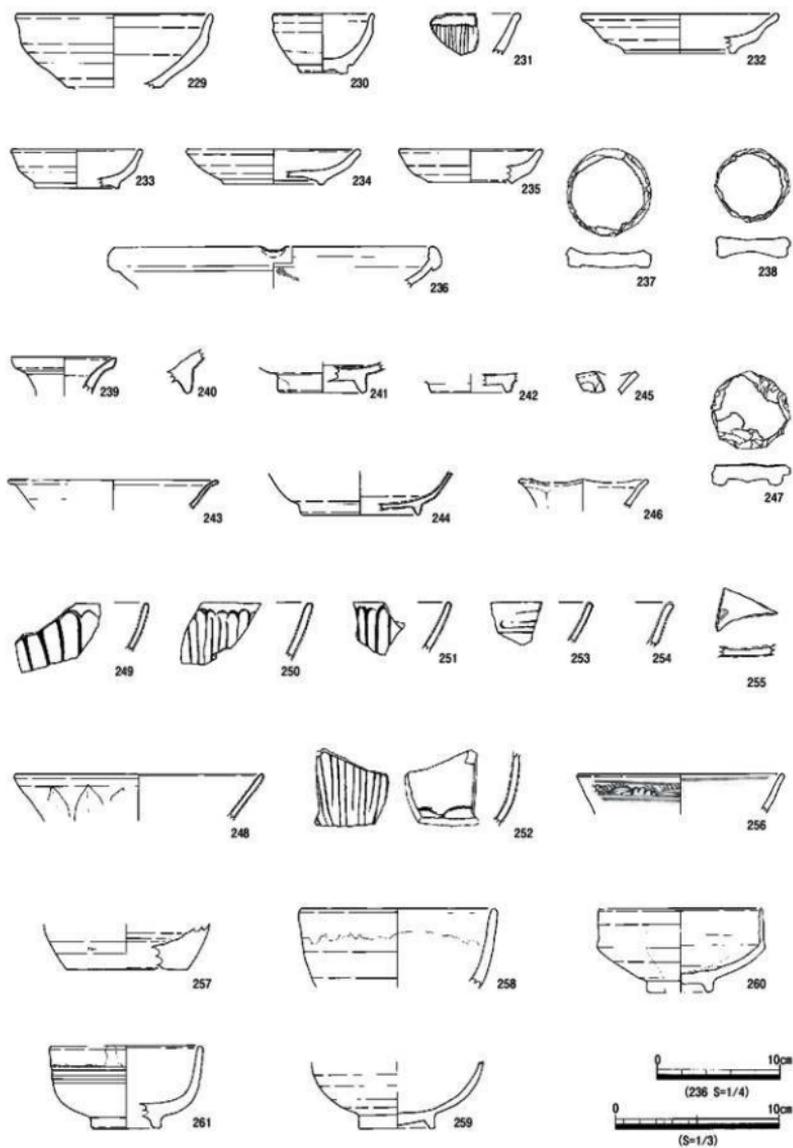
图版 8 A·B 区遗物包含层出土中近世陶磁器 (2)



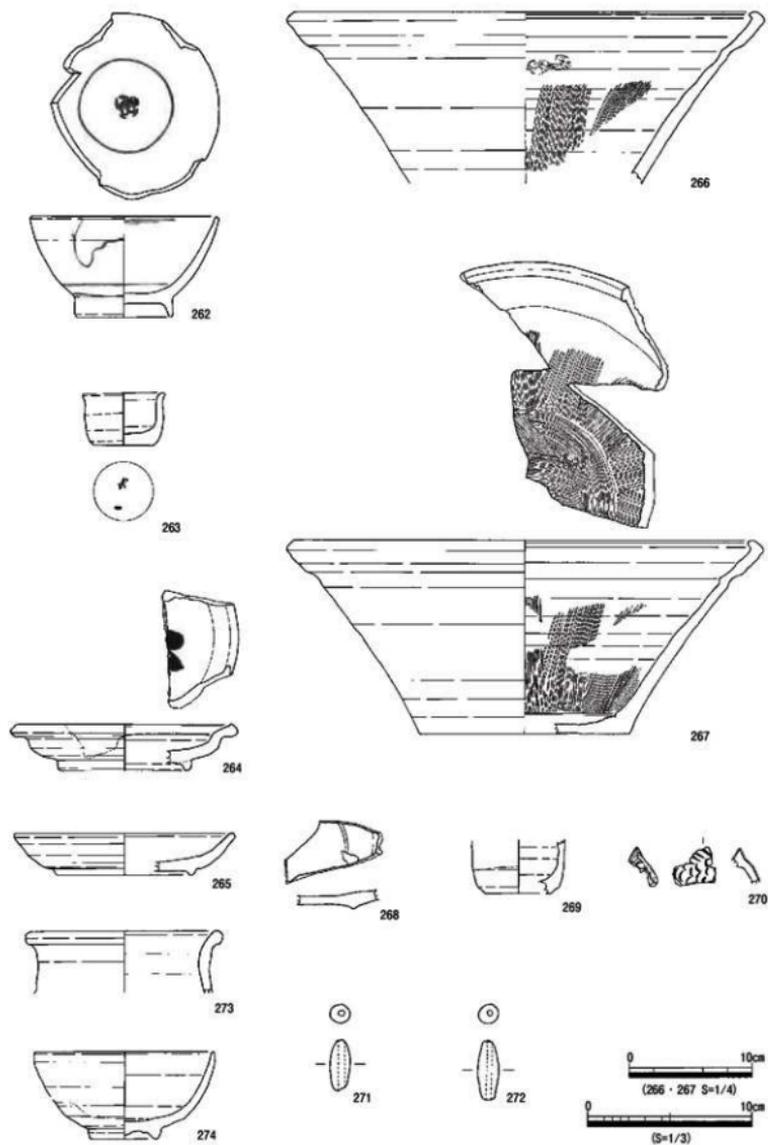
图版 9 A·B 区遗物包含层出土中近世陶磁器 (3)



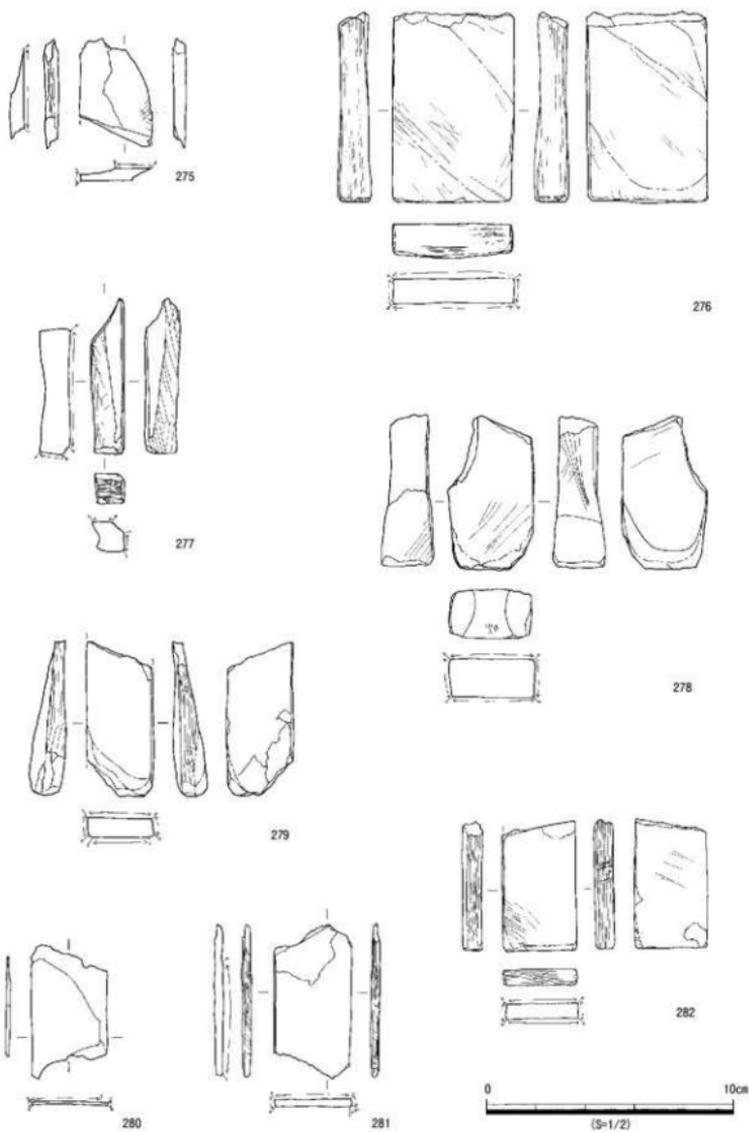
图版 10 A·B 区遗物包含层出土中近世陶磁器 (4)



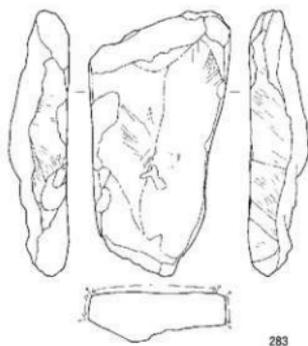
图版 11 A·B 区遗物包含层出土中近世陶磁器 (5)



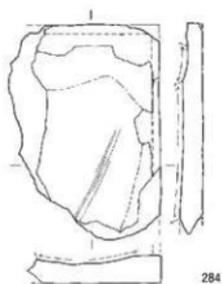
图版12 A·B区遗物包含层出土中近世陶磁器(6)



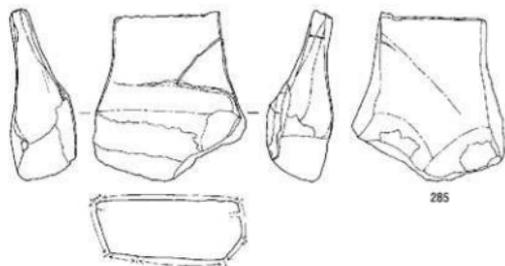
图版13 A·B区出土石製品(1)



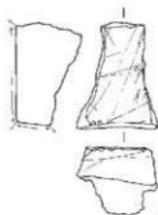
283



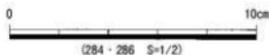
284



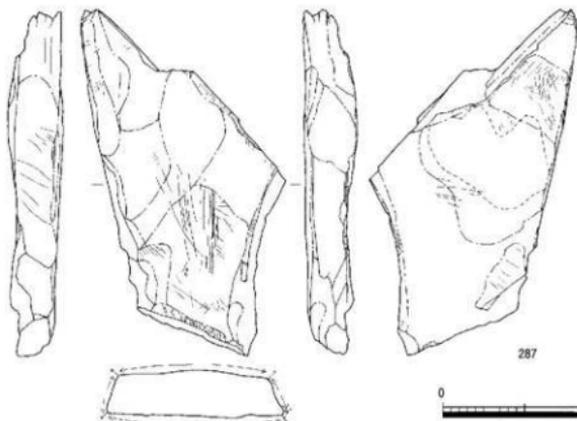
285



286



(284 · 286 S=1/2)

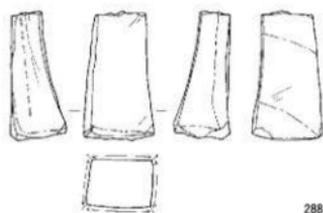


287

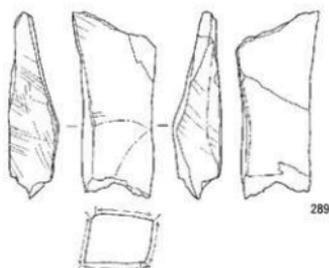


(283 · 285 · 287 S=1/3)

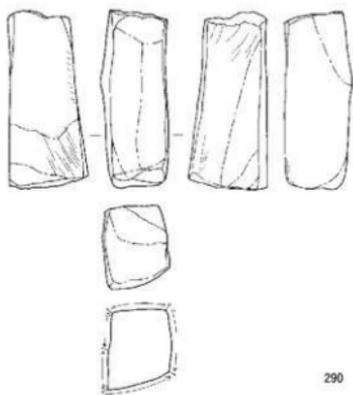
图版14 A·B区出土石制品(2)



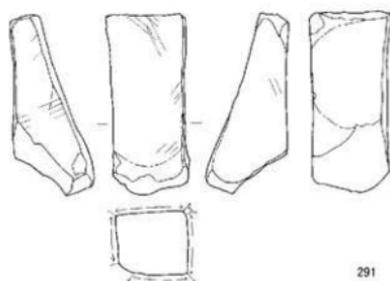
288



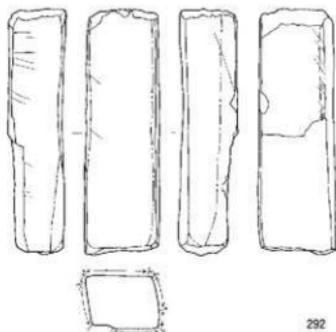
289



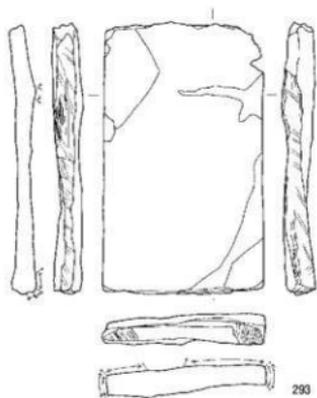
290



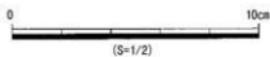
291



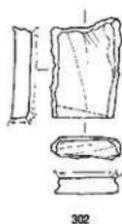
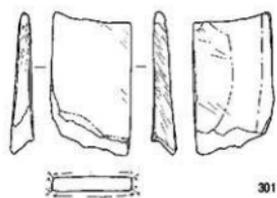
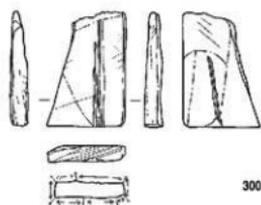
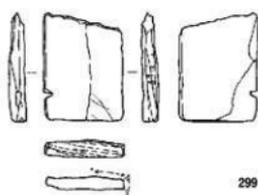
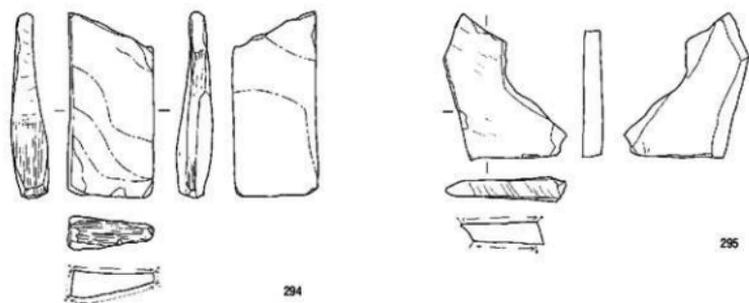
292



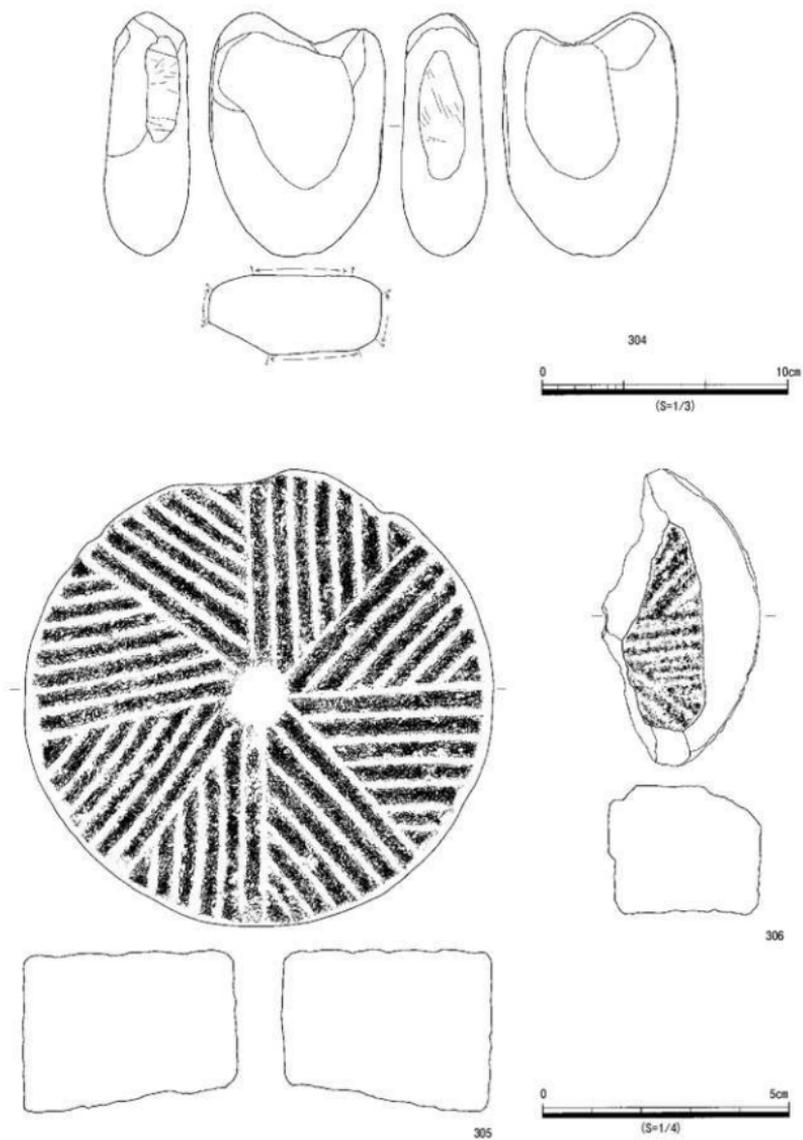
293



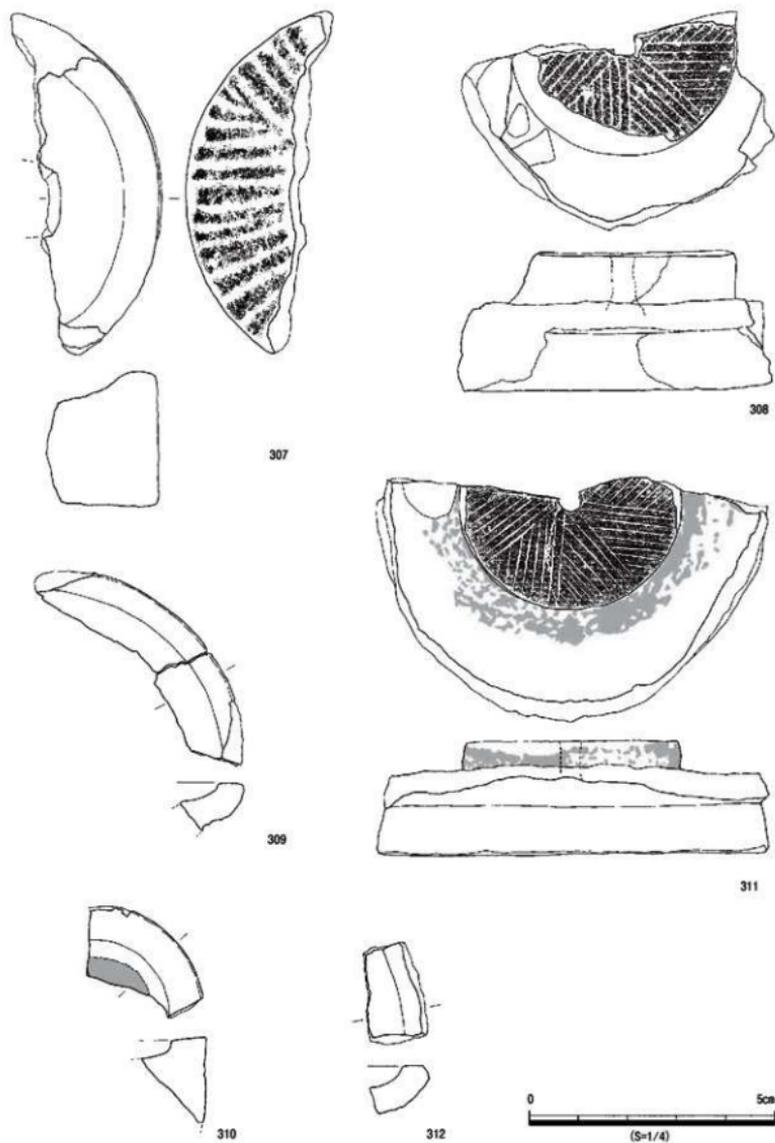
图版15 A·B区出土石製品(3)



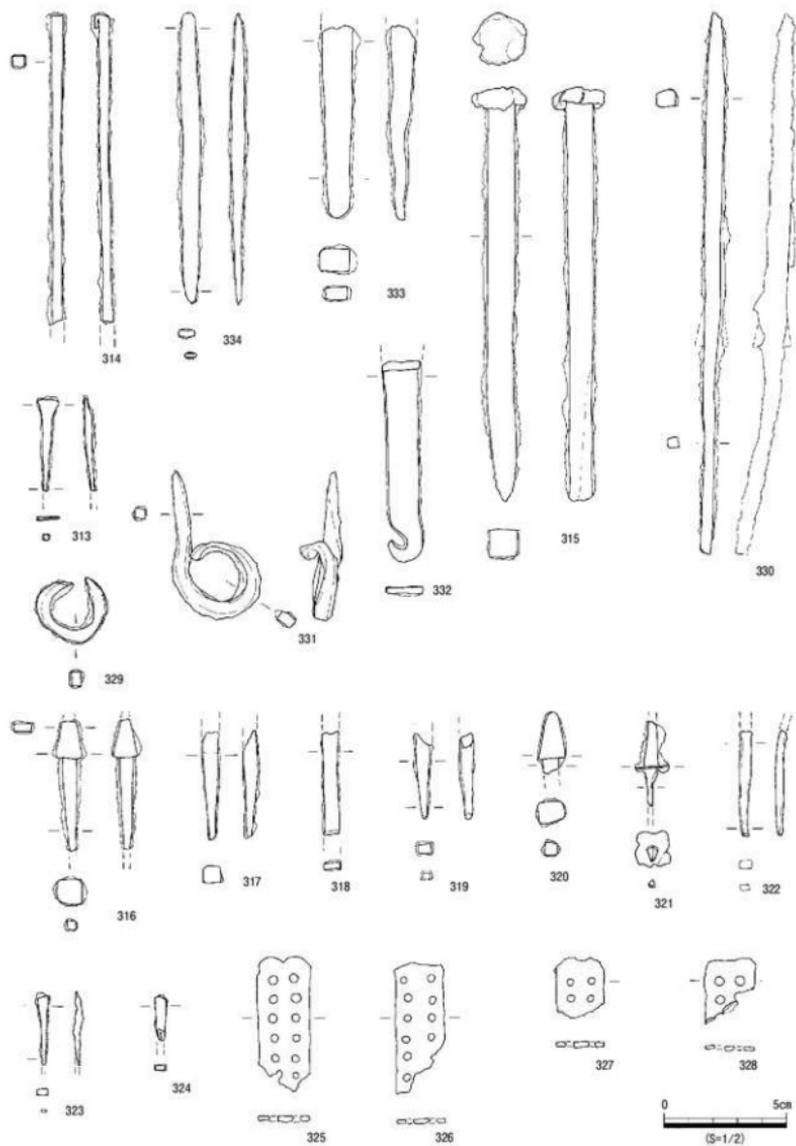
图版16 A·B区出土石制品(4)



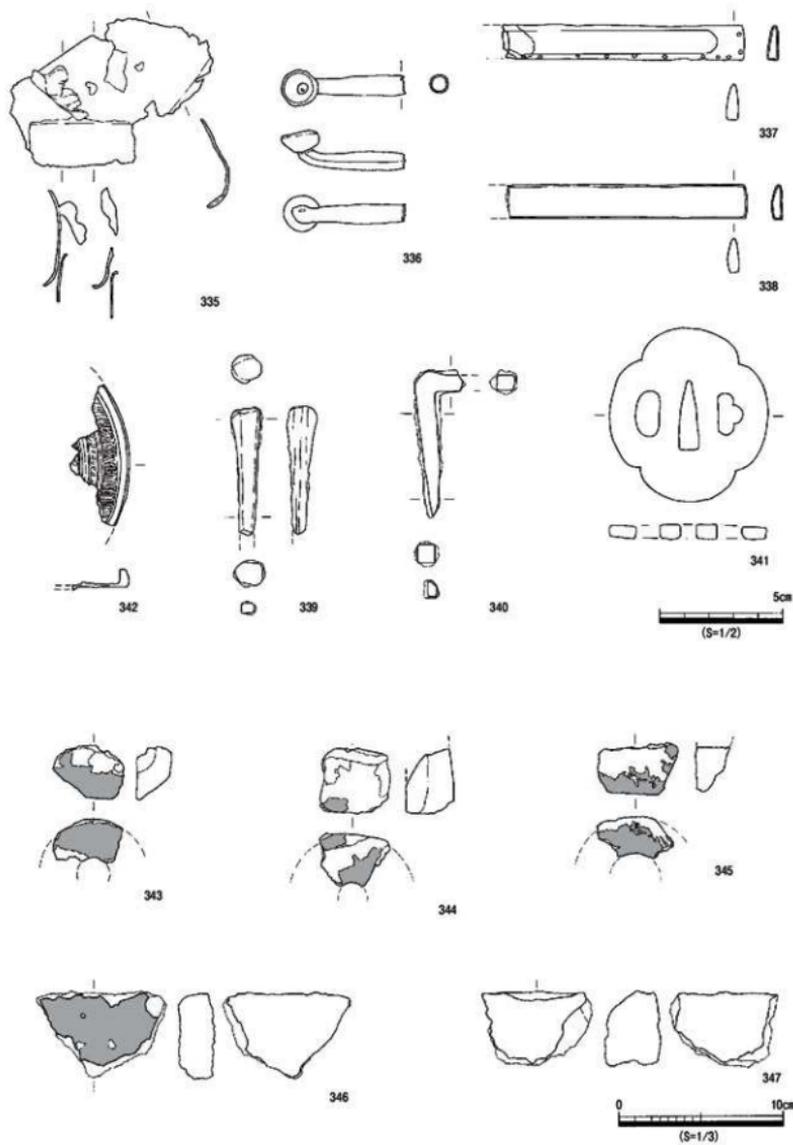
图版17 A·B区出土石製品(5)



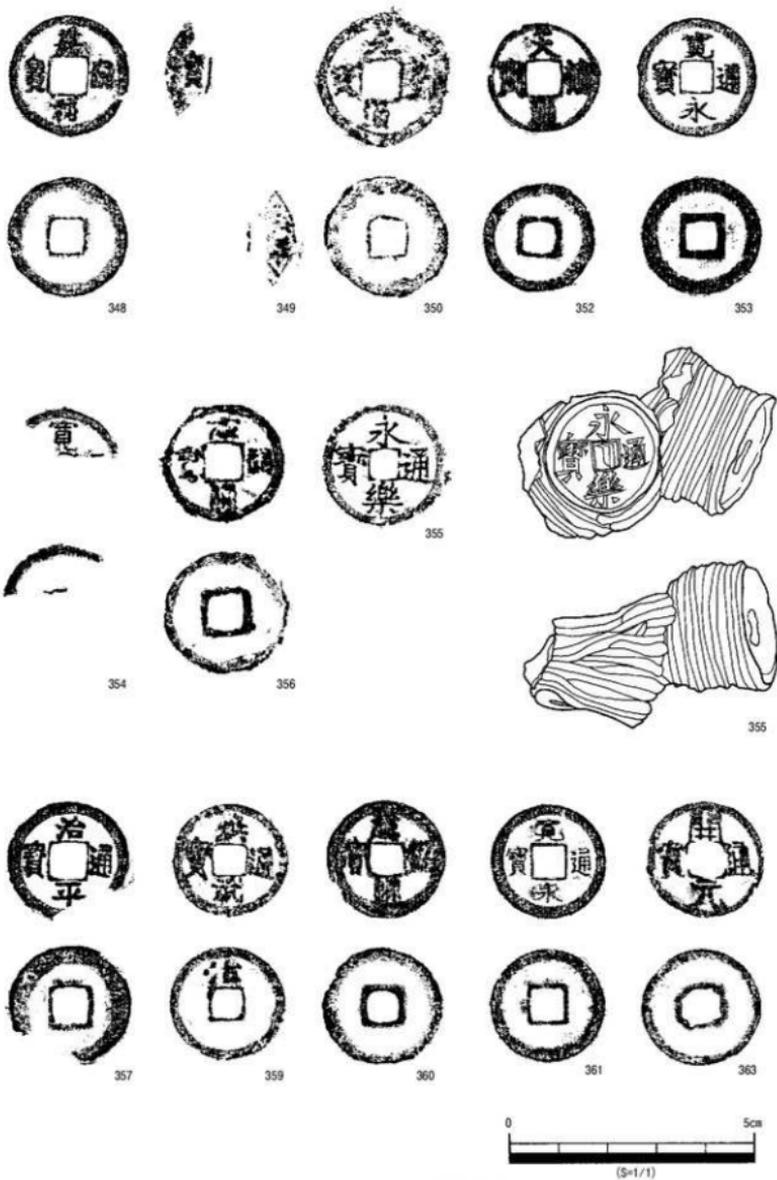
图版18 A·B区出土石制品(6)



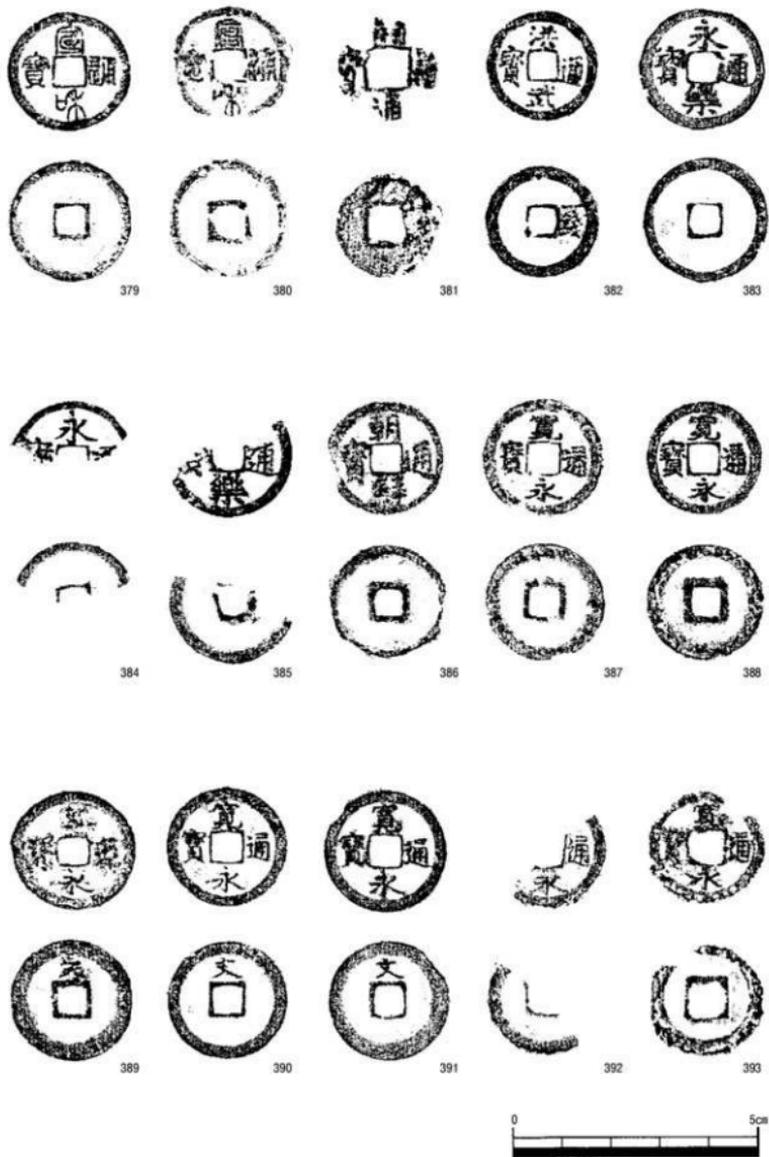
图版19 A·B区出土金属制品(1)



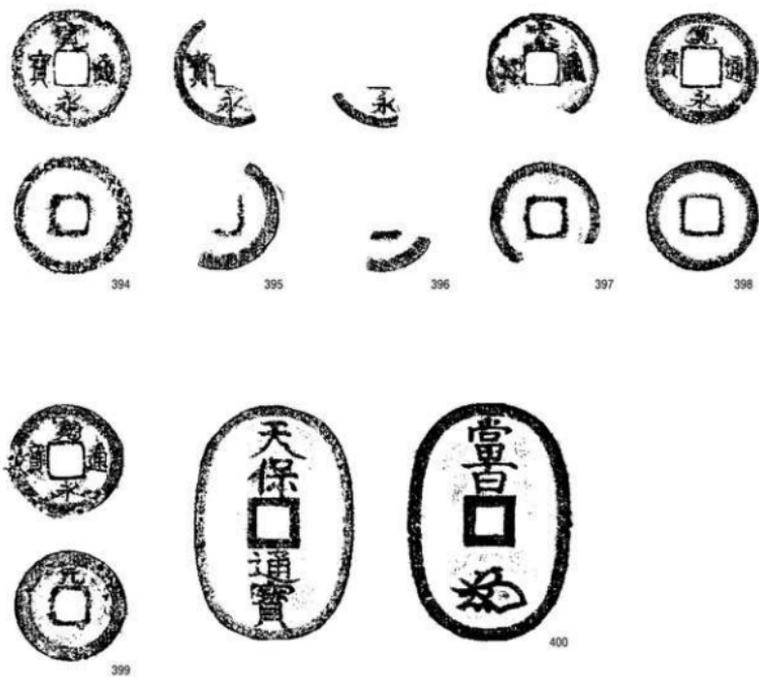
図版20 A・B区出土金属製品(2) 鍛冶関連遺物



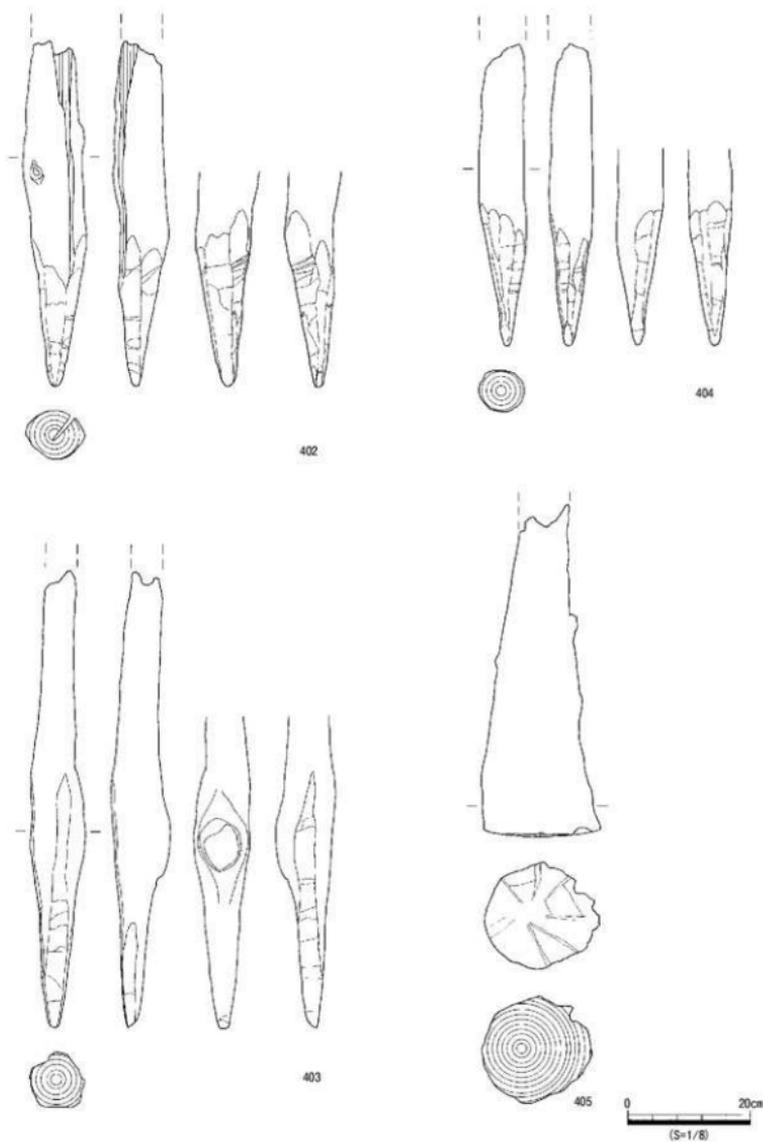
图版21 A·B区出土钱货(1)



圖版23 A·B区出土錢貨(3)



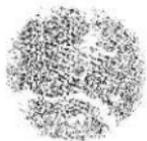
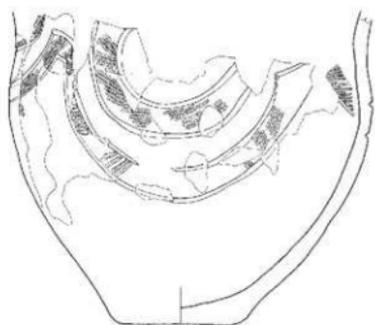
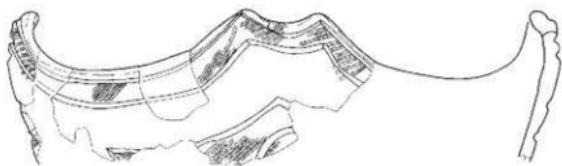
图版24 A·B区出土钱货(4)



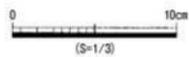
图版25 A·B区出土木製品



图版26 A·B区遺構出土縄文土器(1)



436



图版27 A·B区遗構出土縄文土器(2)



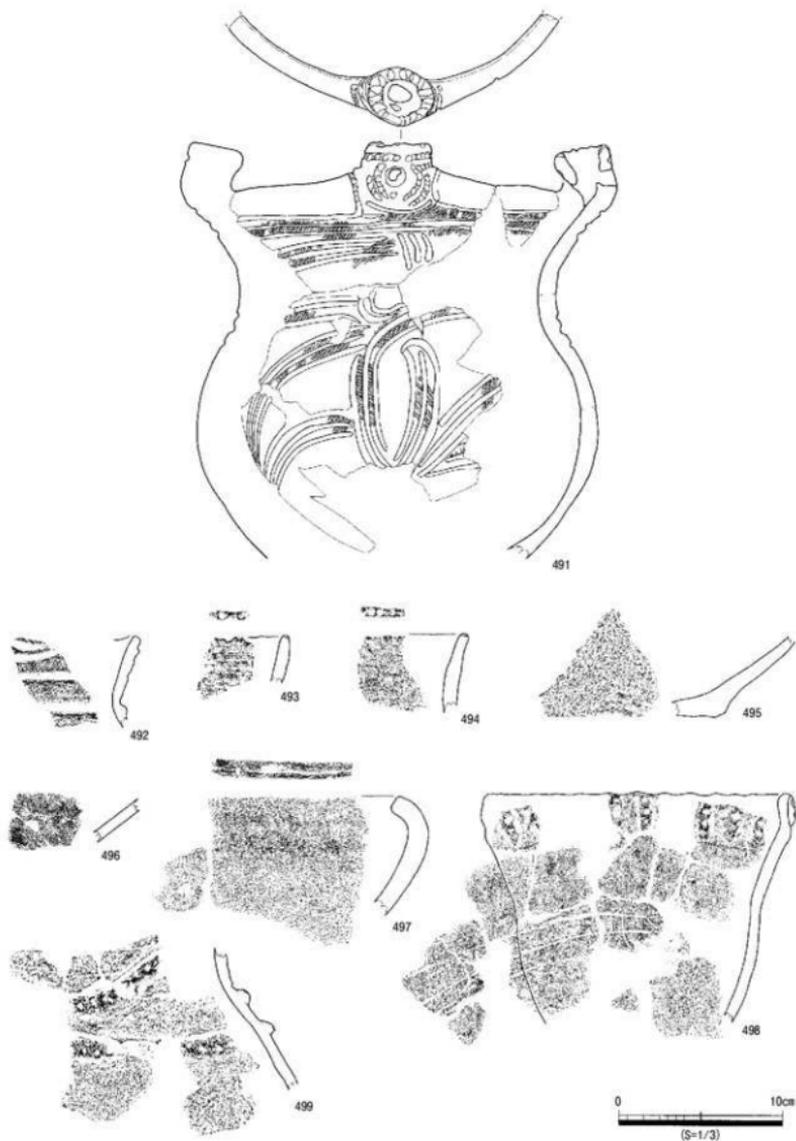
图版28 A·B区遺構出土縄文土器(3)



图版29 A·B区遺構出土縄文土器(4)



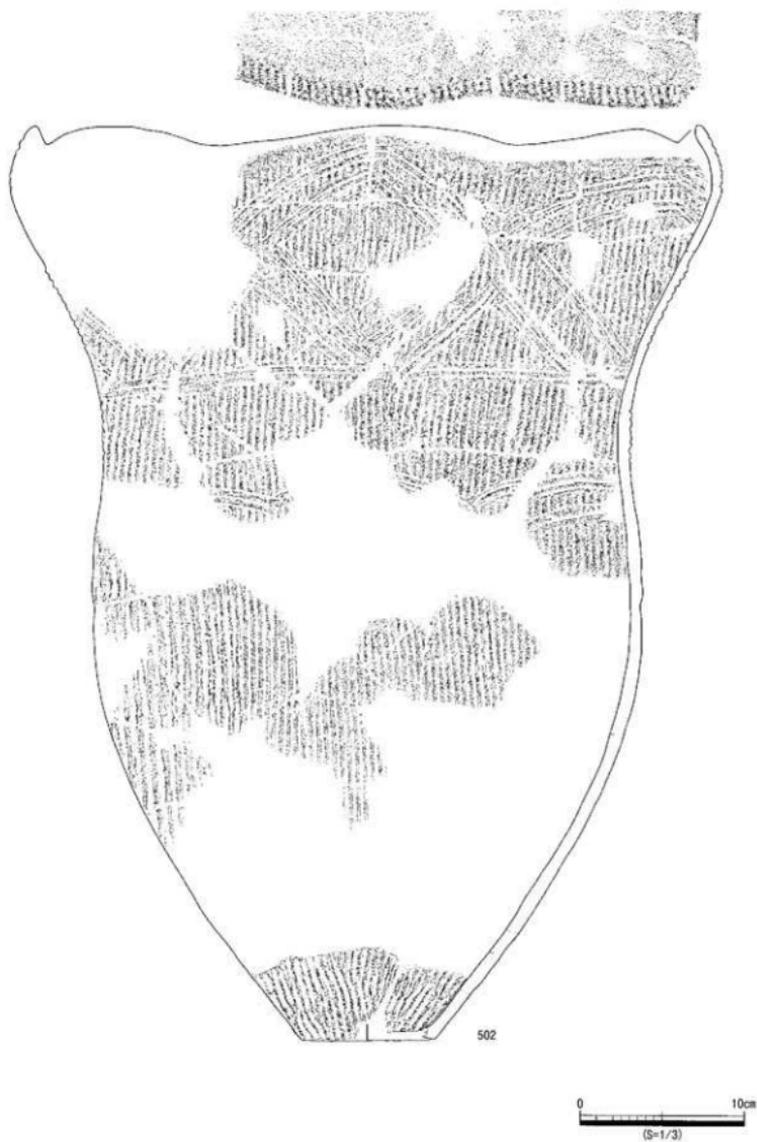
图版30 A·B区遺構出土縄文土器(5)



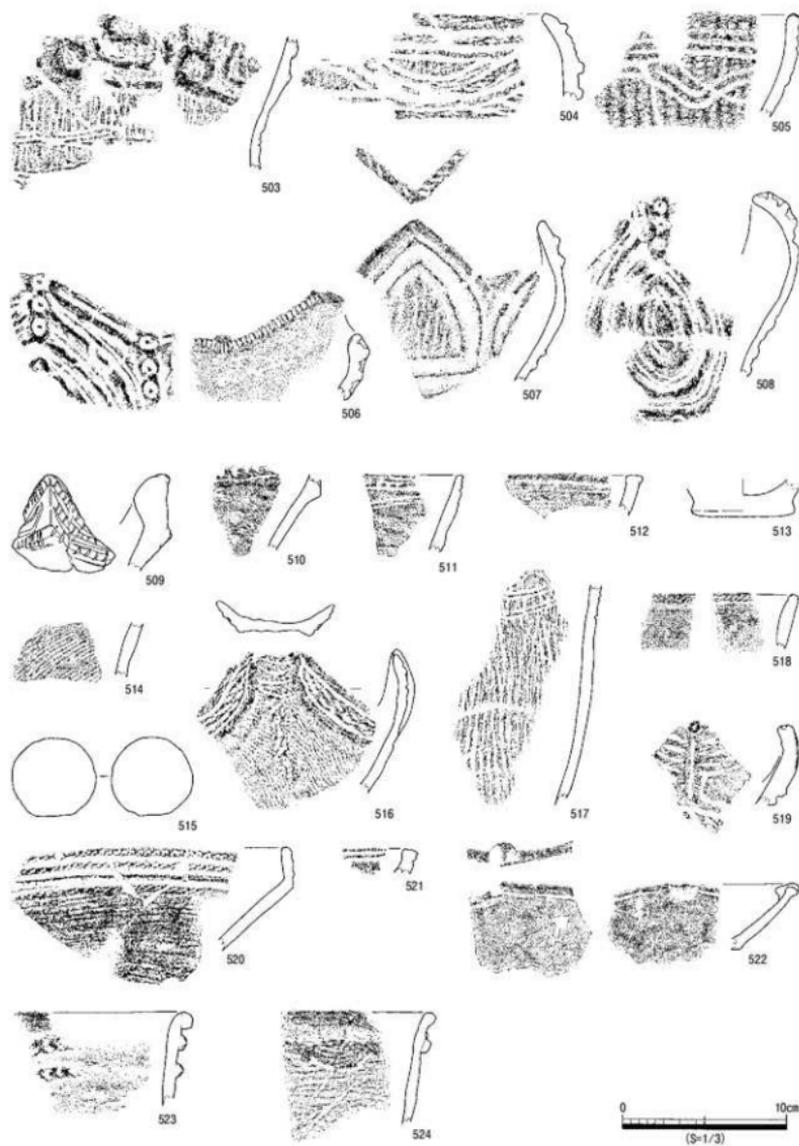
图版31 A·B区遺構出土縄文土器(6)



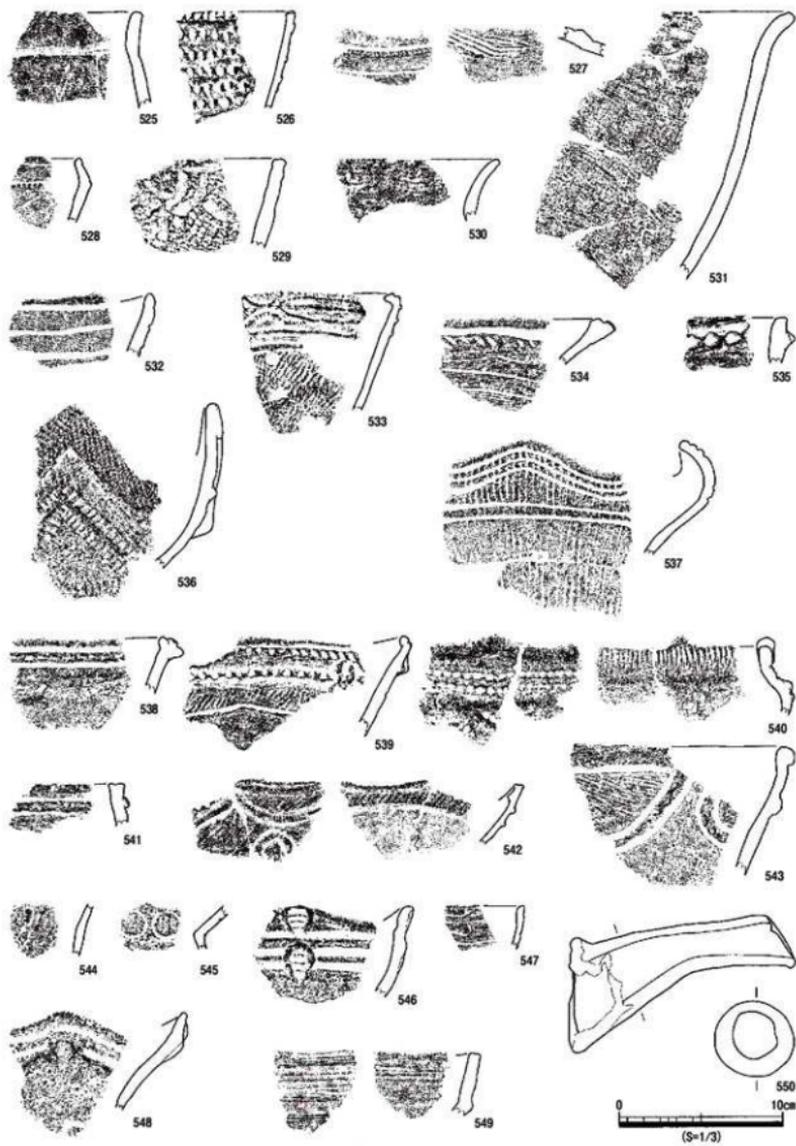
图版32 A·B区遺構出土縄文土器(7)



图版33 A·B区遺構出土縄文土器(8)



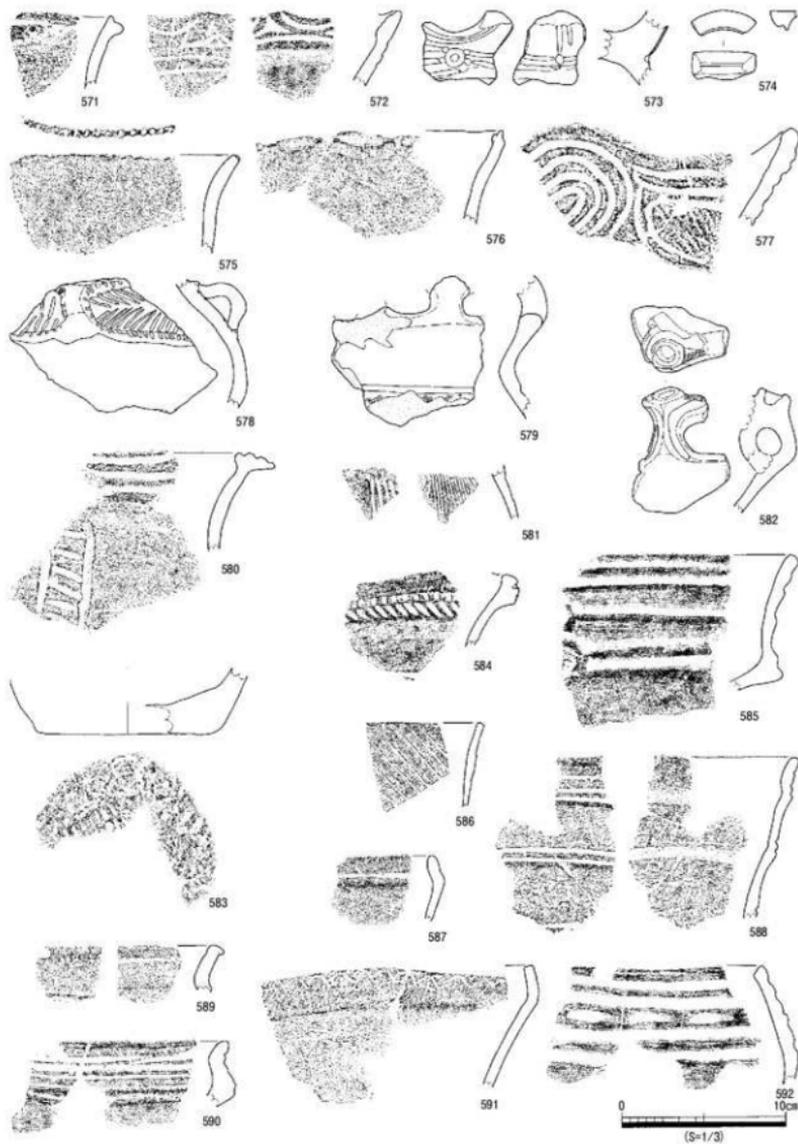
图版34 A·B区遺構出土縄文土器(9)



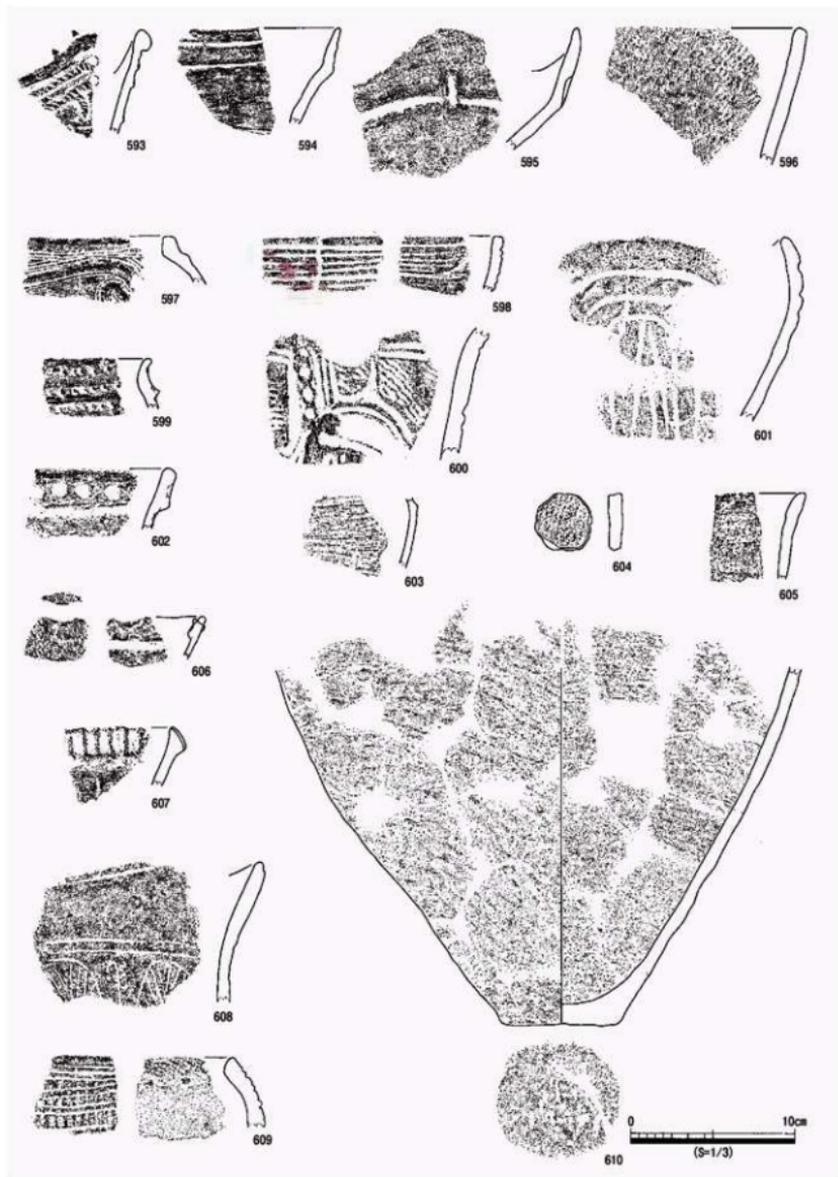
图版35 A·B区遺構出土縄文土器 (10)



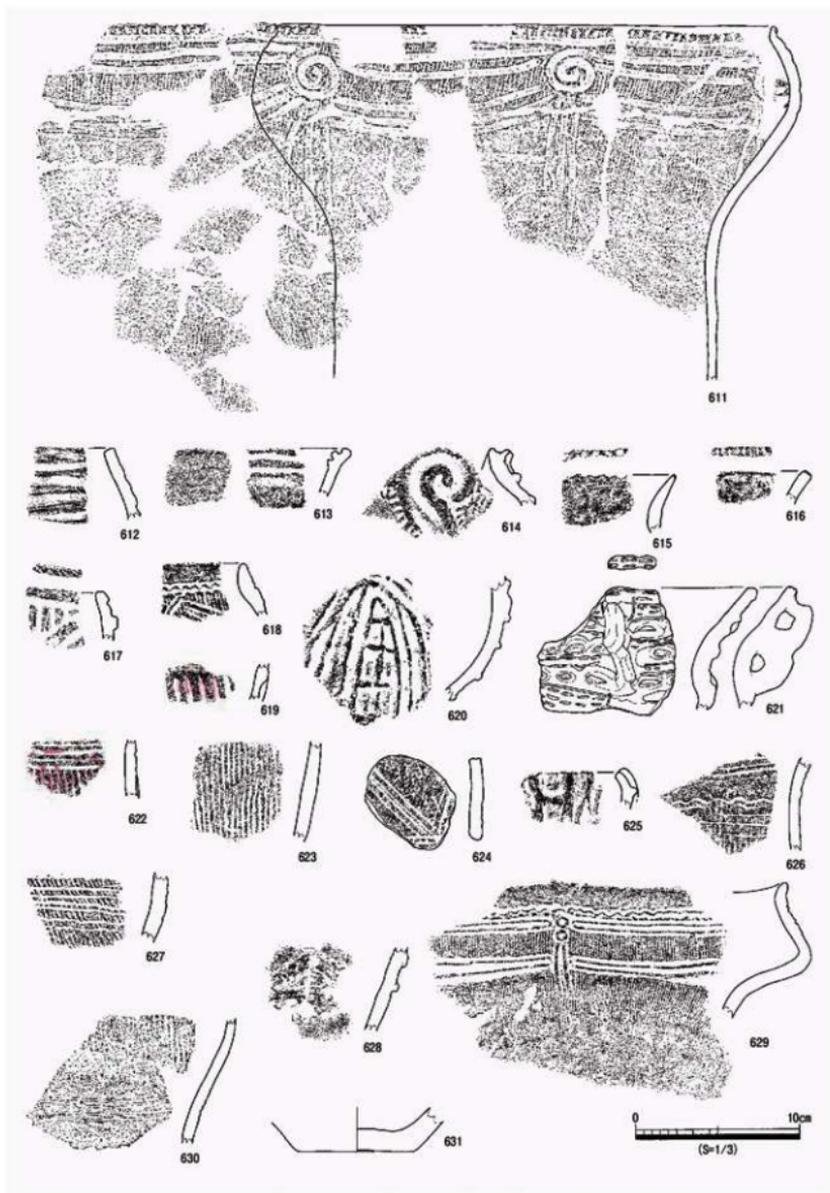
图版36 A·B区遺構出土縄文土器 (11)



图版37 A·B区遺構出土縄文土器 (12)



图版38 A·B区遺構出土縄文土器 (13)



图版39 A·B区遺構出土縄文土器 (14)



图版40 A·B区遺構出土縄文土器 (15)



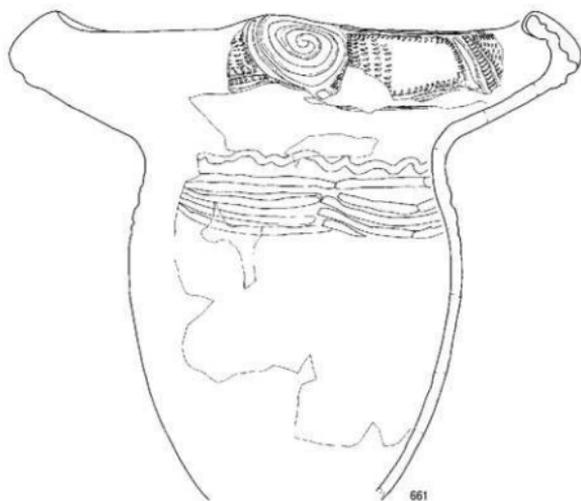
658



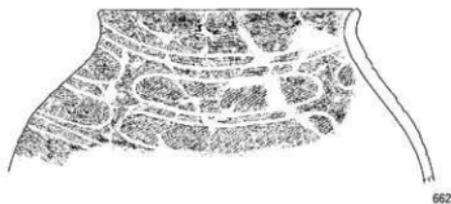
659



660



661



662



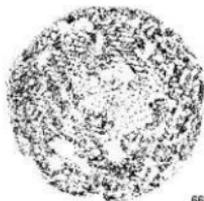
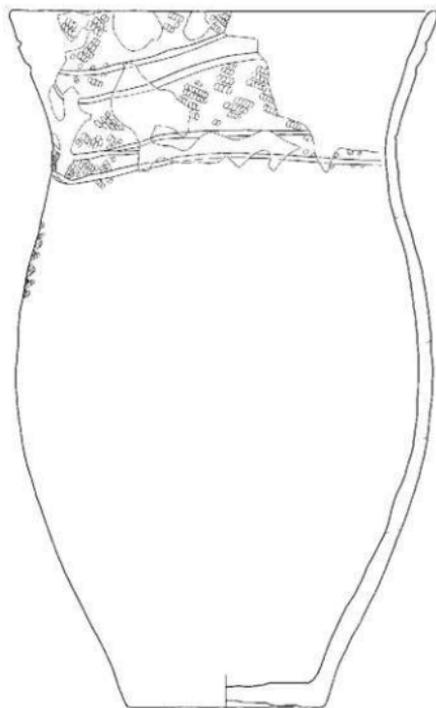
663



664



图版41 A·B区遺構出土縄文土器 (16)



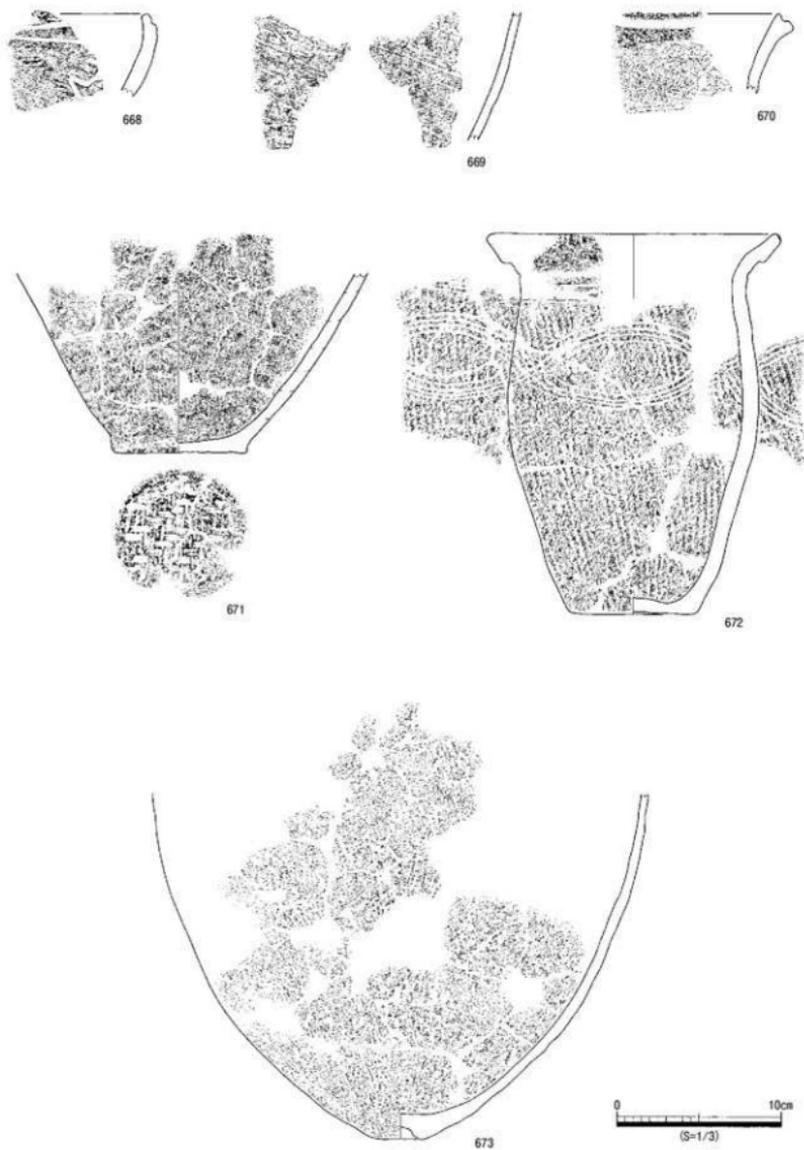
665



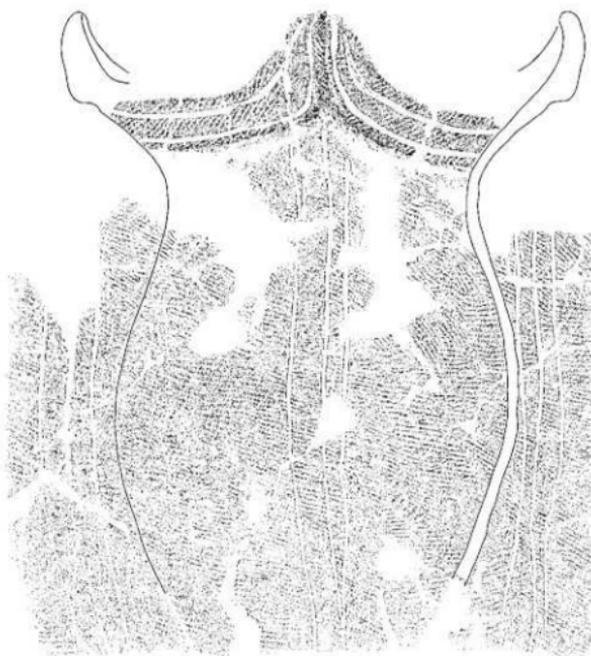
図版42 A・B区遺構出土縄文土器 (17)



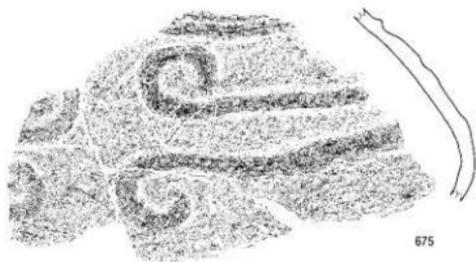
图版43 A·B区遺構出土縄文土器 (18)



图版44 A·B区遺構出土縄文土器 (19)



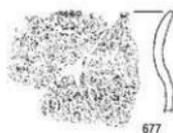
674



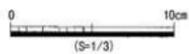
675



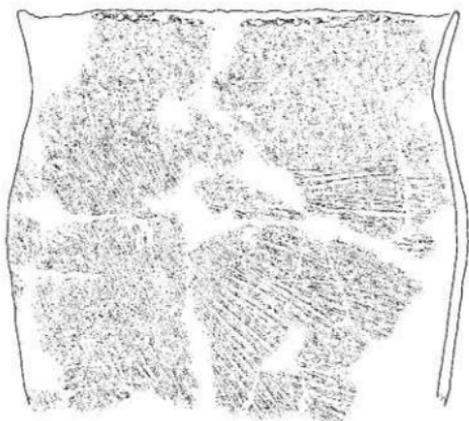
676



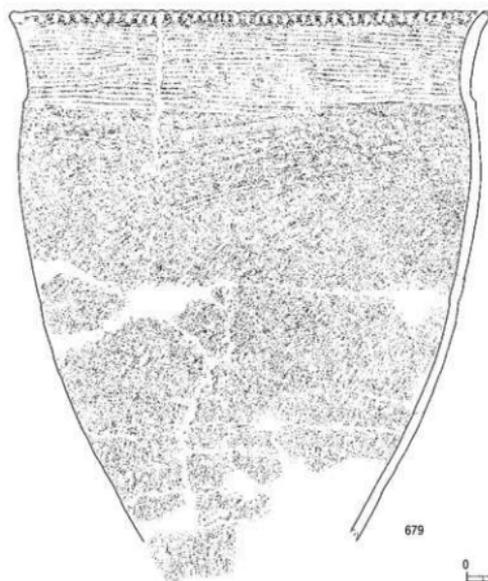
677



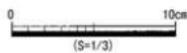
图版45 A·B区遗構出土繩文土器 (20)



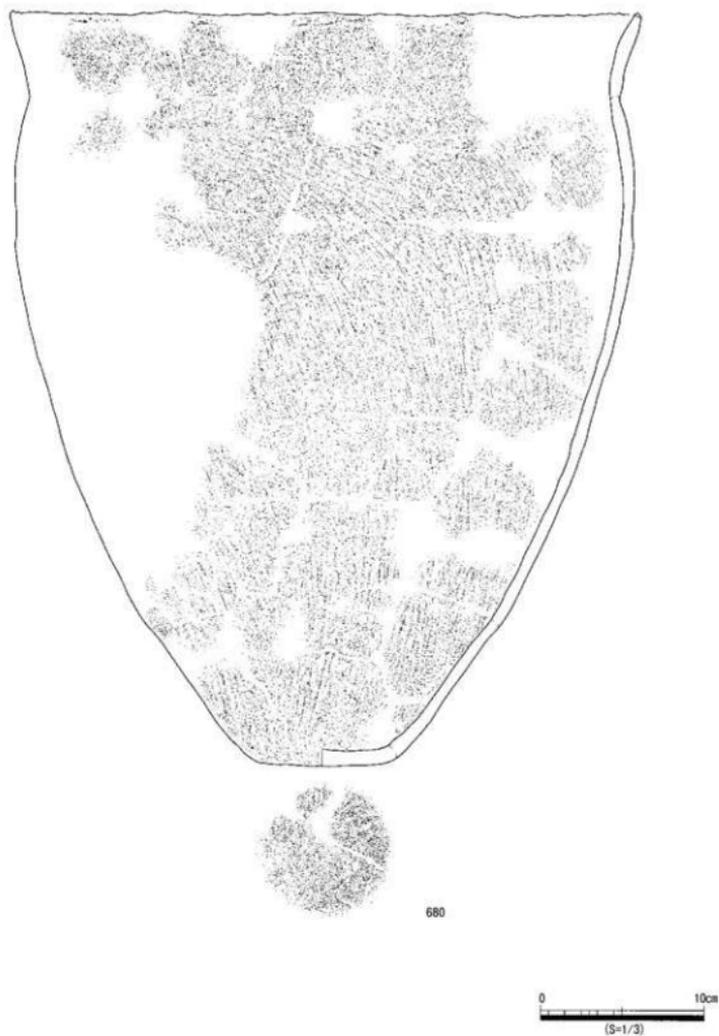
678



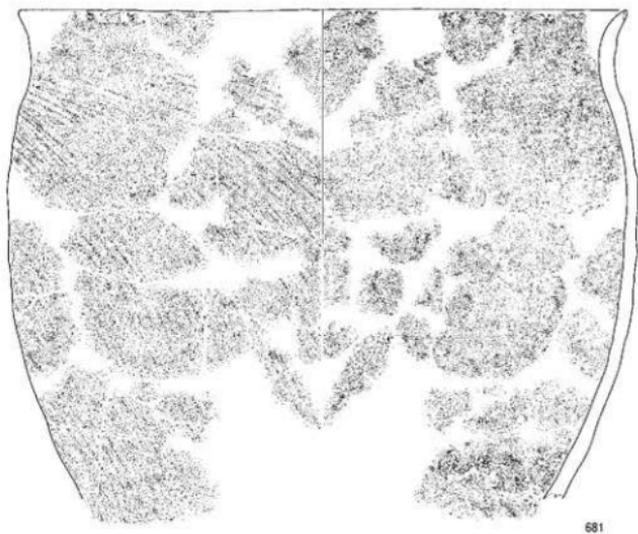
679



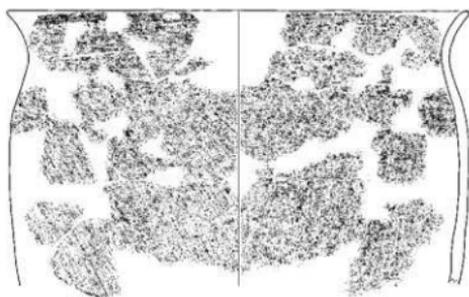
图版46 A·B区遺構出土縄文土器 (21)



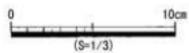
图版47 A·B区遺構出土縄文土器 (22)



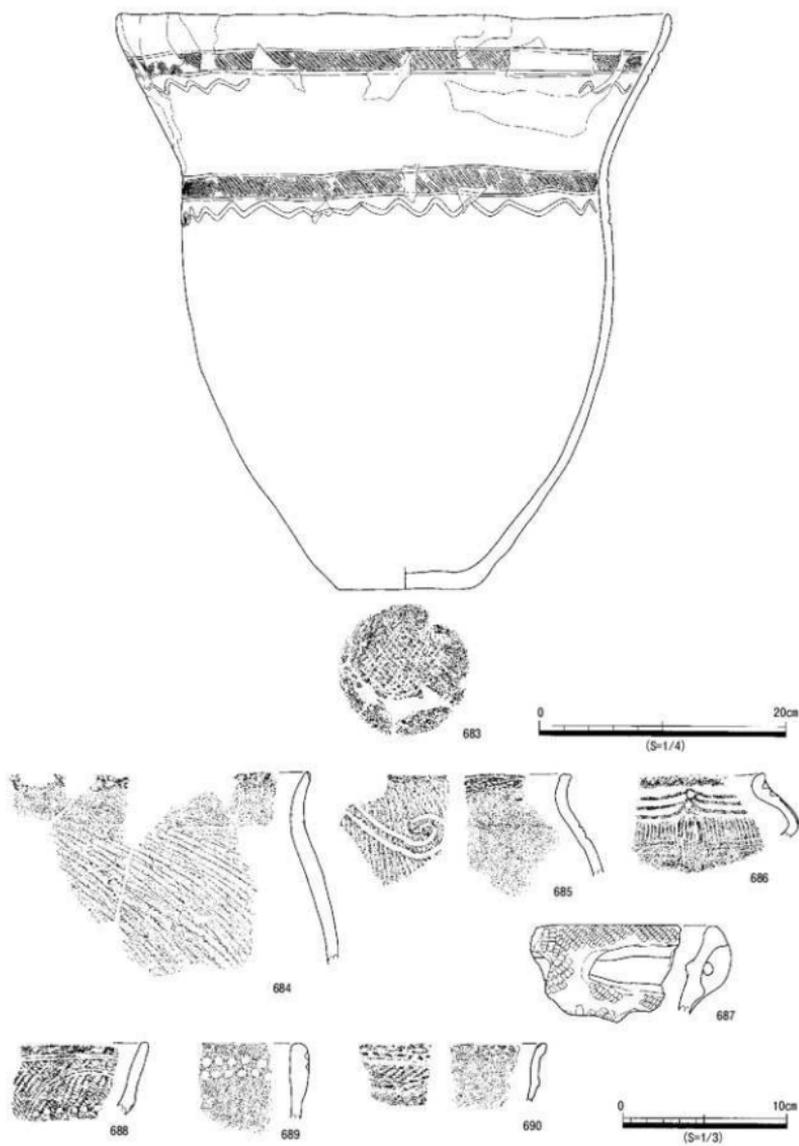
681



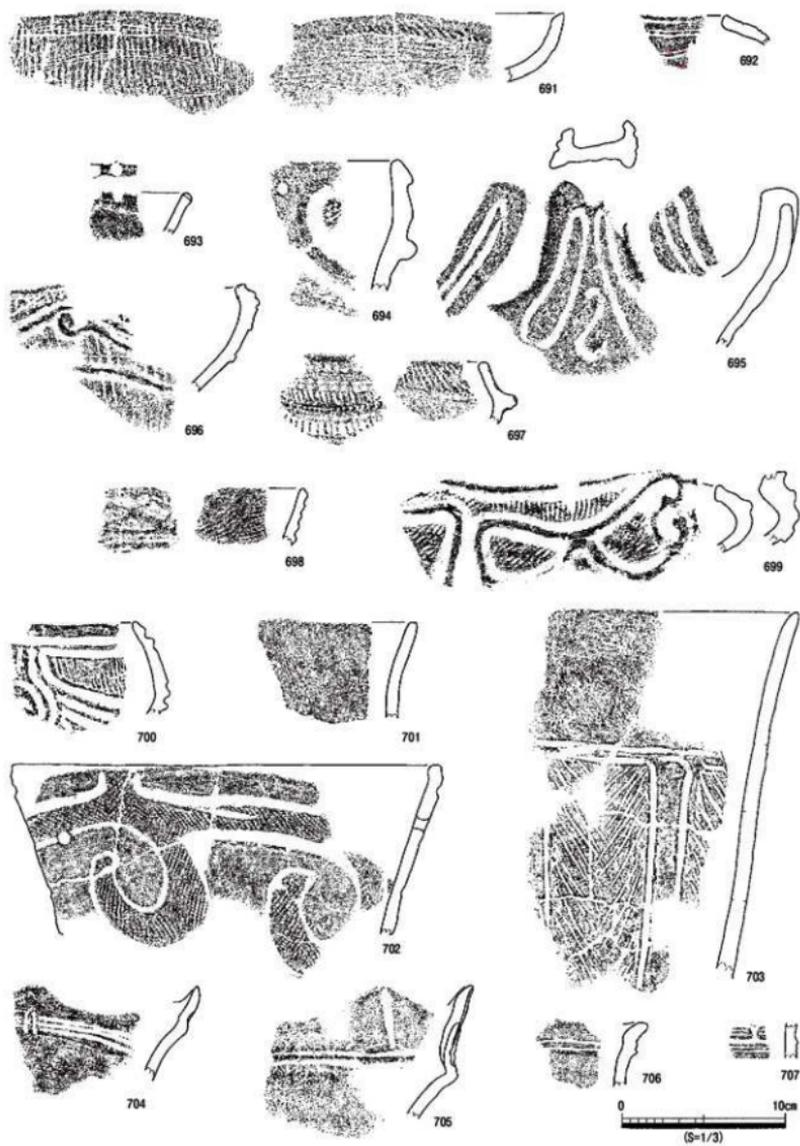
682



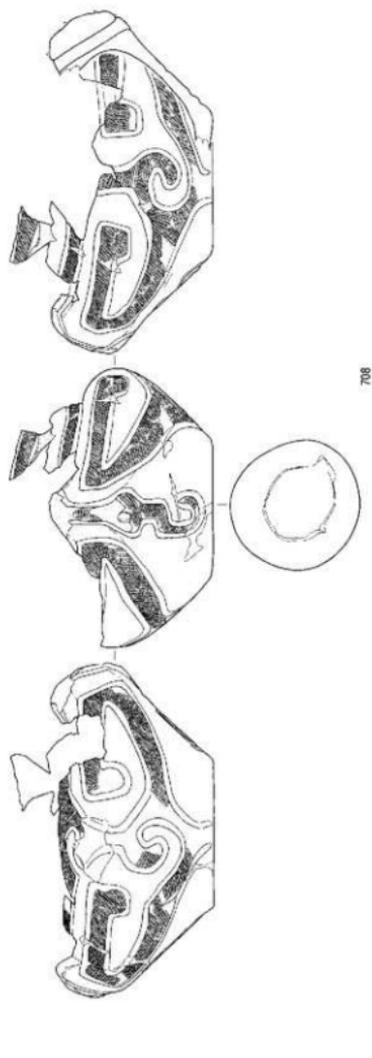
图版48 A·B区遺構出土縄文土器 (23)



图版49 A·B区遺構出土縄文土器 (24)



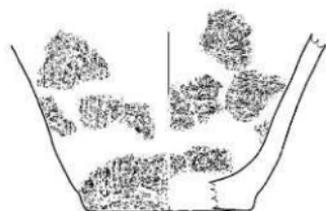
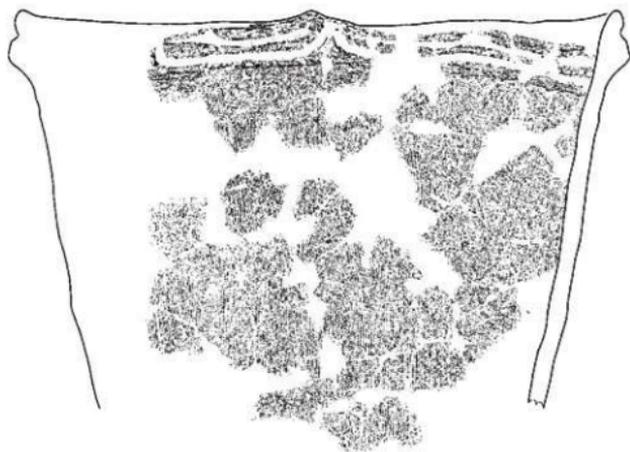
图版50 A·B区遺構出土縄文土器 (25)



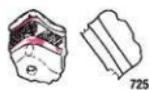
图版51 A·B区遺構出土縄文土器 (26)



图版52 A·B区遺構出土縄文土器 (27)



724



725



726



727



728



729



730



731



732



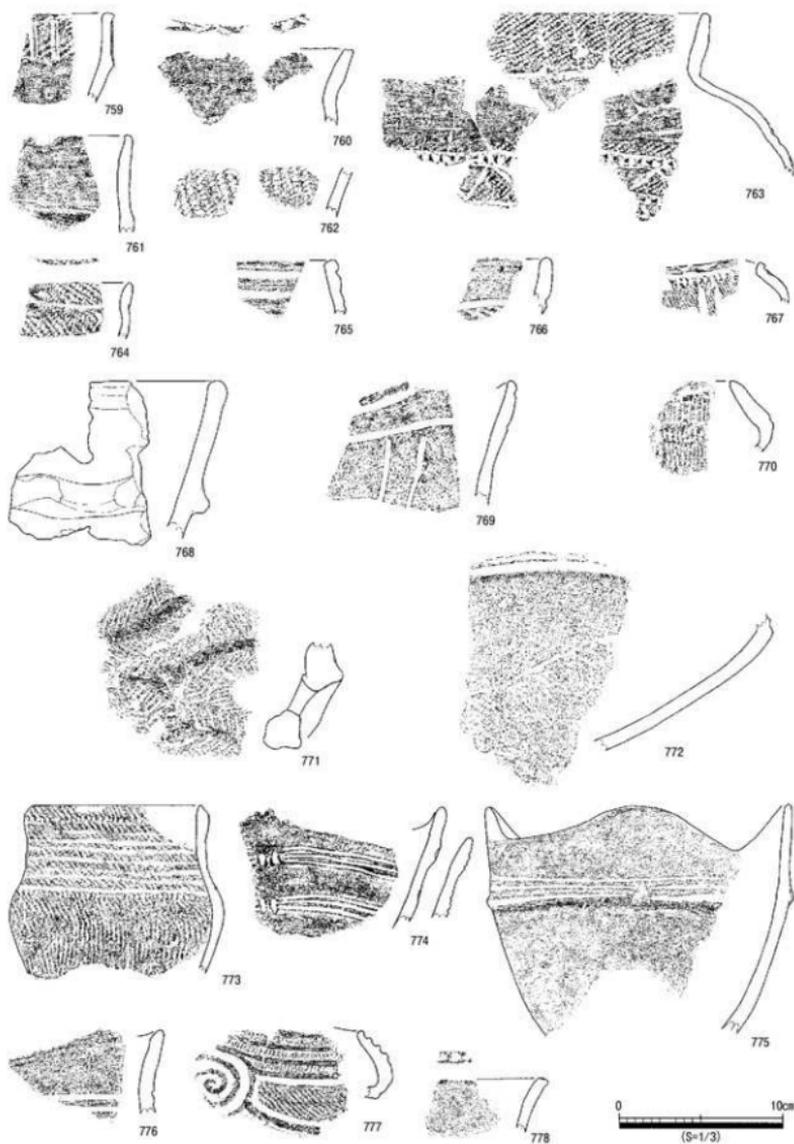
733



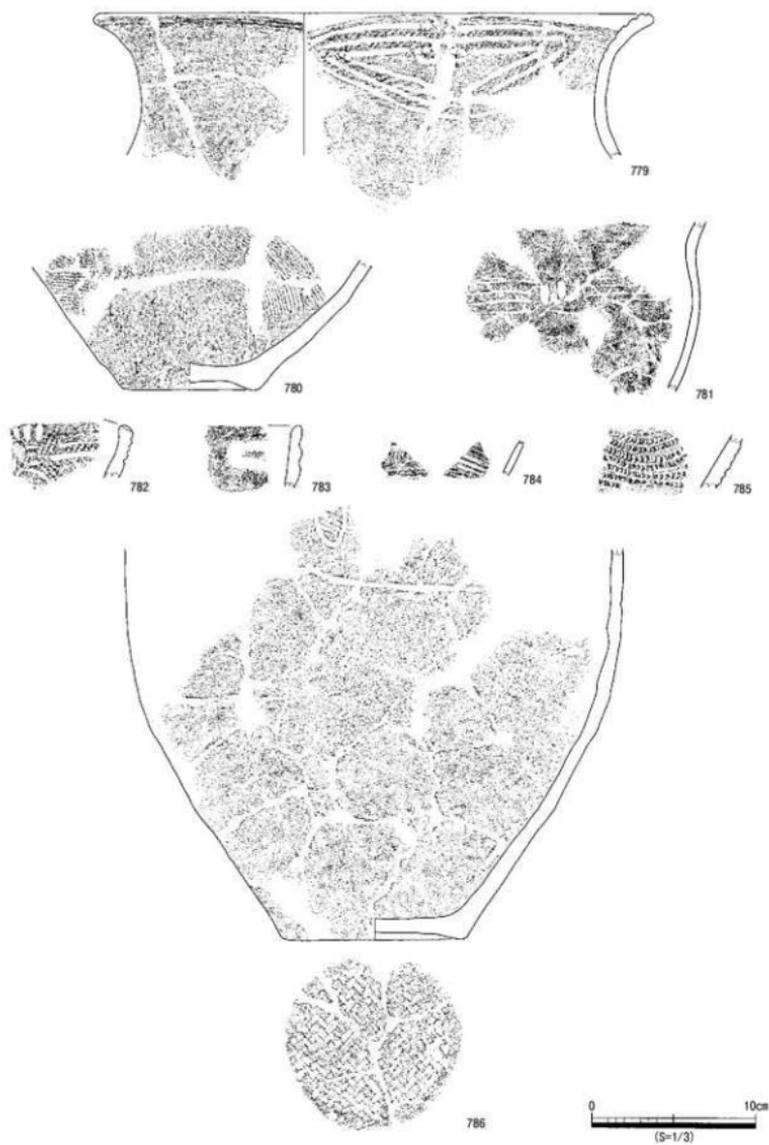
图版53 A·B区遺構出土縄文土器 (28)



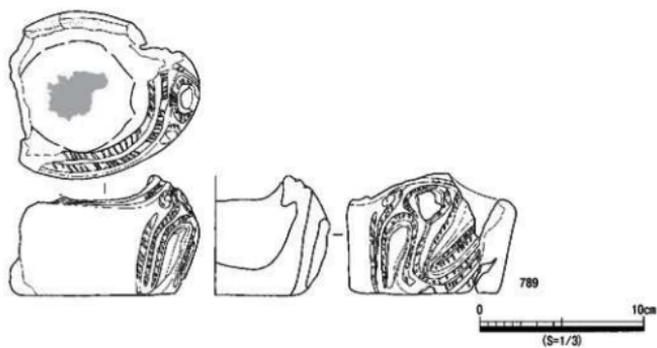
图版54 A·B区遺構出土縄文土器 (29)



图版55 A·B区遺構出土縄文土器 (30)



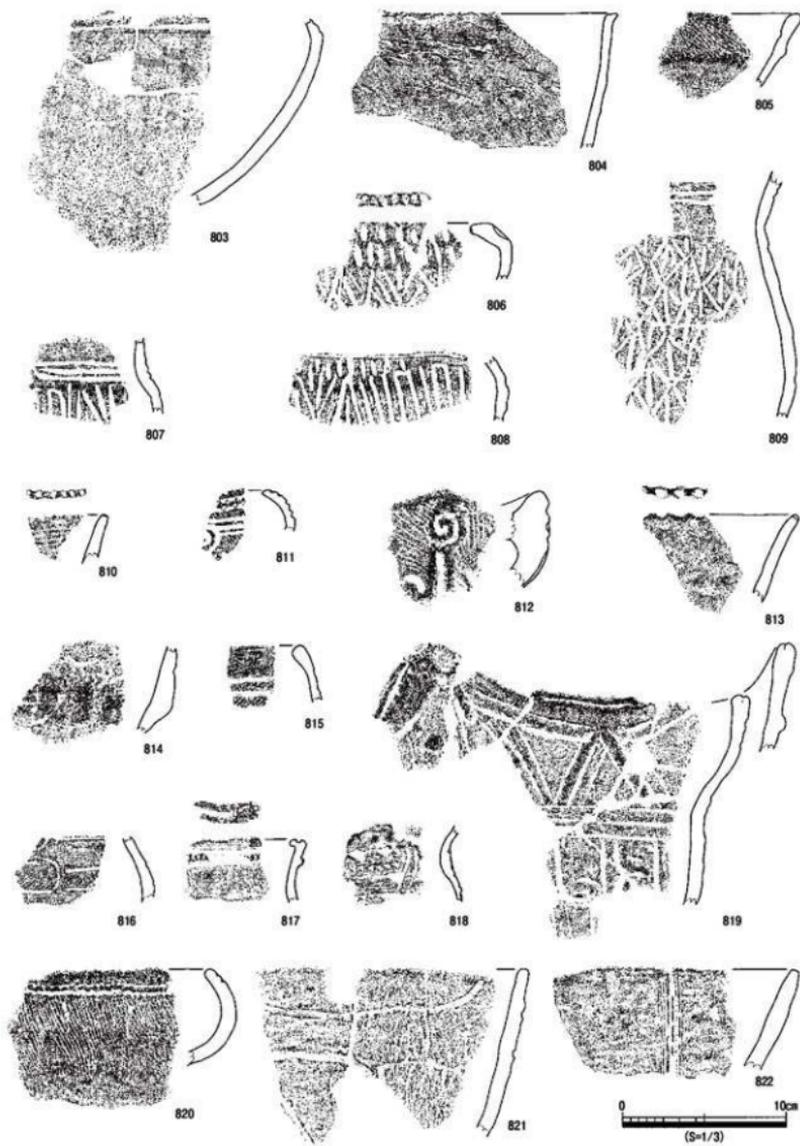
图版56 A·B区遺構出土縄文土器 (31)



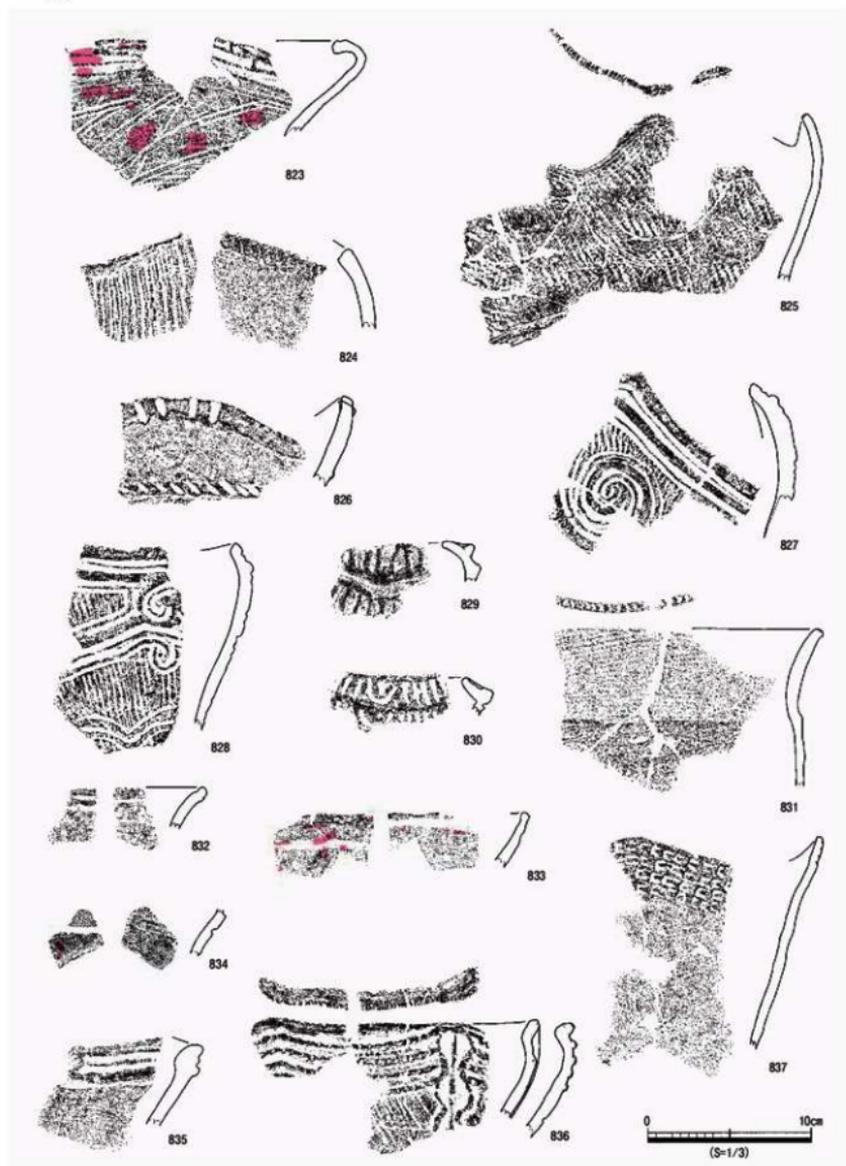
图版57 A·B区遺構出土縄文土器 (32)



图版58 A·B区遺構出土縄文土器 (33)



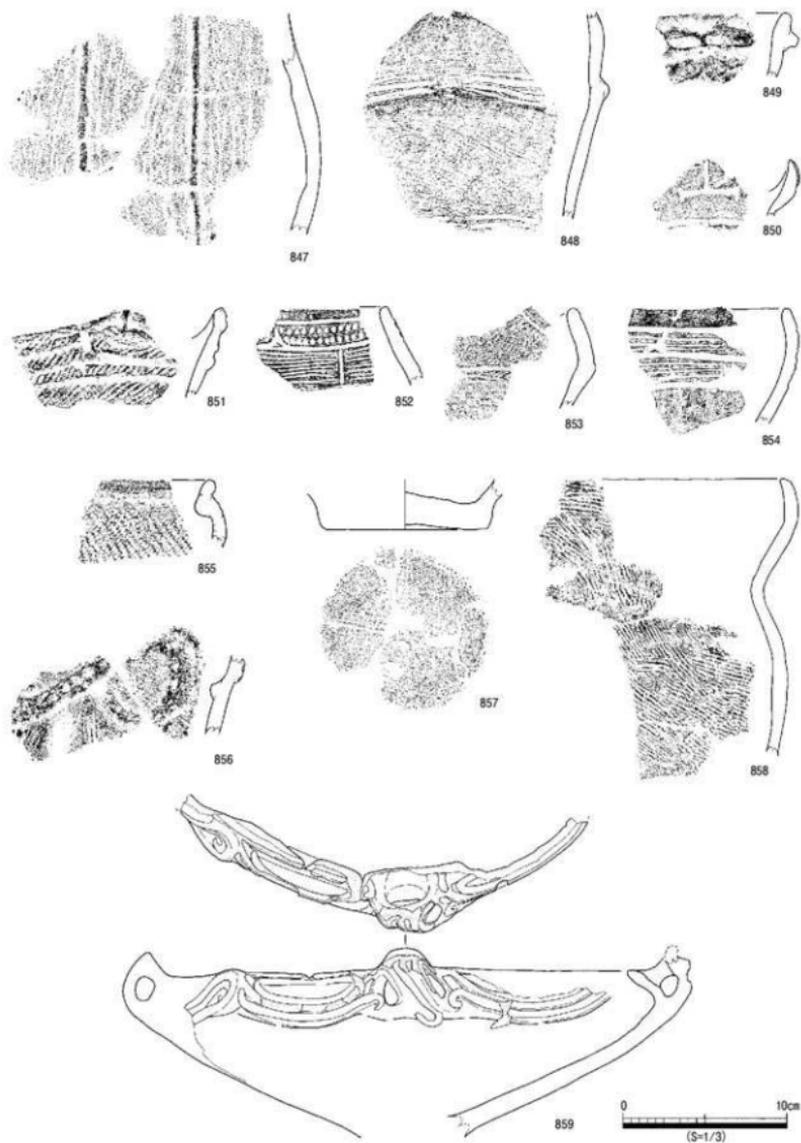
图版59 A·B区遺構出土繩文土器 (34)



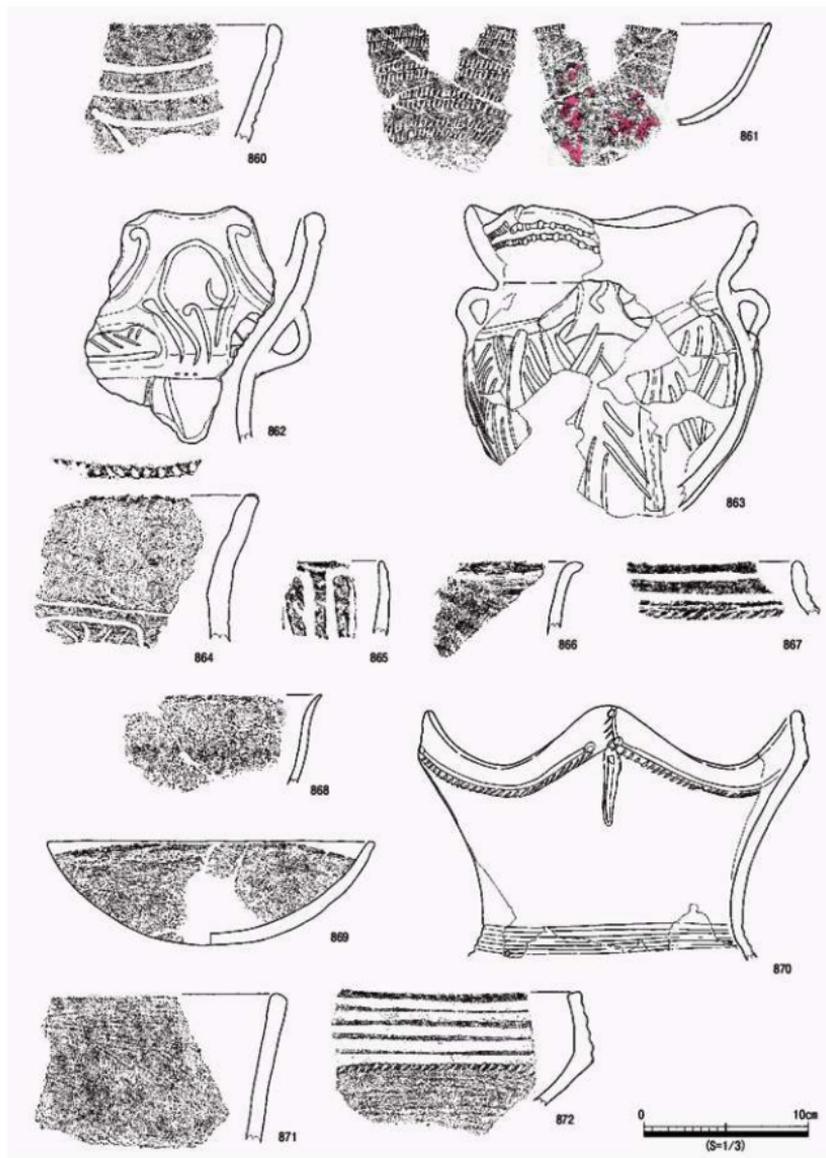
图版60 A·B区遺構出土繩文土器 (35)



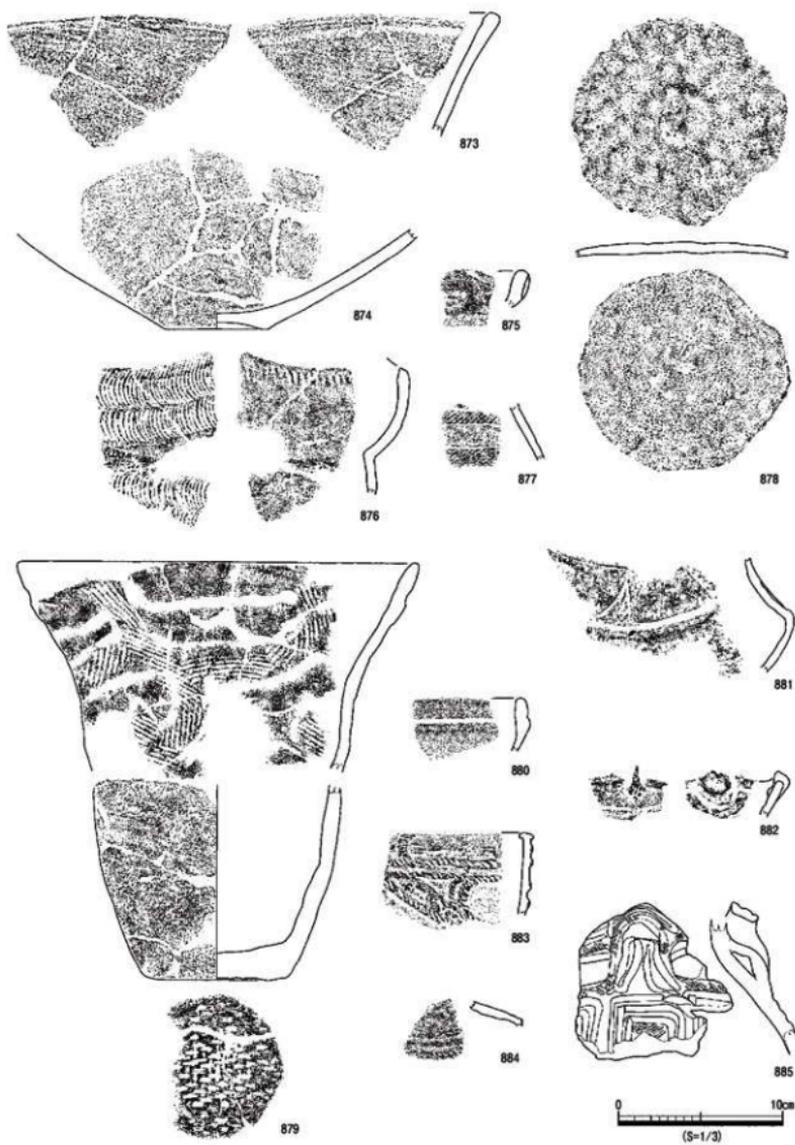
图版61 A·B区遺構出土縄文土器 (36)



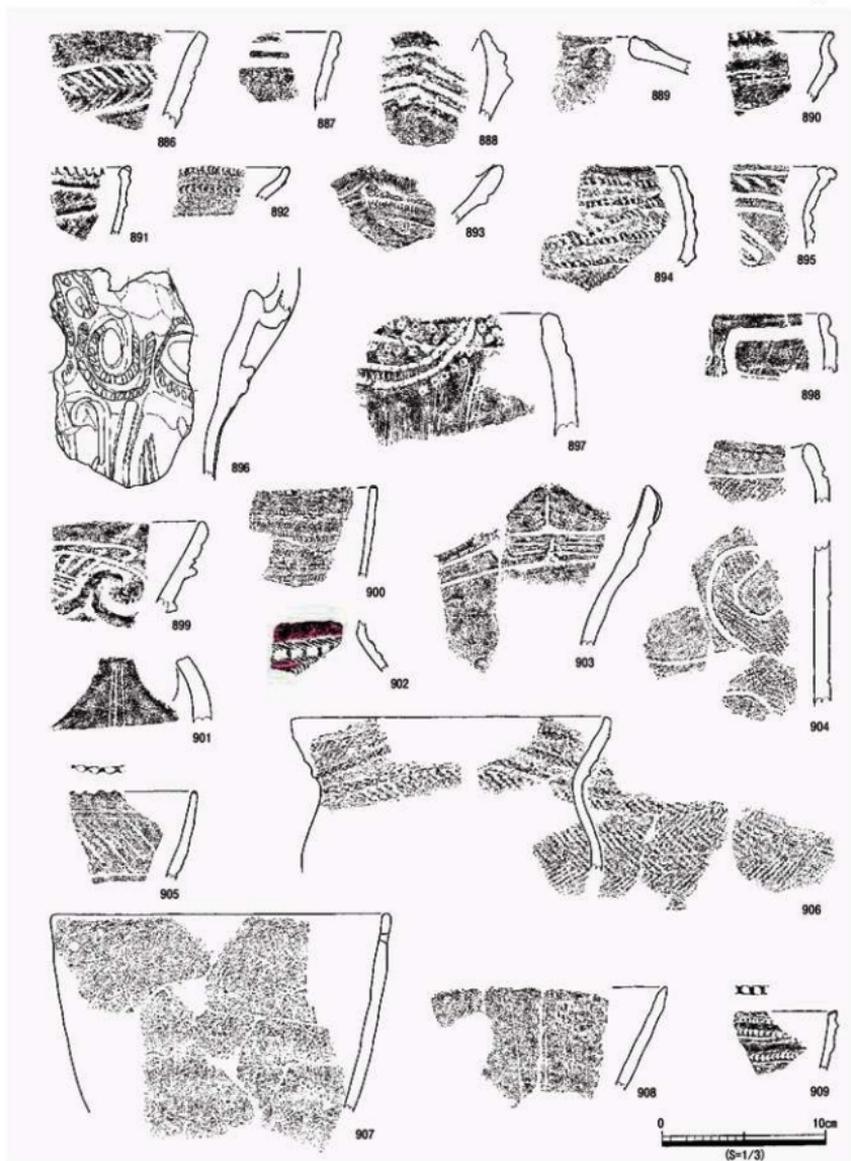
图版62 A·B区遺構出土縄文土器 (37)



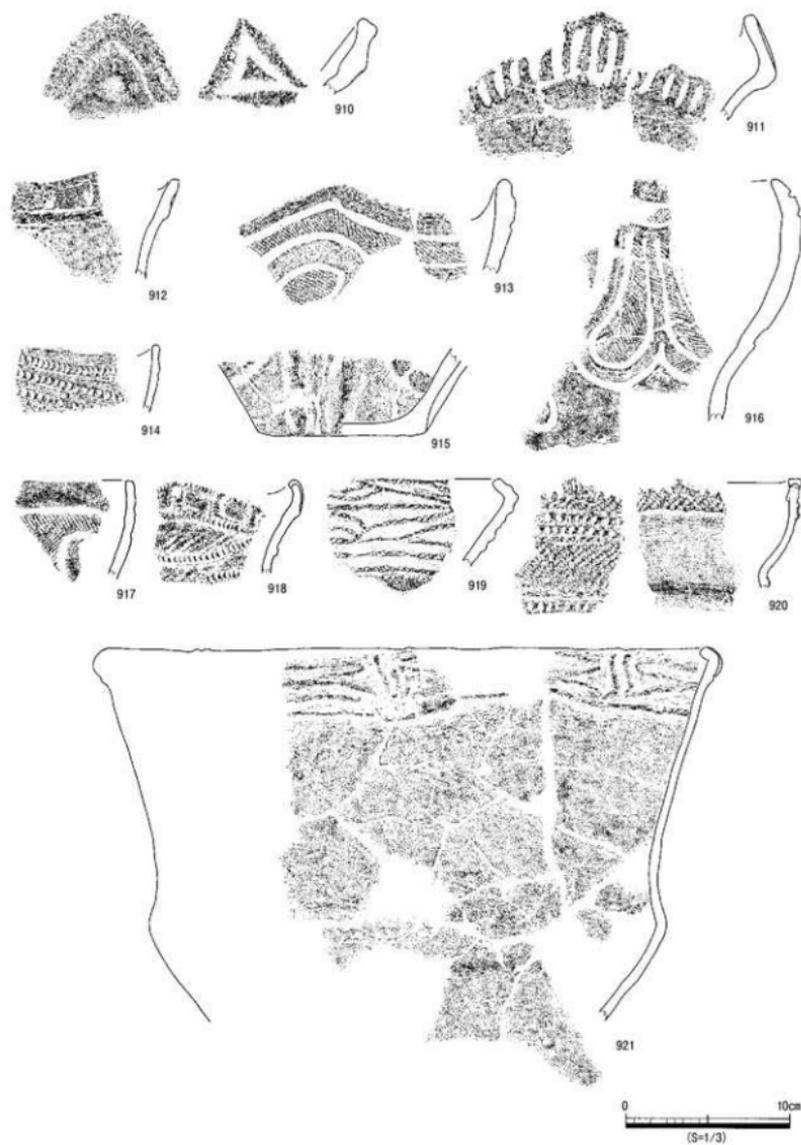
图版63 A·B区遺構出土縄文土器 (38)



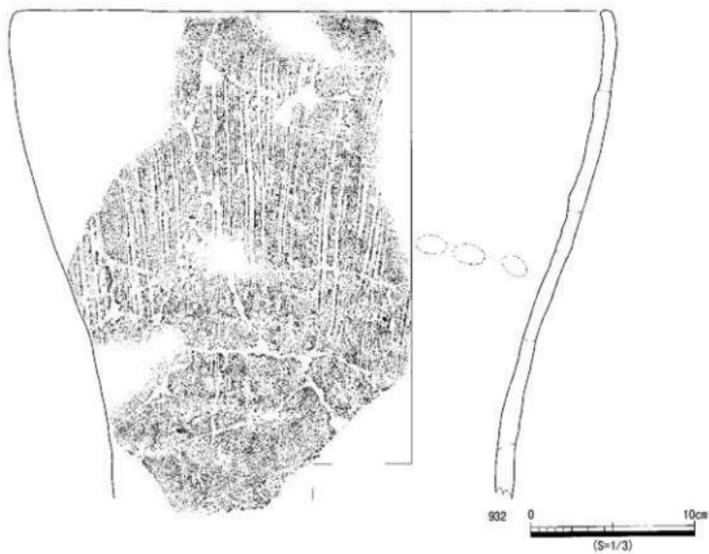
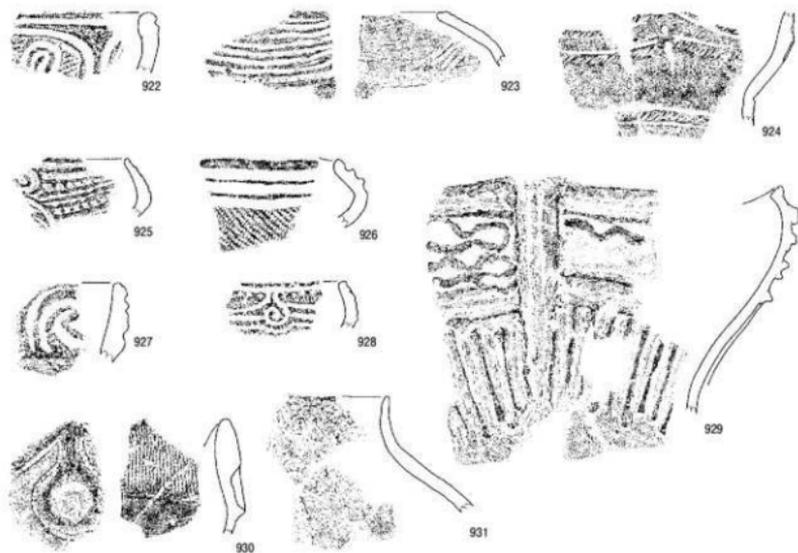
图版64 A·B区遺構出土繩文土器 (39)



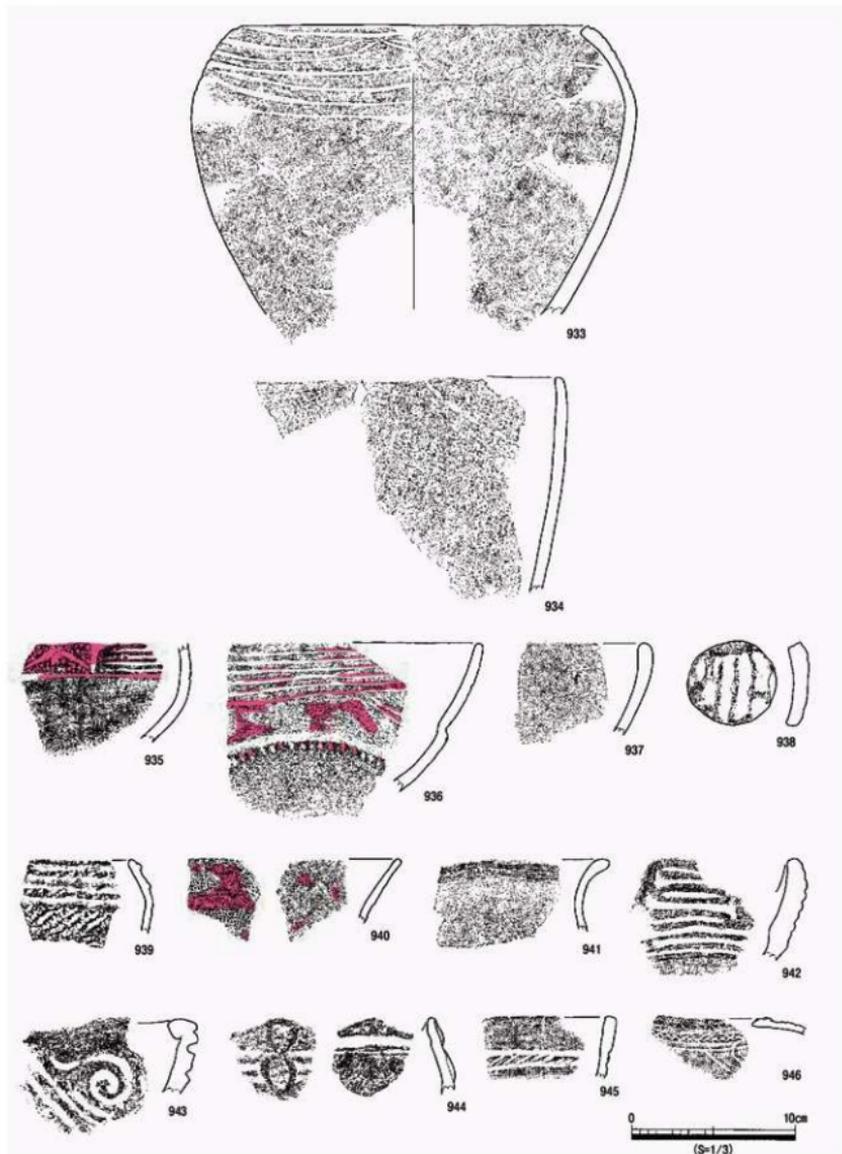
图版65 A·B区遺構出土縄文土器(40)



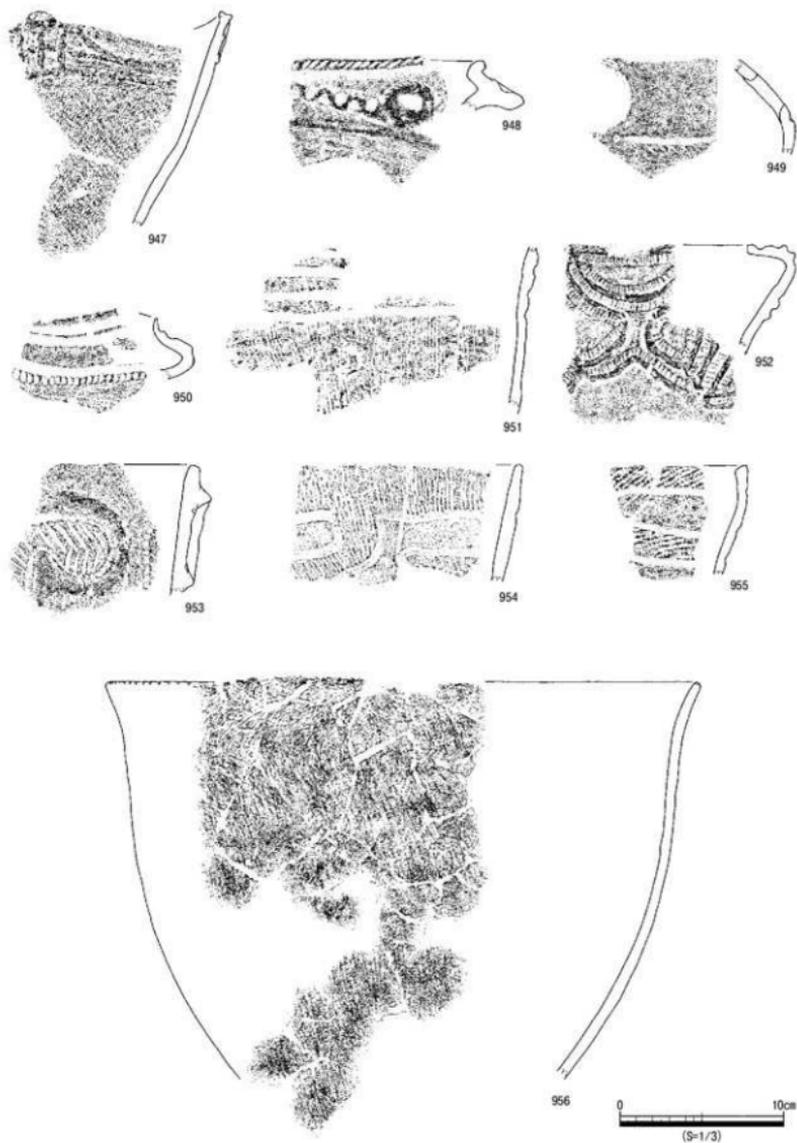
图版66 A·B区遺構出土縄文土器 (41)



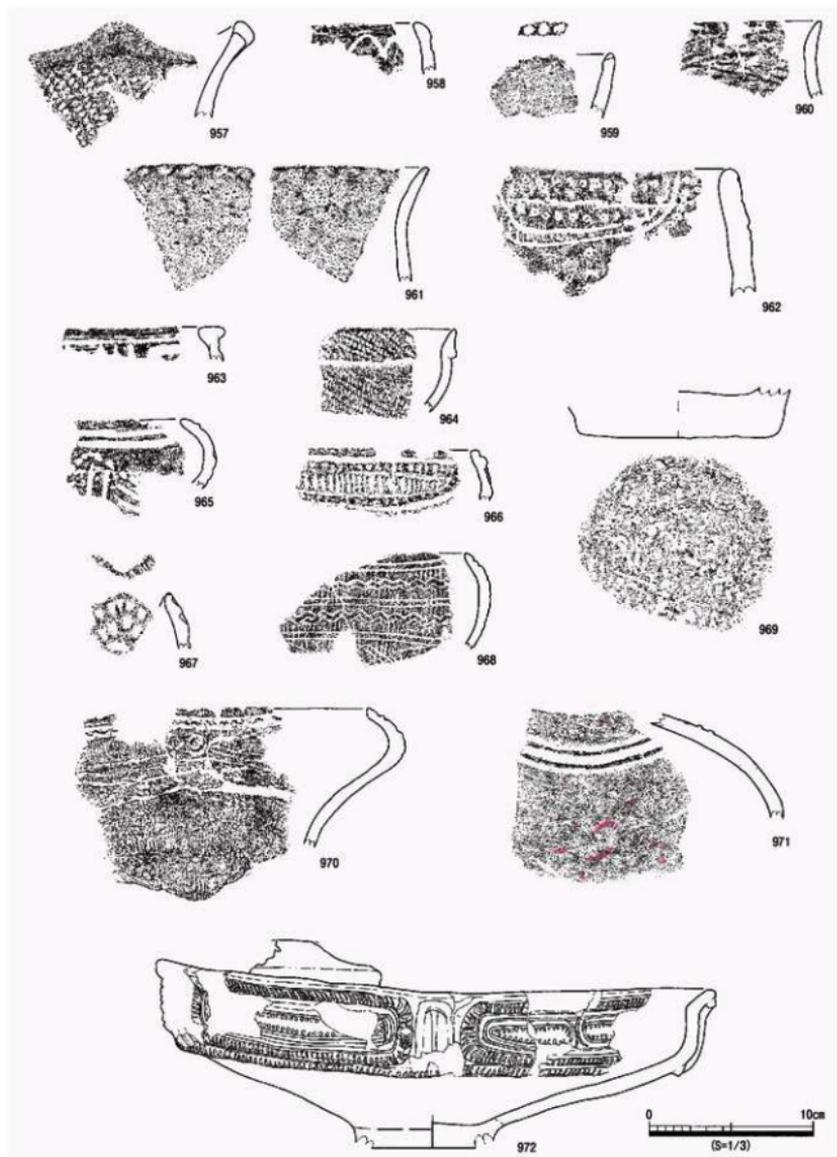
图版67 A·B区遺構出土縄文土器 (42)



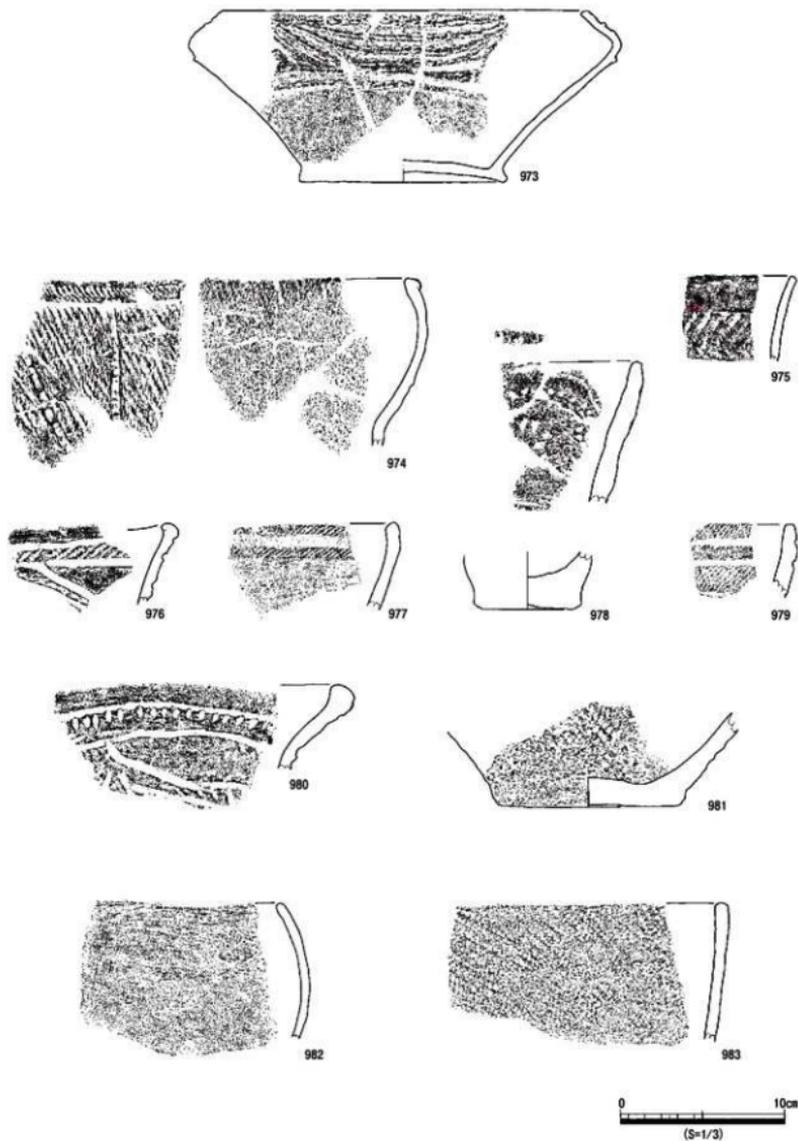
图版68 A·B区遺構出土縄文土器 (43)



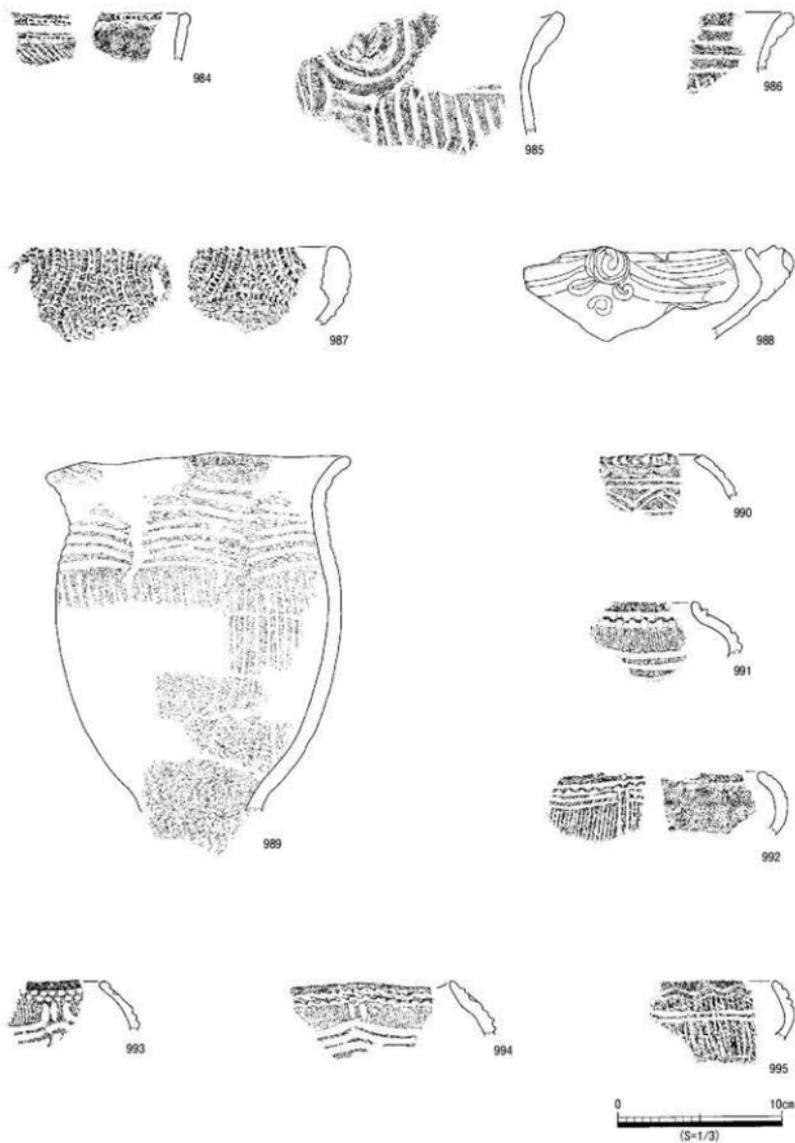
图版69 A·B区遺構出土縄文土器 (44)



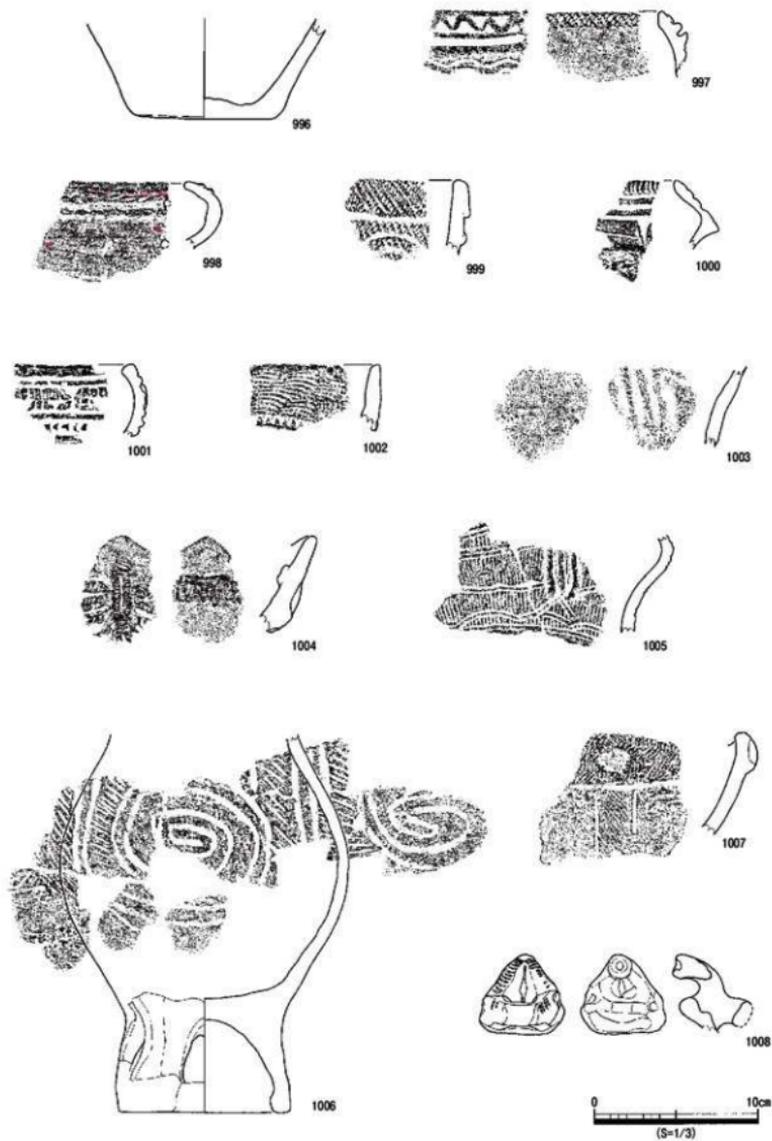
图版70 A·B区遺構出土縄文土器 (45)



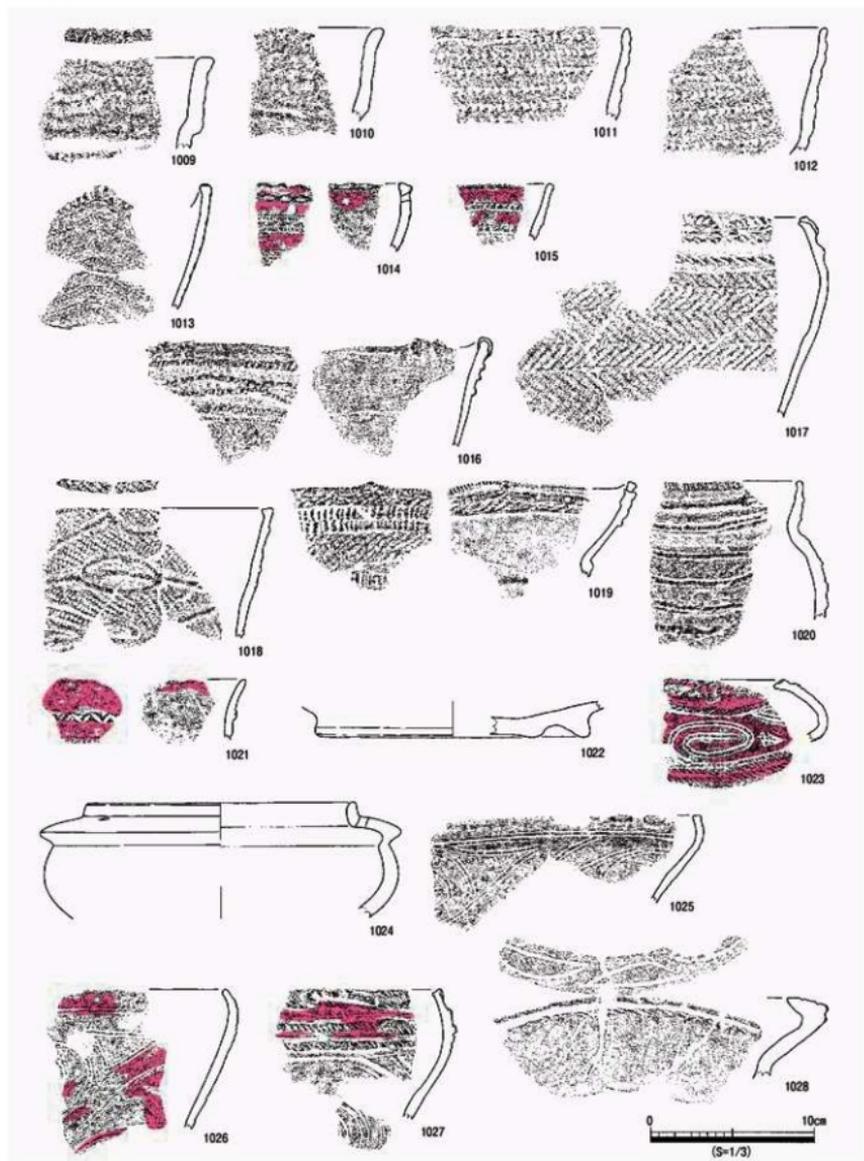
图版71 A·B区遺構出土縄文土器(46)



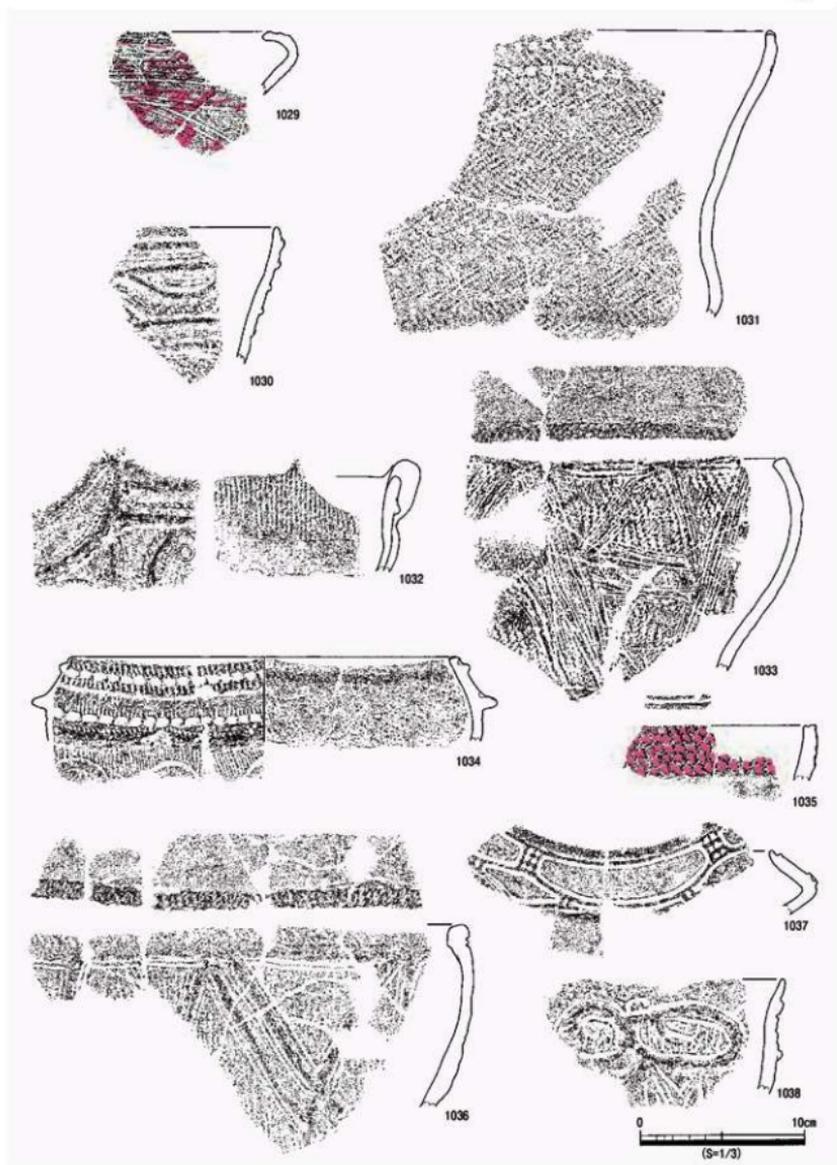
图版72 A·B区遺構出土縄文土器 (47)



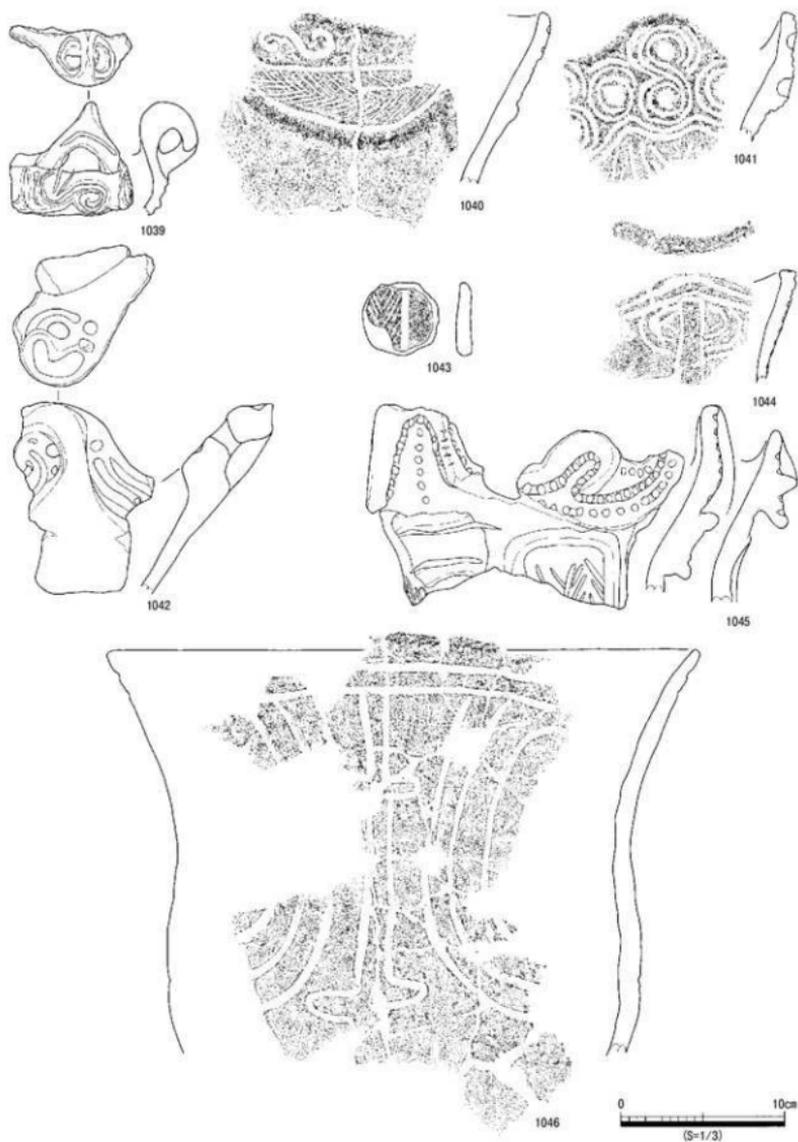
图版73 A·B区遺構出土縄文土器(48)



图版74 A·B区遗物包含层出土绳文土器(1)



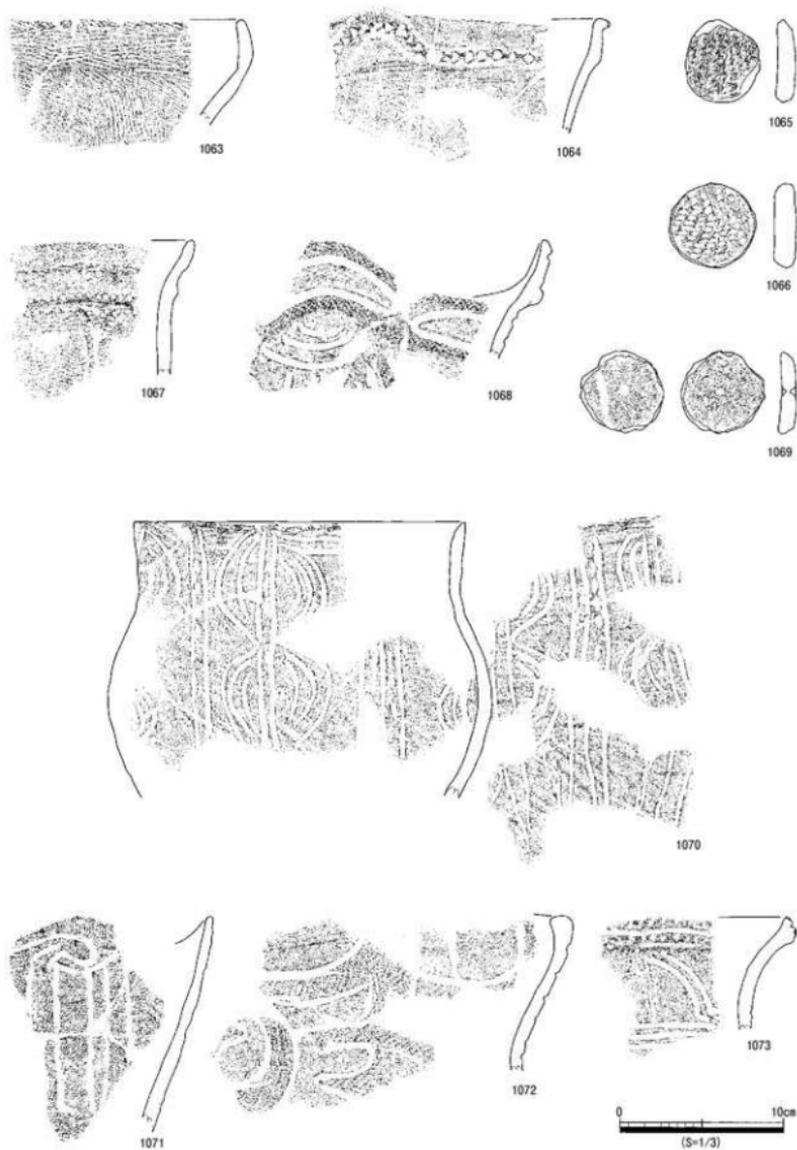
图版75 A·B区遗物包含层出土绳文土器(2)



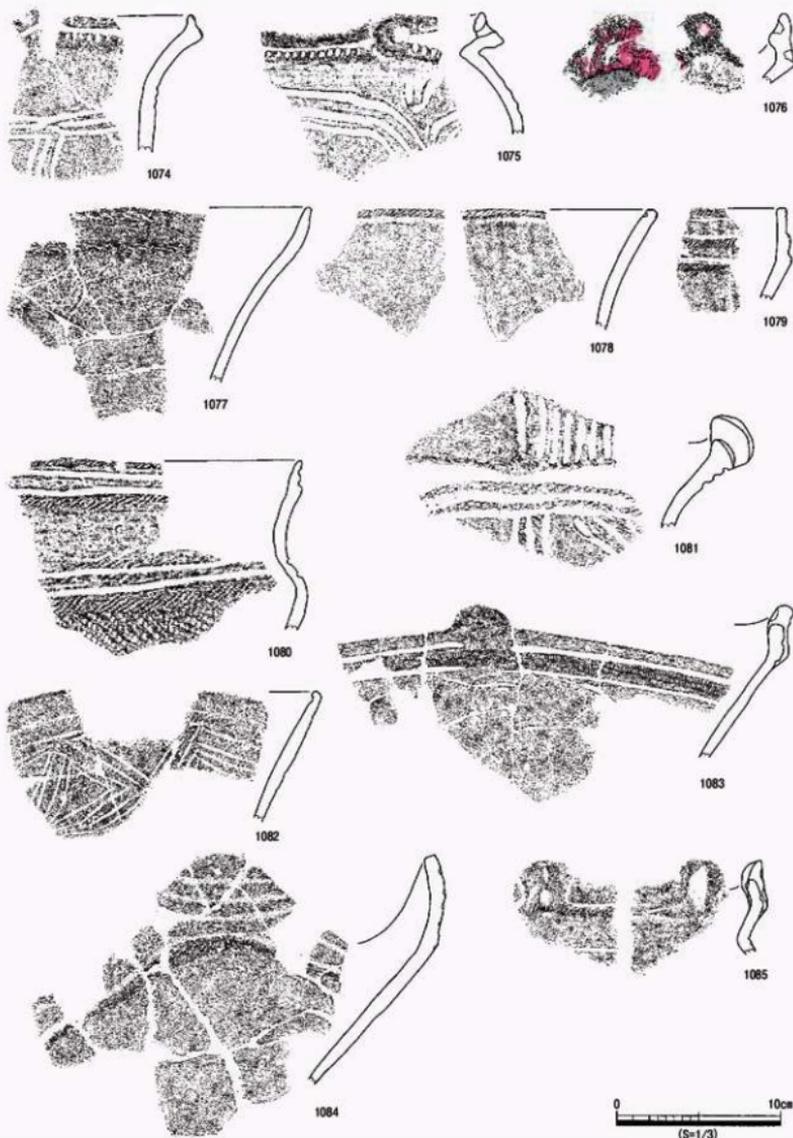
图版76 A·B区遗物包含层出土绳文土器(3)



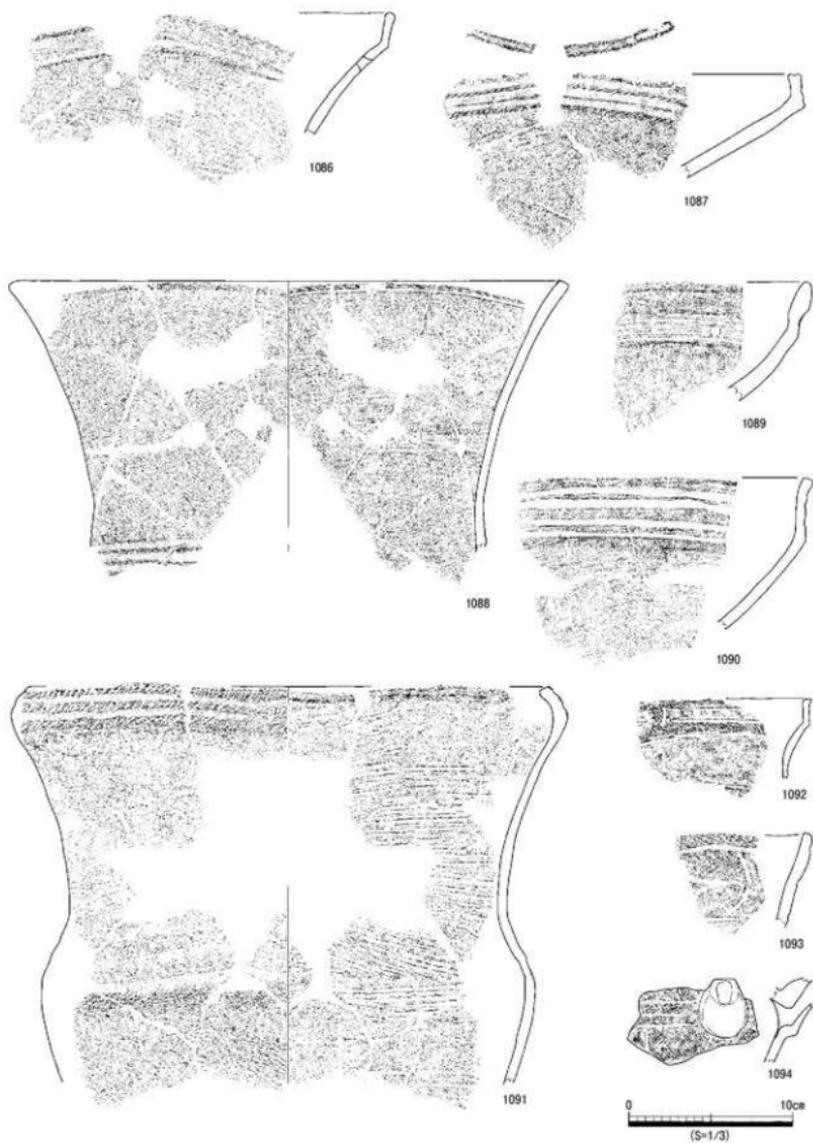
图版77 A·B区遗物包含层出土铜文土器(4)



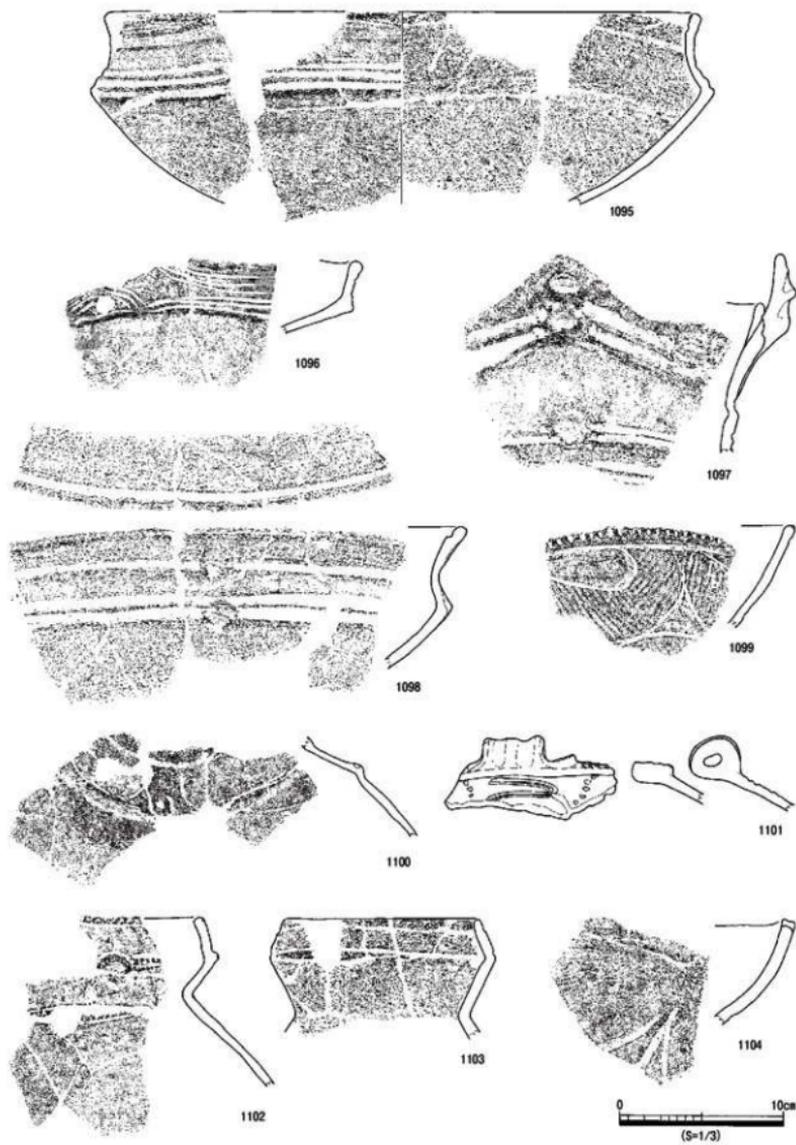
图版78 A·B区遗物包含层出土绳文土器(5)



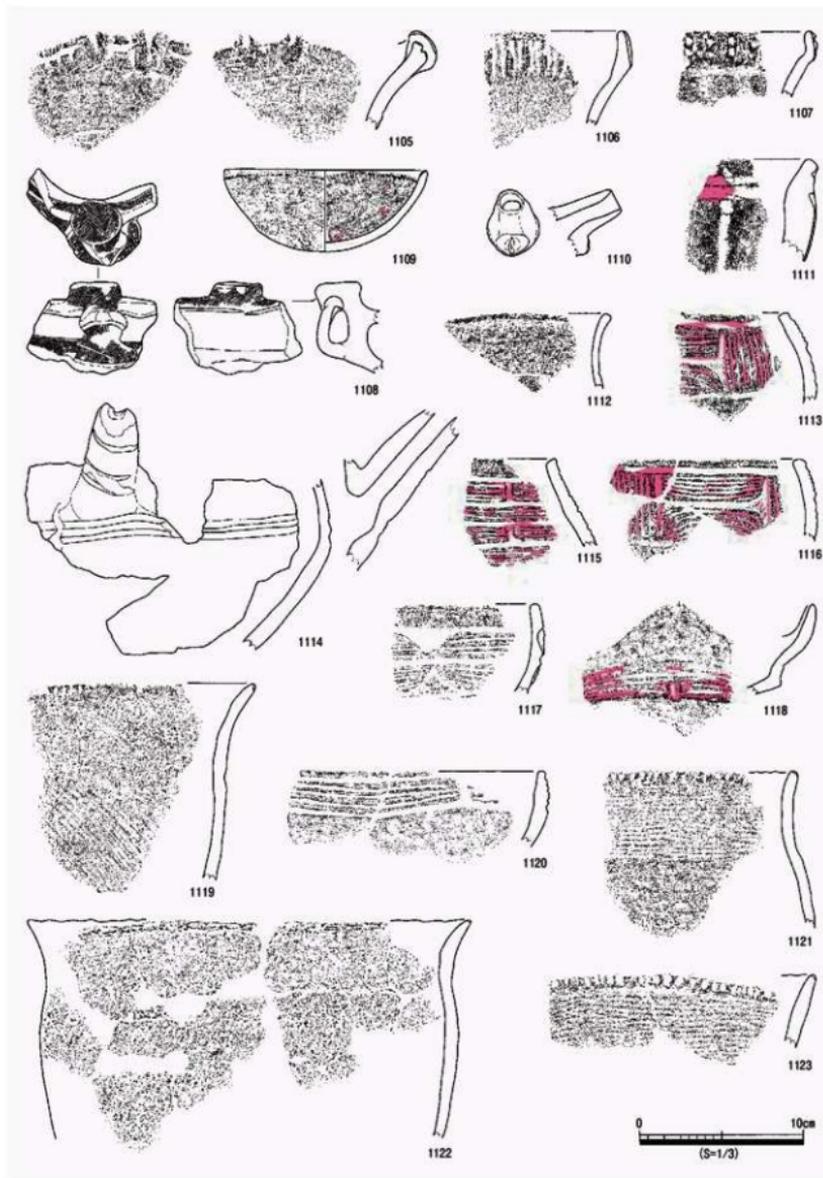
图版79 A·B区遗物包含层出土绳文土器(6)



图版80 A·B区遗物包含层出土绳文土器(7)



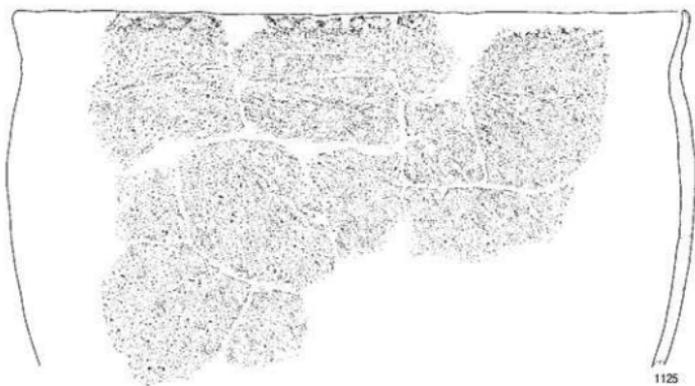
图版81 A·B区遗物包含层出土绳文土器(8)



图版82 A·B区遗物包含层出土绳文土器(9)



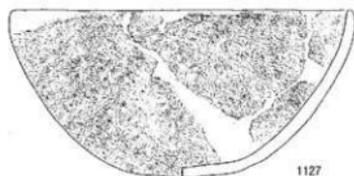
1124



1125



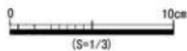
1126



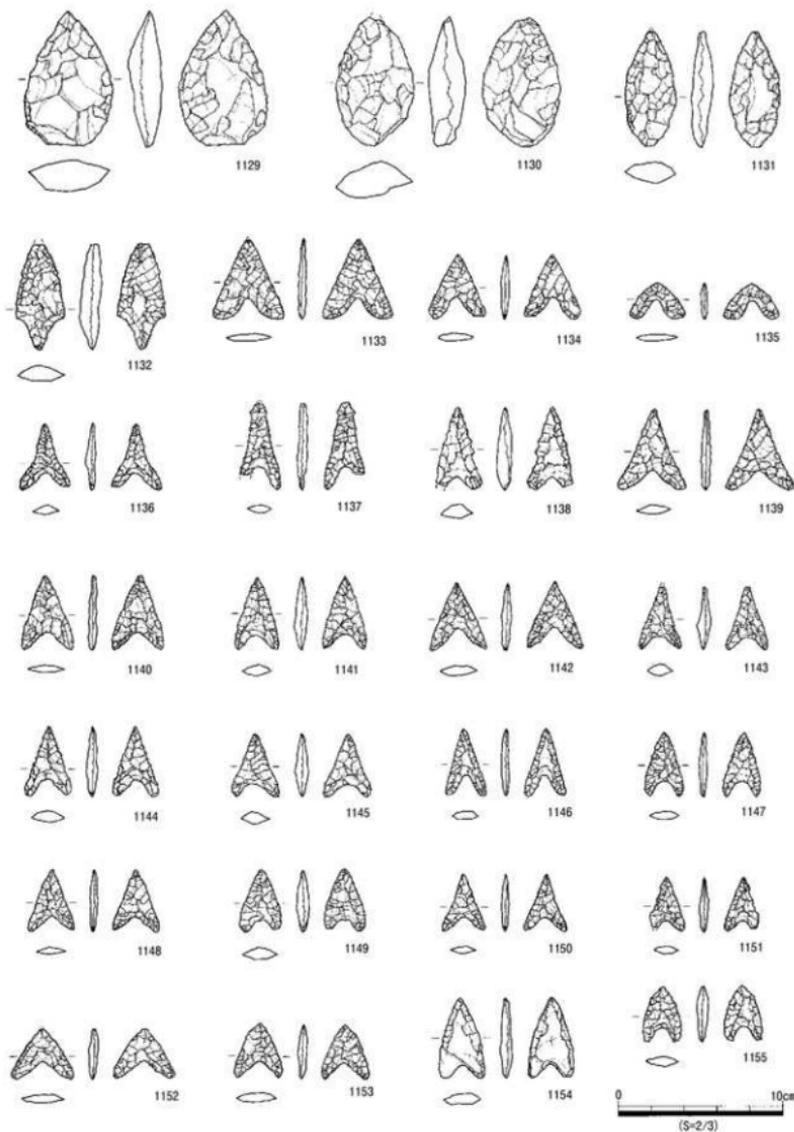
1127



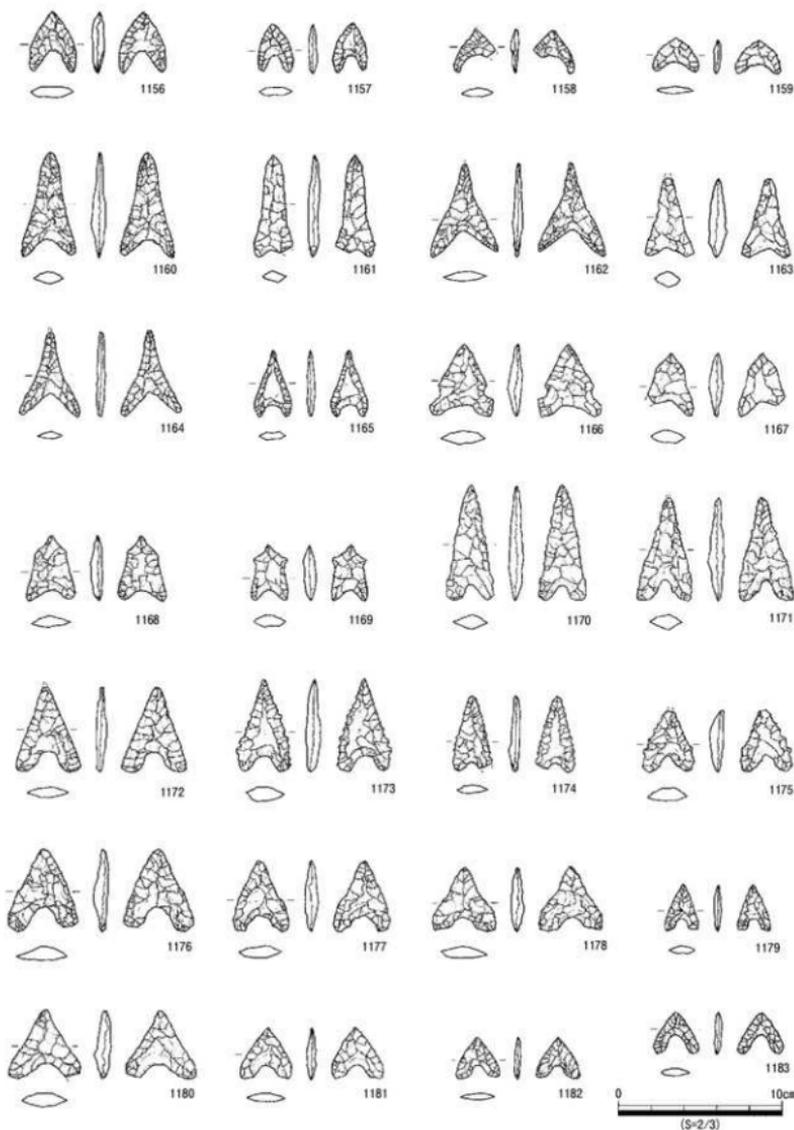
1128



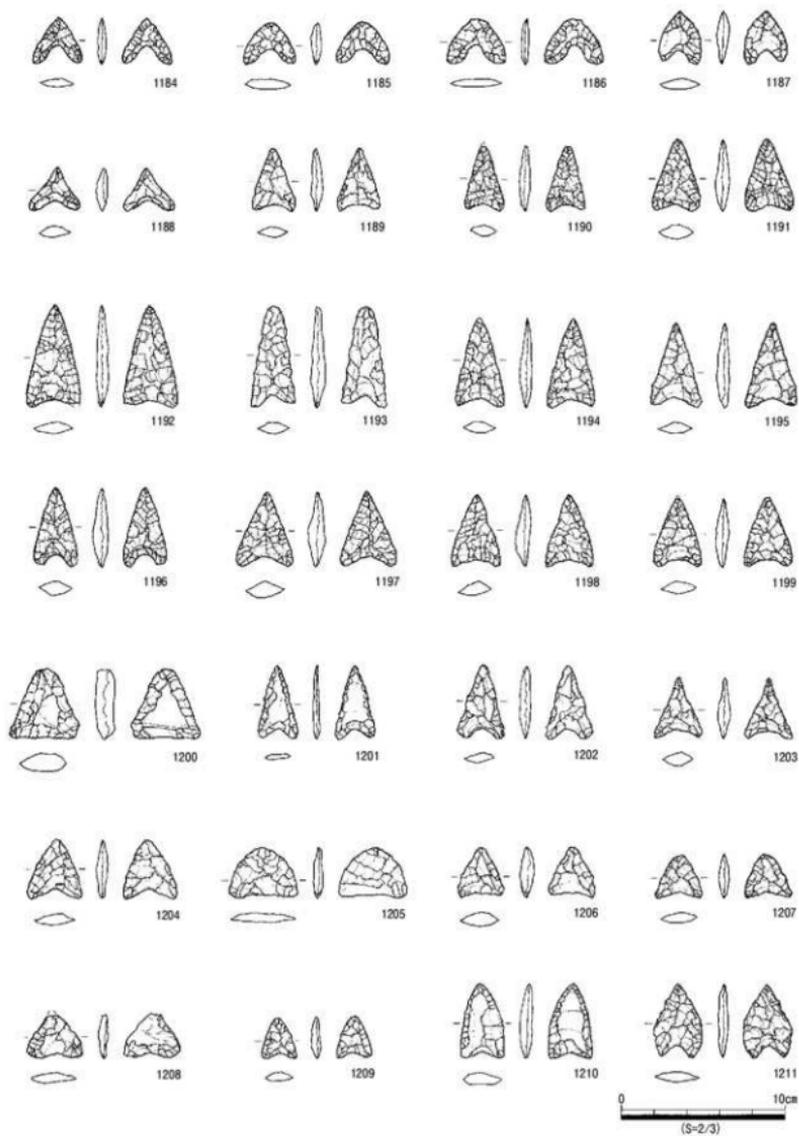
图版83 A·B区遗物包含层出土绳文土器 (10)



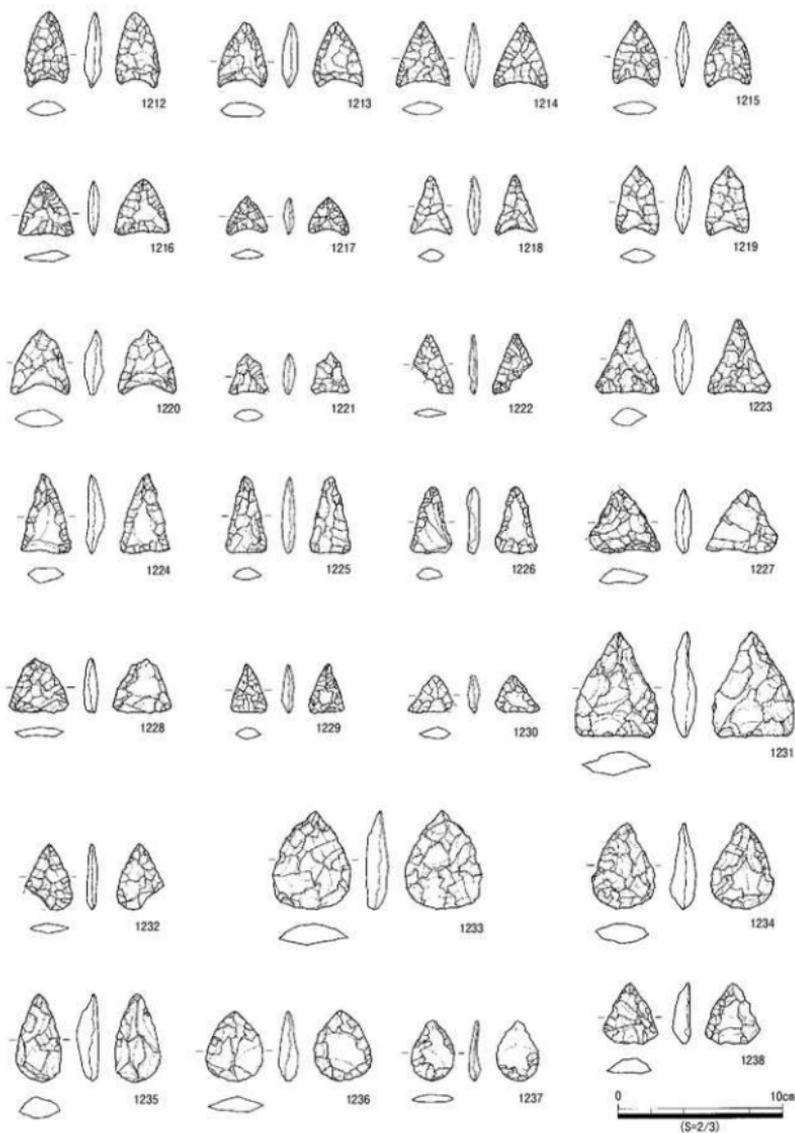
图版84 A·B区出土石器(1)



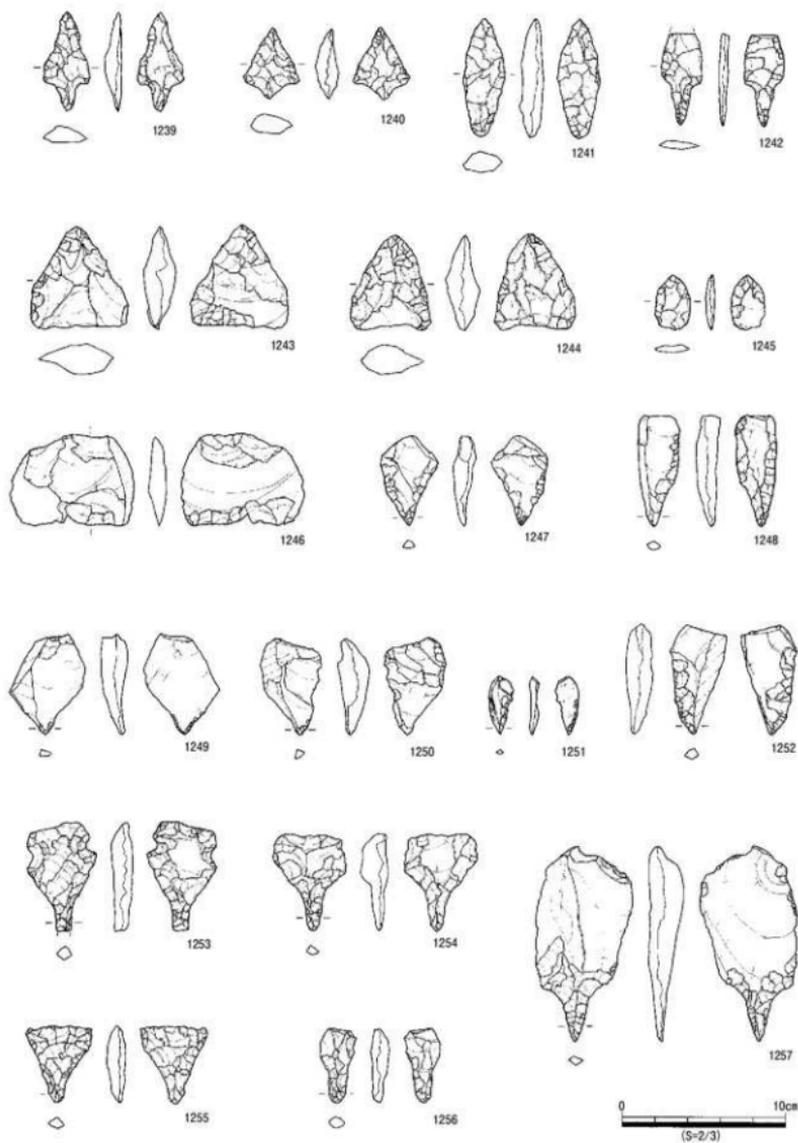
图版85 A·B区出土石器(2)



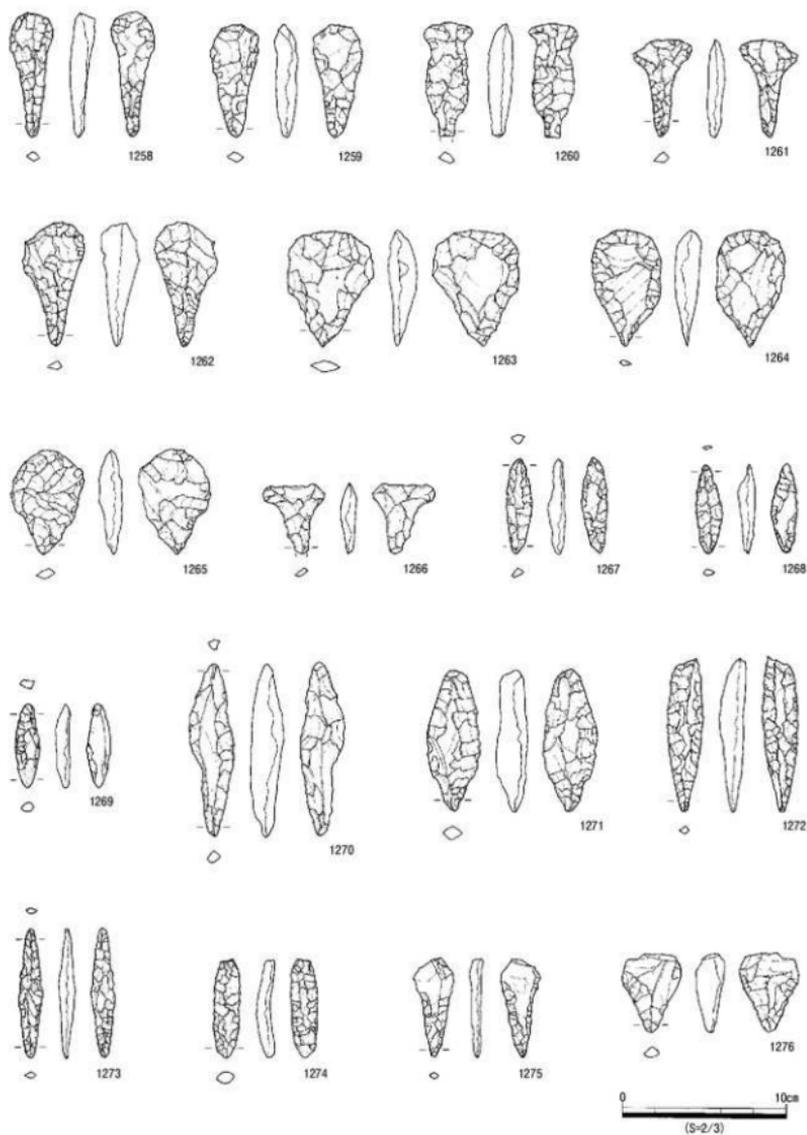
图版86 A·B区出土石器(3)



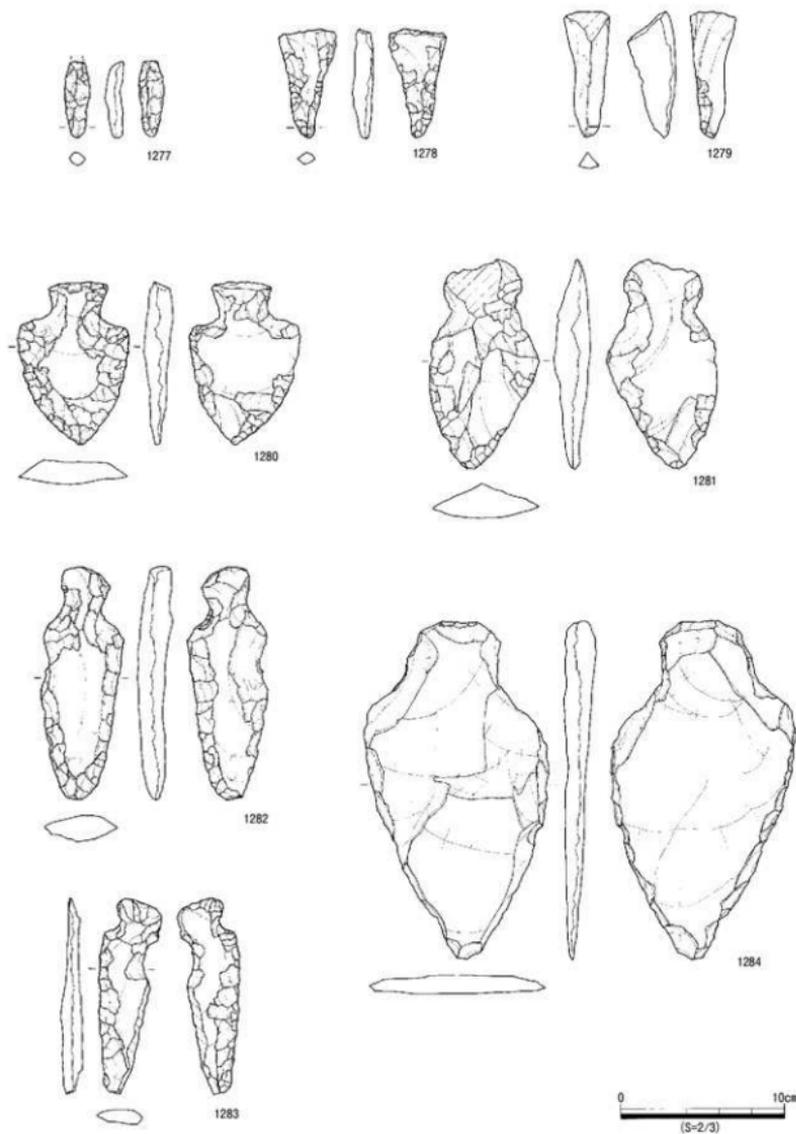
图版87 A·B区出土石器(4)



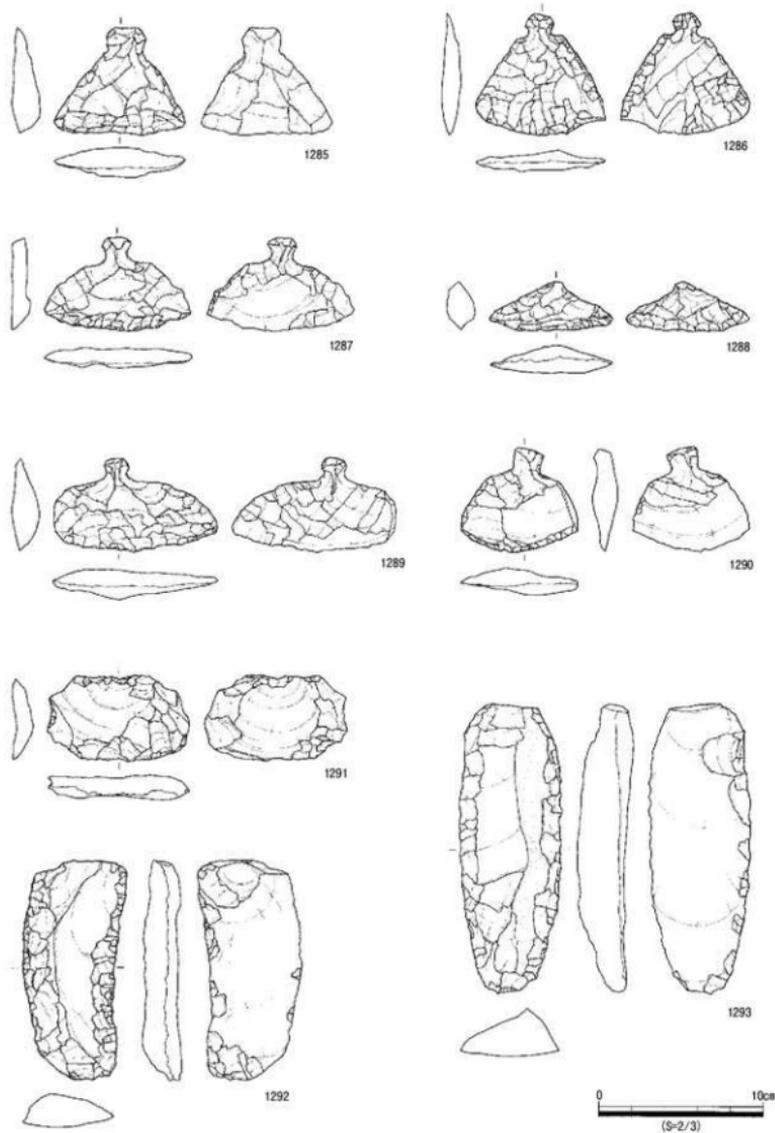
图版88 A·B区出土石器(5)



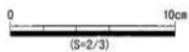
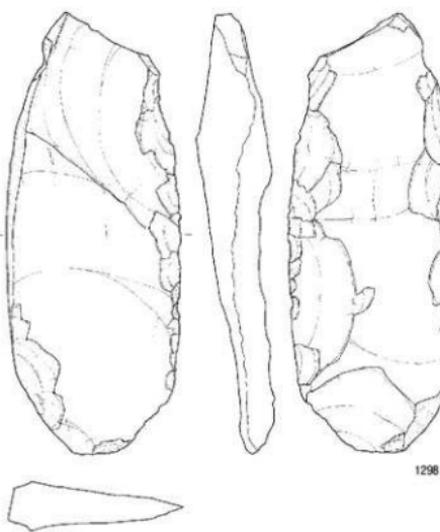
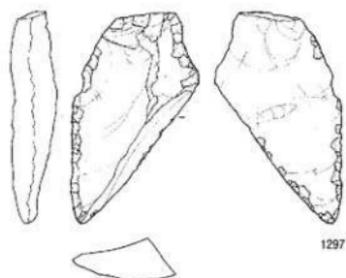
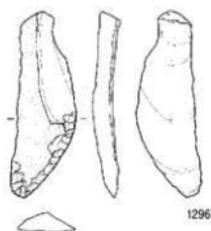
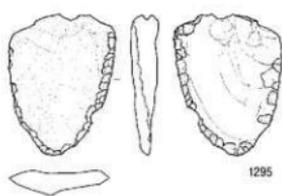
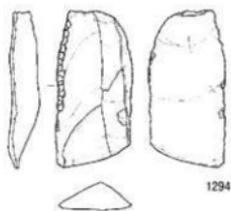
图版89 A·B区出土石器(6)



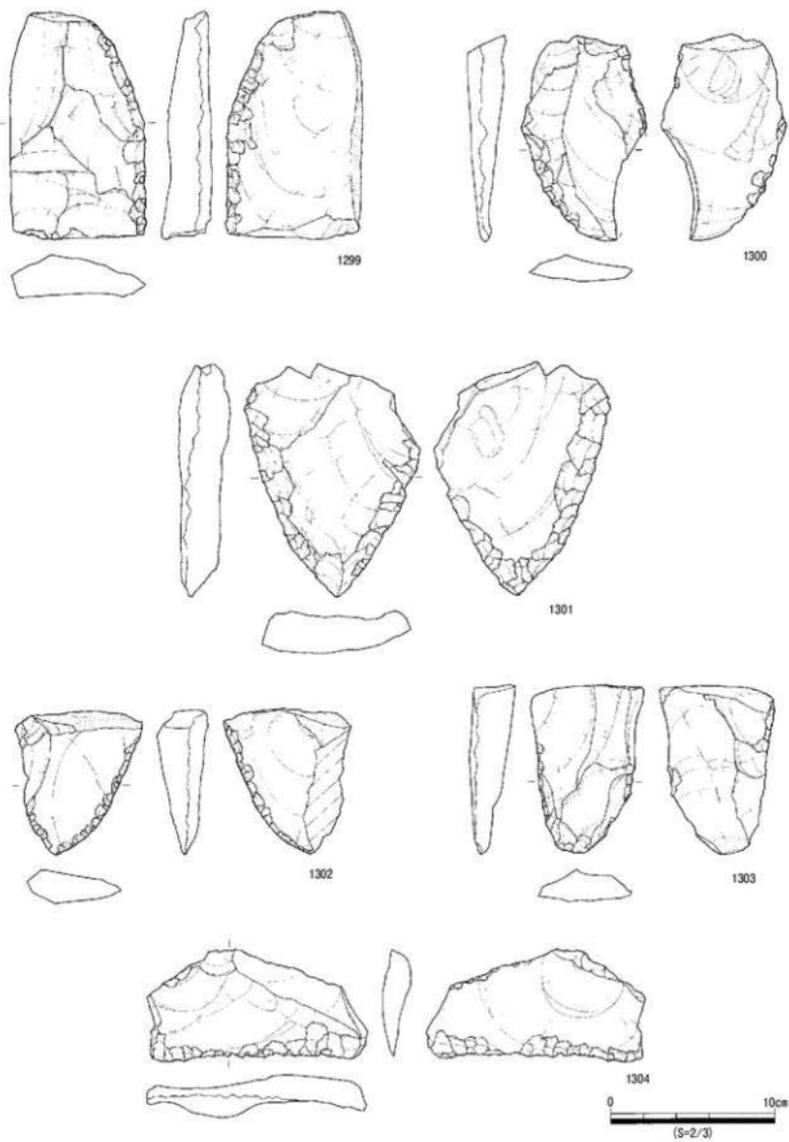
图版90 A·B区出土石器(7)



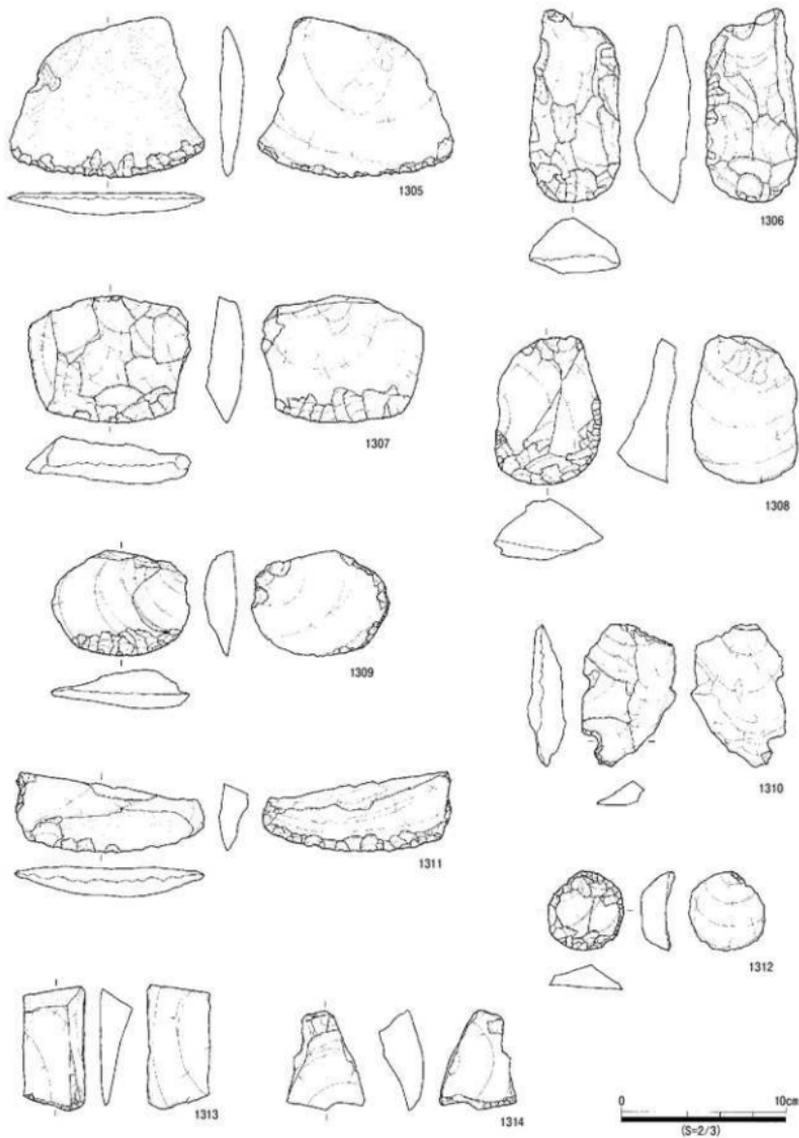
图版91 A·B区出土石器(8)



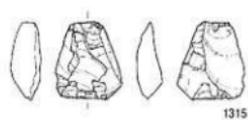
图版92 A·B区出土石器(9)



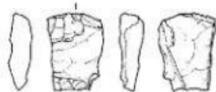
图版93 A·B区出土石器(10)



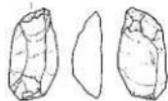
图版94 A·B区出土石器(11)



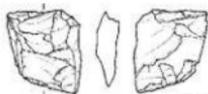
1315



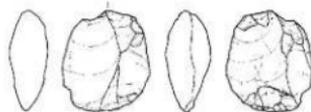
1316



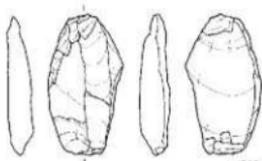
1317



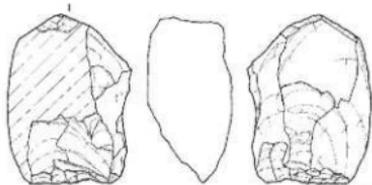
1318



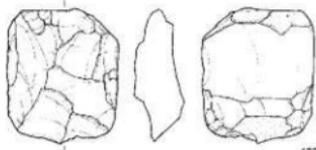
1319



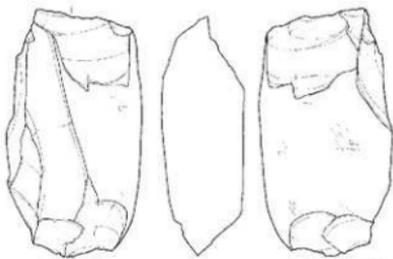
1320



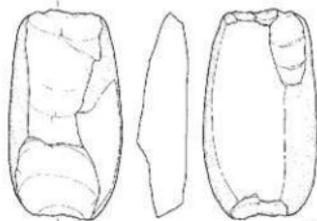
1321



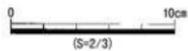
1322

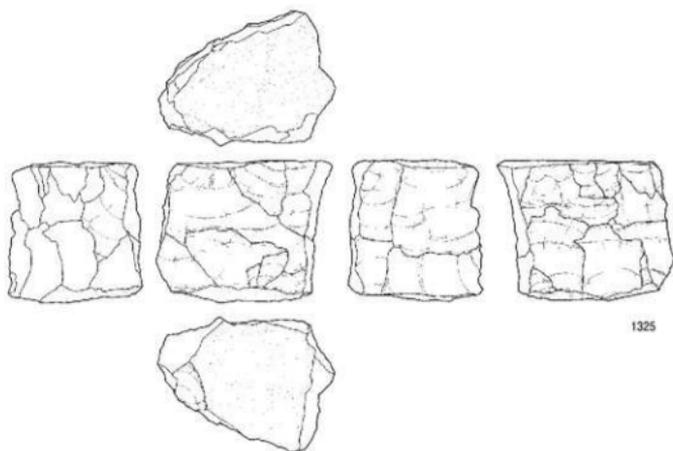


1324

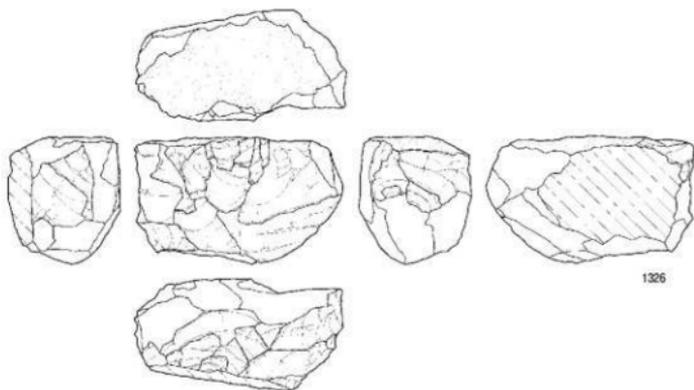


1323

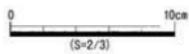




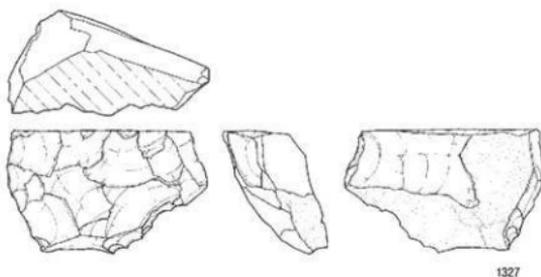
1325



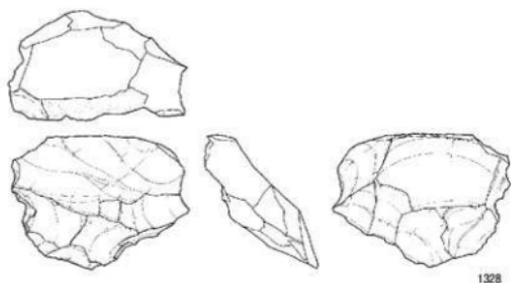
1326



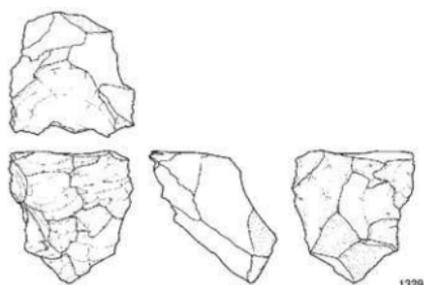
图版96 A·B区出土石器(13)



1327



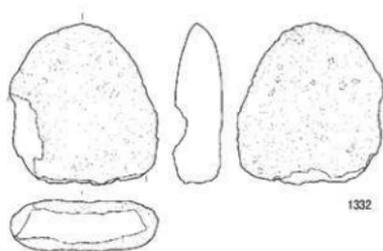
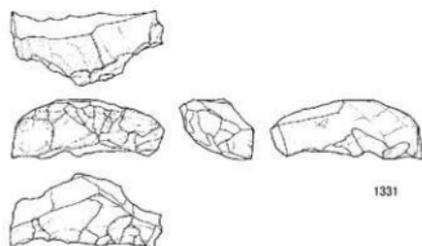
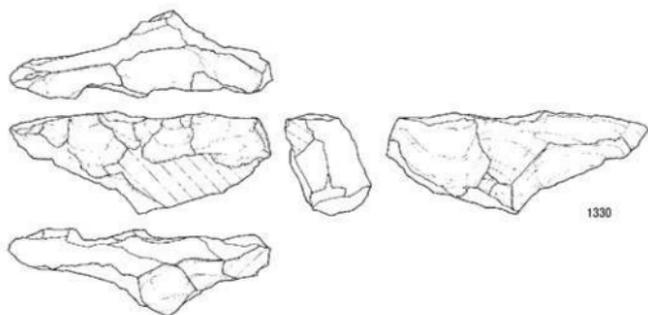
1328



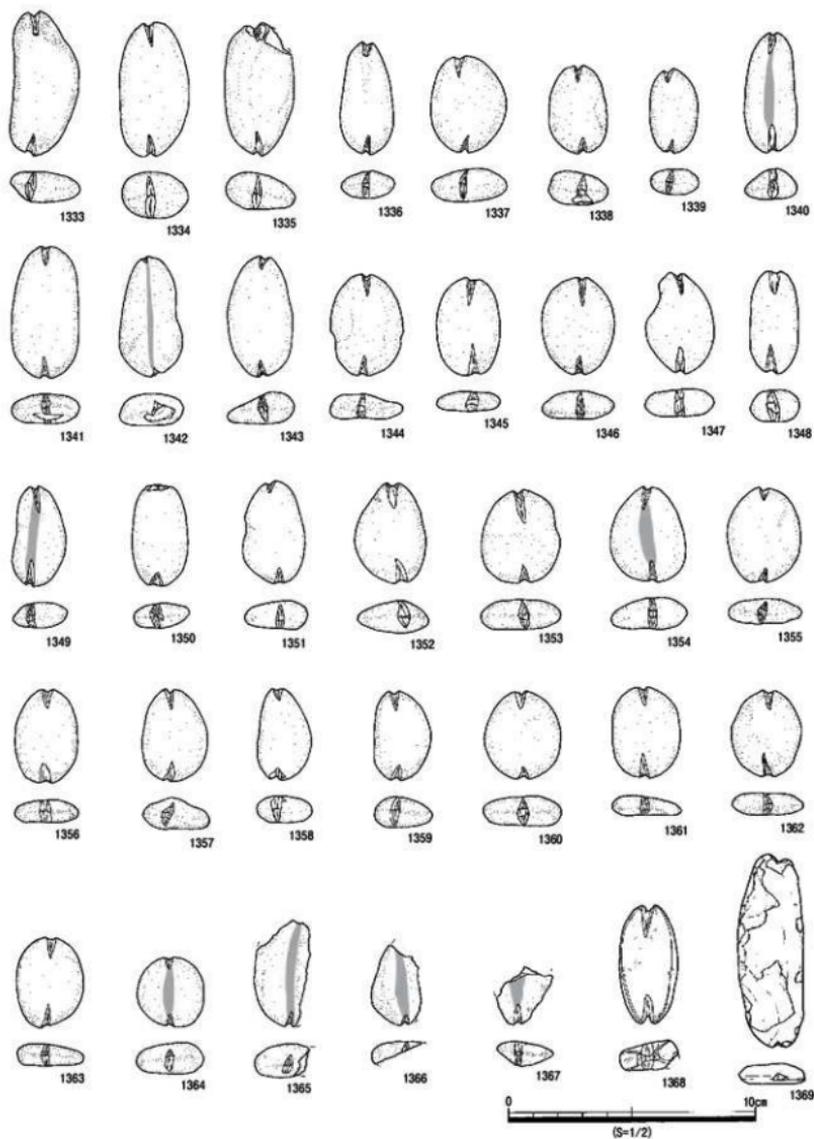
1329



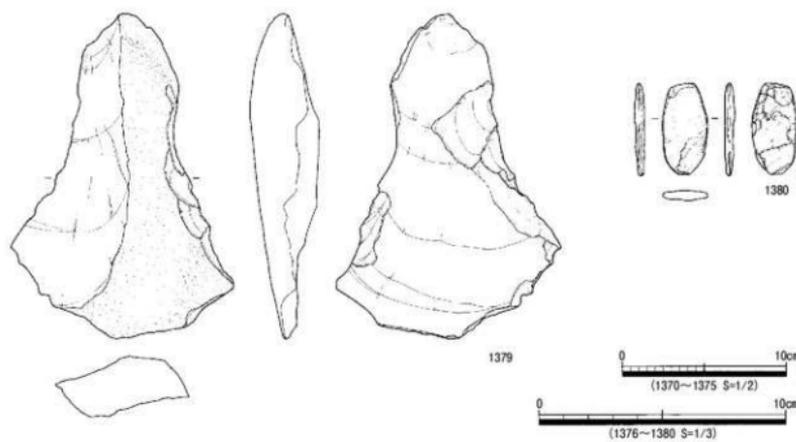
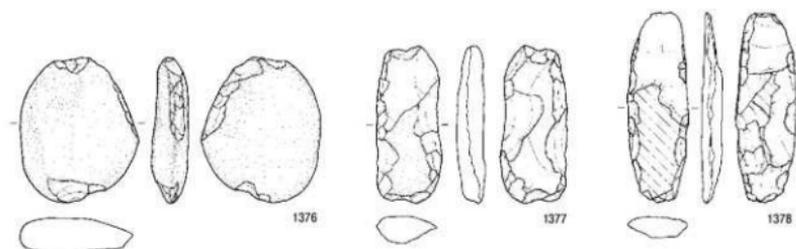
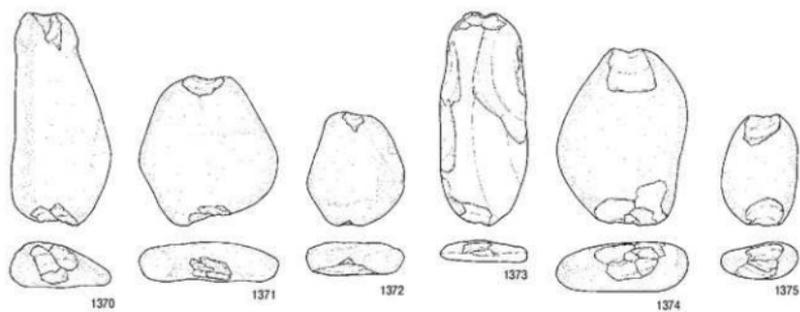
图版97 A·B区出土石器(14)



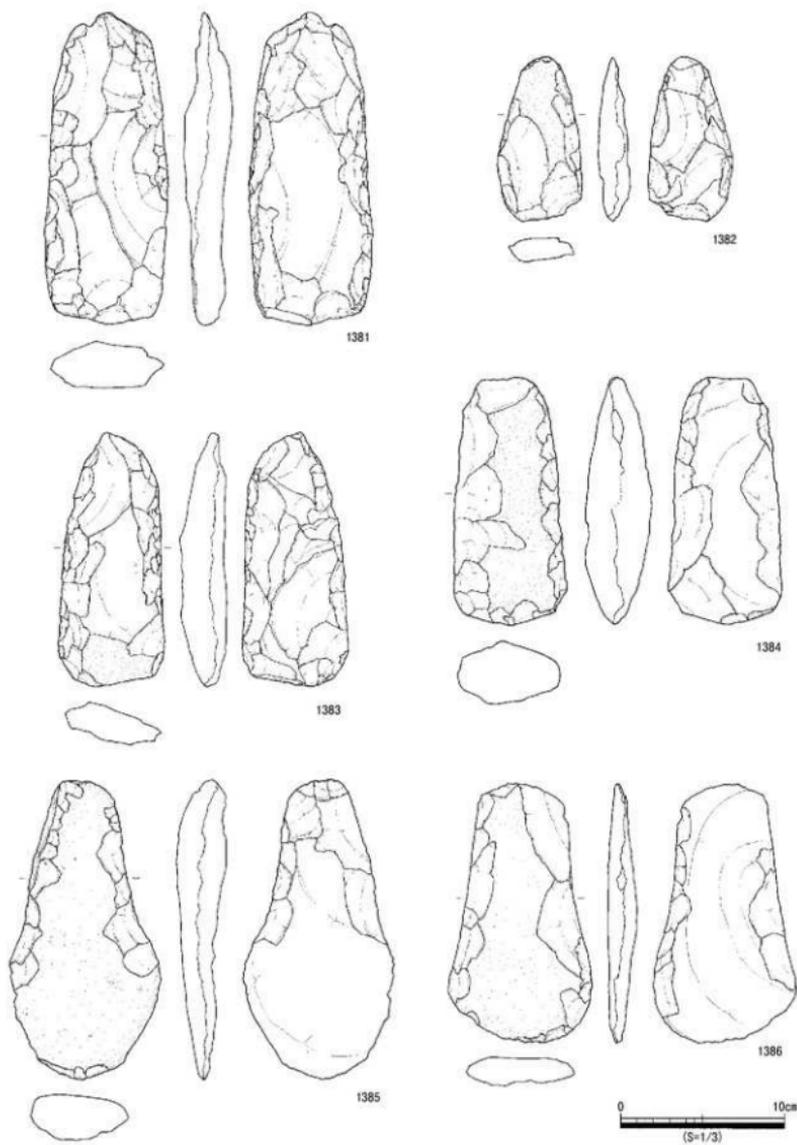
图版98 A·B区出土石器(15)



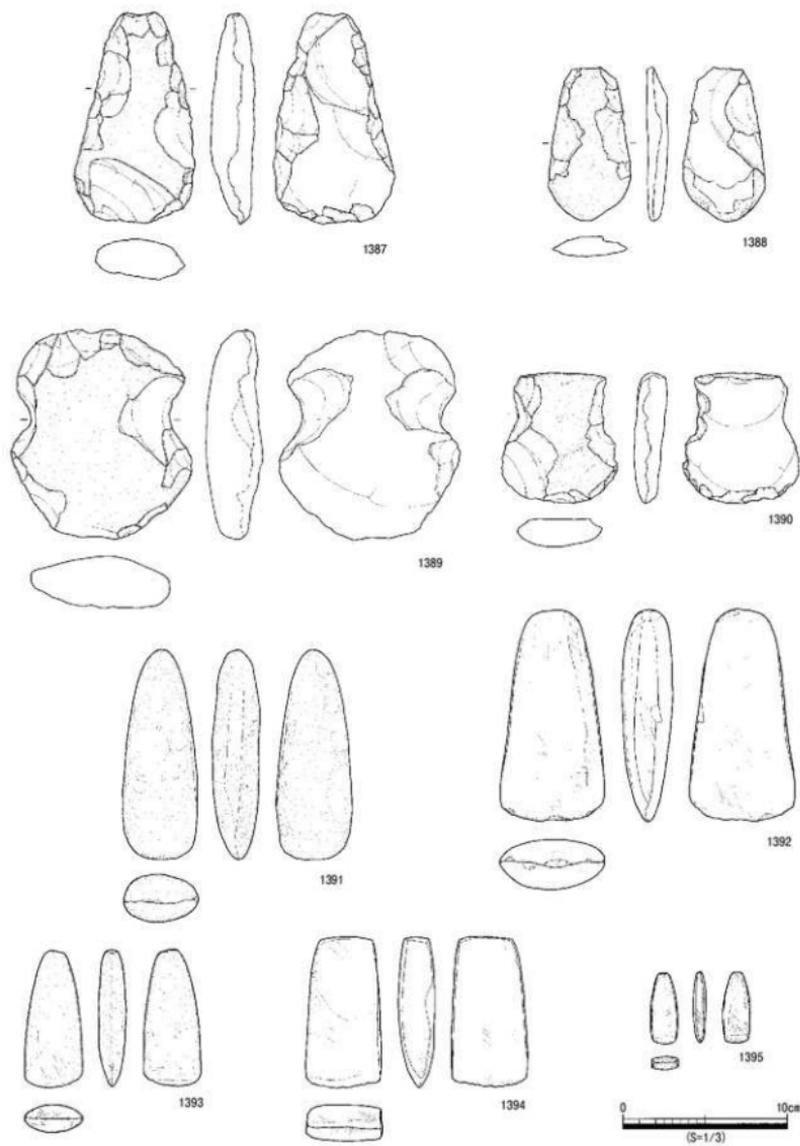
图版99 A·B区出土石器(16)



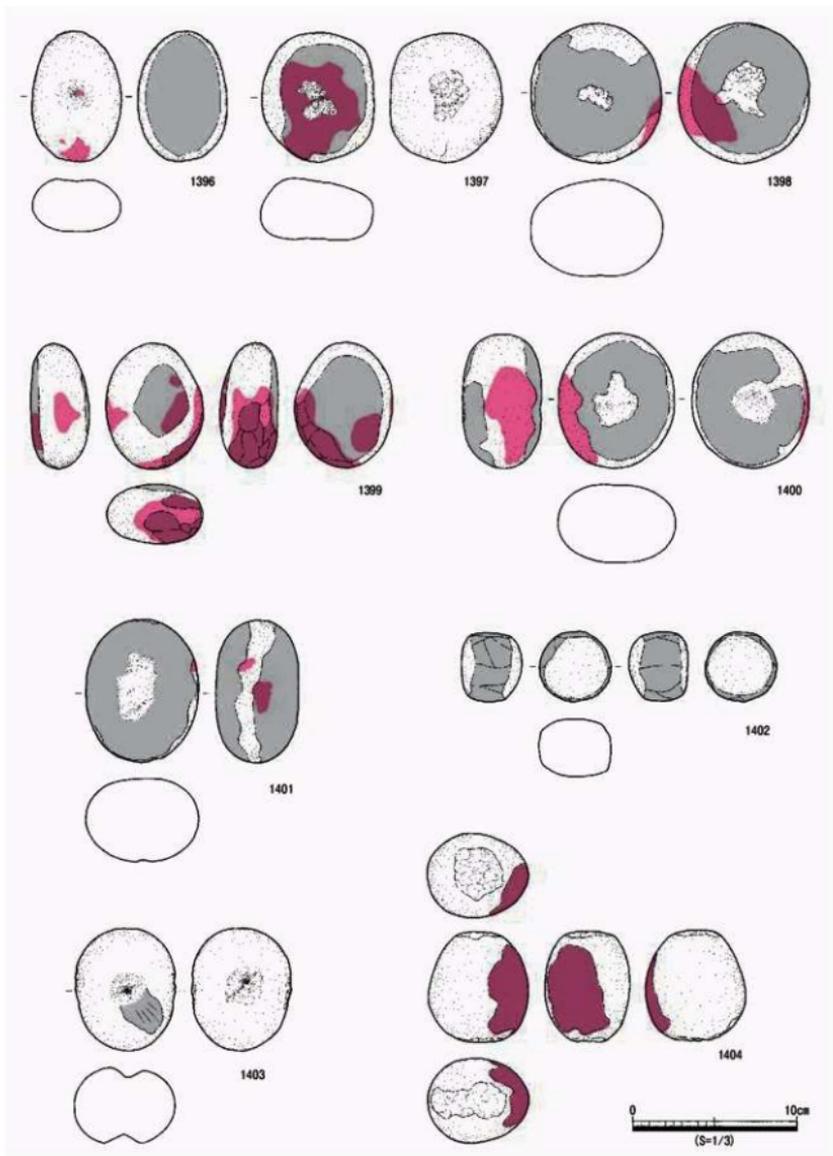
图版100 A·B区出土石器 (17)



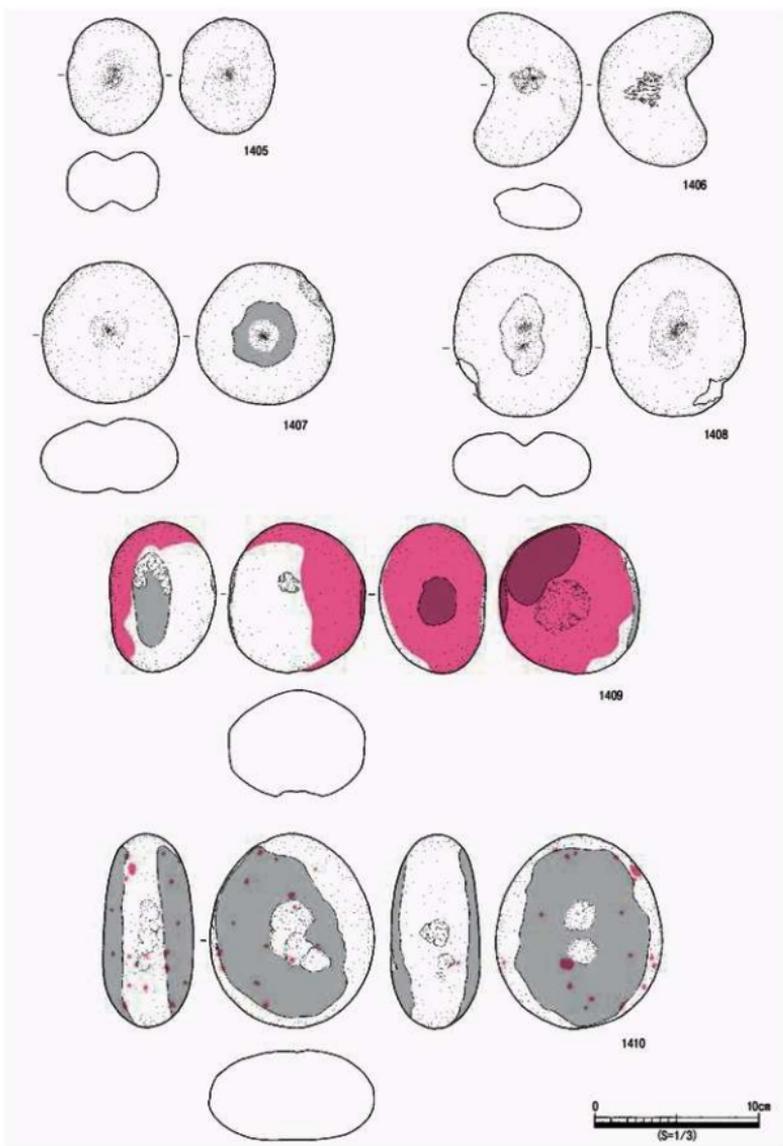
图版101 A·B区出土石器(18)



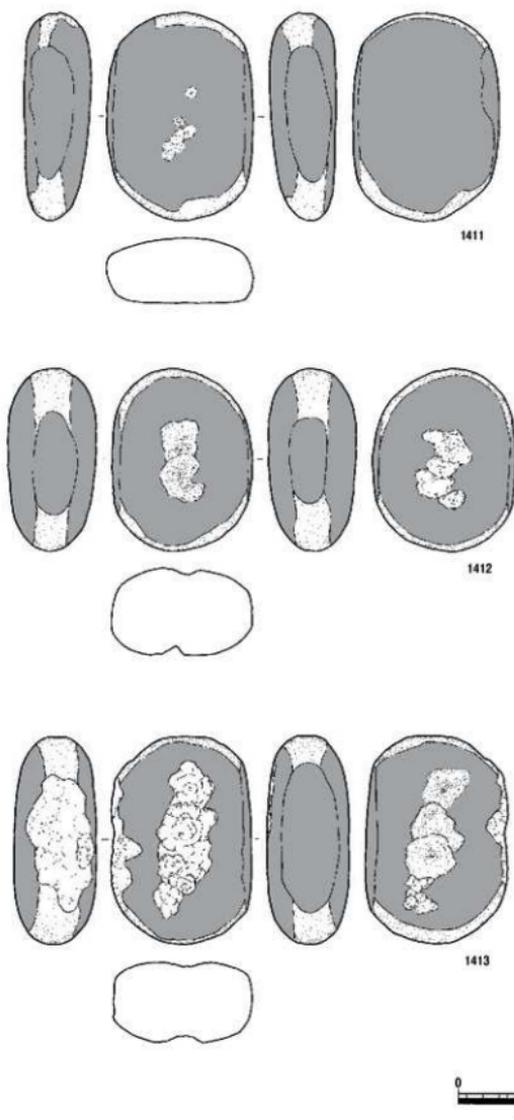
图版102 A·B区出土石器(19)



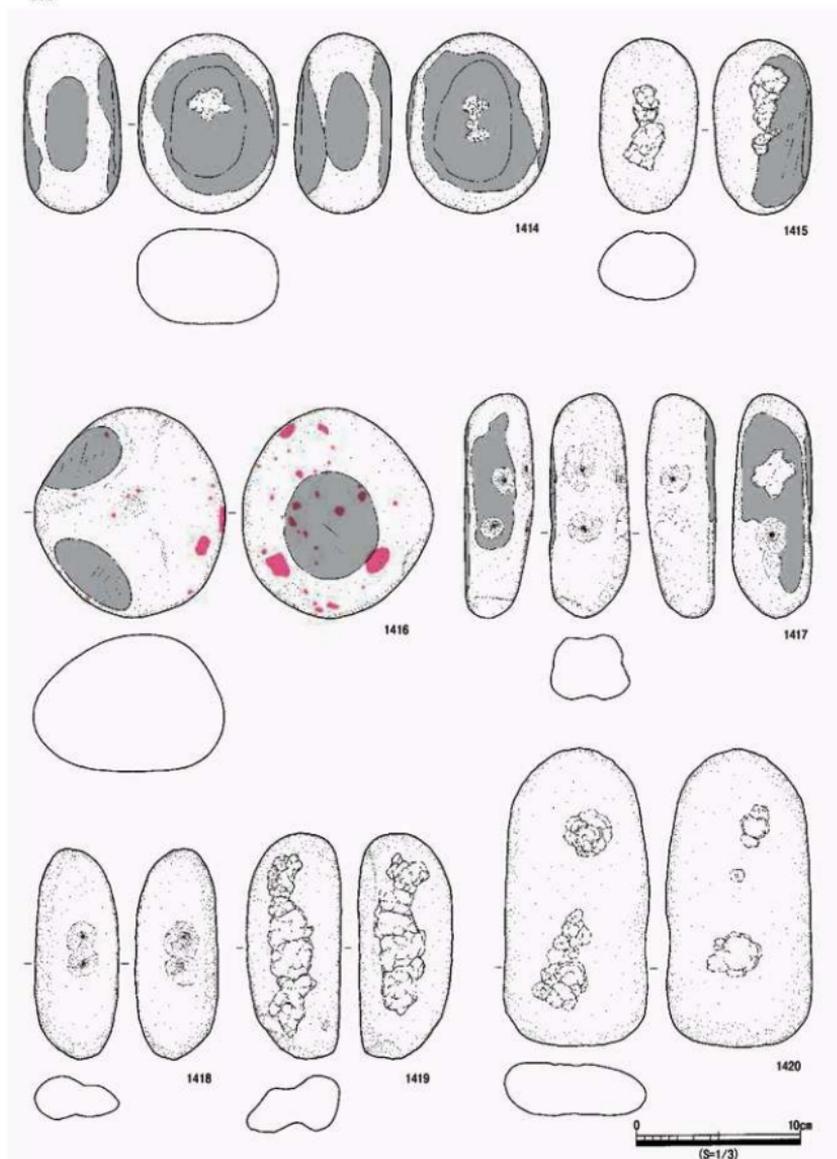
图版103 A·B区出土石器(20)



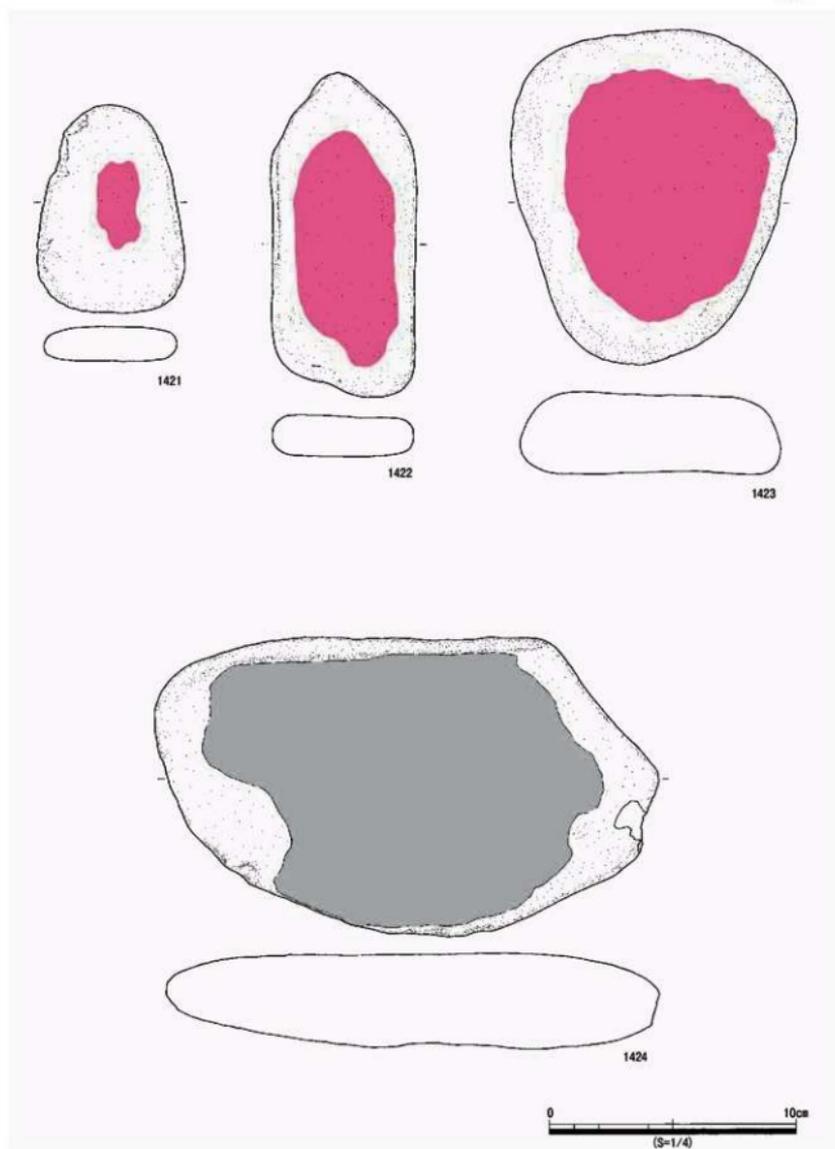
图版104 A·B区出土石器 (21)



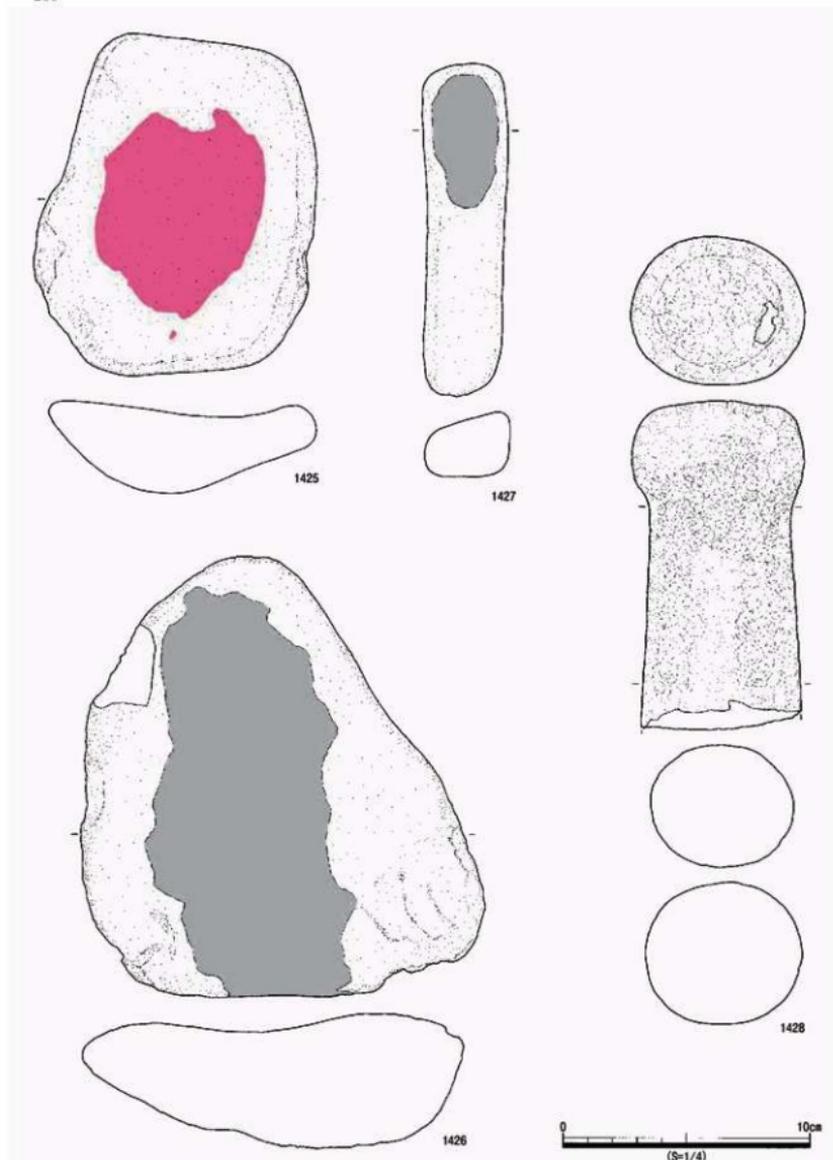
图版105 A·B区出土石器(22)



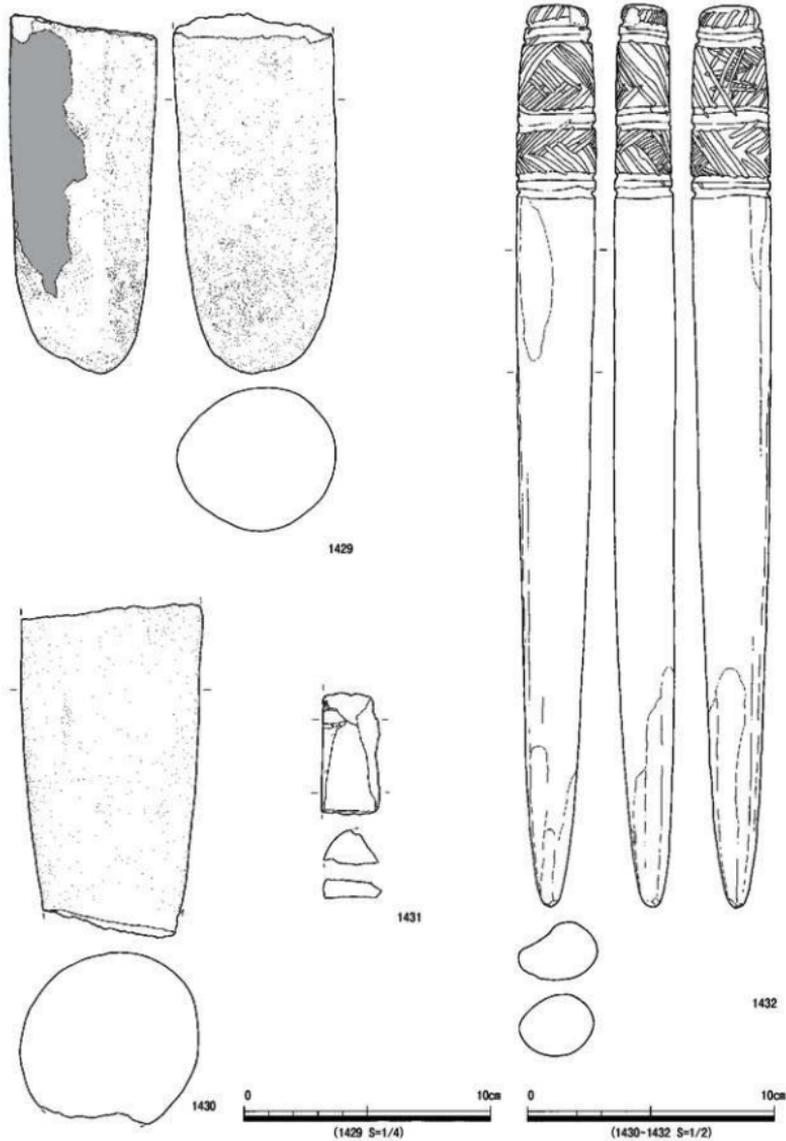
图版106 A·B区出土石器 (23)



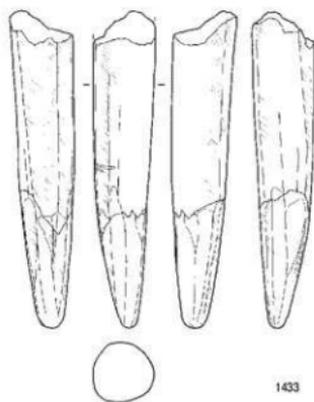
图版107 A·B区出土石器(24)



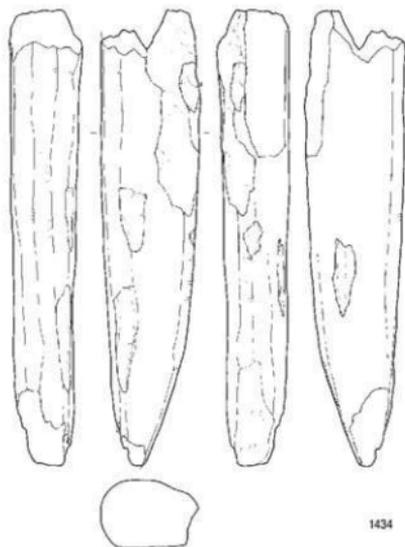
图版108 A·B区出土石器(25)



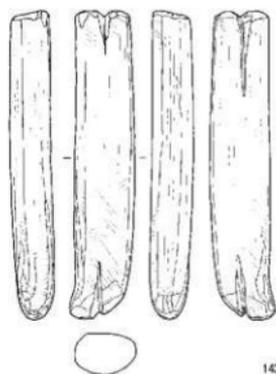
图版109 A·B区出土石器(26)



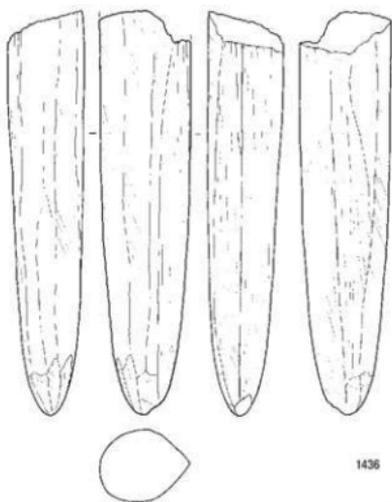
1433



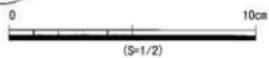
1434

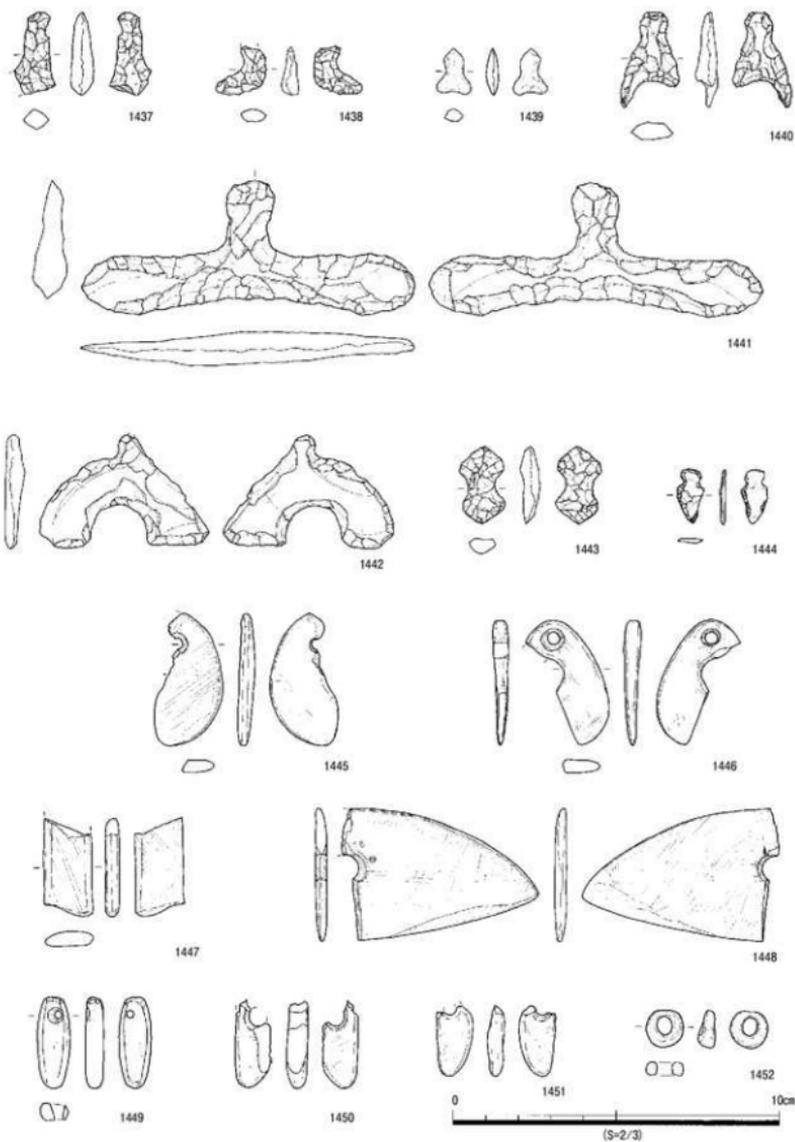


1435

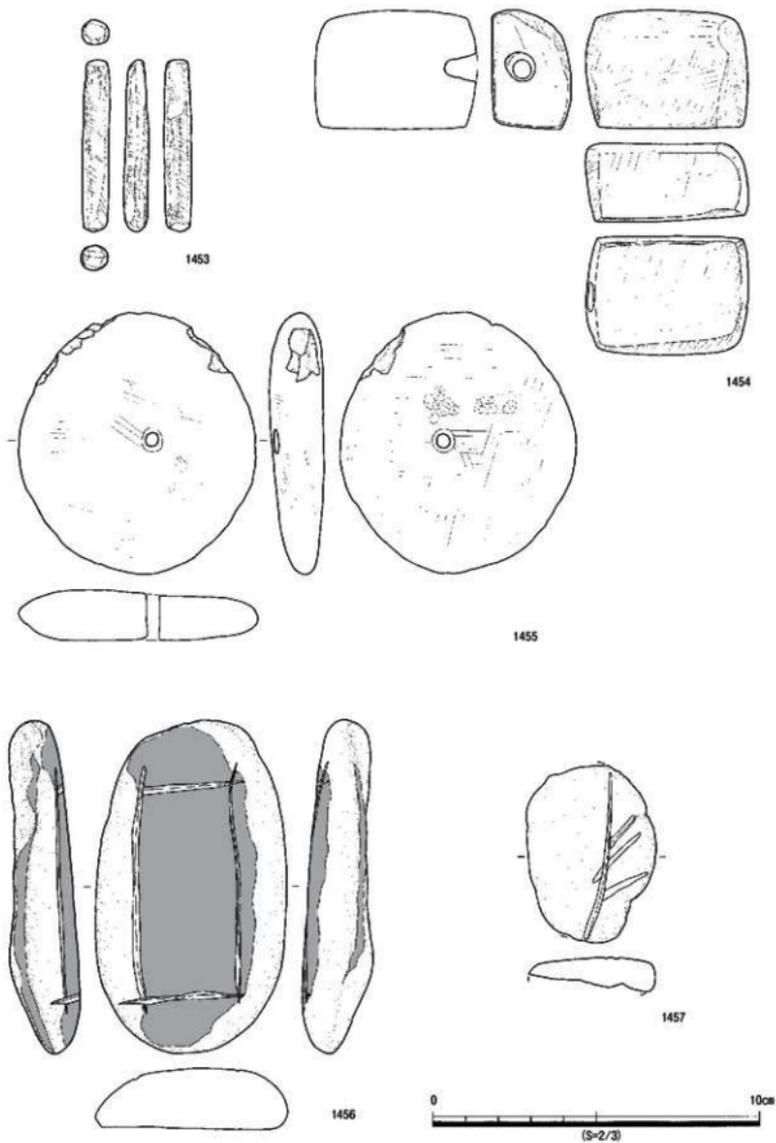


1436

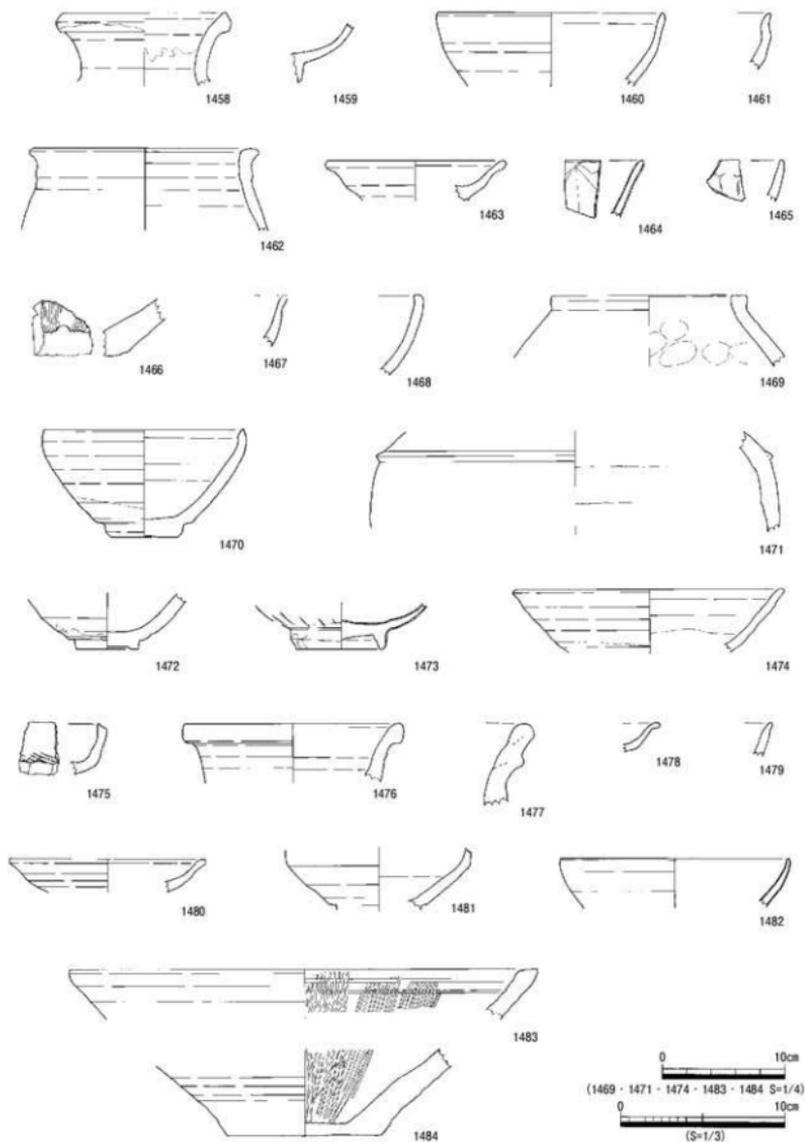




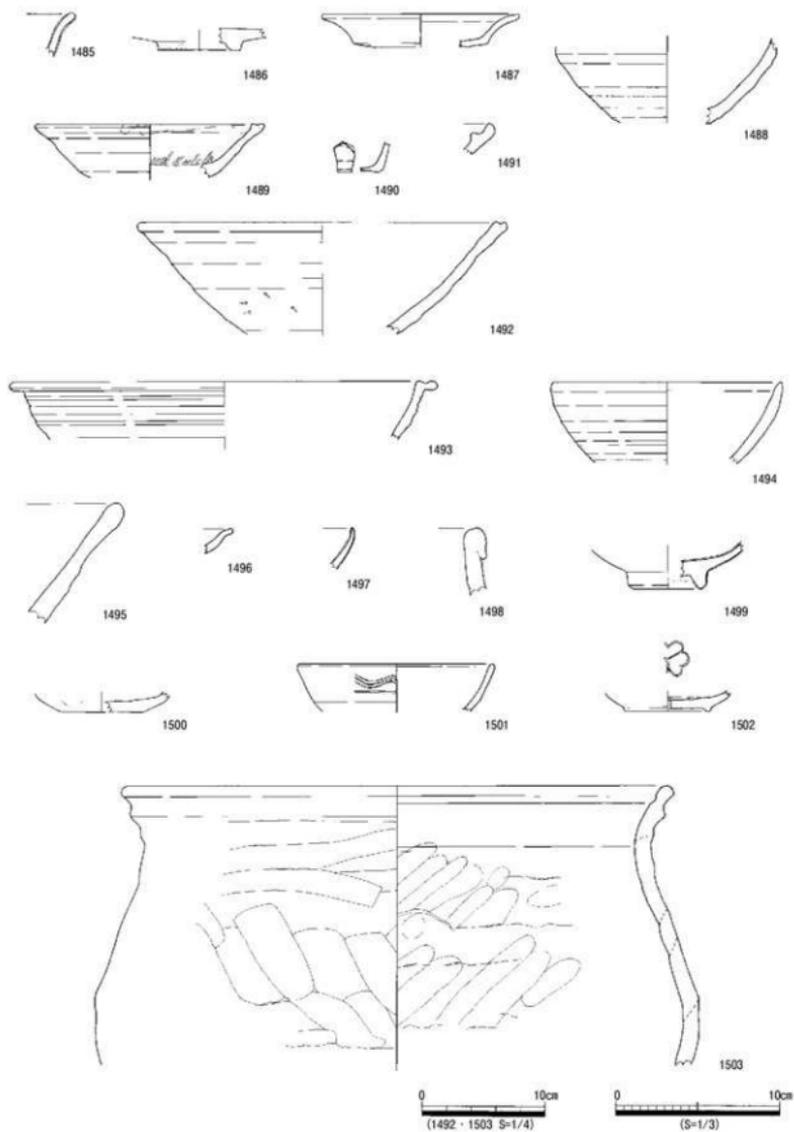
图版111 A·B区出土石器(28)



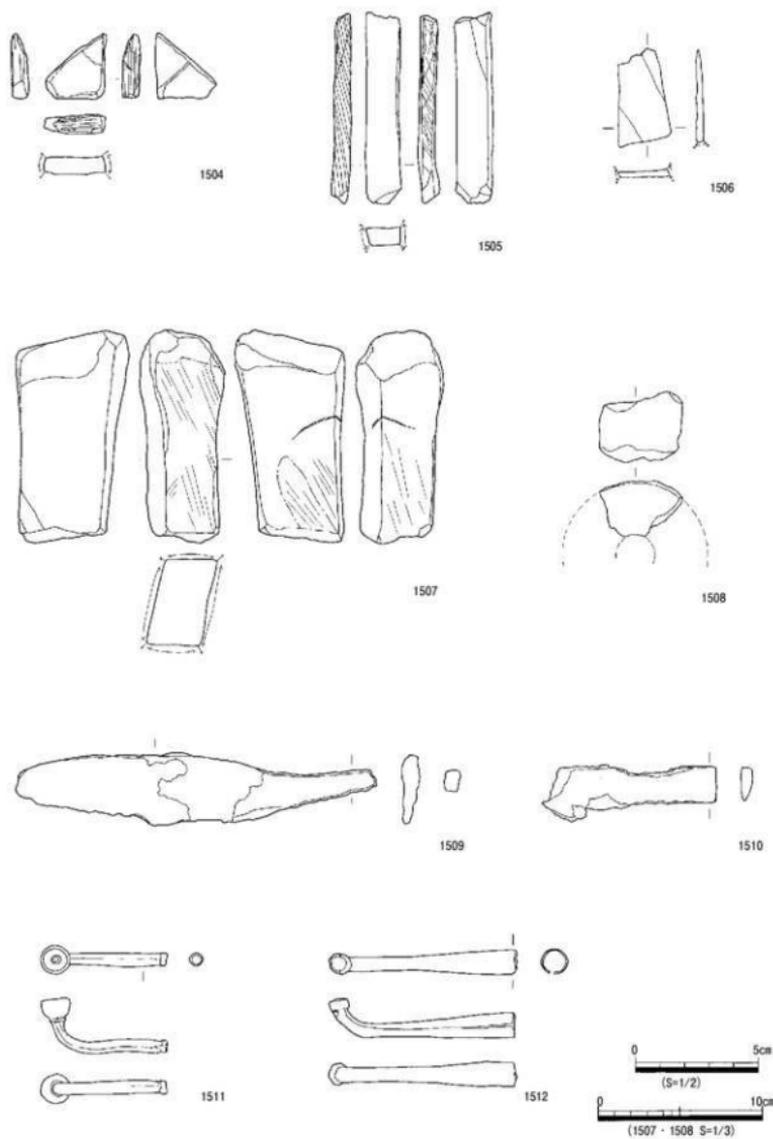
图版112 A·B区出土石器 (29)



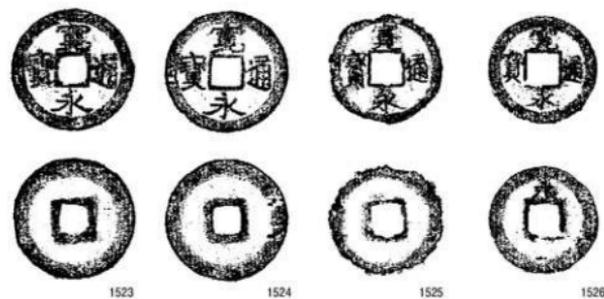
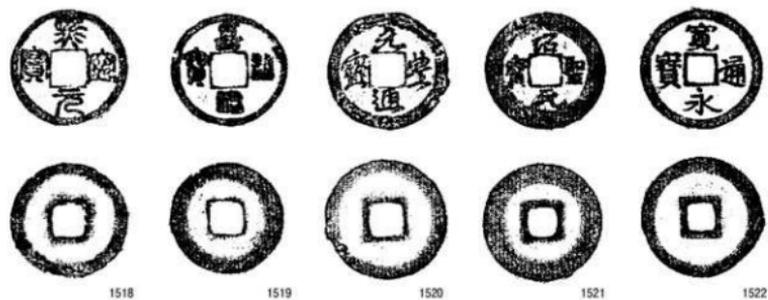
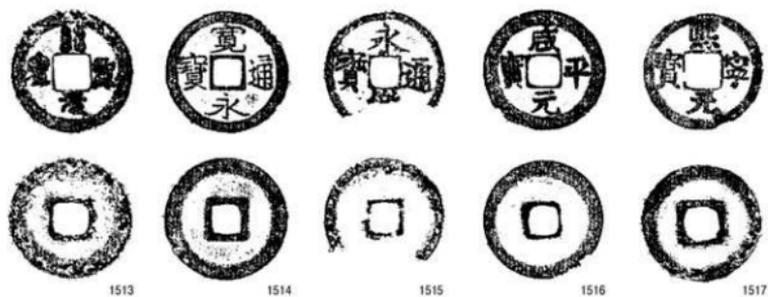
图版113 C区道溝出土中近世陶磁器(1)



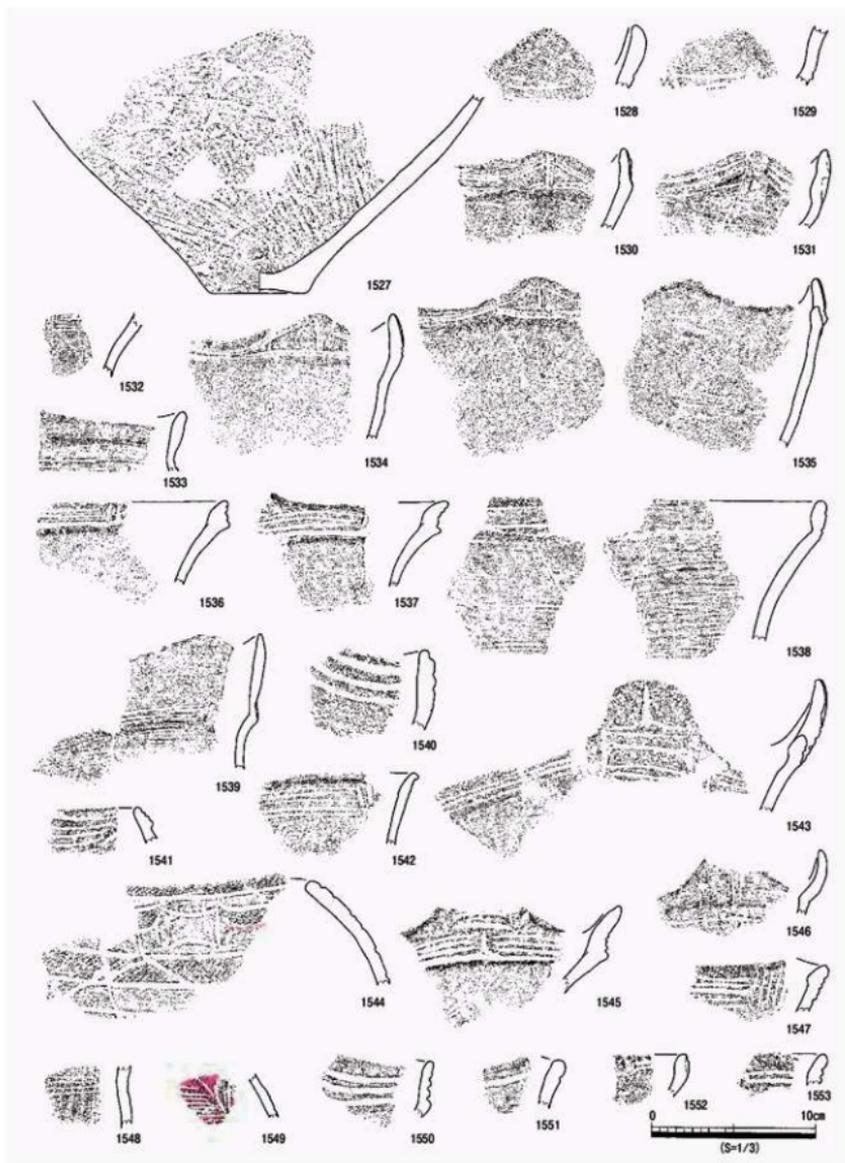
图版114 C区出土中近世陶磁器(2)



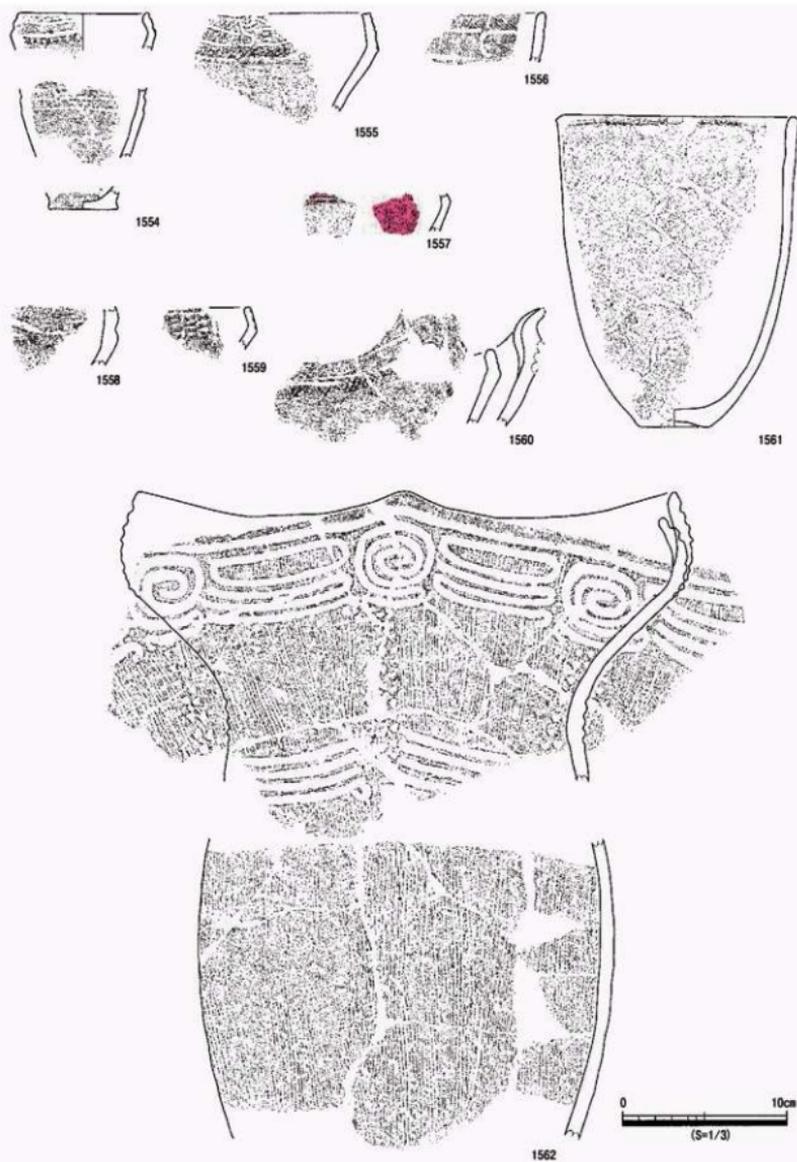
图版 115 C区出土石製品・金属製品・鍬冶関連遺物



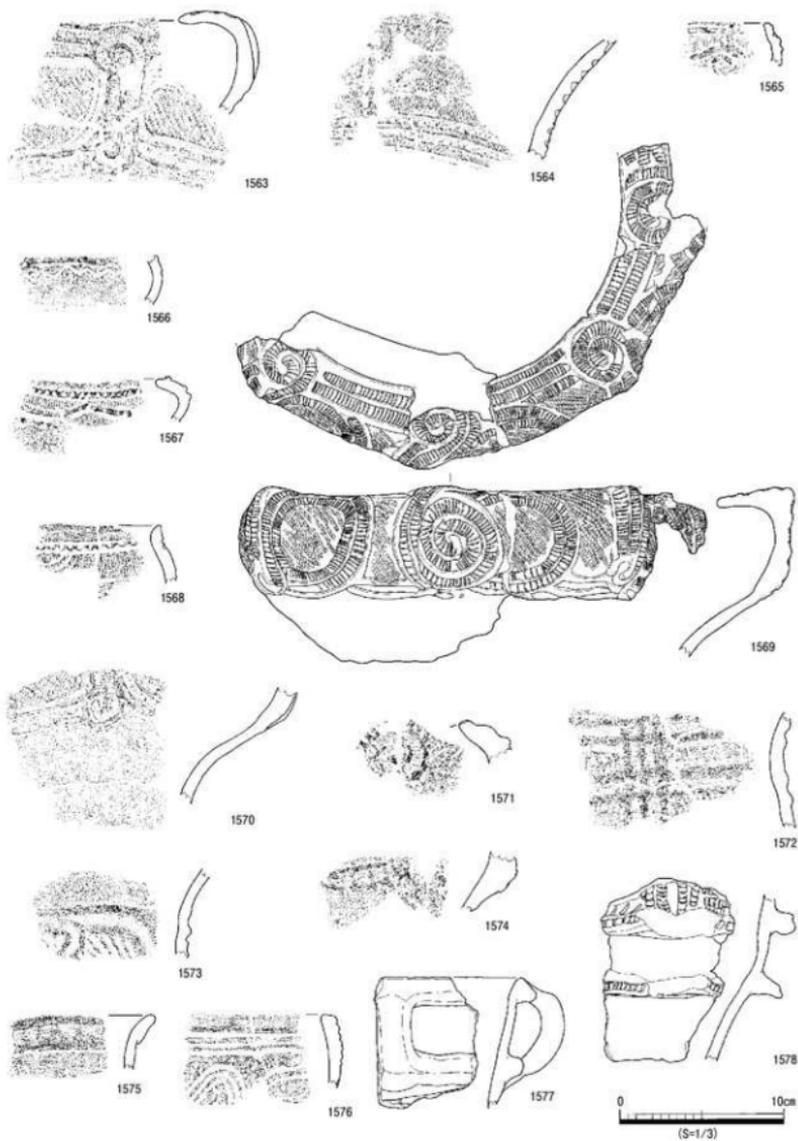
图版116 C区出土钱货



图版117 C区出土绳文土器(1)



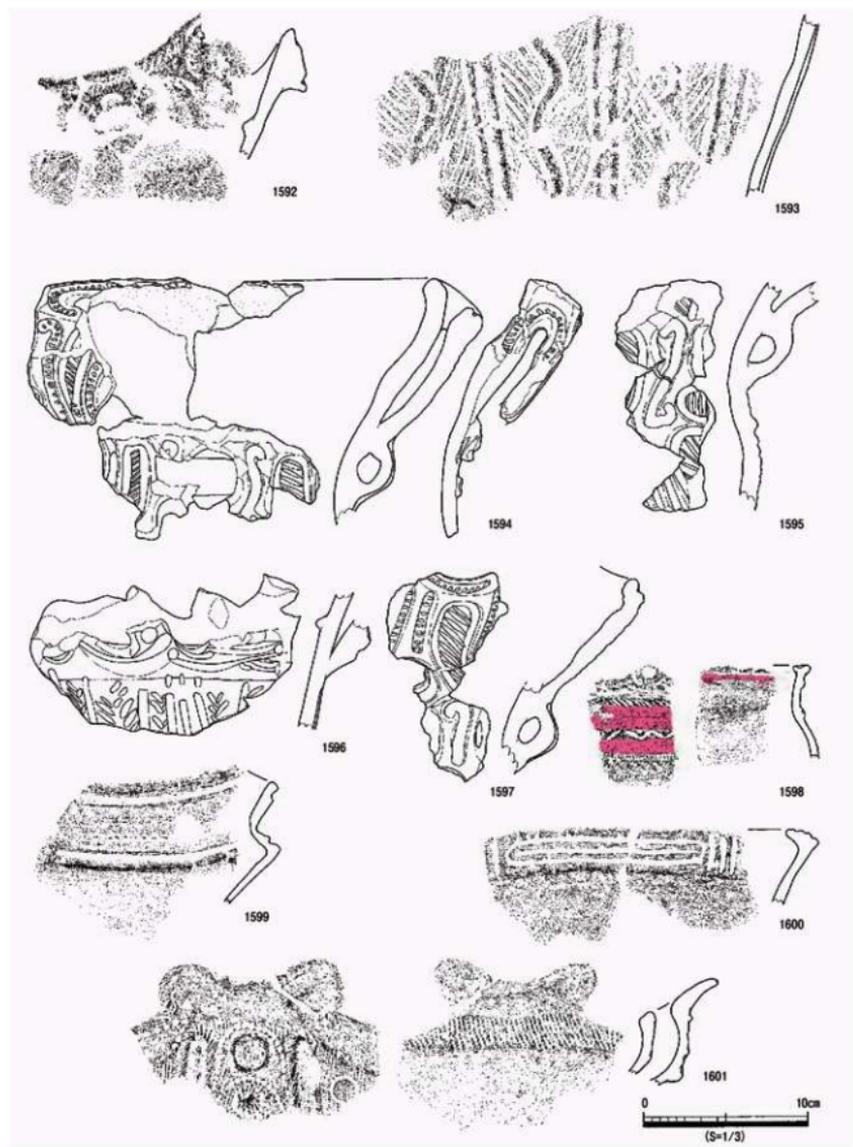
图版118 C区出土绳文土器(2)



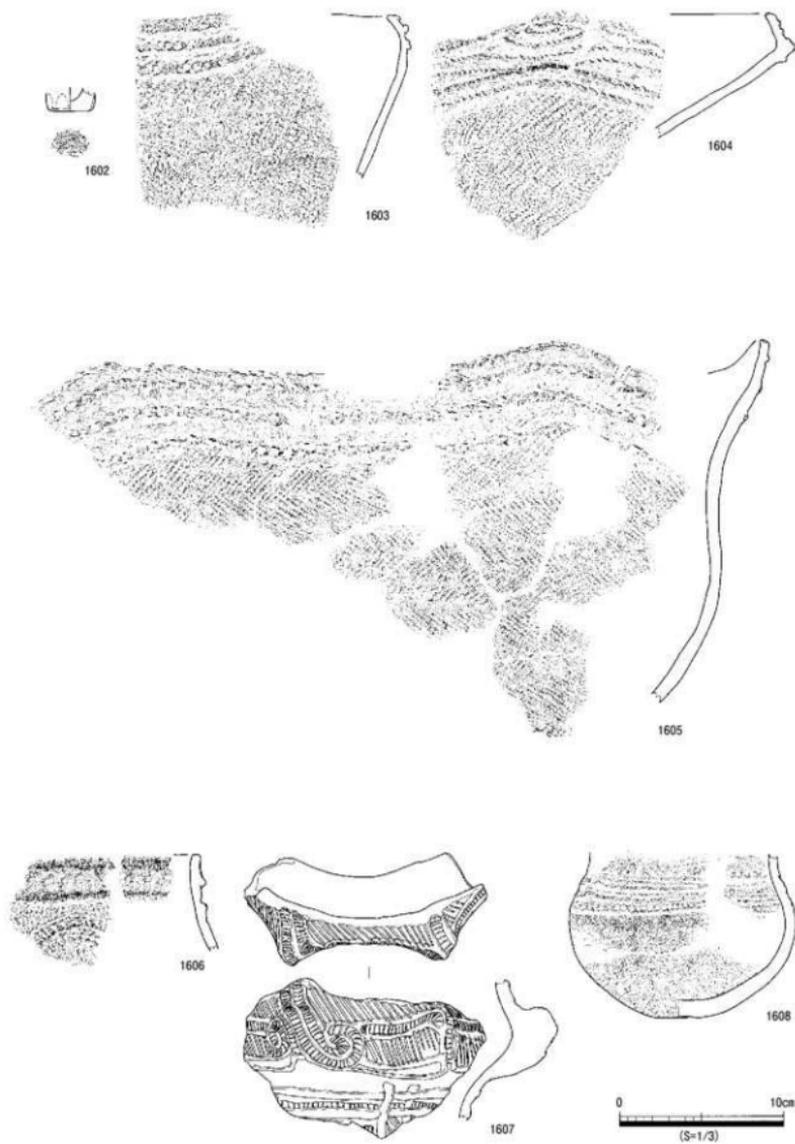
图版119 C区出土铜文器(3)



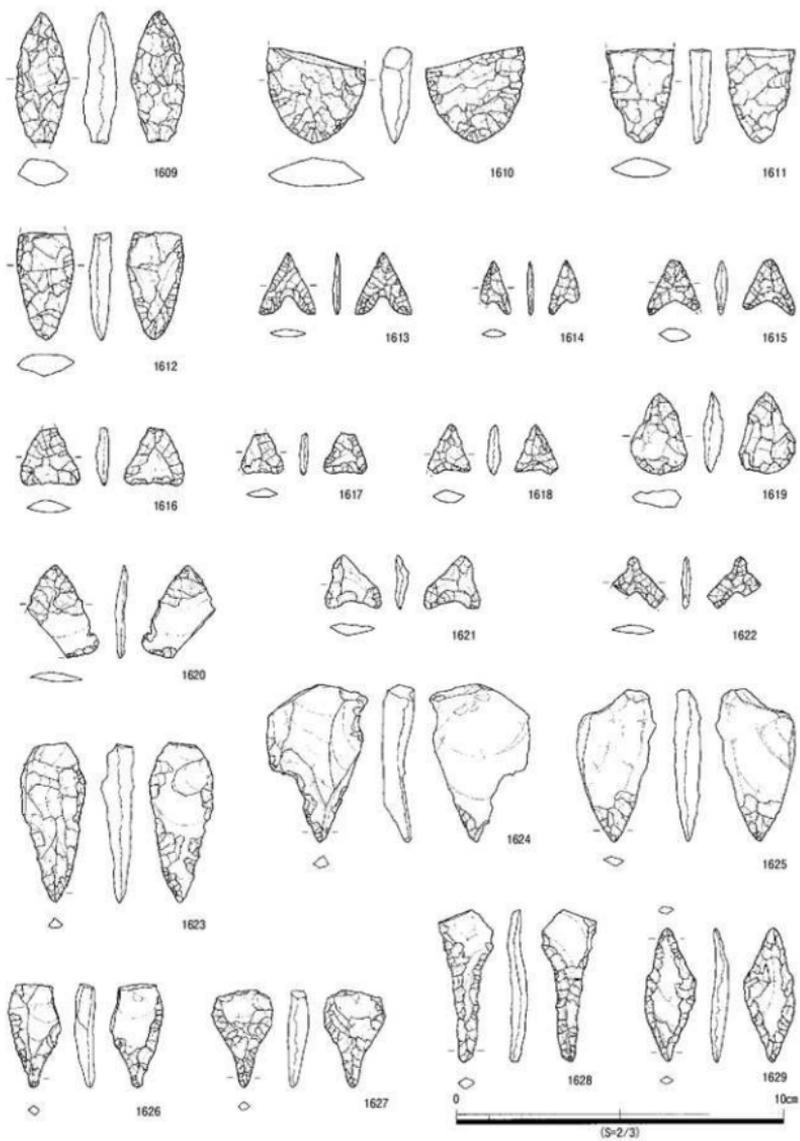
图版120 C区出土绳文土器(4)



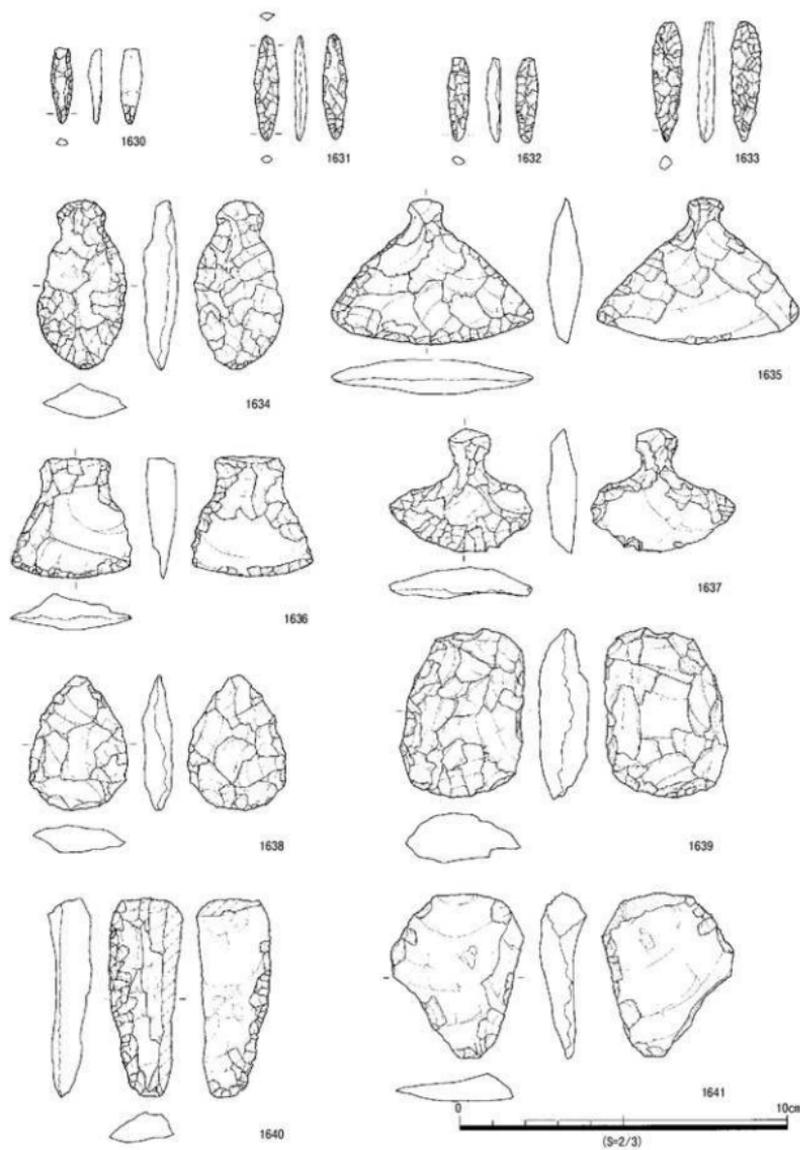
图版121 C区出土绳文土器(5)



图版122 C区出土绳文土器(6)



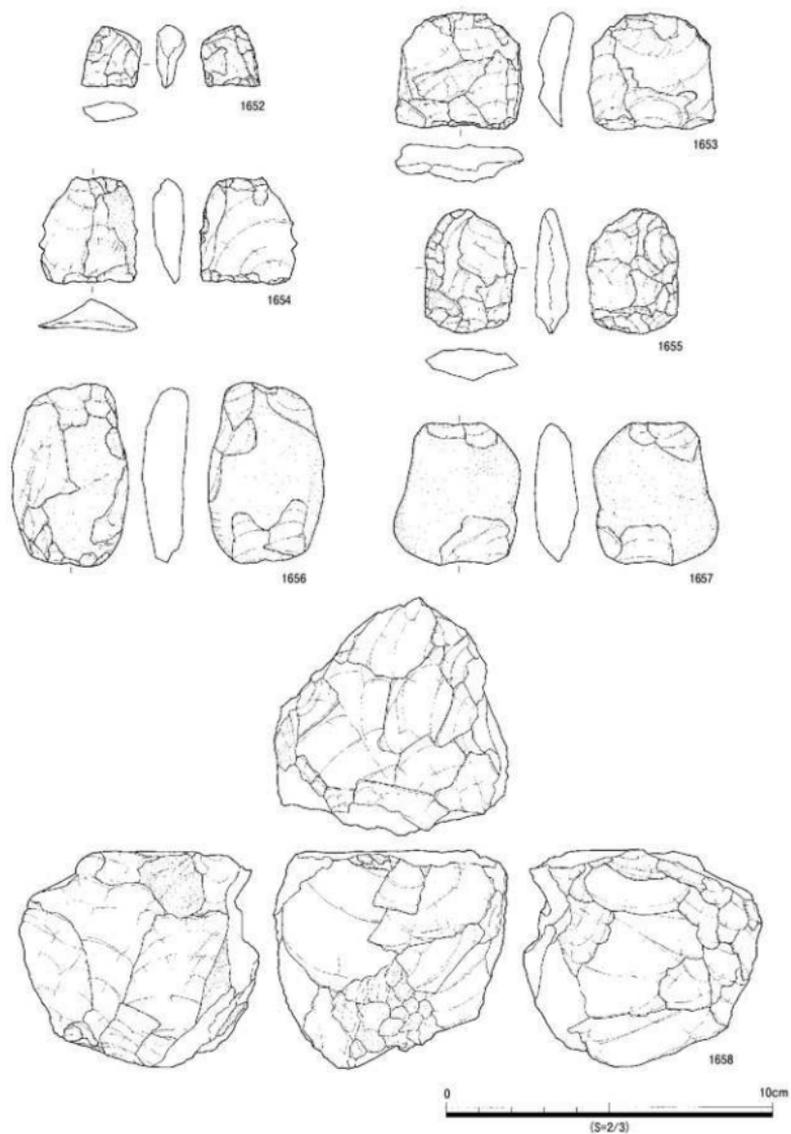
图版123 C区出土石器(1)



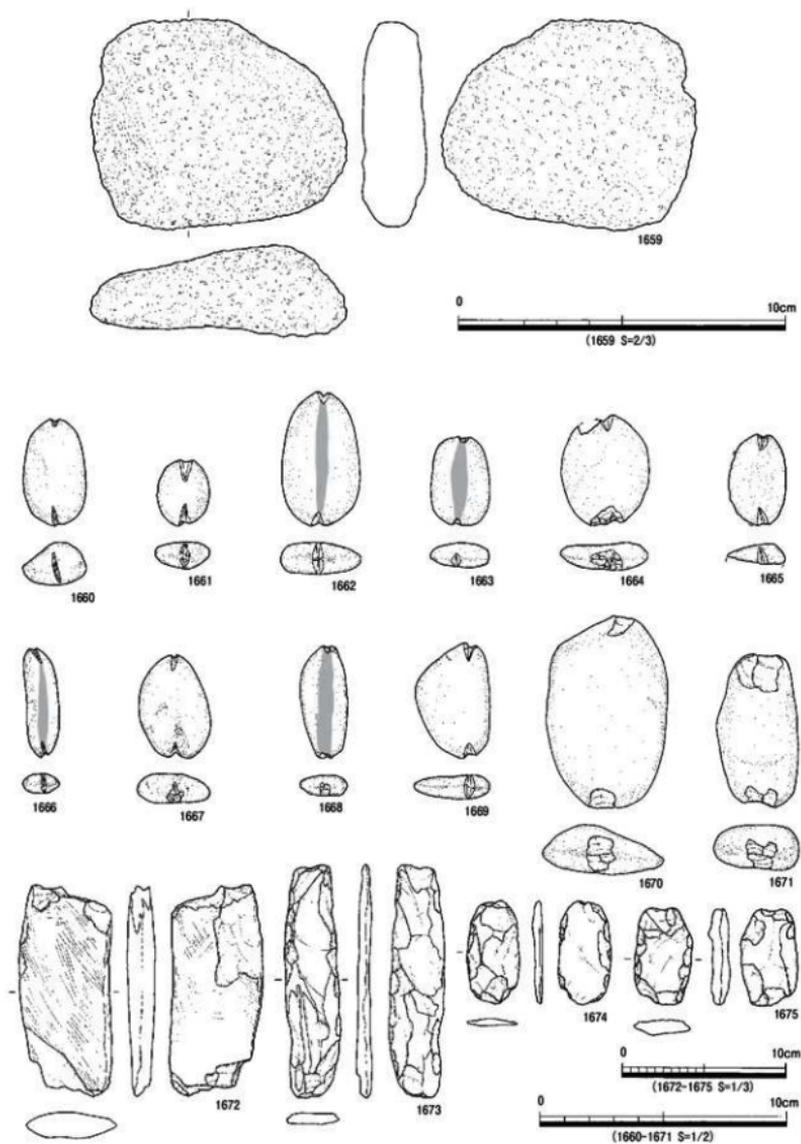
图版124 C区出土石器(2)



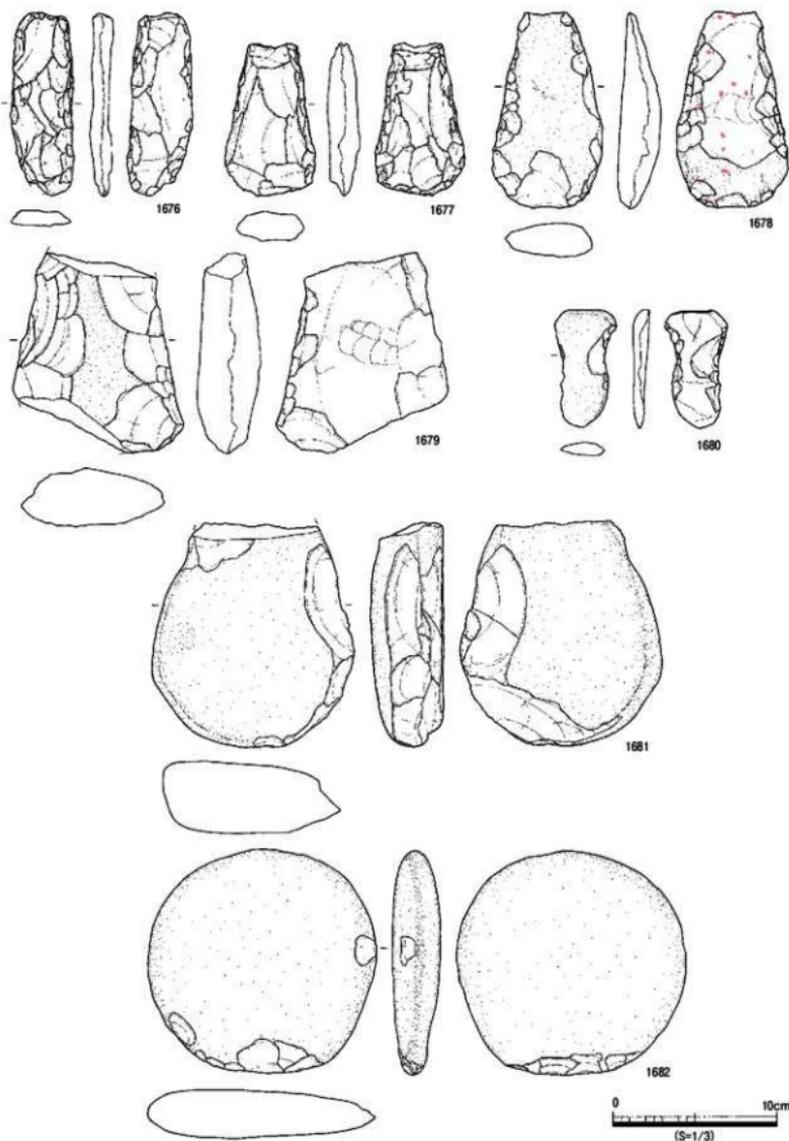
图版125 C区出土石器(3)



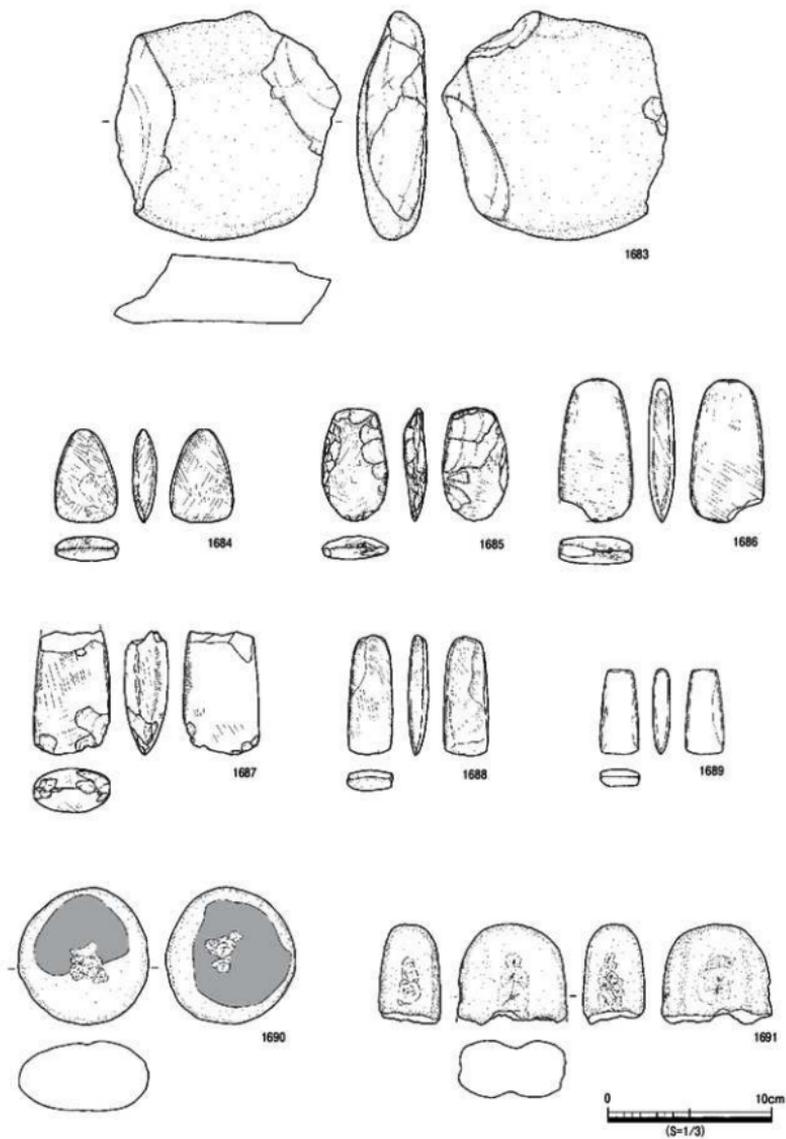
图版126 C区出土石器(4)



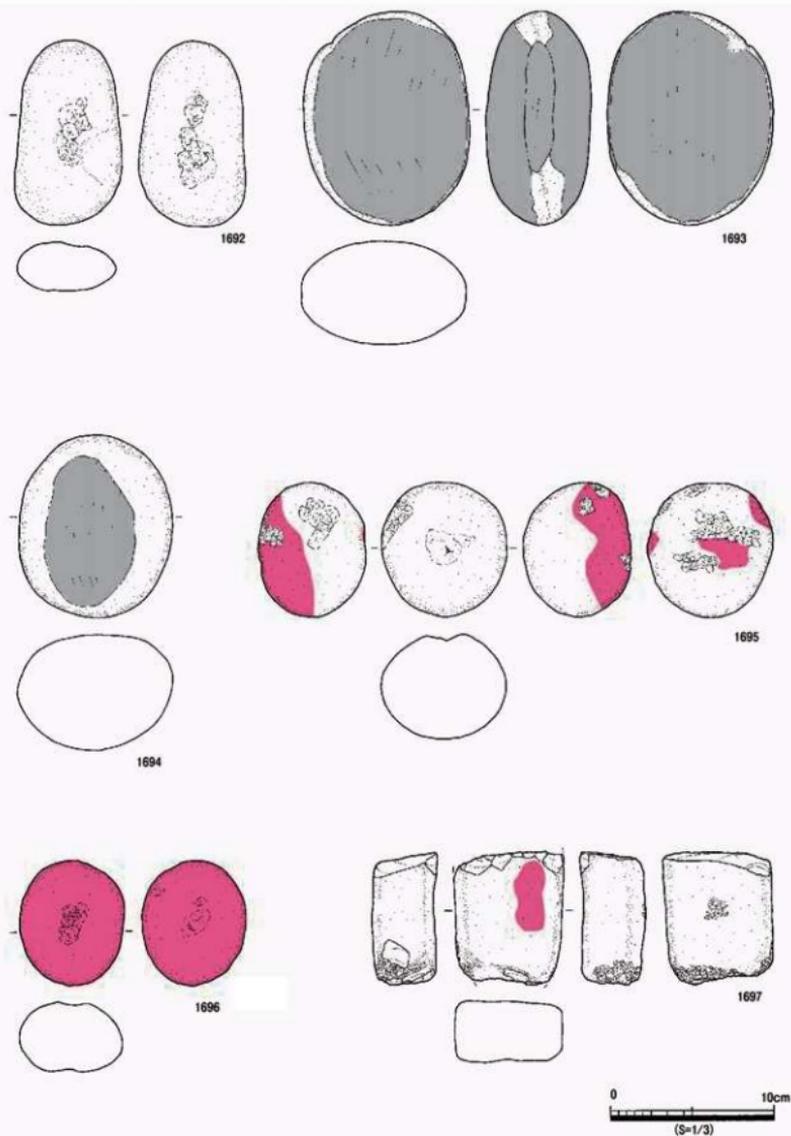
图版127 C区出土石器(5)



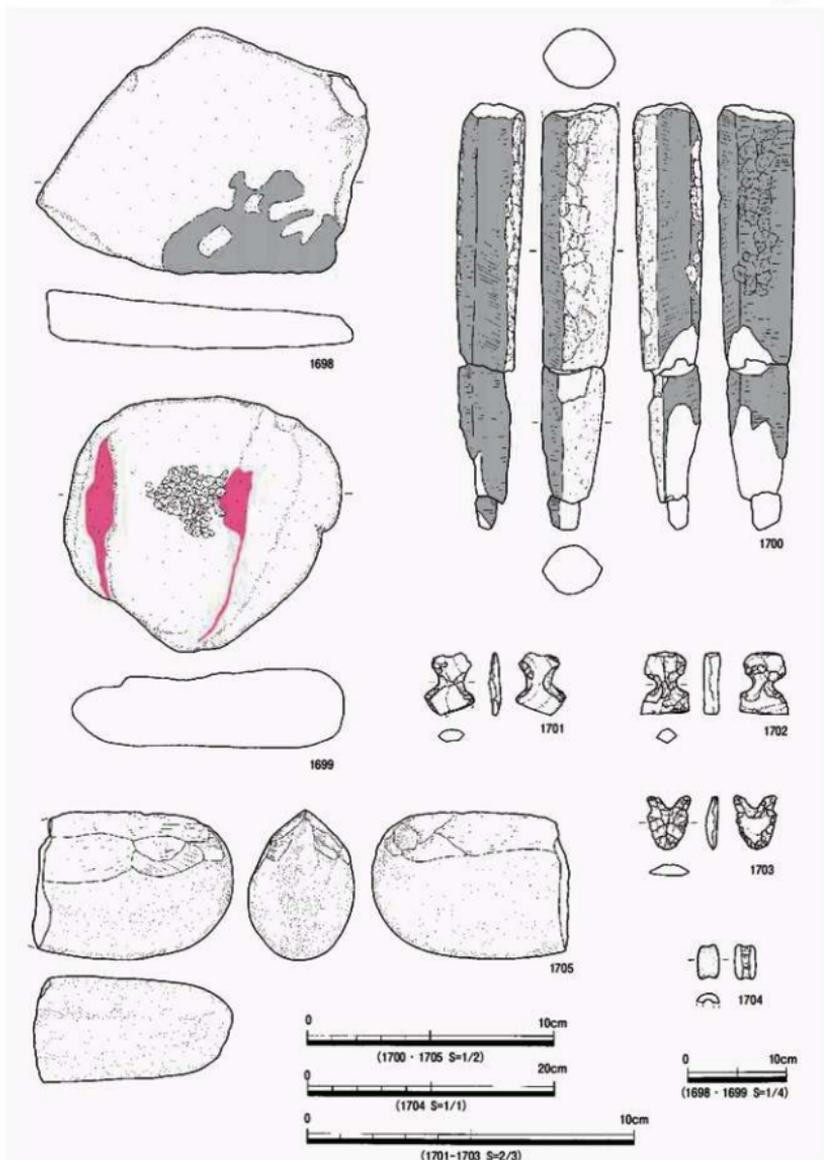
图版128 C区出土石器(6)



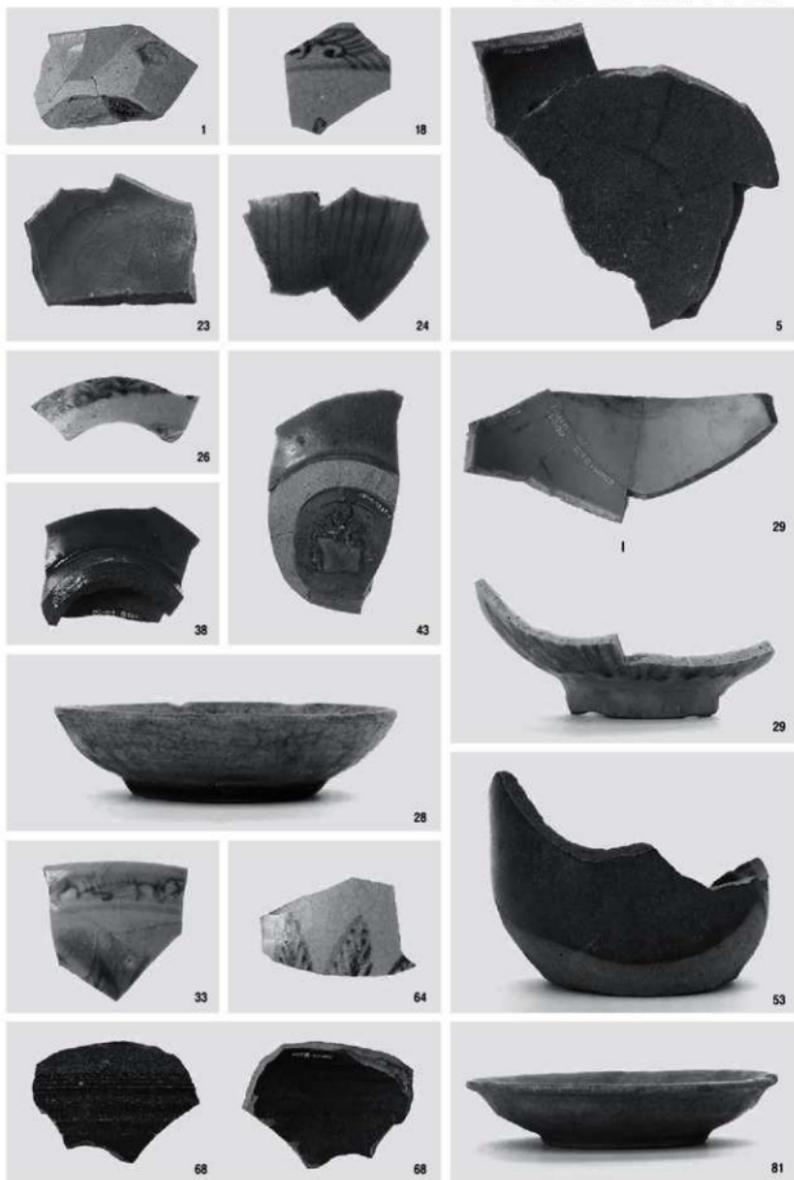
图版129 C区出土石器(7)



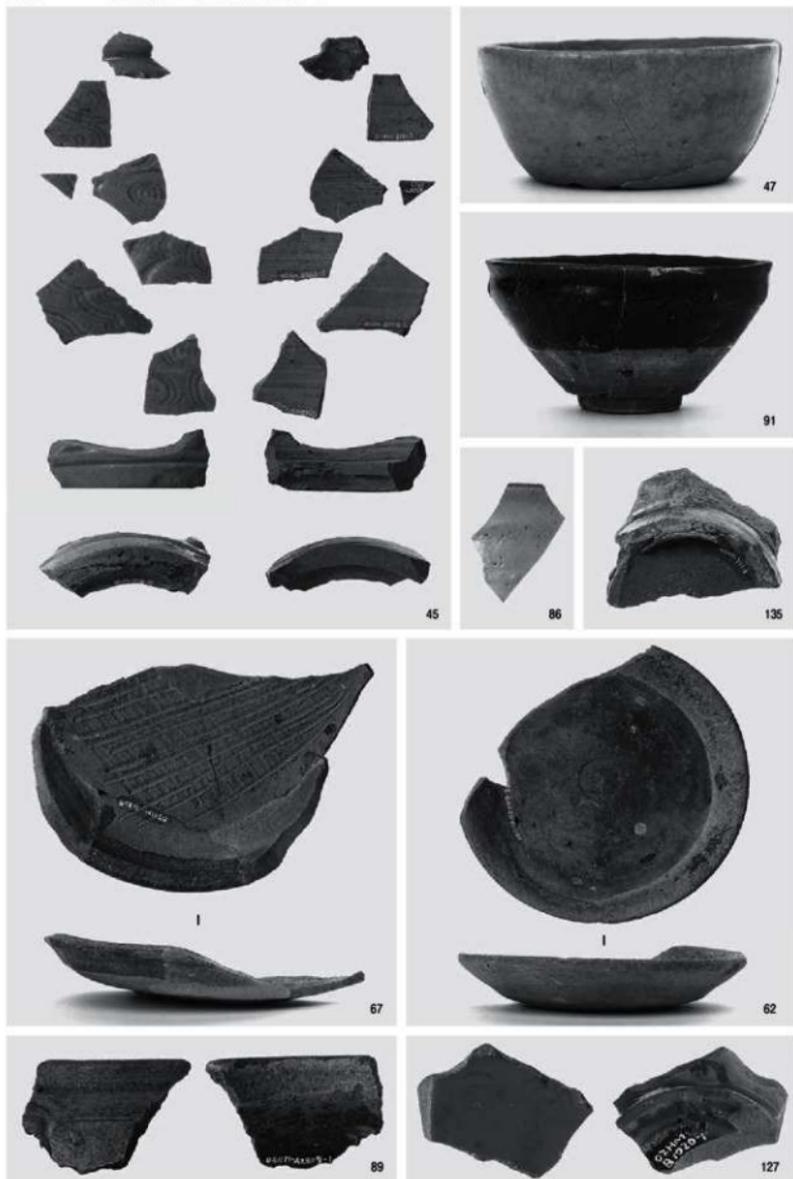
图版130 C区出土石器(8)



图版131 C区出土石器(9)

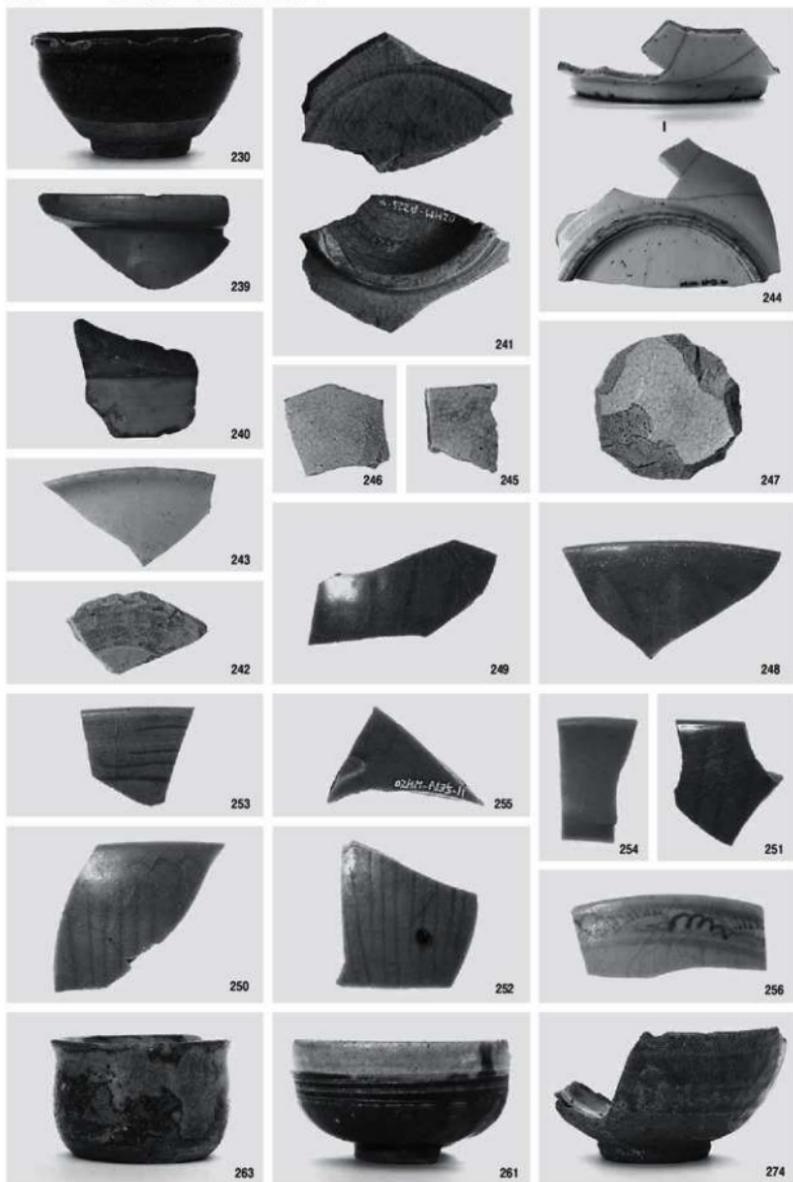


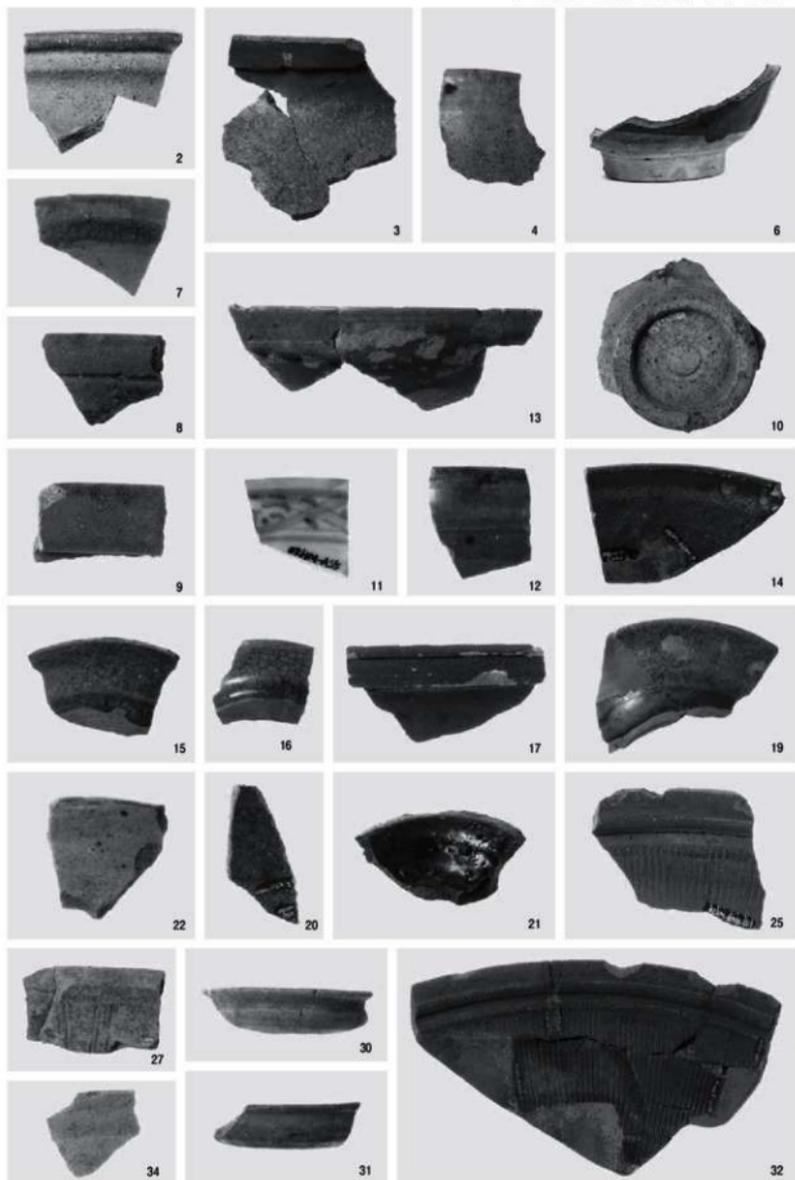
图版 2 A·B 区遗精出土中近世陶磁器 (2)



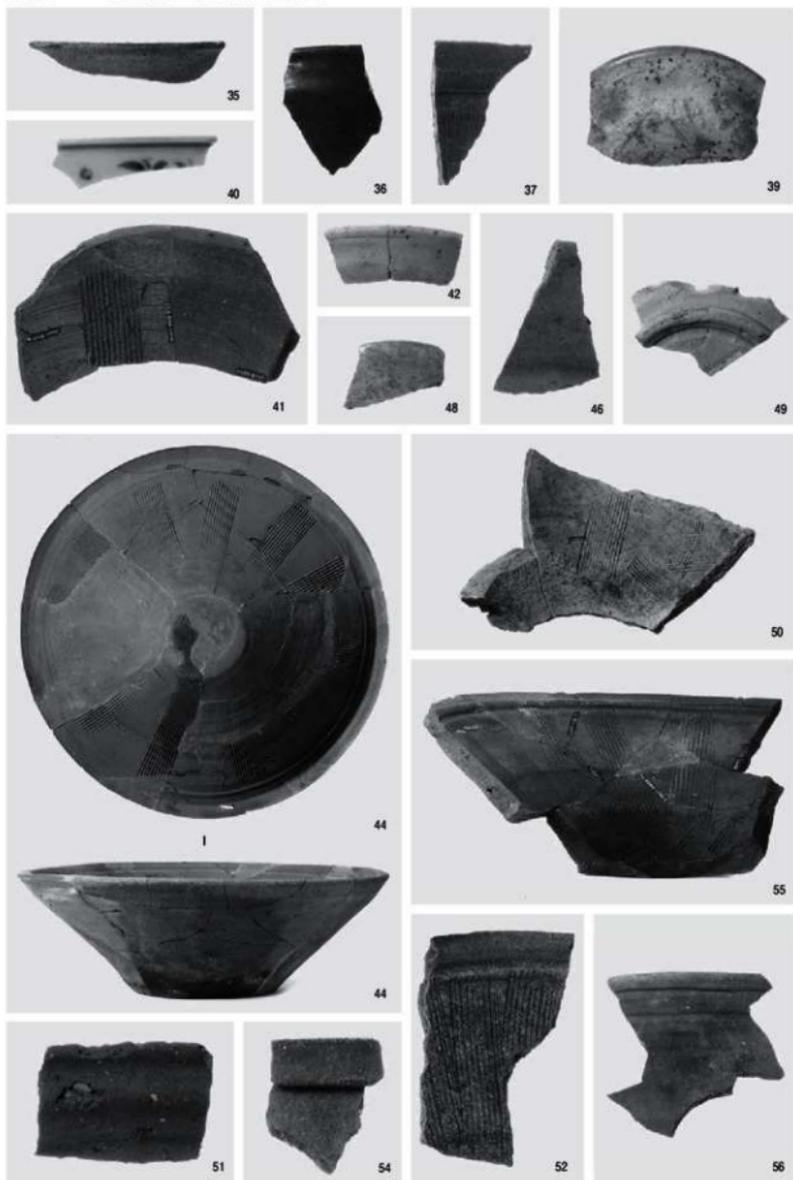


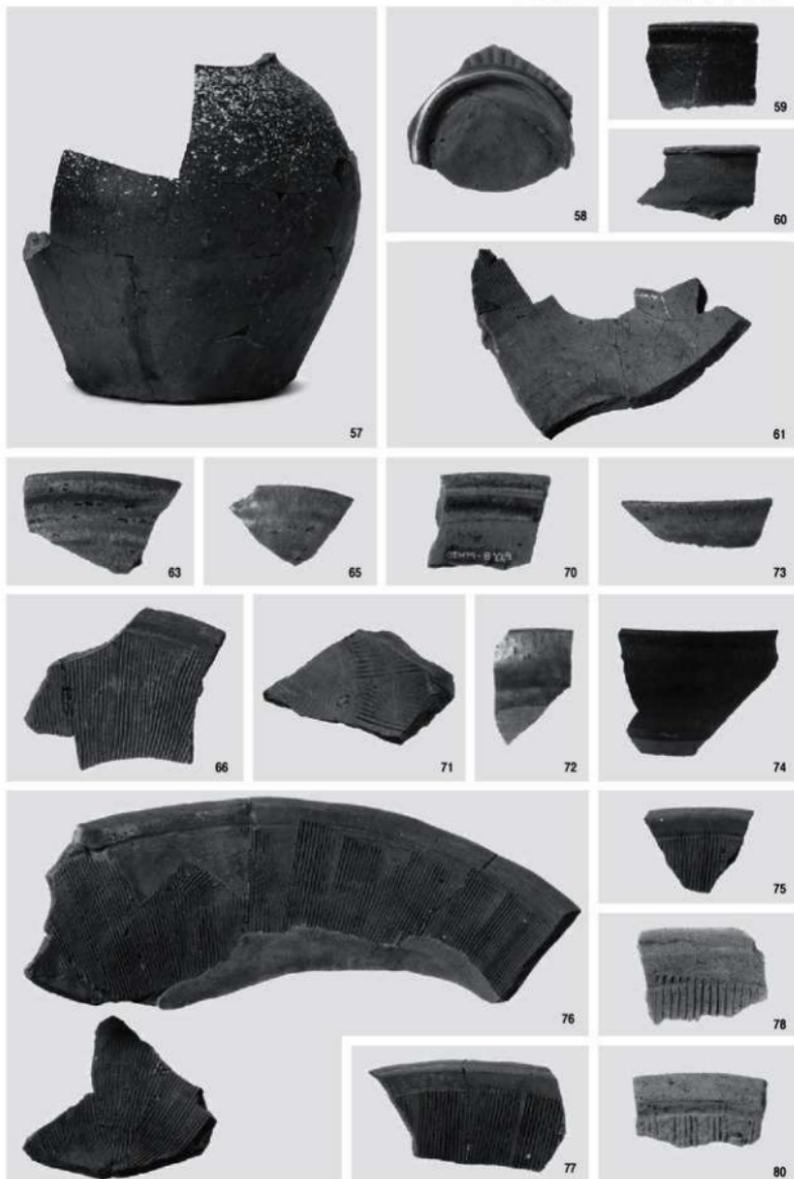
图版 4 A·B 区遗址出土中近世陶磁器 (4)



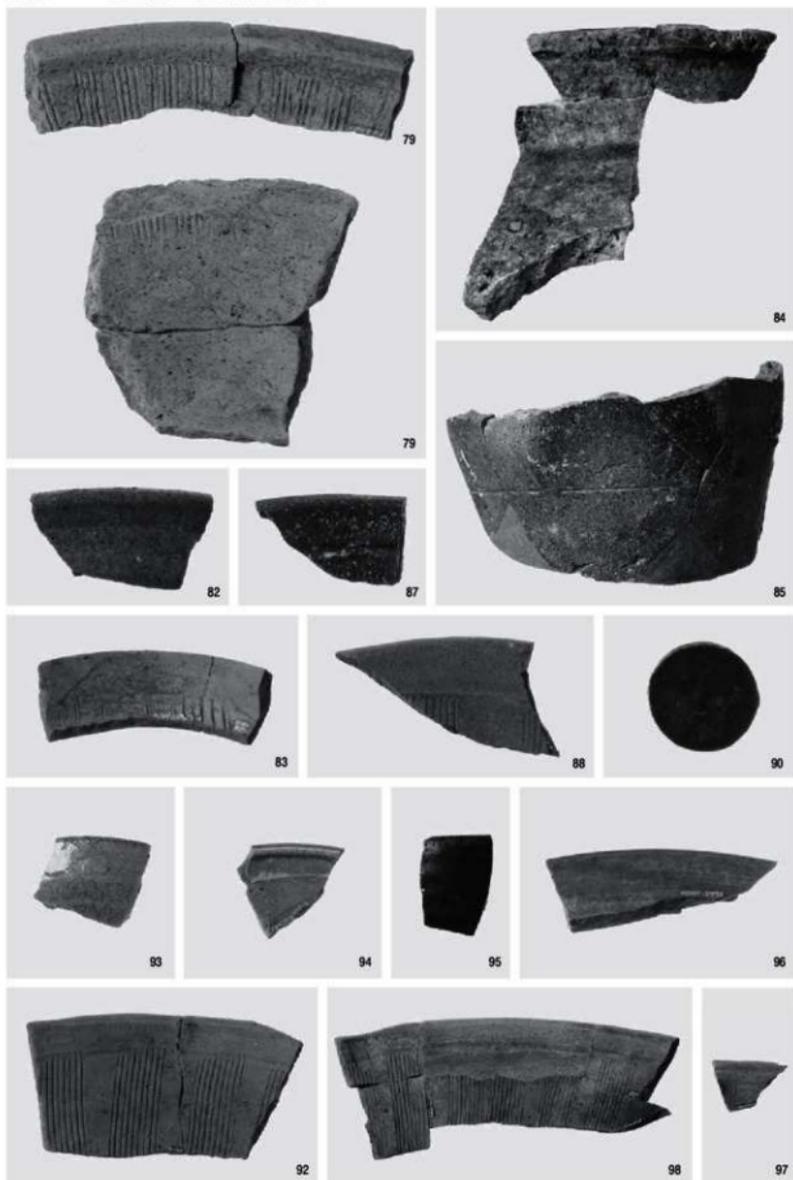


图版 6 A·B 区遺構出土中近世陶磁器 (6)



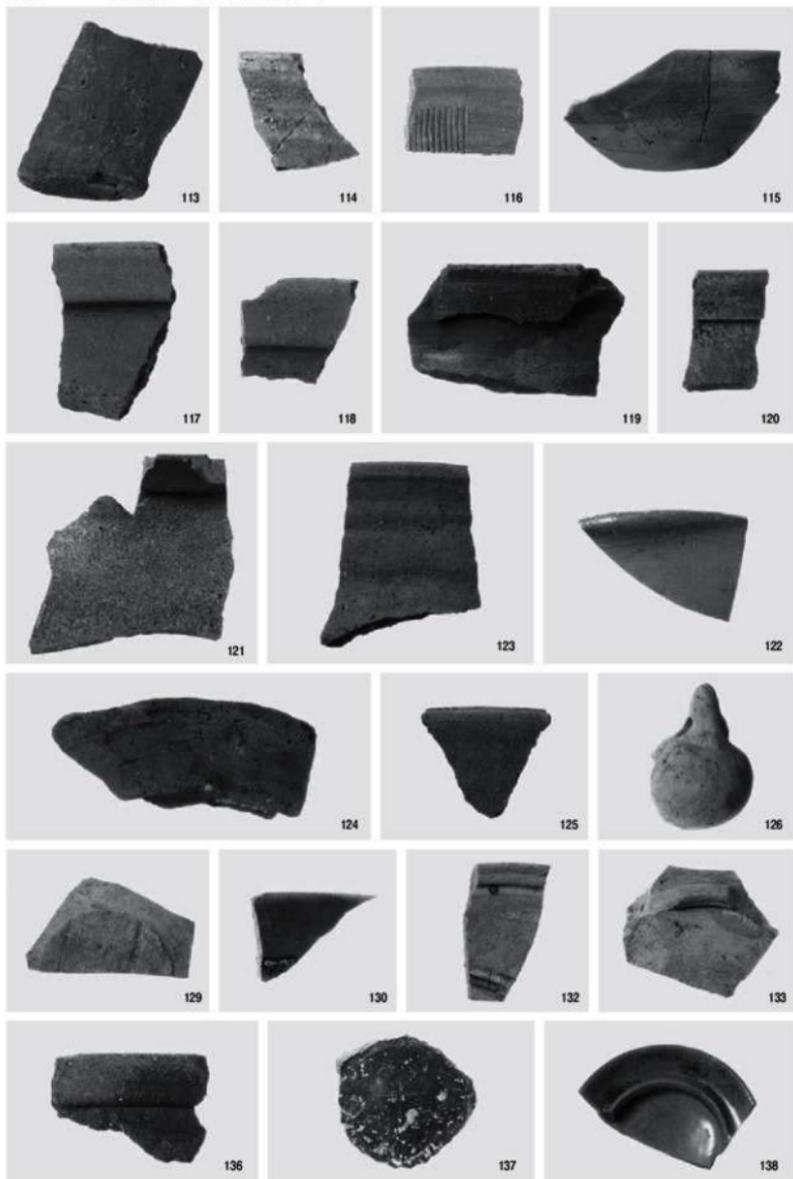


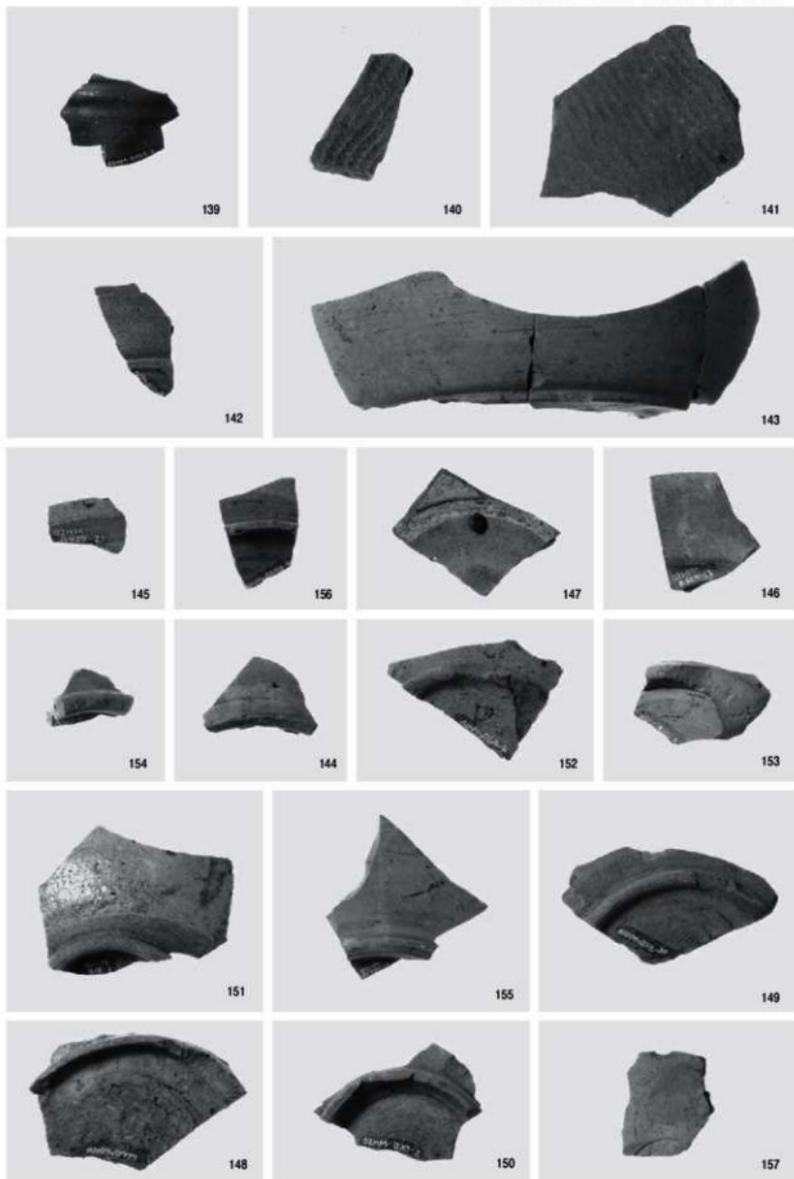
图版 8 A·B 区遗精出土中近世陶磁器 (8)



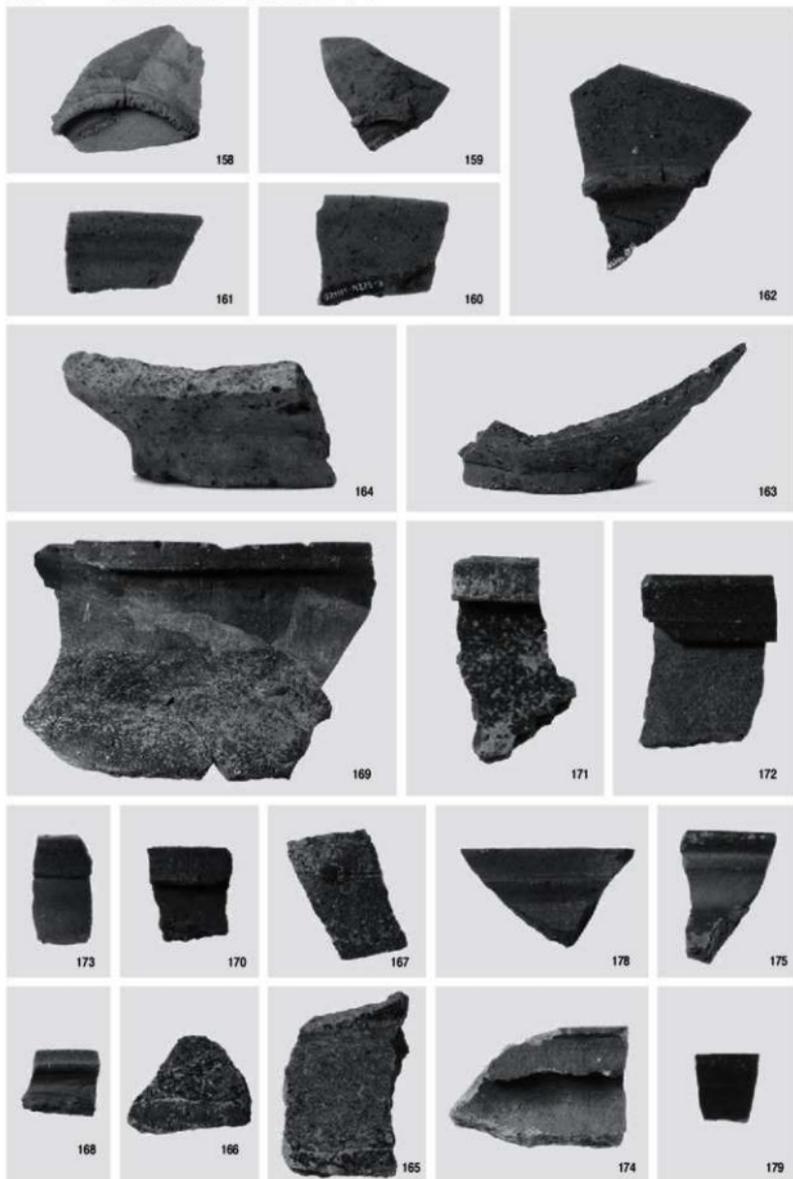


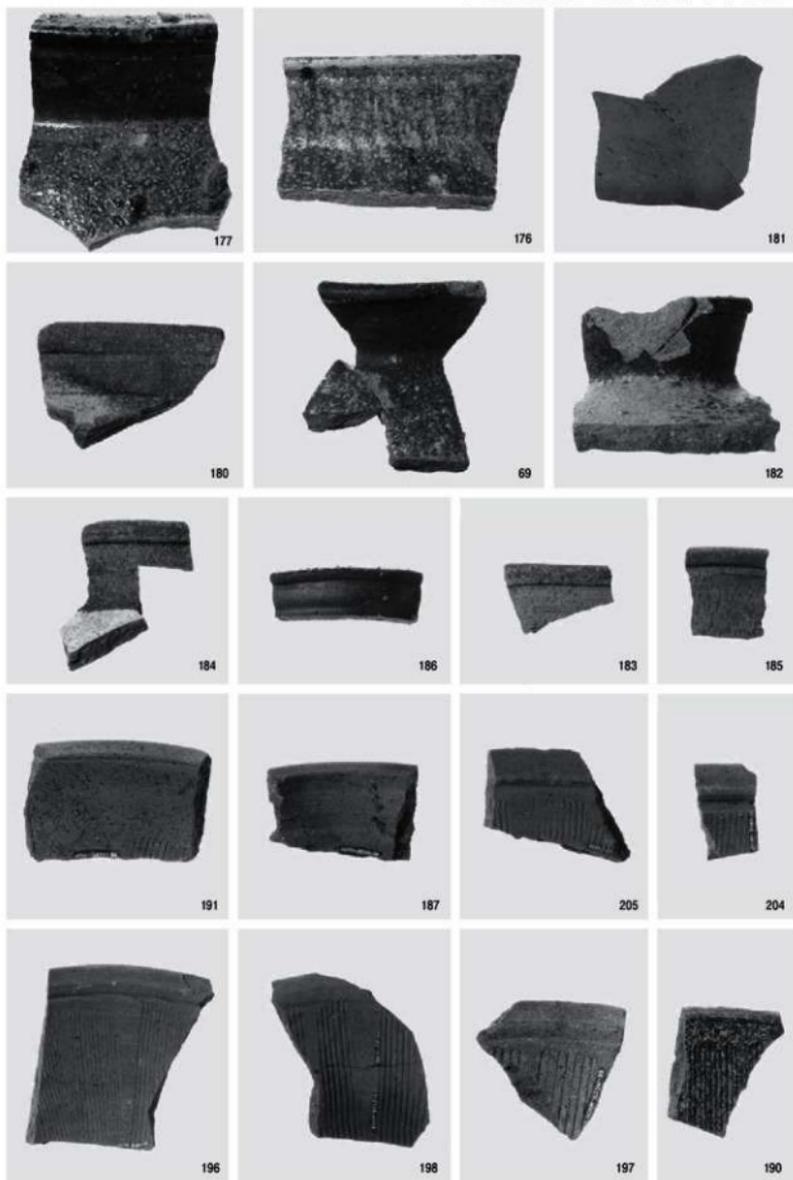
图版10 A·B区遺構出土中近世陶磁器 (10)





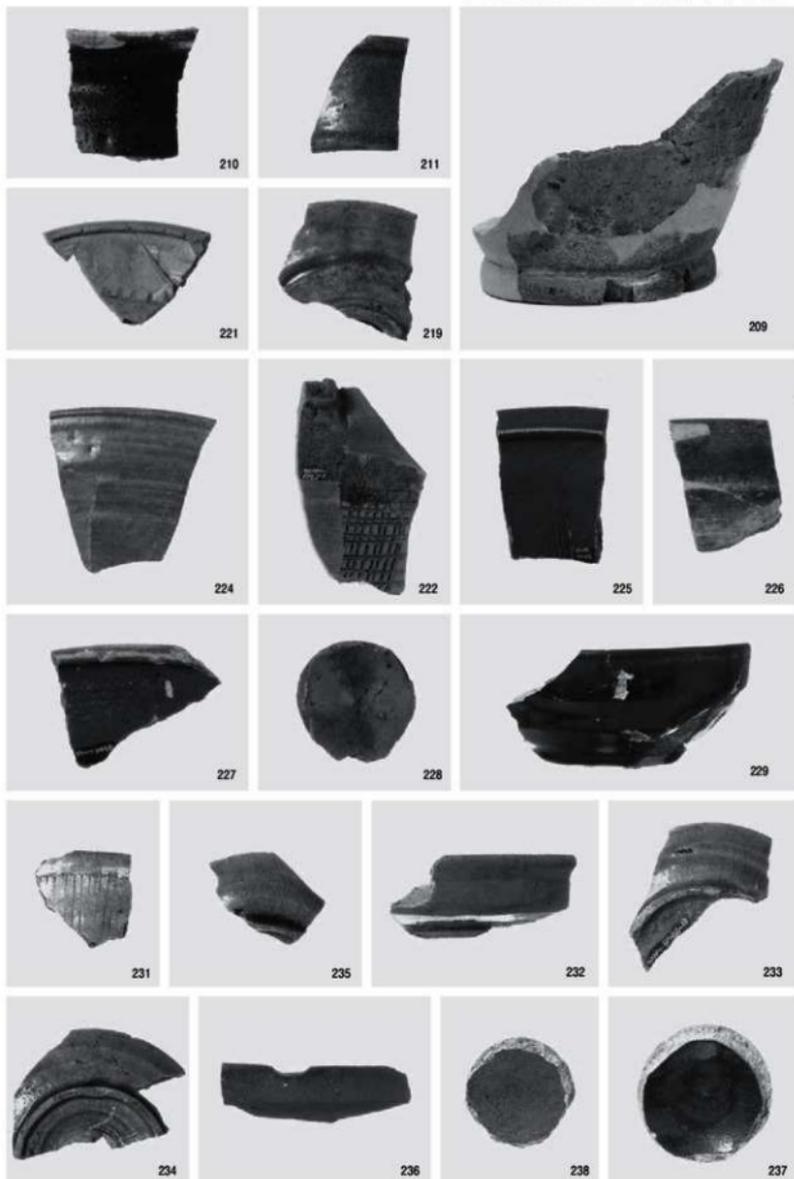
图版12 A·B区遗物包含层出土中近世陶磁器(2)



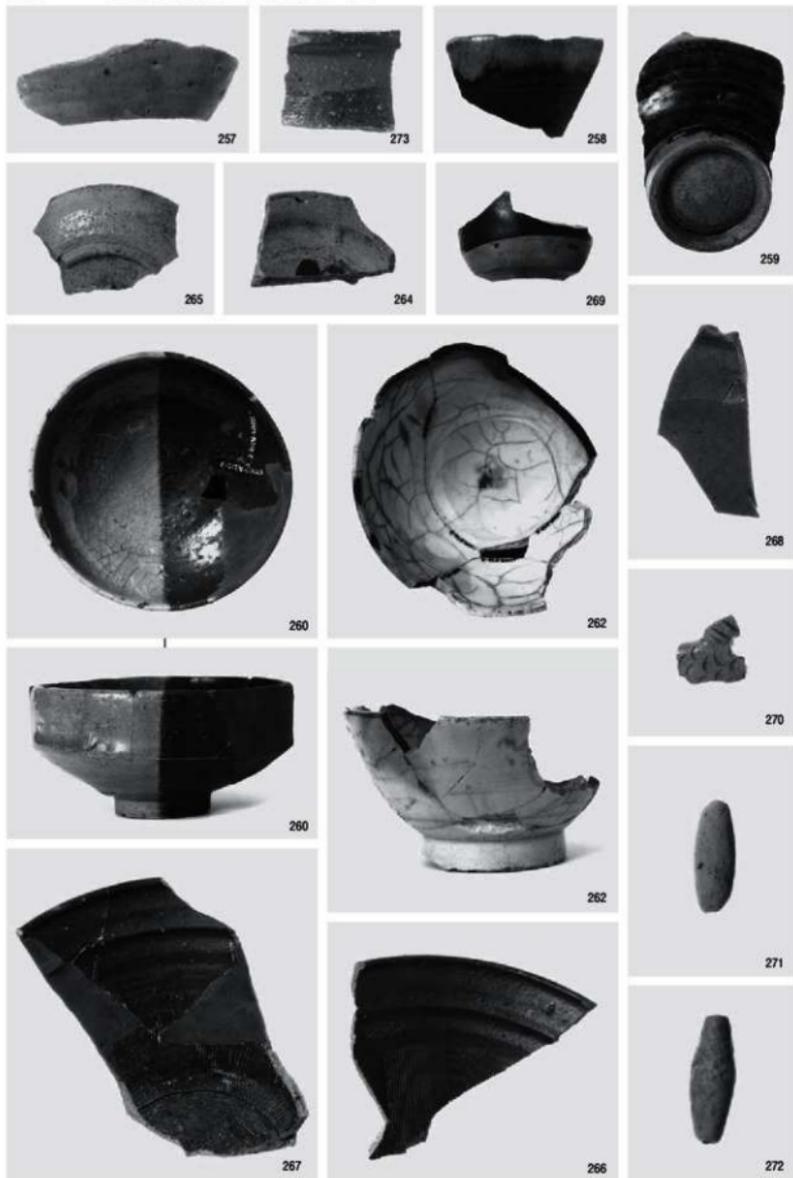


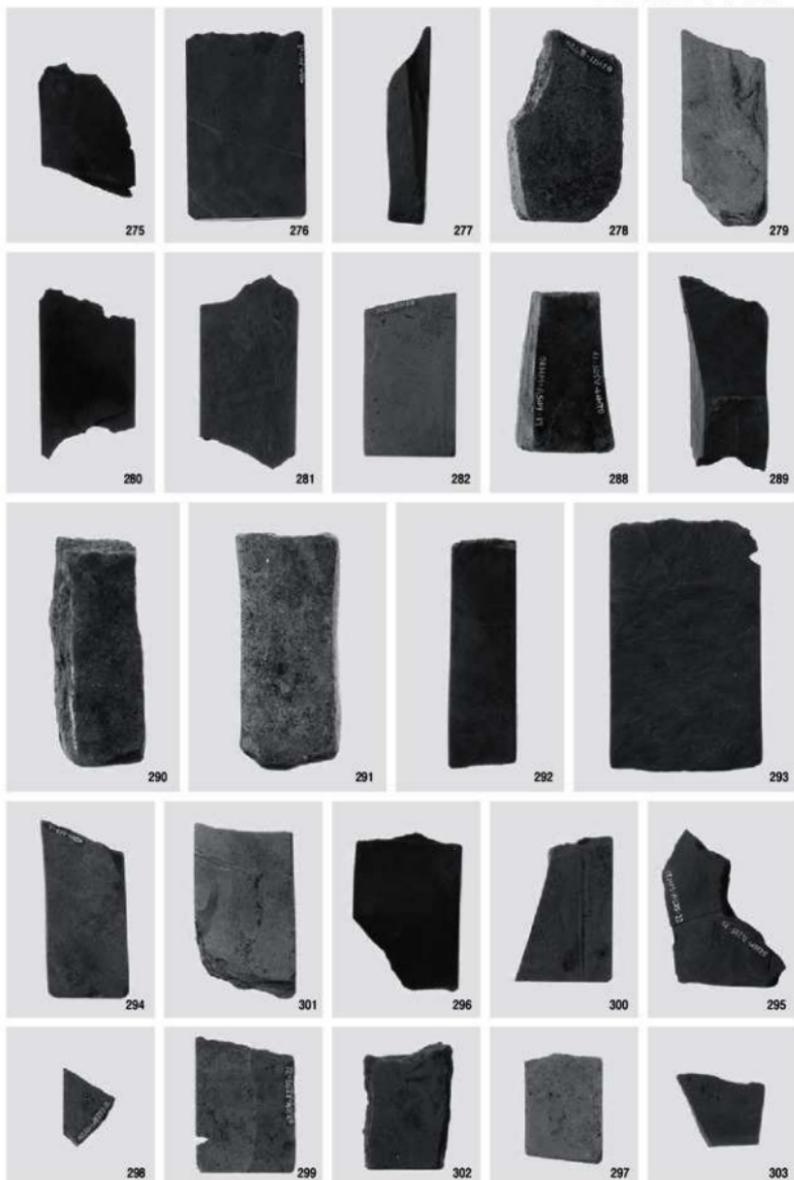
图版14 A·B区遗物包含层出土中近世陶磁器(4)



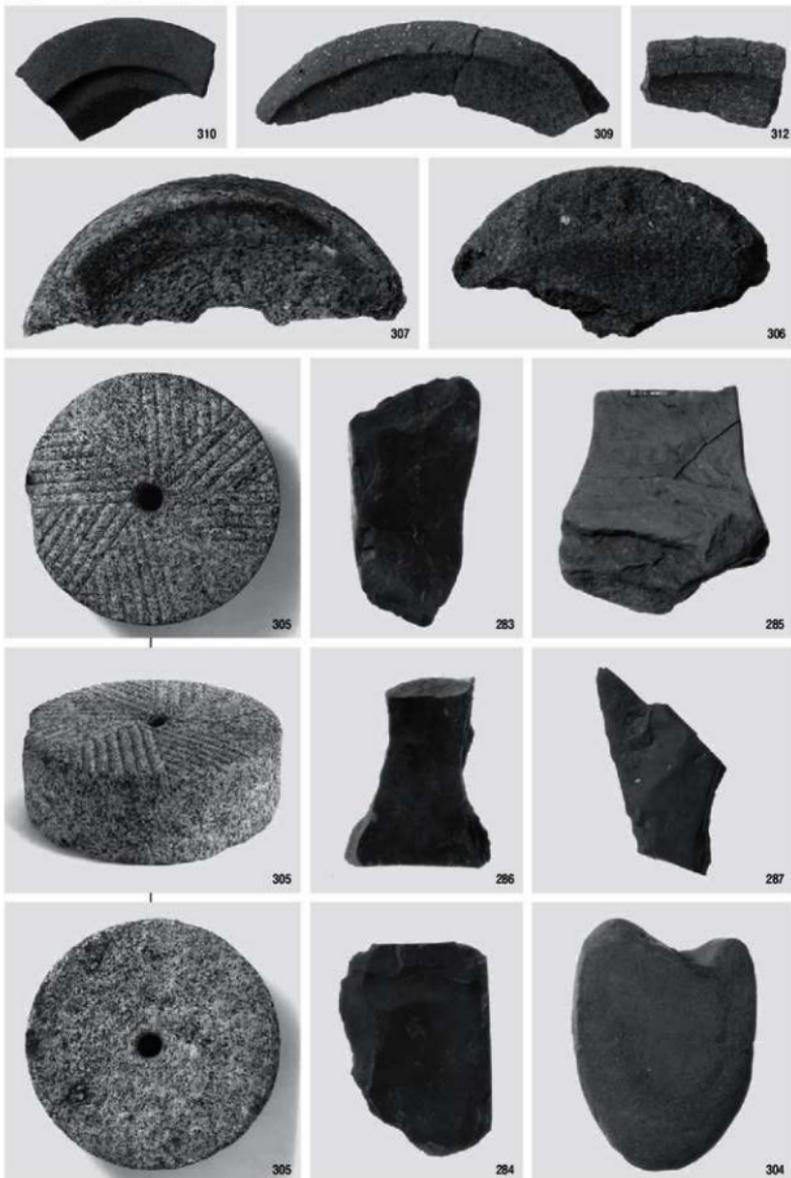


图版16 A·B区遗物包含层出土中近世陶磁器(6)



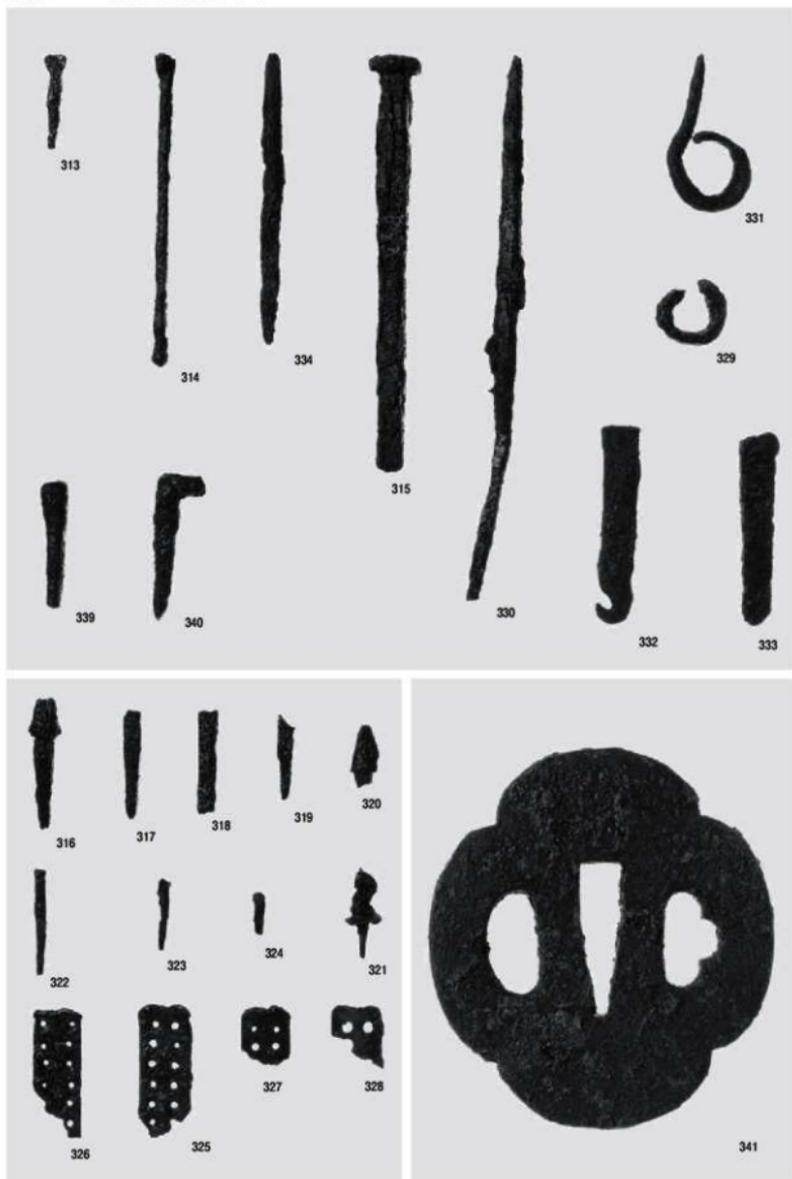


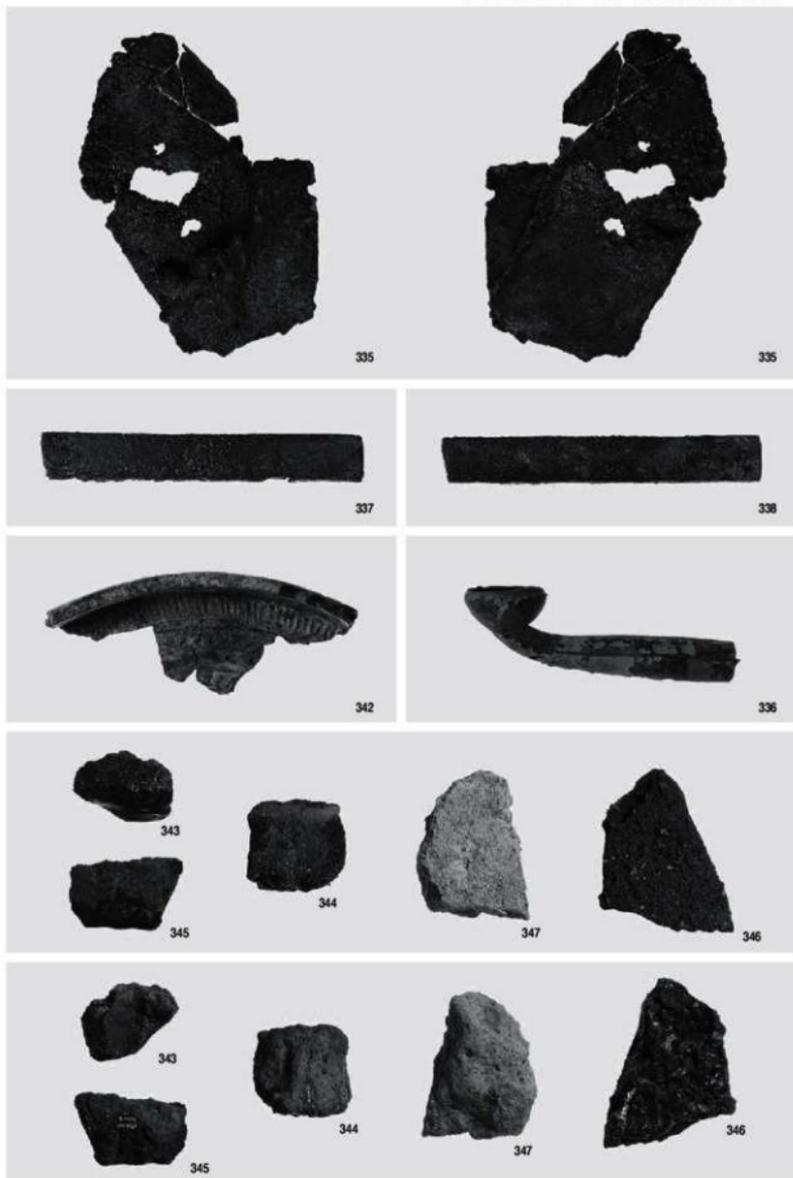
图版18 A·B区出土石制品(2)



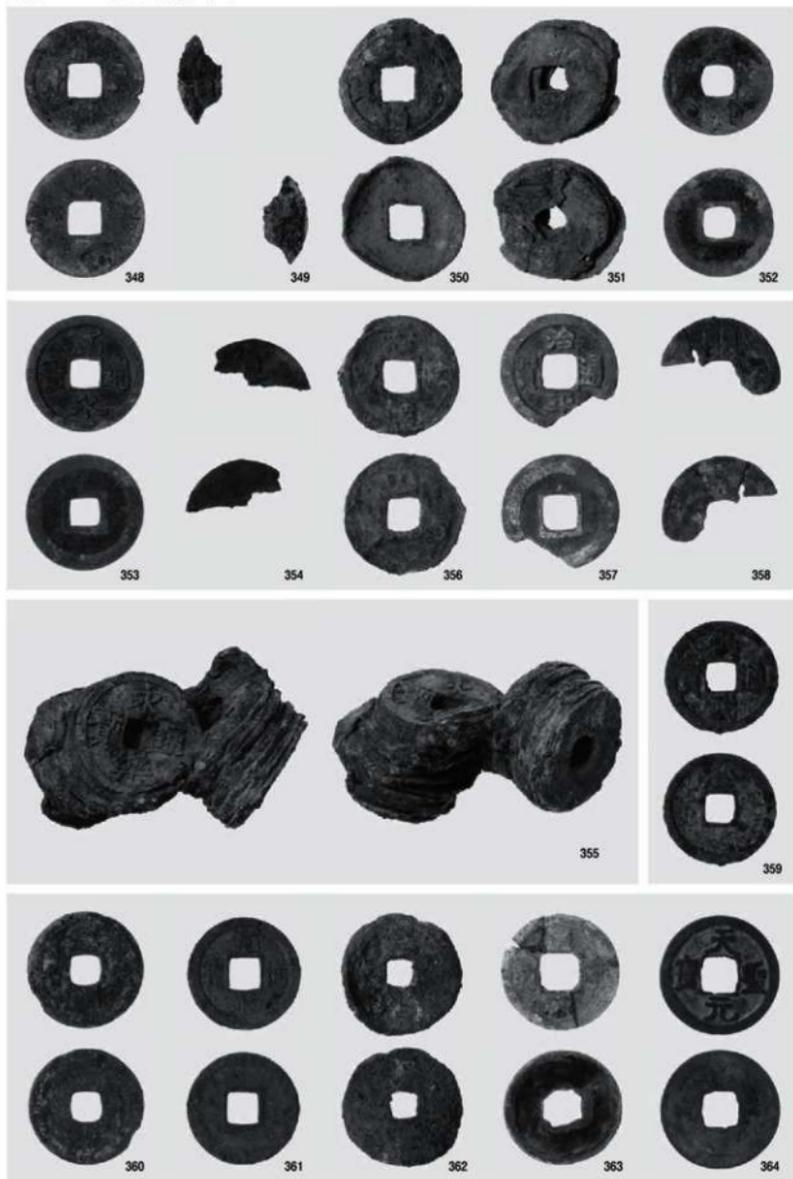


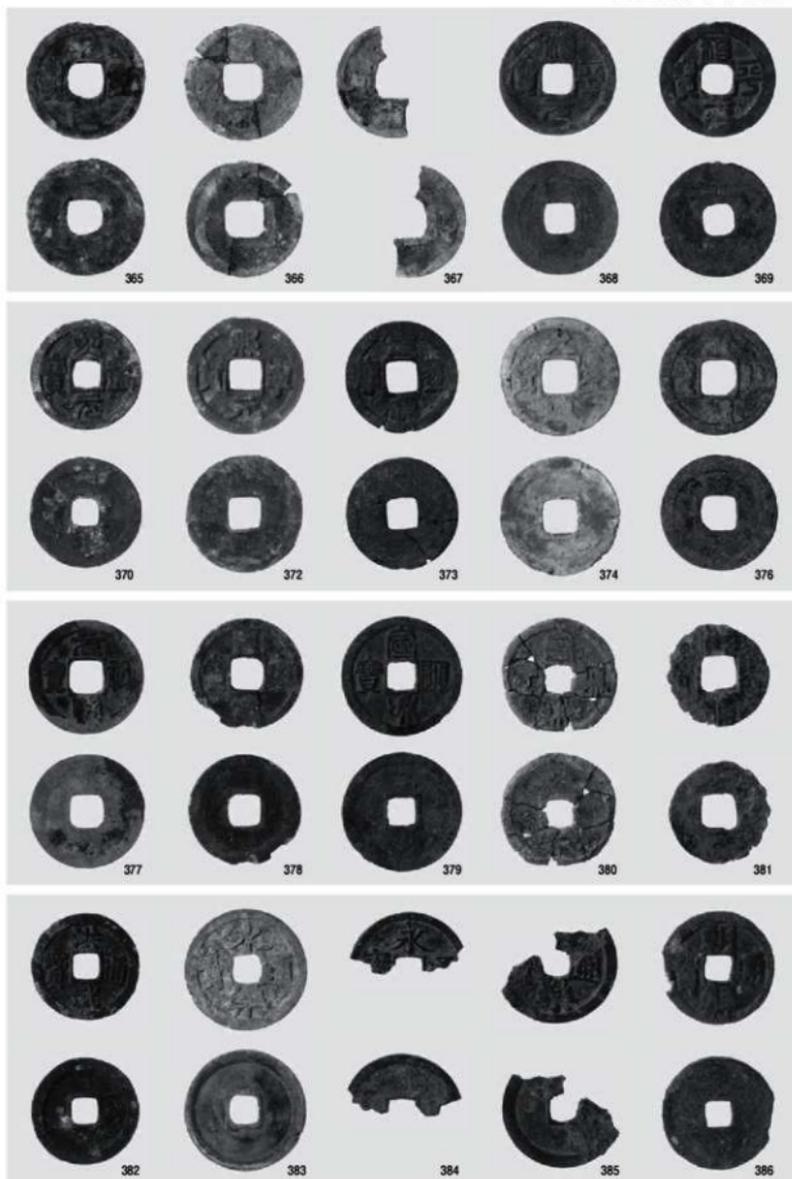
图版20 A·B区出土金属制品(1)



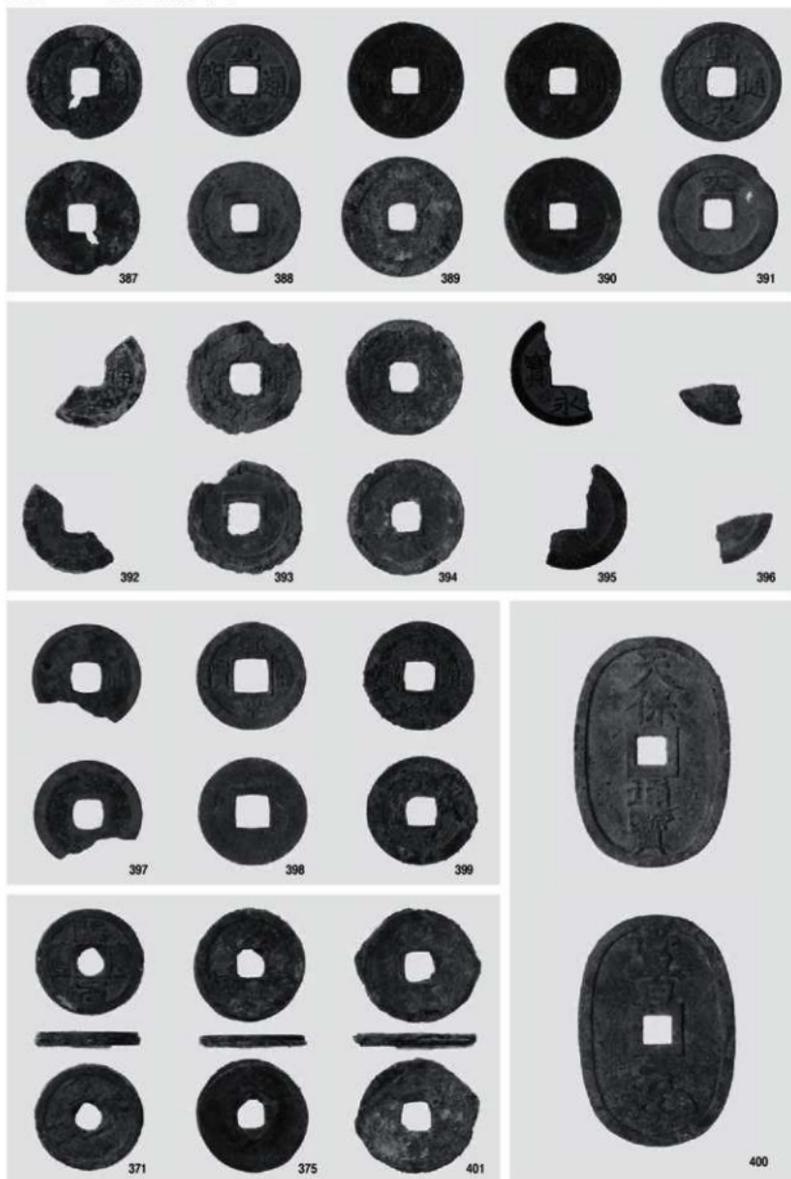


图版22 A·B区出土钱货(1)



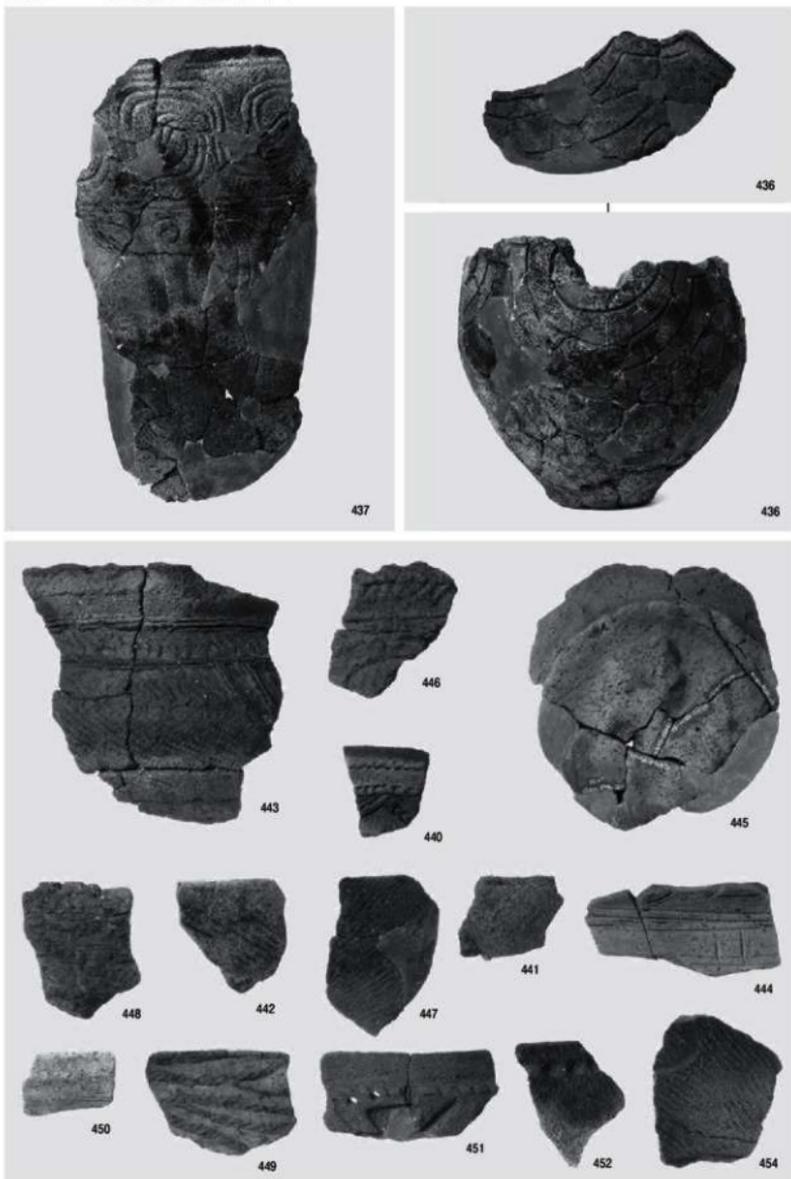


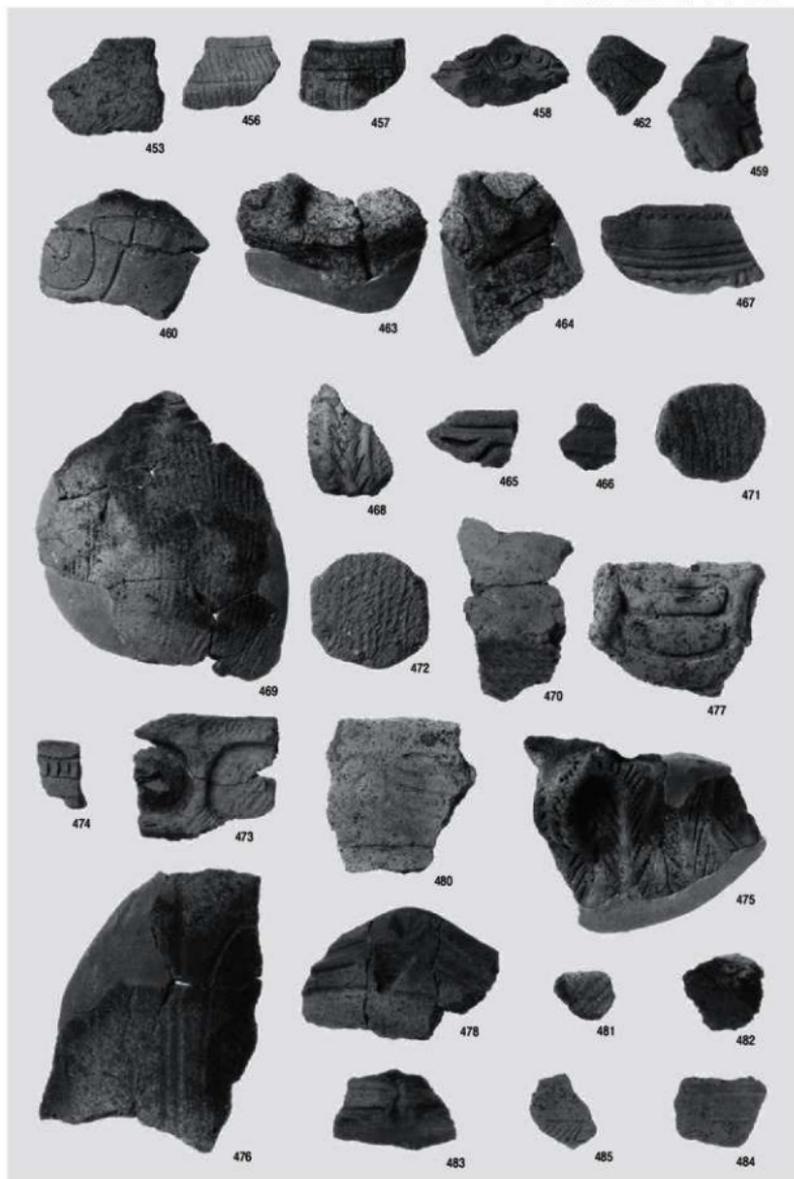
图版24 A·B区出土钱货(3)





图版26 A·B区遺構出土縄文土器(2)





图版28 A·B区遺構出土縄文土器(4)





500



455



461

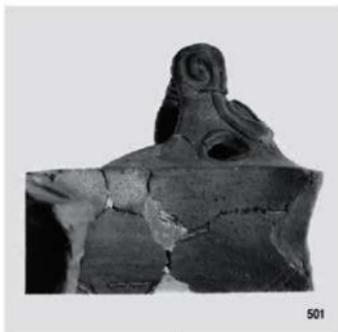


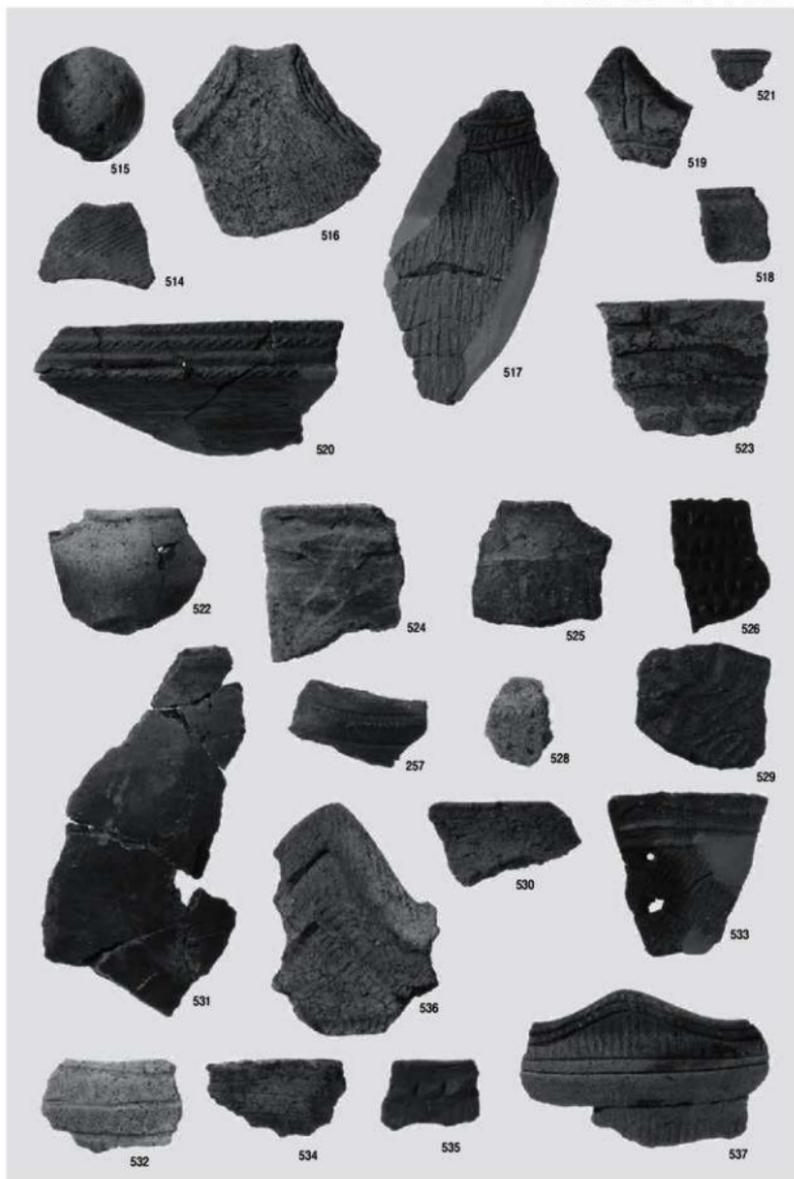
491



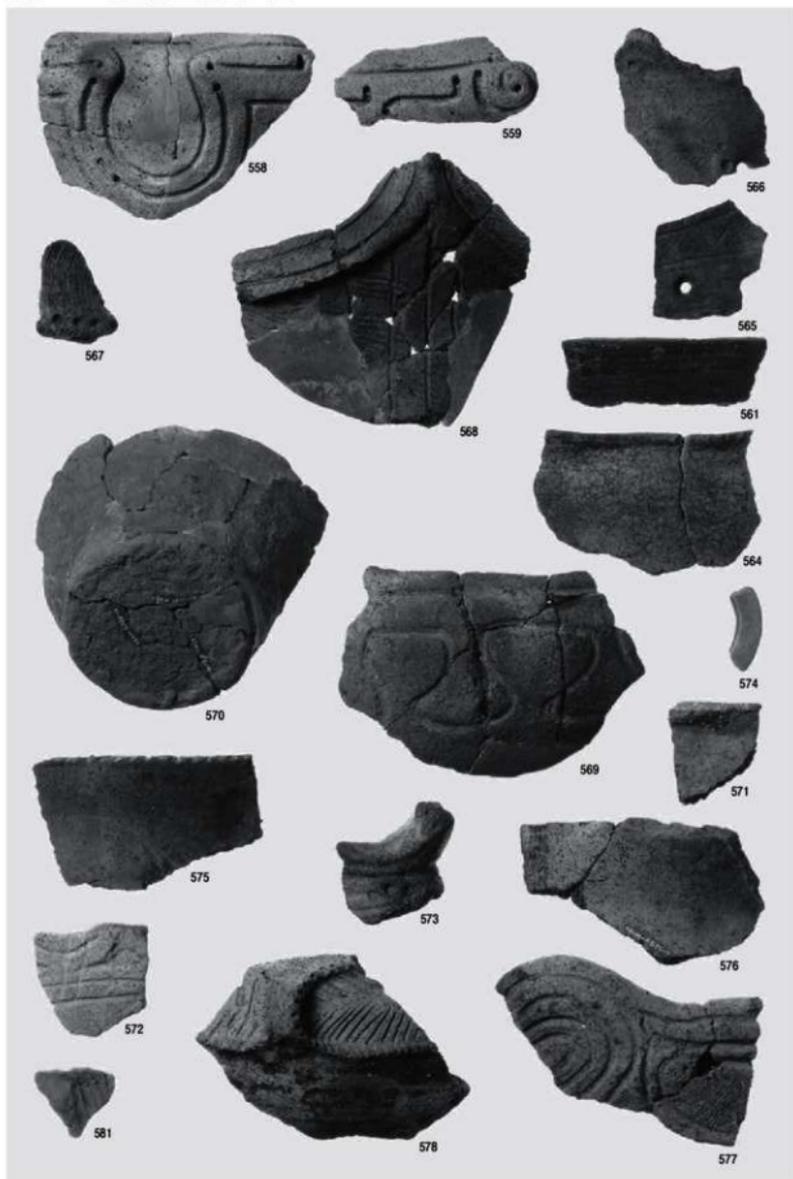
490

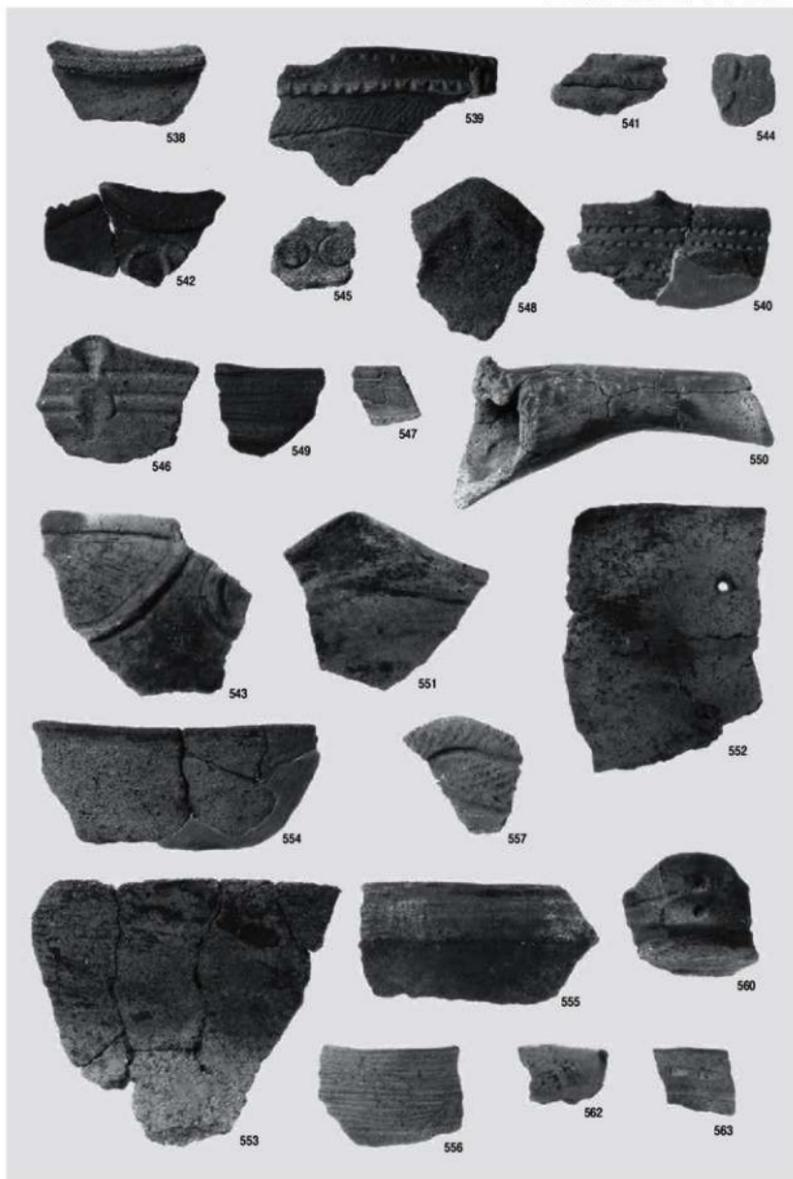
图版30 A·B区遗精出土陶文土器(6)



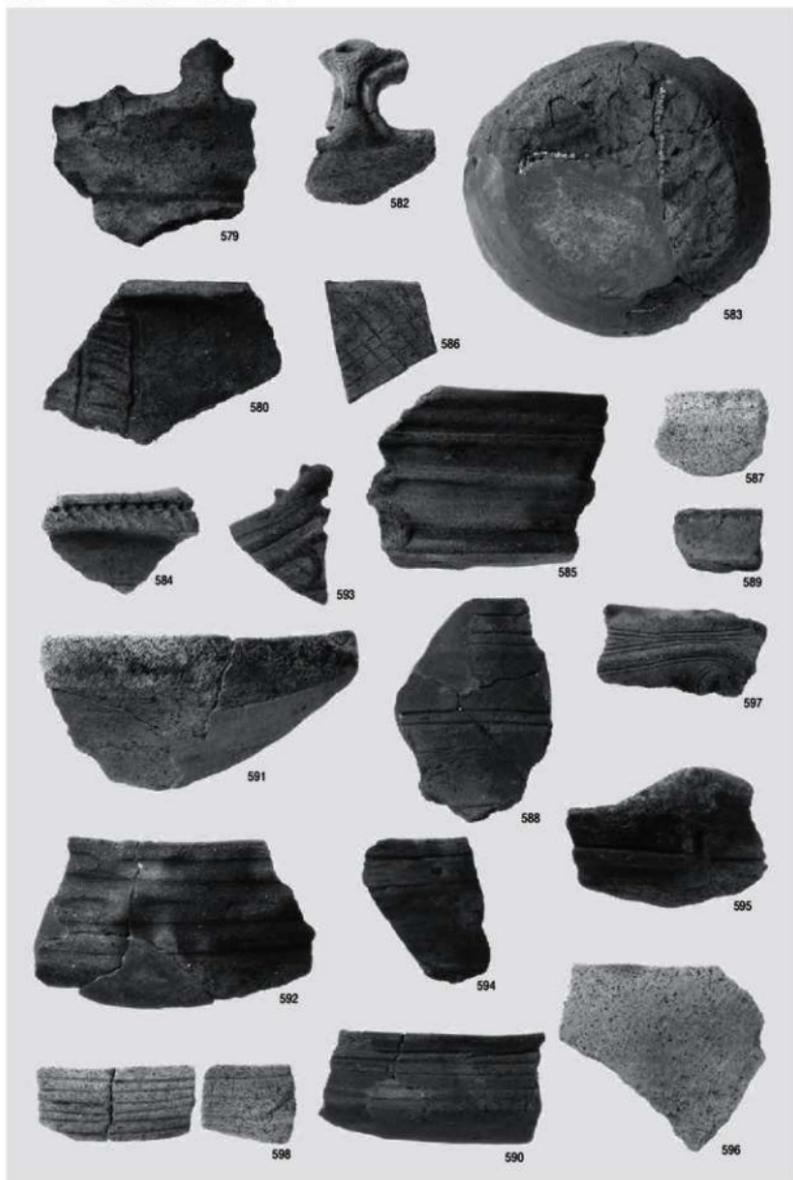


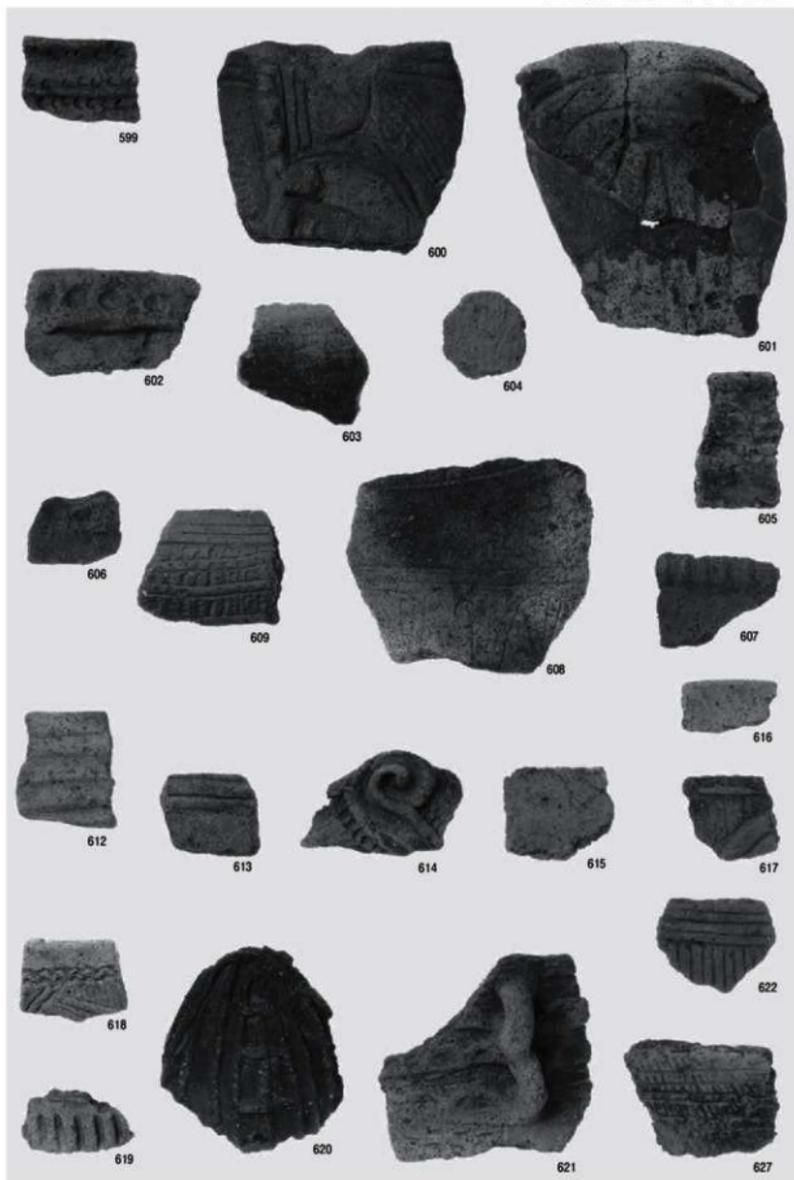
图版32 A·B区遗精出土绳文土器(8)





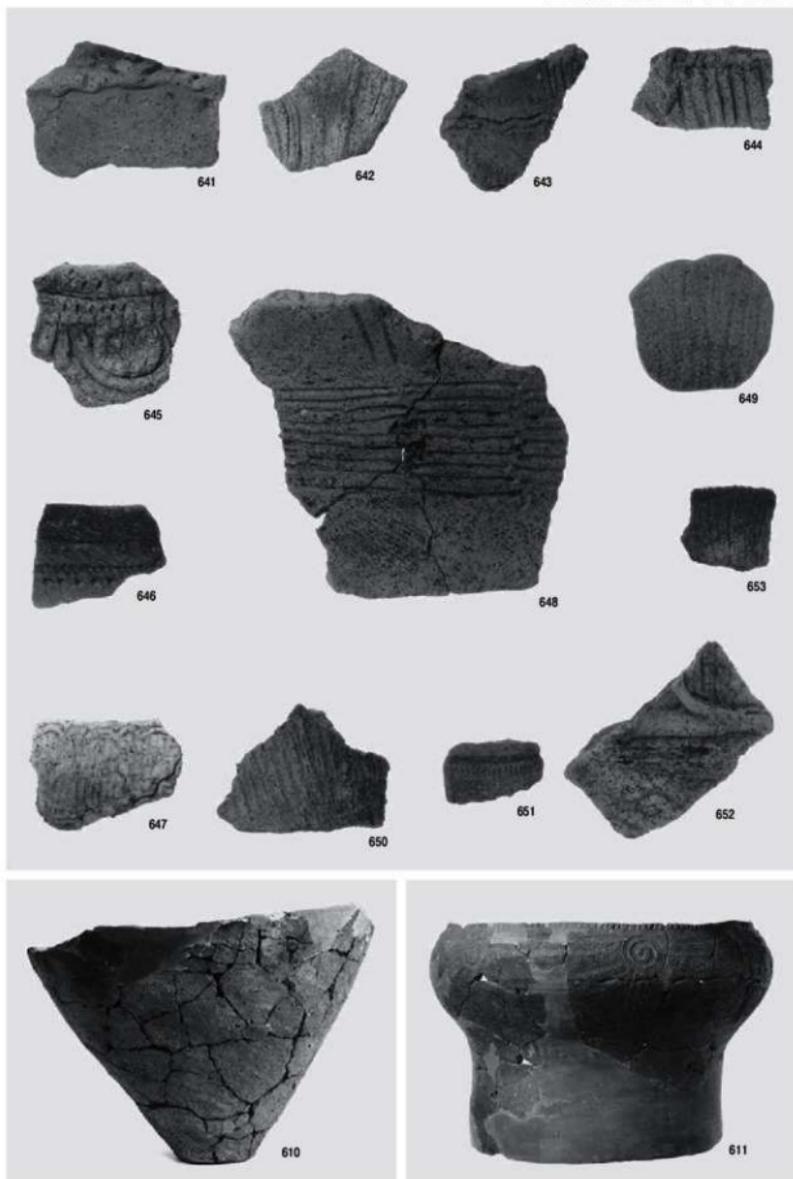
图版34 A·B区遺構出土縄文土器 (10)



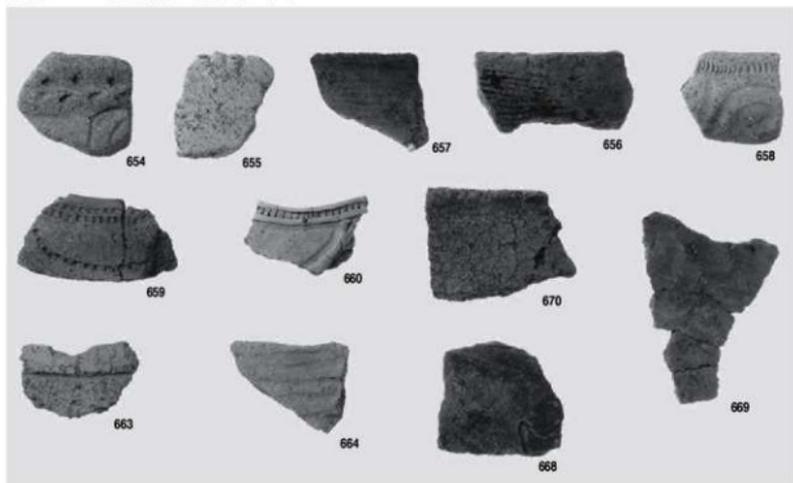


图版36 A·B区遗精出土陶文器 (12)





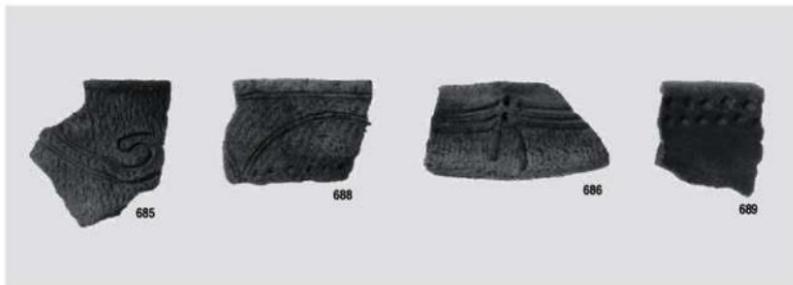
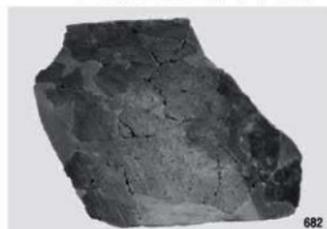
图版38 A·B区遗精出土绳纹土器 (14)





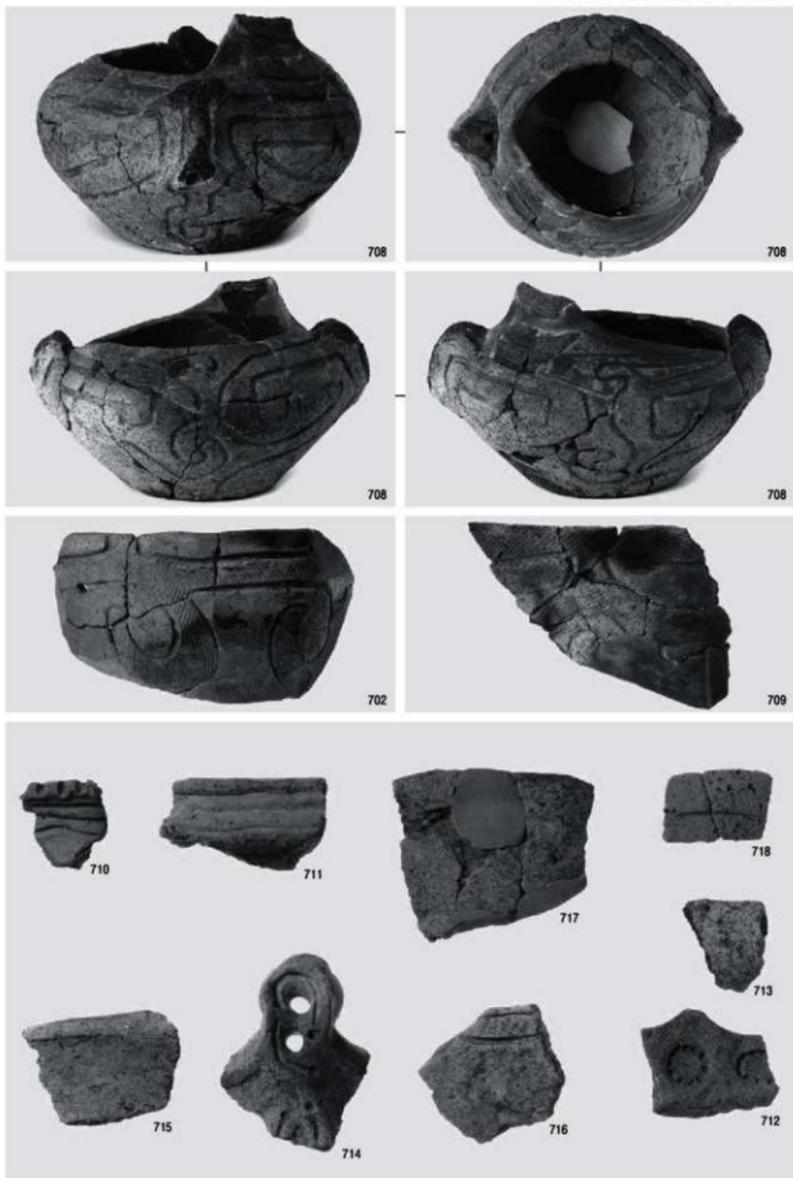
图版40 A·B区遗精出土陶文土器 (16)





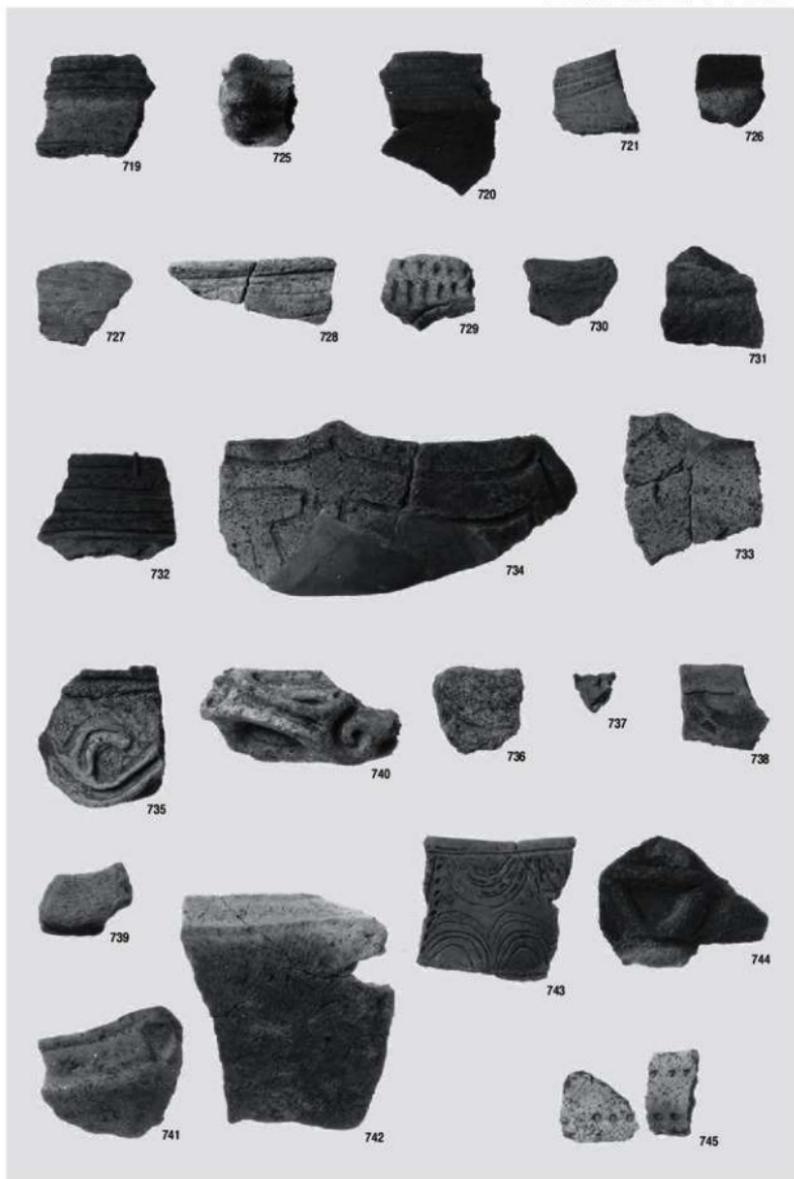
图版42 A·B区遗精出土陶文土器 (18)



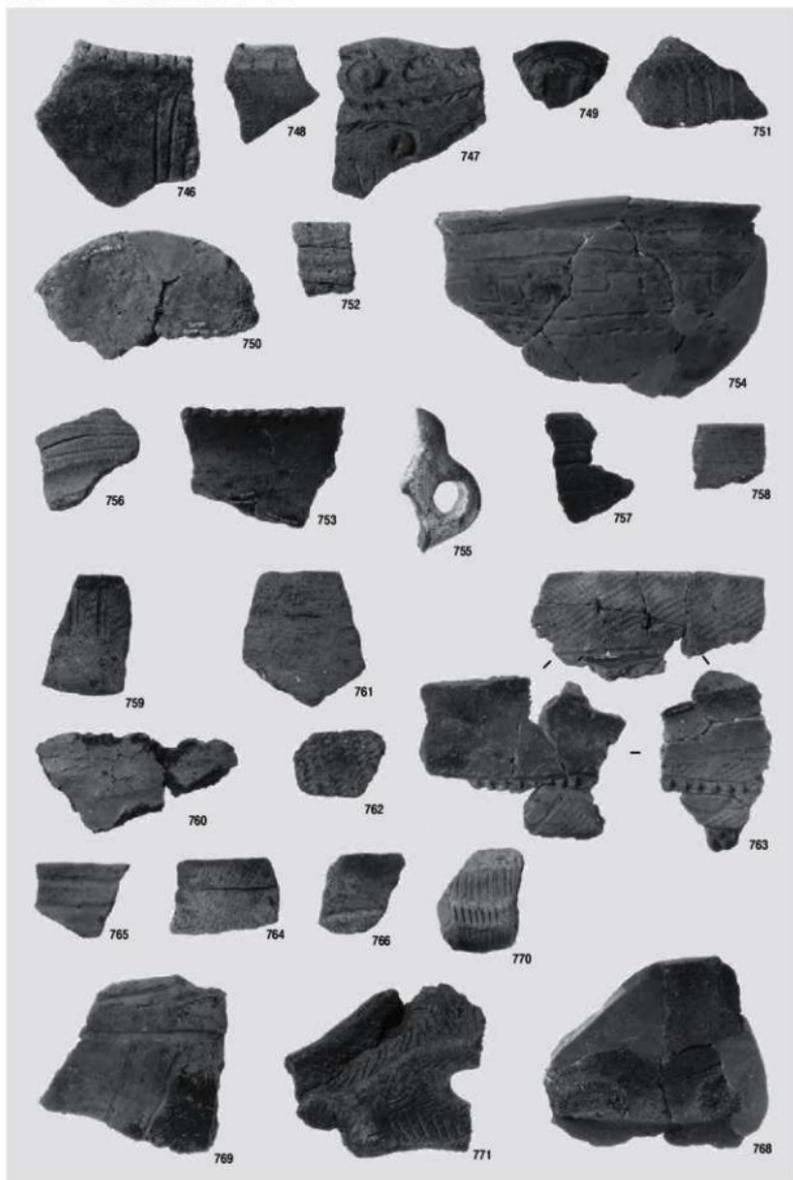


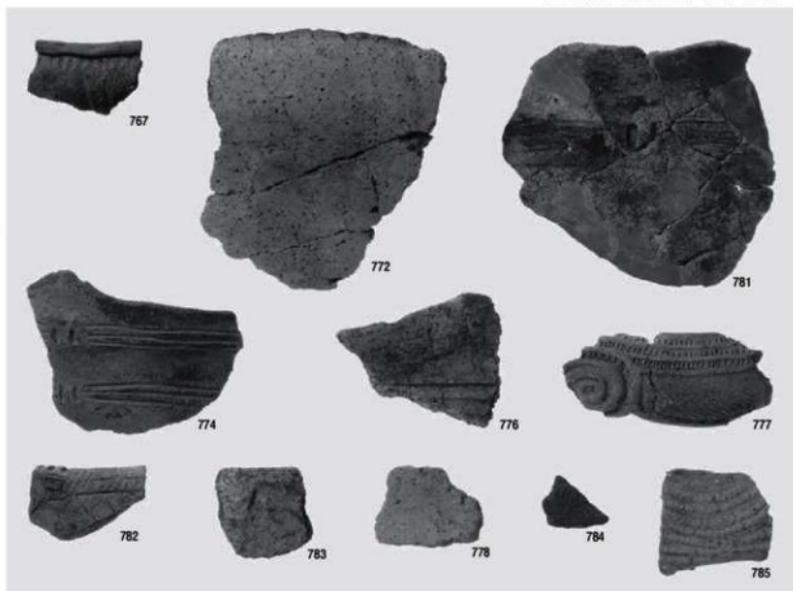
图版44 A·B区遺構出土縄文土器 (20)





图版46 A·B区遗精出土绳文土器 (22)





775



773



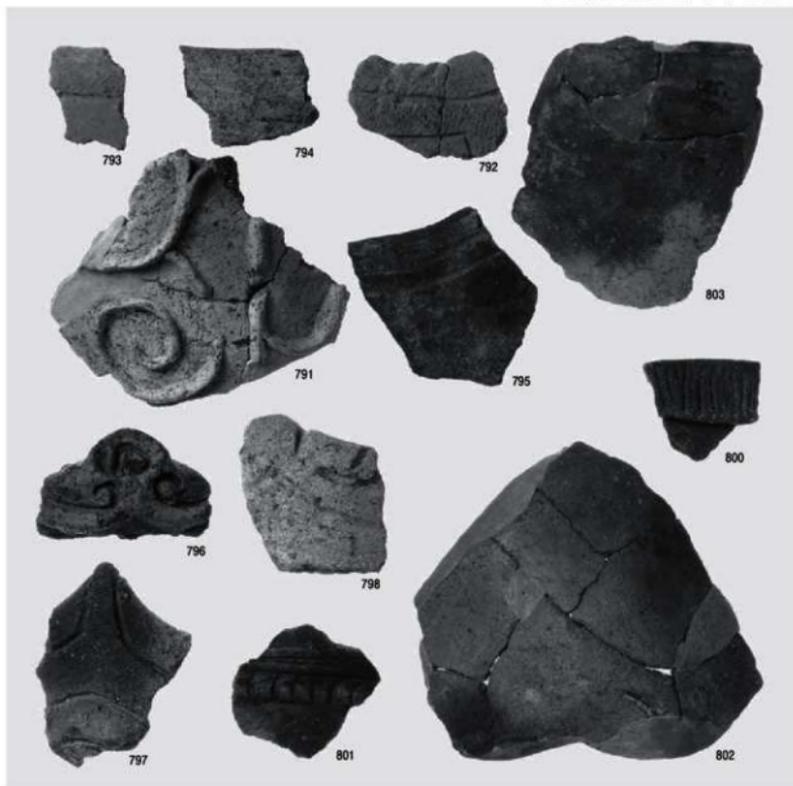
779



779

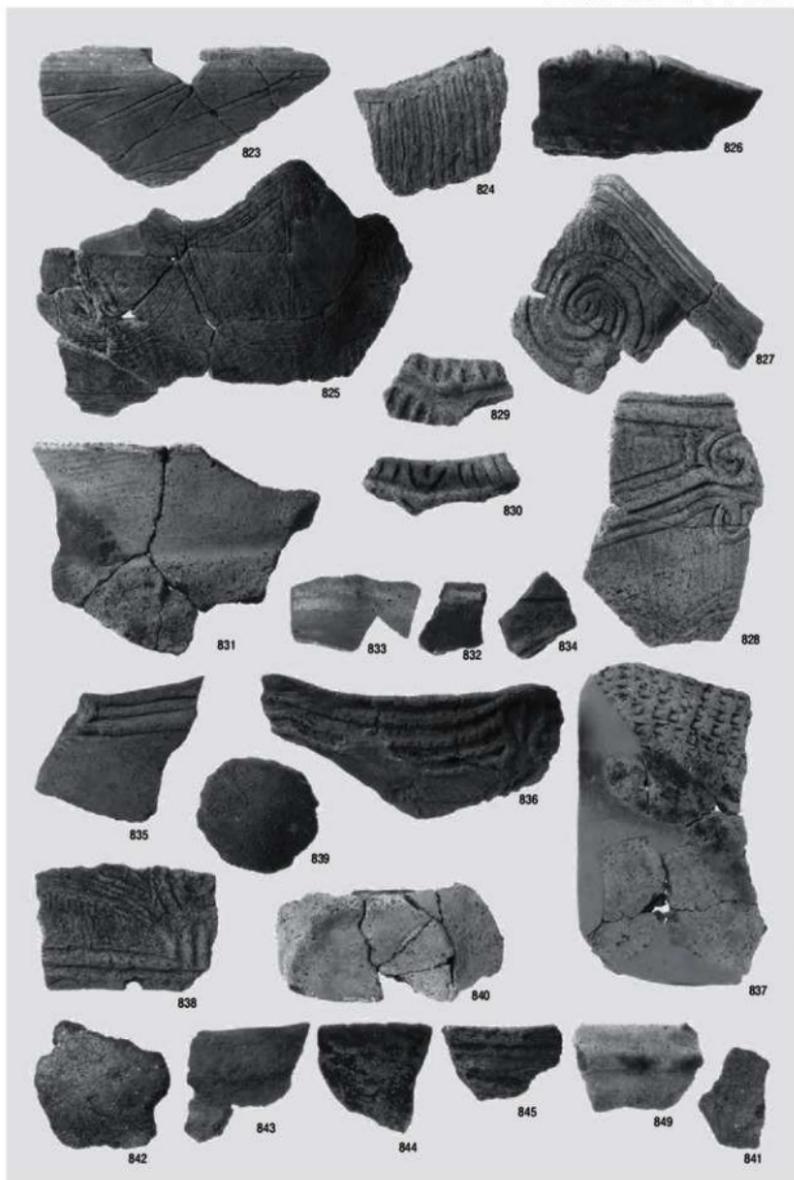
图版48 A·B区遗精出土绳文土器 (24)



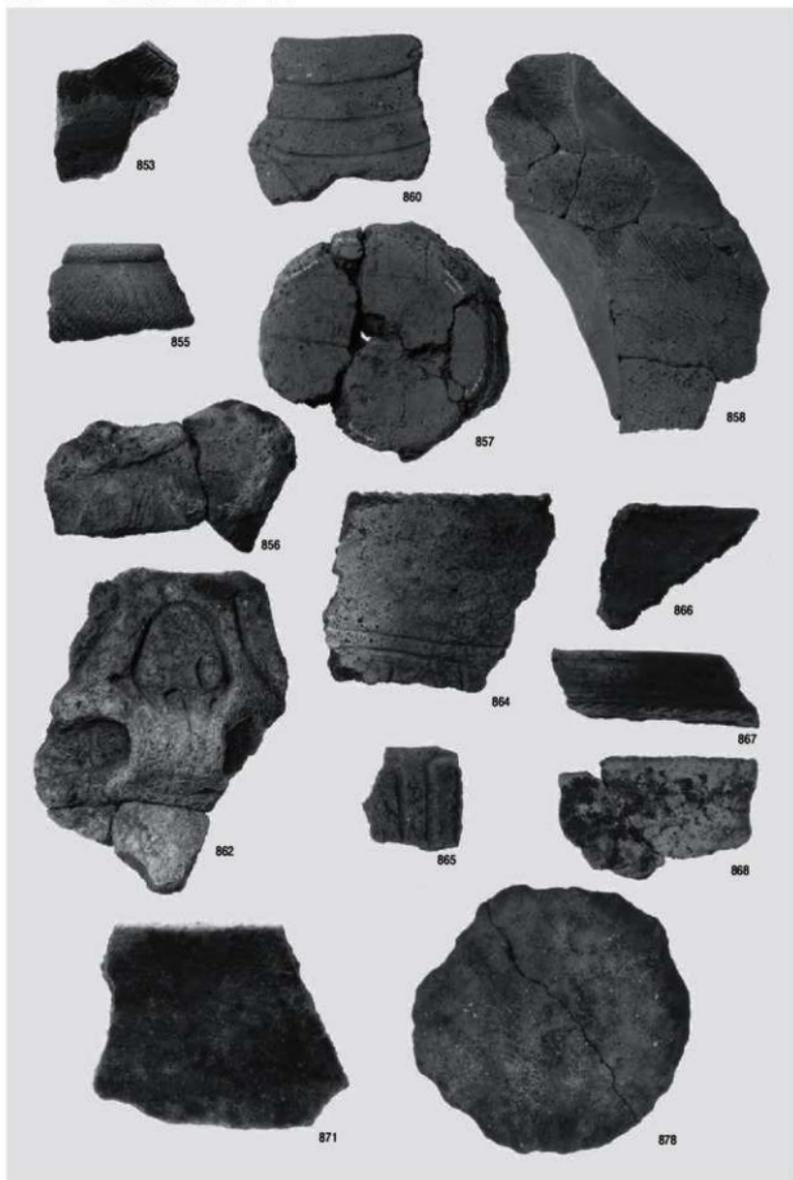


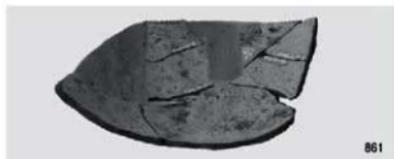
图版50 A·B区遗精出土陶文土器 (26)





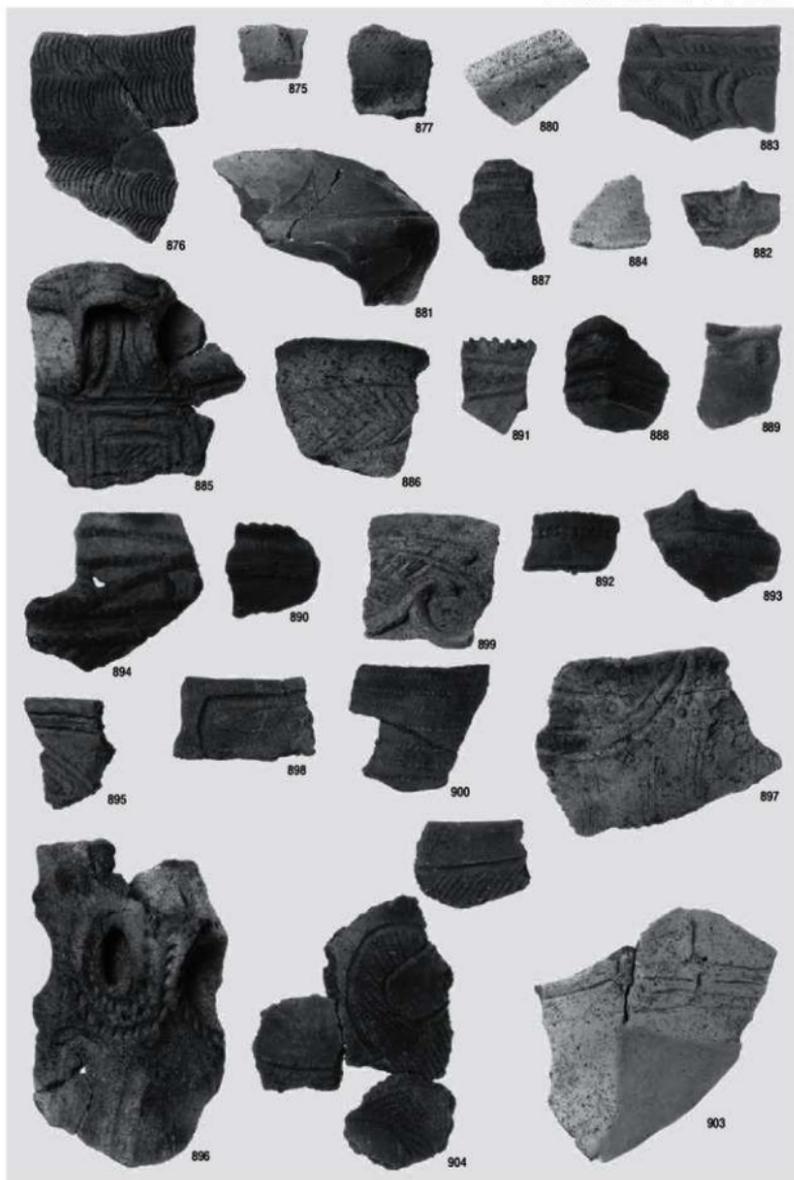
图版52 A·B区遺精出土縄文土器 (28)





图版54 A·B区遗精出土陶文土器 (30)





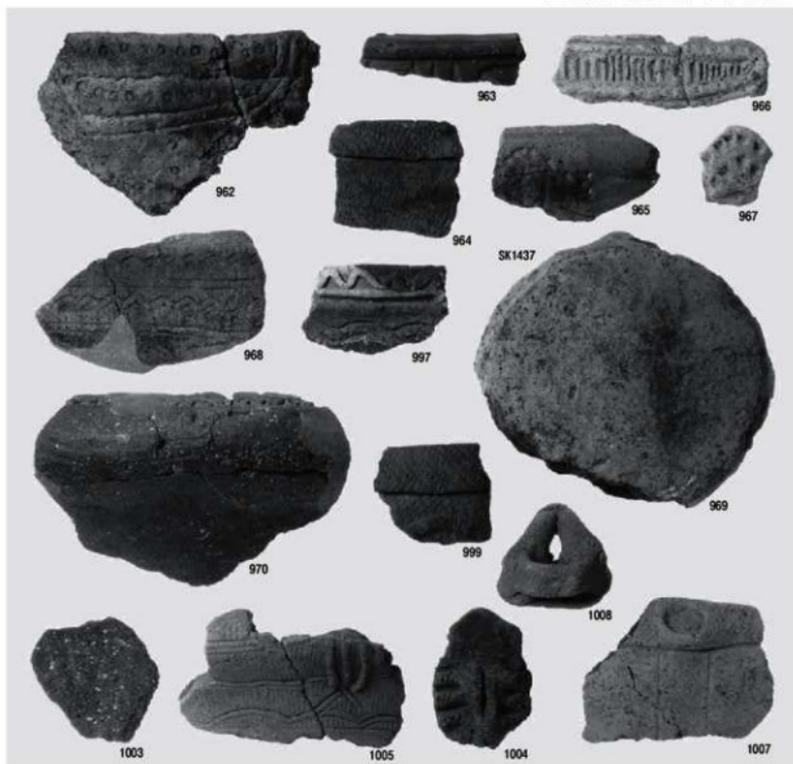
图版56 A·B区遺構出土縄文土器 (32)





图版58 A·B区遗精出土陶文土器 (34)





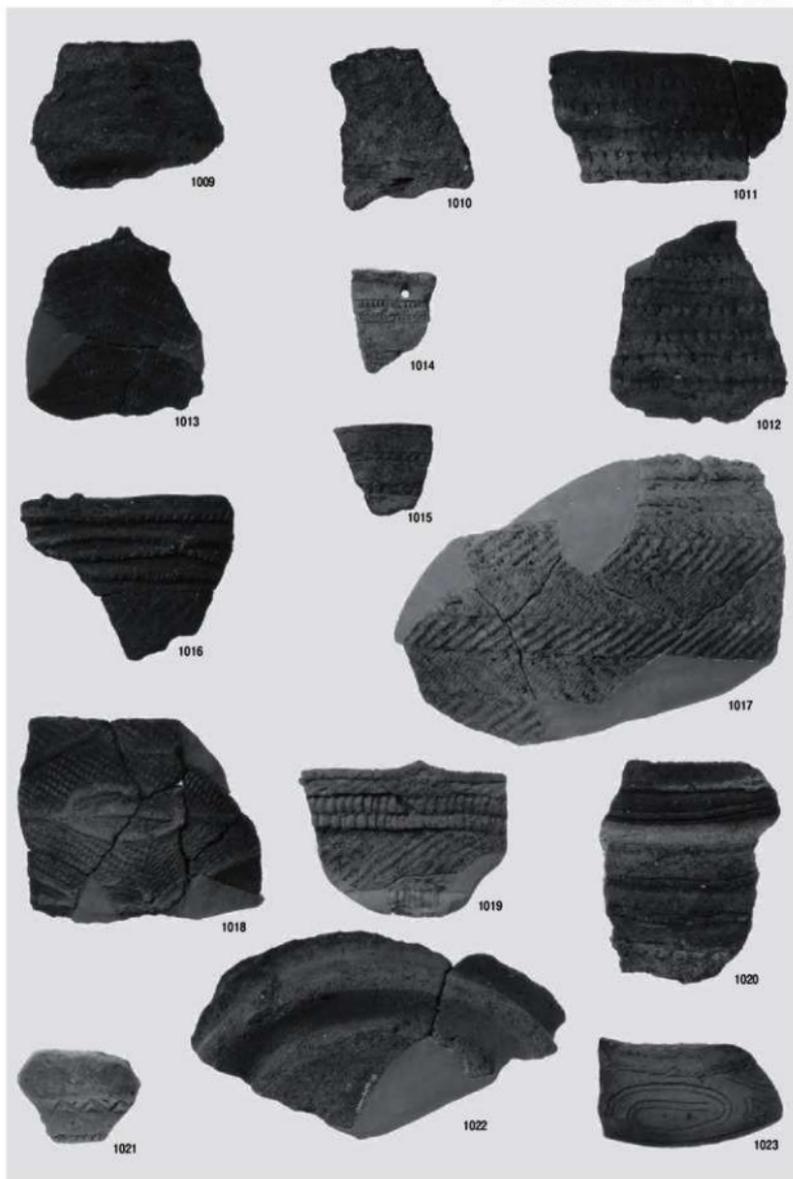
图版60 A·B区遗精出土绳文土器 (36)





图版62 A·B区遺構・遺物包含層出土縄文土器 (2)





图版64 A·B区遗物包含层出土绳文土器(2)

